

令和5年度

江戸川区民世論調査

< 第 36 回 >

江戸川区

目 次

I 調査の概要	1
II 結果のあらまし	15
III 結果と分析	23
1. 居住年数・永住意向について	25
(1) 居住年数	25
(2) 永住意向	28
2. 江戸川区の現況について	33
(1) 各項目の満足度	33
3. 区の推奨度について	92
(1) 定住・来訪の推奨度	92
4. 広報と情報化について	94
(1) 区の情報の入手手段	94
(2) インターネットの利用媒体	96
5. デジタル化について	98
(1) 区にデジタル化に向けて取り組んでほしいこと	98
6. SDGsについて	100
(1) 日ごろから取り組んでいるSDGsの行動	100
7. 共生社会について	102
(1) 共生社会についての認知度	102
8. 人権について	104
(1) 関心のある人権課題	104
9. ひきこもり支援について	106
(1) ひきこもりの状態や区の支援についての認知度	106
10. 街路樹について	108
(1) 街路樹への要望	108
11. 公園について	110
(1) 公園への要望	110
12. 葛西海浜公園について	112
(1) 葛西海浜公園がラムサール条約湿地に登録されていることの認知度	112
13. 文化芸術活動について	114
(1) 文化芸術活動や鑑賞の種類	114
(2) 文化芸術活動や鑑賞をしなかった理由	116

14. 図書館について.....	118
(1) 図書館や図書館サテライトの利用頻度	118
(2) 図書館や図書館サテライトを利用しなかった理由	120
15. 災害対策について.....	122
(1) 大規模水害時の避難するタイミング.....	122
(2) 広域避難しない理由・各項目.....	125
(3) 「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度について.....	140
(4) 「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度を利用しない理由	142
16. 治安について.....	144
(1) 住む地域の治安について.....	144
(2) 治安が悪いと感じる理由.....	147
17. 地域活動の参加状況について.....	149
(1) 現在参加している活動・団体	149
(2) 今後参加したい活動・団体.....	151
18. 地域力の醸成について	153
(1) 地域活動団体が連携して取り組んでほしいこと	153
19. 健康状態について.....	155
(1) 現在の健康状態.....	155
20. 歯科健診について.....	157
(1) 歯科健診の受診状況.....	157
(2) 歯科健診を受けていない理由.....	159
21. 自殺対策について.....	161
(1) 「江戸川区いのち支える自殺対策計画」の認知度.....	161
(2) 区の自殺対策への取り組みについての認知度	163
22. 区政への要望について	165
(1) 今後推進してほしい施策	165
23. 自由記述.....	168
(1) 江戸川区の良さ	168
(2) 江戸川区に改善してほしいこと.....	172
(3) 自由記述抜粋.....	176
IV 調査票.....	187

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 目的

区政に対する区民の意識・評価・要望などを把握し、その結果を区政へ反映させることにより、区民参加による区政運営を推進していくため実施。

2. 対象

満 18 歳以上の区民 4,000 人

対象者は、住民基本台帳より無作為に抽出

3. 期間

令和 5 年 10 月 20 日(金)～11 月 9 日(木)<21 日間>

4. 内容

- | | |
|------------------|-------------------|
| (1)居住年数・永住意向について | (13)文化芸術活動について |
| (2)江戸川区の現況について | (14)図書館について |
| (3)区の推奨度について | (15)災害対策について |
| (4)広報と情報化について | (16)治安について |
| (5)デジタル化について | (17)地域活動の参加状況について |
| (6)SDGsについて | (18)地域力の醸成について |
| (7)共生社会について | (19)健康状態について |
| (8)人権について | (20)歯科健診について |
| (9)ひきこもり支援について | (21)自殺対策について |
| (10)街路樹について | (22)区政への要望について |
| (11)公園について | (23)自由記述 |
| (12)葛西海浜公園について | |

5. 調査方法

調査票を対象者に郵送し、本人記入方式。

回収は、郵送回収とWEB回収の併用。

【回収結果】

・標本数 4,000 件

・有効回収数 1,746 件 有効回収率 43.7%

(内、郵送は 1,045 件、59.9% Web 回収は 701 件、40.1%)

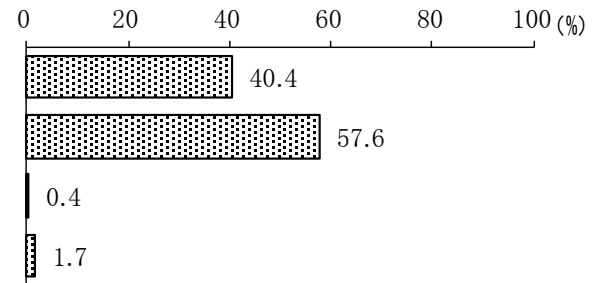
(人口は、令和5年 11 月 1 日現在)

18 歳以上の人口(人)	配布数(人)	回収数(人)	回収率(%)
590,814	4,000	1,746	43.7

6. 回答者の属性

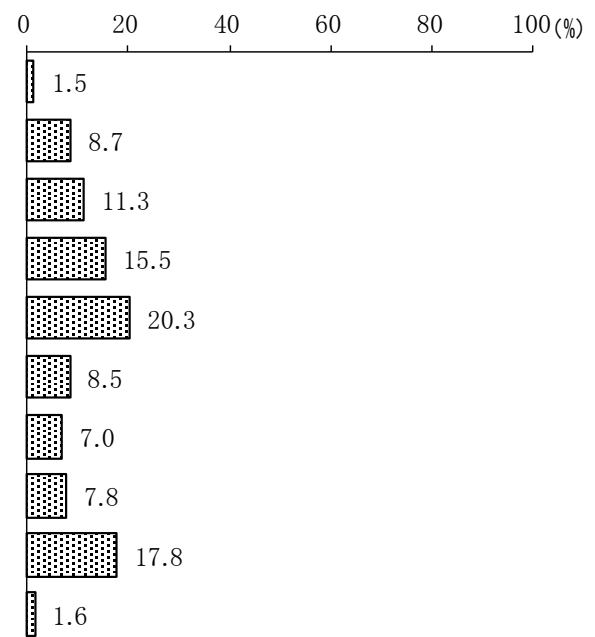
(1) F1 性別

	基数	構成比
男性	705	40.4
女性	1,005	57.6
その他	7	0.4
無回答	29	1.7
全体	1,746	100.0



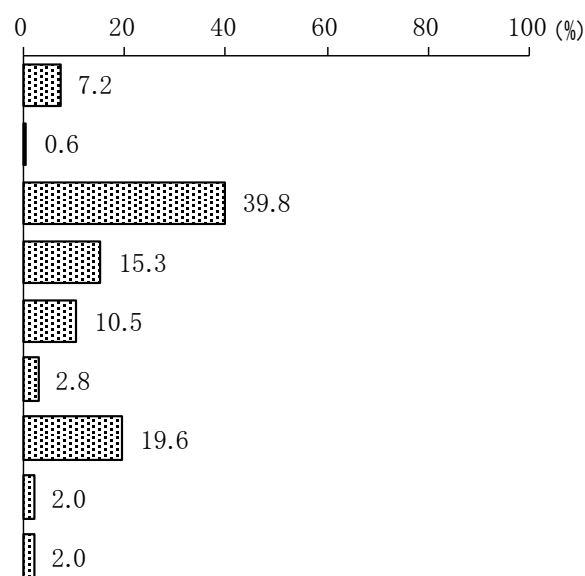
(2) F2 年齢

	基数	構成比
18・19歳	26	1.5
20～29歳	152	8.7
30～39歳	198	11.3
40～49歳	271	15.5
50～59歳	354	20.3
60～64歳	148	8.5
65～69歳	122	7.0
70～74歳	137	7.8
75歳以上	310	17.8
無回答	28	1.6
全体	1,746	100.0



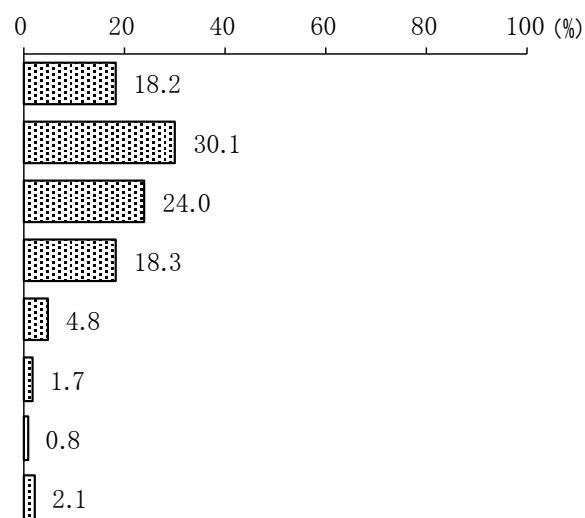
(3) F3 職業

	基数	構成比
自営業者	126	7.2
家族従業(家事手伝い)	11	0.6
勤め(フルタイム)	695	39.8
勤め(パートタイム)	268	15.3
家事専業	184	10.5
学生	49	2.8
無職	343	19.6
その他	35	2.0
無回答	35	2.0
全体	1,746	100.0

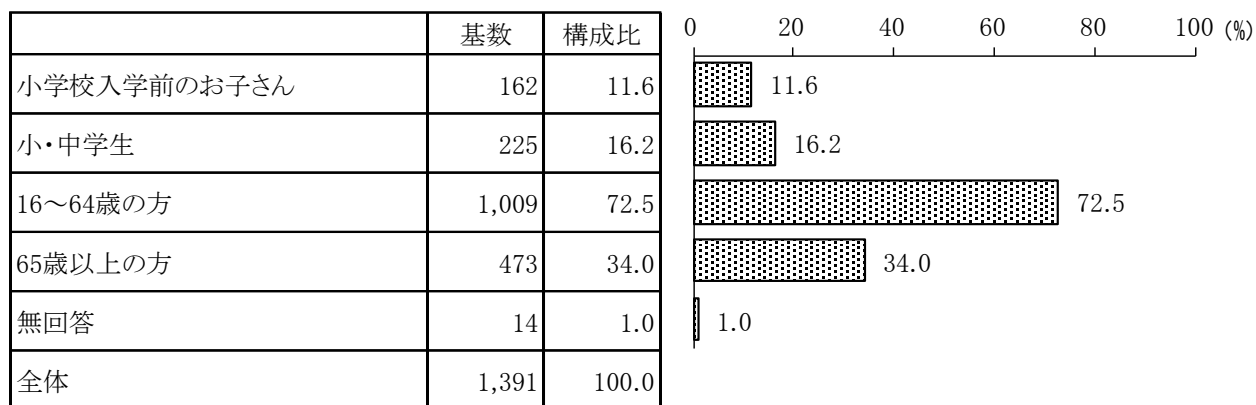


(4) F4 同居家族数

	基数	構成比
1人	318	18.2
2人	526	30.1
3人	419	24.0
4人	320	18.3
5人	83	4.8
6人	29	1.7
7人以上	14	0.8
無回答	37	2.1
全体	1,746	100.0

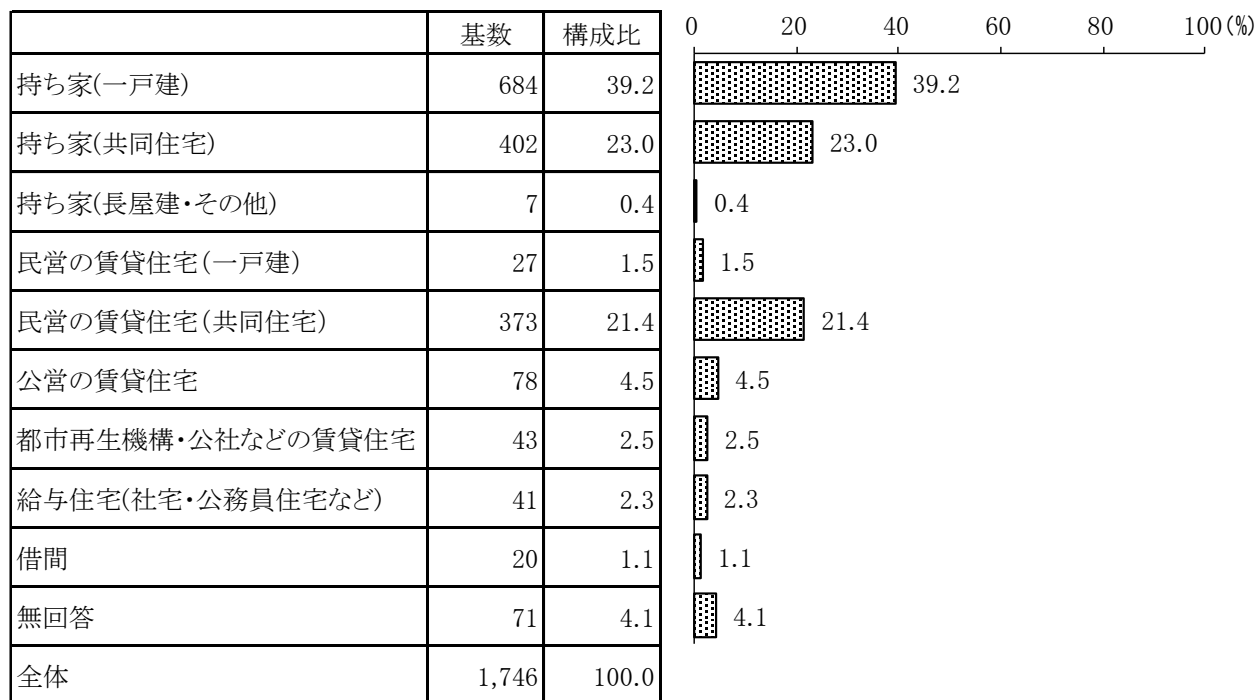


(5) F4-1 同居者

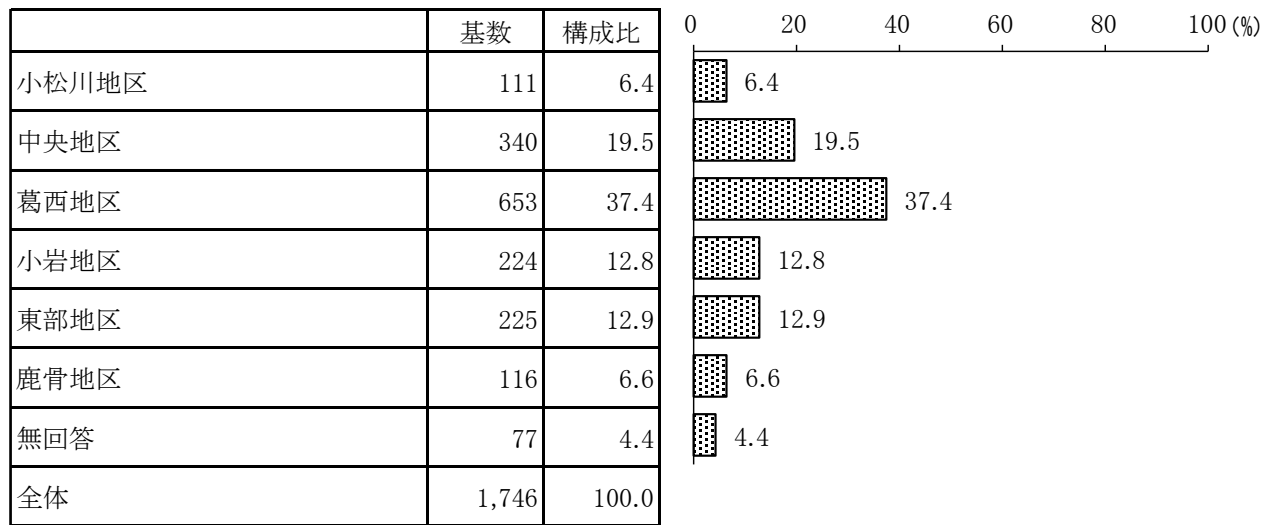


※複数回答の設問であるため、基数・構成比ともに選択項目の合計が全体数を上回る。

(6) F5 住居形態



(7) F6 居住地区



7. 報告書の見方

この報告書における表・グラフの見方

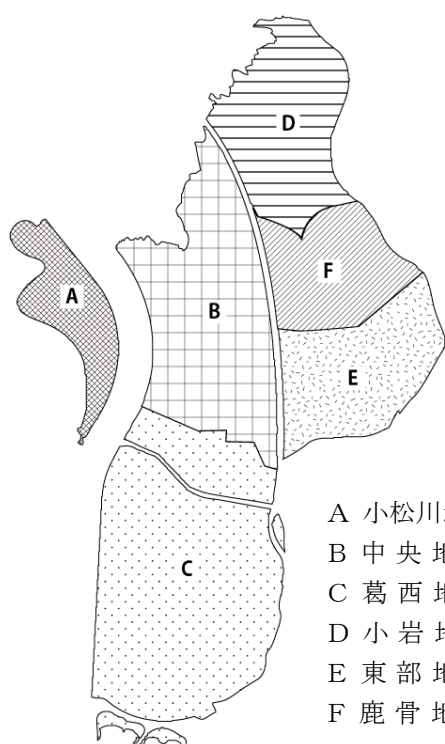
- 図表の中のnとは回答者総数(または該当質問の該当者数)を表している。
- 回答の比率はnを100%とした百分比で算出し、小数点以下第2位を四捨五入した。そのために、百分比の合計が100%に満たない、または上回ることがある。
- 1人の回答者が複数回答を行う設問では、その比率の合計が100%を上回ることがある。
- 分析軸では、その特徴をより明確に出せるように「無回答」は掲載していない。そのため、分析軸のそれぞれの(n)の合計が全体と一致しない場合がある。
- nが小さくなるほどデータの精度が保証しがたくなるので、nが30未満の場合は注意を要する。したがって、nが30を下回る場合、原則的に数値をあげた具体的なコメントは行わない。
- 地区は、管轄ごとに以下のように分類した。

【管轄別区域表】

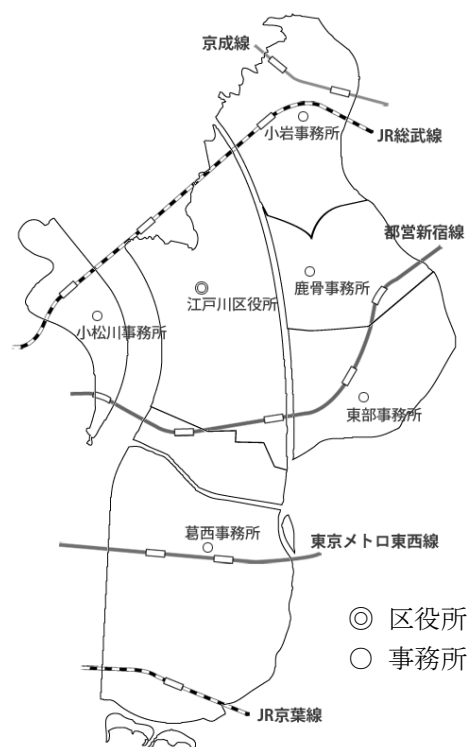
管轄名	管轄内町丁名
小松川事務所 (小松川地区)	小松川1~4丁目、平井1~7丁目
区民課 (中央地区)	中央1~4丁目、松島1~4丁目、松江1~7丁目、東小松川1~4丁目、西小松川町、大杉1~5丁目、西一之江1~4丁目、春江町4丁目、上一色1~3丁目、本一色1~3丁目、一之江1~8丁目、西瑞江4丁目1~2・10~27、江戸川4丁目15~25、松本1・2丁目、興宮町
葛西事務所 (葛西地区)	春江町5丁目、西瑞江5丁目、江戸川5・6丁目、一之江町、二之江町、船堀1~7丁目、宇喜田町、東葛西1~9丁目、西葛西1~8丁目、中葛西1~8丁目、南葛西1~7丁目、北葛西1~5丁目、清新町1・2丁目、臨海町1~6丁目
小岩事務所 (小岩地区)	東小岩1~6丁目、西小岩1~5丁目、南小岩1~8丁目、北小岩1~8丁目
東部事務所 (東部地区)	春江町2・3丁目、東瑞江1~3丁目、西瑞江3丁目・4丁目5~9、江戸川1~3丁目・4丁目1~14、谷河内2丁目、下篠崎町、篠崎町3~6丁目、南篠崎町1~5丁目、東篠崎1・2丁目、瑞江1~4丁目
鹿骨事務所 (鹿骨地区)	新堀1・2丁目、春江町1丁目、谷河内1丁目、鹿骨町、鹿骨1~6丁目、上篠崎1~4丁目、篠崎町1・2・7・8丁目、西篠崎1・2丁目、北篠崎1・2丁目、東松本1・2丁目

※調査票では番地まで聞いていないため、西瑞江4丁目、江戸川4丁目は便宜上中央地区としている。

【地区別区分図】



- A 小松川地区(小松川事務所管内)
 B 中央地区(区民課管内)
 C 葛西地区(葛西事務所管内)
 D 小岩地区(小岩事務所管内)
 E 東部地区(東部事務所管内)
 F 鹿骨地区(鹿骨事務所管内)



○ 標本誤差は次式で得られ、①比率算出の基数(n)、②回答の比率(P)によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = 2\sqrt{P(1-P)/n} \quad P = \text{回答比率(\%)} \\ n = \text{回答者数}$$

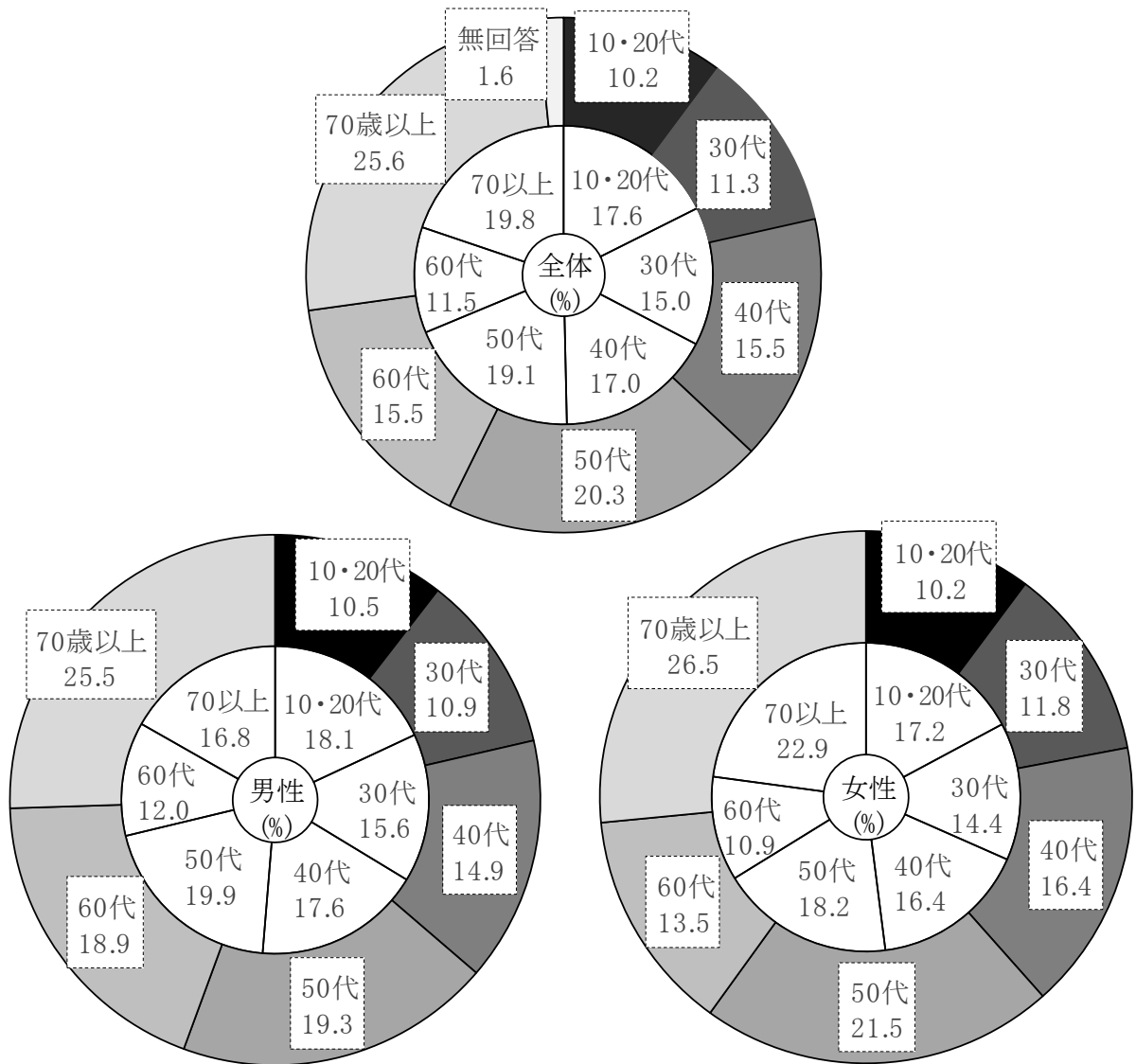
今回の調査結果の標本誤差は下記のようになる。

回答率(p) 回答者数(n)	90% または 10%程度	80% または 20%程度	70% または 30%程度	60% または 40%程度	50%程度
1,746	±1.44	±1.91	±2.19	±2.34	±2.39
1,000	±1.90	±2.53	±2.90	±3.10	±3.16
500	±2.68	±3.58	±4.10	±4.38	±4.47
300	±3.46	±4.62	±5.29	±5.66	±5.77
100	±6.00	±8.00	±9.17	±9.80	±10.00

(注/この表の見方)

標本誤差とは、今回のように全体(母集団)の中から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあるが、その誤差のことをいう。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なるが、その誤差を数学的に計算することが可能である。その計算式を今回の調査に当てはめて算出したのが、上記の表である。見方としては、例えば、「ある設問の回答数が1,746であり、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±2.34%以内(57.66～62.34%)である」とみることができる。

8. 性・年齢別回収結果(母集団との比較)



※内円は母集団 18 歳以上の人口 (N=590,814) の構成比、外円は調査回答者 (n=1,746) の構成比を示している。

※性別が「その他」の回答者については「n」が少ないため掲載をしていない。

9. 過去の世論調査の概要(主要項目)

回数 (時期)	第1回 (S51.1)	第2回 (S52.1)	第3回 (S53.1)	第4回 (S54.1)	第5回 (S55.1)	第6回 (S56.1)	
標本数	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
回収数 (回収率)	1,587 79.4%	1,610 80.5%	1,543 77.2%	1,541 77.1%	1,451 72.6%	1,741 87.1%	
主な調査内容	永住意向	55.2%	—	56.5%	66.3%	71.5%	72.1%
	転出意向	25.2%	—	25.4%	21.9%	15.7%	14.5%
	施設への 要望(※) (上位3つ)	病院	公園・遊び場	下水道	病院・診療所	病院	下水道
		下水道	病院	病院	公園・遊び場	下水道	都市ガス
		公園・遊び場	下水道	公園・遊び場	下水道	鉄道の駅	鉄道の駅
	施策への 要望 (上位3つ)	保健・衛生・ 医療	—	—	—	—	—
		災害対策	—	—	—	—	—
		公害対策	—	—	—	—	—
	区政への 信頼度	76.7%	—	76.2%	76.2%	78.8%	77.9%
	区政への 関心度	77.8%	83.7%	80.8%	76.4%	83.2%	83.1%
その他の 調査項目	区政に対する 満足度	区政に対する 満足度	地域活動への 参加意向	地域活動への 参加意向	地域活動への 参加意向	区独自事業の 周知度	
	住環境意識	地域活動の 実態	住環境意識	近隣関係の 満足度	災害に対する 備え	区民の文化・ スポーツ活動	

回数 (時期)	第7回 (S57.1)	第8回 (S58.1)	第9回 (S59.1)	第10回 (S60.1)	第11回 (S61.1)	第12回 (S62.1)	
標本数	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
回収数 (回収率)	1,677 83.9%	1,717 85.9%	1,763 88.2%	1,738 86.9%	1,754 87.7%	1,748 87.4%	
主な調査内容	永住意向	69.8%	86.4%	86.5%	82.1%	82.8%	78.6%
	転出意向	17.1%	8.2%	8.1%	9.8%	10.5%	13.2%
	施設への 要望(※) (上位3つ)	下水道	下水道	病院	病院	病院	病院
		公園・遊び場	鉄道の駅	下水道	下水道	鉄道の駅	大型店
		鉄道の駅	都市ガス	都市ガス	都市ガス	都市ガス	都市ガス
	施策への 要望 (上位3つ)	—	—	—	保健・衛生・ 医療	—	—
		—	—	—	災害	—	—
		—	—	—	高齢者	—	—
	区政への 信頼度	79.0%	80.0%	78.7%	81.5%	82.5%	79.8%
	区政への 関心度	81.0%	80.6%	81.9%	83.6%	82.6%	79.6%
その他の 調査項目	地域活動への 参加意向	区民の 健康状態	ボランティア活 動の参加意向	文化事業	生活環境への 満足度	区民の 健康状態	
	街の美観 について	区民の悩み事 の実態	区内の バス交通	地域情報の 媒体	広報紙の印象	区の紋章等の 周知度	

(※)第7回～第22回は都市環境施設への要望。第24回以降は自由記述による設問。

I 調査の概要

回数 (時期)	第13回 (S63.2)	第14回 (H元.1)	第15回 (H2.1)	第16回 (H3.1)	第17回 (H4.1)	第18回 (H5.1)	
標本数	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
回収数 (回収率)	1,677 83.9%	1,711 85.6%	1,670 83.5%	1,680 84.0%	1,672 83.6%	1,614 80.7%	
主な調査内容	永住意向	80.2%	80.7%	81.1%	79.1%	77.5%	78.5%
	転出意向	11.9%	12.9%	12.6%	13.6%	14.9%	14.8%
	施設への 要望(※) (上位3つ)	大型店	駐車場	駐車場	駐車場	駐車場	駐車場
		駐車場	病院	病院	大型店	病院	病院
		病院	大型店	大型店	病院	大型店	大型店
	施策への 要望 (上位3つ)	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—
	区政への 信頼度	82.9%	84.0%	87.4%	80.6%	79.3%	80.9%
	区政への 関心度	83.8%	84.3%	87.9%	82.7%	81.5%	82.1%
その他の 調査項目	街の魅力	余暇の考え方	広報紙の印象	区民の 健康状態	区民の いきがい	保健所の 利用状況	
	友好都市との 交流	ボランティア 活動の考え方	国際交流の 参加意向	住みよさの 評価	地元商店街の 印象	広報紙 閲読状況	

回数 (時期)	第19回 (H6.1)	第20回 (H7.1)	第21回 (H8.1)	第22回 (H8.10)	第23回 (H10.10)	第24回 (H12.7)	
標本数	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
回収数 (回収率)	1,643 82.2%	1,642 82.1%	1,684 84.2%	1,658 82.9%	1,672 83.6%	1,574 78.7%	
主な調査内容	永住意向	80.0%	80.1%	80.1%	80.7%	78.0%	82.5%
	転出意向	11.8%	11.2%	11.9%	11.0%	9.9%	6.6%
	施設への 要望(※) (上位3つ)	病院	病院	病院	病院	病院	医療機関
		大型店	大型店	大型店	大型店	駐車場・ 駐輪場	スポーツ
		駐車場	駐車場	駐車場	駐車場	大型店 (スーパー)	高齢者
	施策への 要望 (上位3つ)	—	—	—	—	高齢者	高齢者
		—	—	—	—	環境・公害	子育て
		—	—	—	—	交通網	環境・公害
	区政への 信頼度	77.8%	77.6%	76.7%	74.4%	—	—
	区政への 関心度	79.8%	80.2%	78.7%	77.9%	—	—
その他の 調査項目	区のイメージ	江戸川区の 魅力	災害時への 備え	地域活動への 参加意向	江戸川区の 魅力	江戸川区の 将来像	
	区民まつり 満足度	健康診査の 受診状況	住まいの 満足度	生活環境 満足度	産業振興施策	介護保険に ついて	

(※)第7回～第22回は都市環境施設への要望。第24回以降は自由記述による設問。

回数 (時期)	第25回 (H14.4)	第26回 (H16.6)	第27回 (H18.6)	第28回 (H20.5)	第29回 (H22.5)	第30回 (H24.5)	
標本数	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
回収数 (回収率)	1,524 76.2%	1,490 74.5%	1,356 67.8%	1,408 70.4%	1,405 70.3%	1,314 65.7%	
主な調査内容	永住意向	77.6%	74.7%	74.1%	76.6%	78.8%	76.9%
	転出意向	7.6%	6.9%	8.3%	5.1%	5.8%	5.6%
	施設への 要望 (上位3つ)	スポーツ	スポーツ	児童・保育	スポーツ	児童・保育	児童・保育
		高齢者	教育・文化	教育・文化	児童・保育	スポーツ	スポーツ
		教育・文化	公園・広場	スポーツ	医療機関	教育・文化	教育・文化
	施策への 要望(※) (上位3つ)	高齢者	防犯	防犯	防犯	防犯	震災
		保健・健康	高齢者	高齢者	災害	高齢者	防犯
		景気・物価	学校教育	災害	高齢者	子育て	高齢者
	区政への 信頼度	—	—	—	—	—	—
	区政への 関心度	—	—	—	—	64.5%	63.4%
その他の 調査項目	区のイメージ	まちづくりの 状況	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	
	区民のかかり つけ医の状況	資源とごみの 分別状況	省エネを 意識した行動	区の景観	運動・ 健(検)診	喫煙について	

(※)第29回以降は、「災害対策」を「震災対策」と「水害対策」に分割。

回数 (時期)	第31回 (H26.5)	第32回 (H29.5)	第33回 (R2.11)	第34回 (R3.11)	第35回 (R4.10)	第36回 (R5.10)	
標本数	2,000	2,000	4,000	4,000	4,000	4,000	
回収数 (回収率)	1,512 75.6%	1,486 74.3%	1,548 38.7%	1,836 45.9%	1,767 44.2%	1,746 43.7%	
主な調査内容	永住意向	74.4%	73.3%	74.5%	76.3%	86.9%	85.2%
	転出意向	4.6%	6.2%	8.5%	7.7%	3.2%	3.4%
	施設への 要望 (上位3つ)	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—
	施策への 要望(※) (上位3つ)	震災	震災	水害	水害	水害	水害
		防犯	防犯	震災	震災	震災	震災
		水害	水害	防犯対策	防犯対策	防犯対策	防犯対策
	区政への 信頼度	—	—	—	—	—	—
	区政への 関心度	—	—	—	—	—	—
その他の 調査項目	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	
	駐輪場・レンタ サイクルにつ いて	スポーツの 実践について	災害対策に ついて	SDGs について	災害に強い 安全安心な まちづくり	ひきこもり支援 について	

Ⅱ 結果のあらし

II 結果のあらまし

1. 居住年数・永住意向について (25~32 ページ)

【問1(25 ページ)】

江戸川区の居住者は、『長期の居住者』(「21 年以上 31 年未満」+「31 年以上」)(62.6%)、『中期の居住者』(「6年以上 11 年未満」+「11 年以上 21 年未満」)(22.6%)、『短期の居住者』(「1年未満」+「1年以上6 年未満」)(14.0%)の順に高くなっている。選択肢の中では「31 年以上」が 45.7%と特に高くなっている。

【問2(28 ページ)】

今後も江戸川区に住み続けたいか尋ねたところ、「ずっと住み続けたい」が 45.5%、「当分の間は住み続けたい」が 39.7%で、『永住意向』(「ずっと住み続けたい」+「当分の間は住み続けたい」)は 85.2%となっている。一方で、『転出意向』(「区外に転出したい」)は 3.4%とわずかしかなかった。

2. 江戸川区の現況について (33~91 ページ)

【問3(33 ページ)】

江戸川区の 19 項目の満足度について尋ねたところ、「満足」は【① 買い物の便】(37.5%)、【② 交通の便】(31.1%)、【④ 公園・水辺の整備】(33.4%)、【⑧ ごみの収集】(31.4%)が3割を超えて高くなっている。「不満」は【⑩ 災害への備え】(7.0%)が最も高くなっているが、いずれも1割に満たない。

3. 区の推奨度について (92~93 ページ)

【問4(92 ページ)】

区外の方に江戸川区に住むことや来ていただくことを勧めたいか尋ねたところ、「わからない」(33.9%)が最も高く、次いで「どちらも勧めたい」(21.4%)、「来訪を勧めたい」(18.7%)、「定住を勧めたい」(16.0%)、「どちらも勧めたくない」(8.6%)の順になっている。

4. 広報と情報化について (94~97 ページ)

【問5(94 ページ)】

江戸川区からの情報全般をどのような手段(媒体)で入手しているか尋ねたところ、「広報誌(広報えどがわ)」(53.8%)が最も高く、次いで「区公式ホームページ」(31.6%)、「くらしの便利帳」(27.7%)、「町内・自治会回覧などの資料」(23.8%)、「友人、知人に聞く」(20.3%)の順となっている。

【問6(96 ページ)】

インターネットの利用媒体について尋ねたところ、「スマートフォン・タブレット」(81.4%)が特に高く、「パソコン」(37.5%)が4割近くとなっている。

「インターネットを利用していない」(9.9%)は全体の1割弱を占めている。

5. デジタル化について (98～99 ページ)

【問7(98 ページ)】

江戸川区にデジタル化に向けて取り組んでほしいことについて尋ねたところ、「ワンストップサービス」(53.2%)、「行政手続のオンライン化」(48.4%)が5割前後で特に高い。次いで「税金や手数料などの支払いのキャッシュレス化」(24.5%)、「災害対策・防犯対策のデジタル活用による効率化・高度化」(19.0%)、「各種相談のオンライン化」(13.6%)と続いている。

6. SDGsについて (100～101 ページ)

【問8(100 ページ)】

日ごろから取り組んでいるSDGsの行動について尋ねたところ、「食品ロスを防ぐ」(65.9%)、「電気も水も大切に使う」(61.5%)、「健康的な生活を送る」(56.8%)、「リサイクルをする」(51.3%)までが5割を超えて特に高くなっている。次いで「最新の科学や技術を活用する」(29.0%)、「みどりを大切にす、プラごみを減らす」(28.2%)が3割近くで続いている。

7. 共生社会について (102～103 ページ)

【問9(102 ページ)】

江戸川区が、令和3年7月1日に制定した「ともに生きるまちを目指す条例」をもとに人の多様性を認め合い、支え合う、共生社会を目指していることの認知度をはかったところ、「知らない」(82.4%)が8割強で高く、「知っている」(16.5%)は1割台半ばと低い。

8. 人権について (104～105 ページ)

【問10(104 ページ)】

日本における人権課題について関心があるものを尋ねたところ、「高齢者」(47.4%)が特に高く、次いで「子ども」(42.7%)、「障害者」(40.0%)、「女性」(36.7%)、「インターネット上の誹謗中傷などによる人権侵害」(35.3%)が4割前後で高くなっている。一方、「刑を終えて出所した人やその家族」(8.8%)、「部落差別」(8.0%)、「アイヌの人々」(6.5%)、「ハンセン病患者・元患者やその家族」(4.4%)は1割に満たず低い。

9. ひきこもり支援について (106～107 ページ)

【問11(106 ページ)】

ひきこもりの状態や区の支援の認知度について尋ねたところ、「ひきこもりの状態は知っているが、区が支援していることは知らない」(48.4%)が5割弱で最も高い。次いで「まったく知らない」(22.7%)、「ひきこもりの状態を知っていて、区が支援していることも知っている」(18.3%)、「ひきこもりの状態は知らないが、区が支援していることは知っている」(9.6%)の順になっている。『ひきこもりの状態を知っている』の合計は7割近くと高く、『区が支援していることを知っている』の合計は3割近くにとどまる。

10. 街路樹について（108～109 ページ）

【問 12(108 ページ)】

街路樹への要望について尋ねたところ、「桜など季節の花が咲く街路樹」(62.7%)、「夏に涼しい緑陰提供ができる街路樹」(61.3%)が6割を超えて特に高くなっている。次いで「緑豊かな常緑樹の街路樹」(39.9%)が4割弱、「イチョウなどの紅葉する街路樹」(33.1%)、「剪定するなど管理された街路樹」(32.2%)が3割強で続く。

11. 公園について（110～111 ページ）

【問 13(110 ページ)】

公園への要望について尋ねたところ、「散歩、休養ができる公園」(68.1%)、「四季の草花など、植物を楽しめる公園」(67.2%)が7割近くで特に高くなっている。次いで、「芝生広場などスペースが自由に使える公園」(38.9%)が4割近くで高い。「シンボルとなる大きな公園」(10.5%)は約1割と他に比べて要望度が低い。

12. 葛西海浜公園について（112～113 ページ）

【問 14(112 ページ)】

葛西海浜公園がラムサール条約湿地に登録されていることの認知度をはかったところ、「知らない」(60.8%)が6割を超えて高く、「知っている」(38.3%)は4割近くにとどまる。

13. 文化芸術活動について（114～117 ページ）

【問 15(114 ページ)】

1 年間に文化芸術活動や鑑賞(テレビ・インターネット・DVD などによる鑑賞を除く)した内容について尋ねたところ、「音楽の活動または鑑賞」(34.5%)、「メディア芸術の製作または鑑賞」(32.5%)、「美術の製作または鑑賞」(29.3%)が3割前後で特に高くなっている。次いで「ミュージカル・演劇などの活動または鑑賞」(13.9%)、「文芸の製作または鑑賞」(12.4%)が1割強で続いている。

【問 15-1(116 ページ)】

問 15 で「特にない」と答えた方に文化芸術活動や鑑賞をしなかった理由について尋ねたところ、「時間に余裕がない」(49.9%)が5割弱で特に高くなっている。次いで、「魅力的な活動、イベントが少ない」(20.7%)、「活動に関する情報が少ない」(20.6%)が約2割で続いている。

14. 図書館について（118～121 ページ）

【問 16(118 ページ)】

図書館や図書館サテライトの利用頻度について尋ねたところ、「利用したことがない」(53.4%)が5割強で特に高くなっている。次いで、「過去に利用したが、現在は利用していない」(20.9%)、「年に数回程度」(11.1%)、「1か月に数回程度」(9.6%)、「年に1回程度」(3.0%)、「1週間に数回程度」(1.6%)の順になっている。「利用したことがない」、「過去に利用したが、現在は利用していない」の合計は7割台半ばを占める。

【問 16-1 (120 ページ)】

問 16 で「過去に利用したが、現在は利用していない」または「利用したことがない」と答えた方に図書館や図書館サテライトを利用しなかった理由について尋ねたところ、「どこにあるかわからない」(29.7%)、「本や雑誌は買って読んでいる」(28.0%)、「図書館へ行って、本や雑誌を借りたり、返すことが大変」(26.0%)が3割近くで特に高い。次いで「近くにない」(16.3%)、「利用の仕方がわからない、規則が難しそう」(14.9%)、「利用したい本や雑誌があるかわからない」(11.2%)と続いている。

15. 災害対策について (122～143 ページ)

【問 17 (122 ページ)】

大規模水害時の避難するタイミングについて尋ねたところ、「区外の浸水しない地域に避難したいが、直前まで判断できないと思う」(38.9%)が4割弱で特に高く、「大規模水害が発生する前に避難はできないと思う」(14.1%)、「区外への避難はしない」(15.1%)との合計は7割弱になる。

【問 17-1 (125 ページ)】

問 17 で「大規模水害が発生する前に避難はできないと思う」または「区外への避難はしない」と答えた方に大規模水害時に広域避難しない(できない)理由について「そう思う」は【③ 広域避難する先の当てがない】(69.2%)が7割弱と特に高くなっている。次いで、【⑥ 自宅が一番安全だと思う】(37.1%)、【② 家や家財から長く離れることが心配】(36.7%)が4割近くで続く。「そう思わない」は【⑤ ペットなどを飼っている】(53.2%)が5割強で特に高くなっている。次いで、【④ 遠くまでの避難が困難な家族がいる】(37.9%)、【① 仕事や学校がある】(32.2%)が3割を超えて高い。

【問 18 (140 ページ)】

「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度について尋ねたところ、「知らなかったが、利用したい」(75.0)が7割台半ばと特に高くなっている。次いで「知らなかったし、利用しない」(15.4%)、「知っており、利用したい」(5.0%)、「知っていたが、利用しない」(3.3%)と続くが、それぞれ割合としては低い。『利用したい』合計は8割と大半を占めるが、『知らなかった』合計は約9割と認知度はまだ低いことが読み取れる。

【問 18-1 (142 ページ)】

問 18 で「知っていたが利用しない」または「知らなかったし、利用しない」と答えた方に「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度を利用しない理由について尋ねたところ、「自宅を離れたくない」(31.9%)が3割強と高くなっている。次いで、「広域避難を検討していない」(19.0%)、「広域避難をどこにするかまだ決めていない」(17.5%)、「広域避難先を宿泊施設以外(親戚・友人宅など)で考えている」(17.2%)、「行政が確保する広域避難先に避難したい」(12.9%)の順になっている。『広域避難をしない』意向の合計は過半数に達している。

16. 治安について（144～148 ページ）**【問 19(144 ページ)】**

住む地域の治安について尋ねたところ、「どちらかといえば良い」(52.4%)が5割強と特に高い。次いで、「どちらかといえば悪い」(18.7%)、「良い」(12.8%)、「わからない」(10.7%)、「悪い」(4.6%)の順になっている。

【問 19-1(147 ページ)】

問 19 で「どちらかといえば悪い」または「悪い」と答えた方に治安が悪いと感じる理由について尋ねたところ、「タバコのポイ捨てやゴミの不法投棄」(54.8%)、「公共の場所での迷惑行為」(50.9%)が5割を超えて特に高く、次いで「身近な犯罪」(37.8%)、「不審者」(33.7%)が3割を超えて高くなっている。

17. 地域活動の参加状況について（149～152 ページ）**【問 20-①(149 ページ)】**

現在参加している活動・団体について尋ねたところ、「特になし」(58.0%)が6割弱で最も高く、次いで「町会・自治会」(30.2%)が約3割で高い。次いで、「PTA」(5.2%)、「スポーツ団体」(4.5%)、「熟年者団体」(4.0%)の順に続く。

【問 20-②(151 ページ)】

今後参加したい活動・団体について尋ねたところ、現在、地域で参加している活動・団体同様に「特になし」(63.6%)が6割強で特に高くなっている。次いで、「町会・自治会」(10.7%)が約1割で高い。「スポーツ団体」(7.2%)、「文化・芸能団体」(6.3%)、「熟年者団体」(6.1%)の順に続く。

18. 地域力の醸成について（153～154 ページ）**【問 21(153 ページ)】**

区、町会・自治会、NPO などの団体が連携して取り組んでほしいことについて尋ねたところ、「防犯に関する活動」(48.7%)が5割弱で、「防災に関する活動」(44.7%)が4割台半ばで特に高くなっている。次いで「美化活動」(31.2%)、「子どもに関する活動」(30.5%)、「まつり(祭事含む)や盆踊りなどの地域の賑わいづくり」(28.5%)、「高齢者の見守り活動」(28.2%)までが3割前後で高い。

19. 健康状態について（155～156 ページ）**【問 22(155 ページ)】**

ご自身の健康状態について尋ねたところ、「まあ良い」(44.6%)が4割台半ばで最も高い。次いで「良い」(20.4%)、「どちらともいえない」(17.4%)、「あまり良くない」(13.6%)の順になっている。

20. 歯科健診について（157～160 ページ）**【問 23(157 ページ)】**

歯科健診の受診状況について尋ねたところ、「受けた」(58.1%)が6割弱で、「受けていない」(41.5%)より16.6ポイント高くなっている。

【問 23-1 (159 ページ)】

問 23 で「受けていない」と答えた方に歯科健診を受けていない理由について尋ねたところ、「痛みなど特に気になる症状がない」(51.9%)が5割強で特に高く、次いで「忙しくて受診する時間がない」(29.4%)、「特に必要性を感じないため」(20.3%)、「健診後に治療が必要になるとお金がかかるため」(14.8%)、「歯科に対して痛いなどのイメージがある」(11.3%)の順に高い。

21. 自殺対策について (161～164 ページ)

【問 24 (161 ページ)】

「江戸川区いのち支える自殺対策計画」の認知度をはかったところ、「まったく知らない」(82.4%)が8割強で特に高く、次いで「名前は知っているが、内容は知らない」(14.3%)が1割台半ばで高くなっている。

【問 25 (163 ページ)】

江戸川区の自殺対策への取り組みについての認知度をはかったところ、「見聞きしたことはない」(71.5%)が7割強で特に高くなっている。次いで1割に満たないが「自殺防止えどがわキャンペーン」(8.1%)、「さまざまな相談先が載っている配布物」(6.6%)、「インターネットを活用した相談事業」(5.2%)、「図書館でのパネルやリーフレット・関連図書の展示」、「随時相談」(ともに4.6%)と続いている。

22. 区政への要望について (165～167 ページ)

【問 26 (165 ページ)】

江戸川区政への要望について尋ねたところ、「水害対策」(49.2%)が5割弱で最も高くなっている。次いで、「震災対策」(33.3%)、「防犯対策(安全・安心まちづくり)」(28.5%)が3割前後で高く、「子育て支援」(18.3%)、「都市基盤整備(道路など)」(18.0%)、「交通網整備」(16.8%)、「熟年者施策」(15.6%)が続く。

23. 自由記述 (168～187 ページ)

【問 27 良さ(168 ページ)】

江戸川区の良さについて、自由回答形式で求め、915 人から回答を得た。

江戸川区の良さでは「環境保全・リサイクル」(43.0%)が4割強で特に高かった。次いで、「子育て支援」(26.6%)が3割近くで高く、「交通網整備」(12.0%)、「住宅対策」(10.9%)、「中小企業振興」(9.5%)、「都市基盤整備」(8.5%)、「熟年者施策」(8.4%)までが1割前後で続いている。

【問 27 改善してほしいこと(172 ページ)】

江戸川区の改善してほしいことについて、自由回答形式で求め、948 人から回答を得た。

江戸川区の改善してほしいことでは、「環境保全・リサイクル」(21.2%)が2割強で特に高かった。次いで「都市基盤整備」(16.4%)、「交通網整備」(16.1%)が2割近くで高く、「水害対策」(11.2%)、「防犯対策」(9.4%)までが1割前後で続いている。

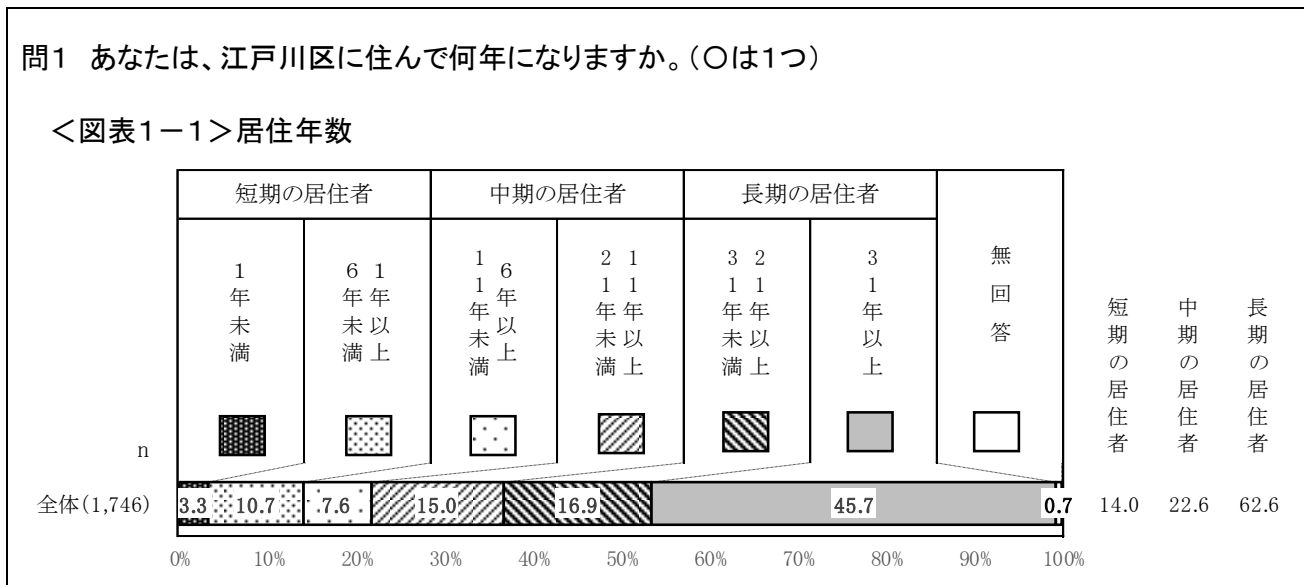
Ⅲ 結果と分析

Ⅲ 結果と分析

1. 居住年数・永住意向について

(1) 居住年数

◇『長期の居住者』が62.6%を占める。



江戸川区の居住者は、『長期の居住者』(「21年以上 31年未満」+「31年以上」)(62.6%)、『中期の居住者』(「6年以上 11年未満」+「11年以上 21年未満」)(22.6%)、『短期の居住者』(「1年未満」+「1年以上6年未満」)(14.0%)の順に高くなっている。選択肢の中では「31年以上」が45.7%と特に高くなっている。

(図表1-1)

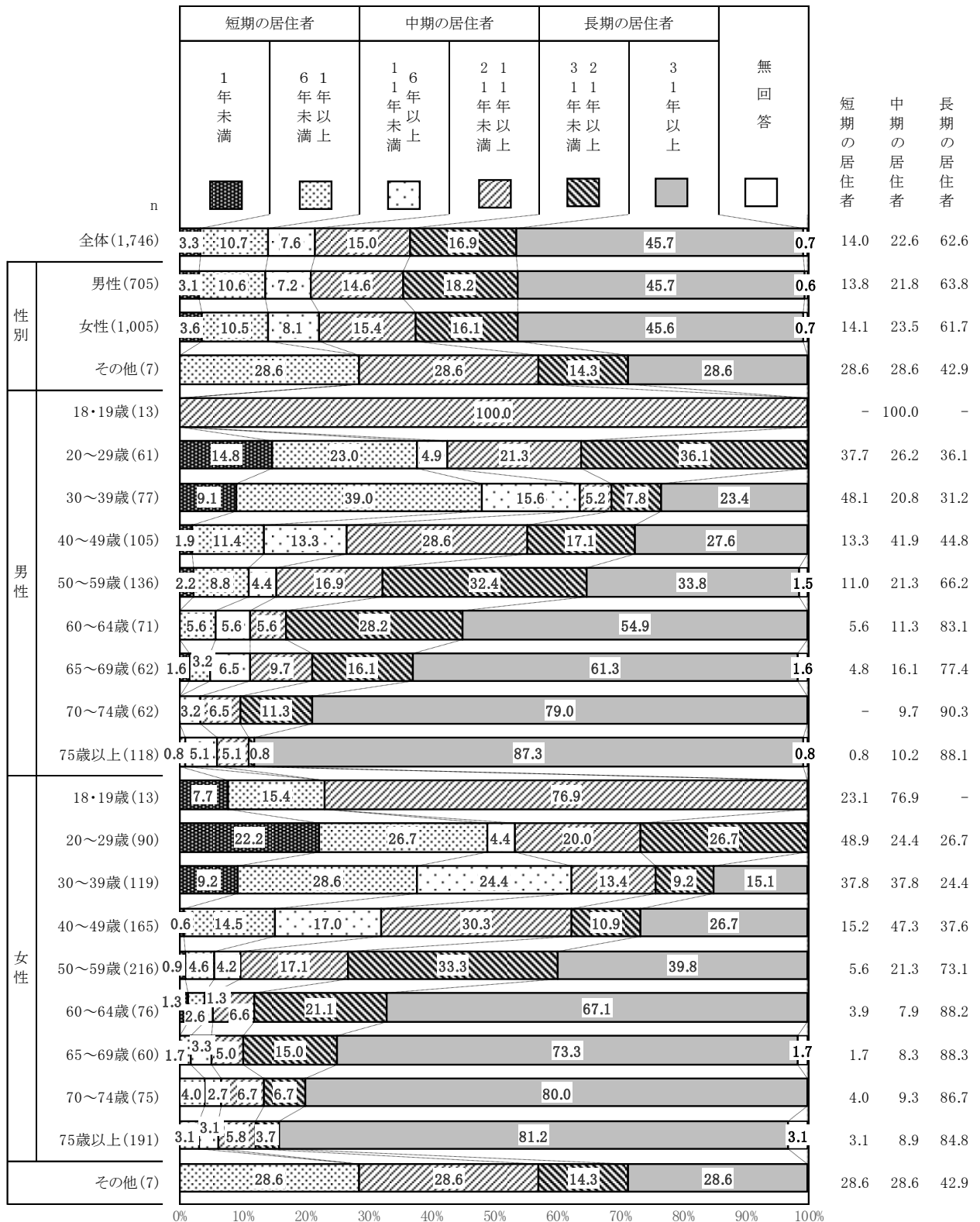
【性・年齢別】

『短期の居住者』は女性(14.1%)が男性(13.8%)より0.3ポイント高く、『中期の居住者』も女性(23.5%)が男性(21.8%)より1.7ポイント高くなっている。『長期の居住者』は男性(63.8%)が女性(61.7%)より2.1ポイント高い。

男性において、『短期の居住者』は30～39歳(48.1%)で5割近くと最も高くなっている。『中期の居住者』は40～49歳(41.9%)で4割強と他の年代に比べて高い。『長期の居住者』は70歳代以降で9割前後と特に高くなっている。

女性において、『短期の居住者』は20～29歳(48.9%)で5割近くと最も高くなっている。『中期の居住者』は男性同様に40～49歳(47.3%)で5割近くと他の年代に比べて高い。『長期の居住者』は60歳代で9割近くと特に高くなっている。(図表1-2)

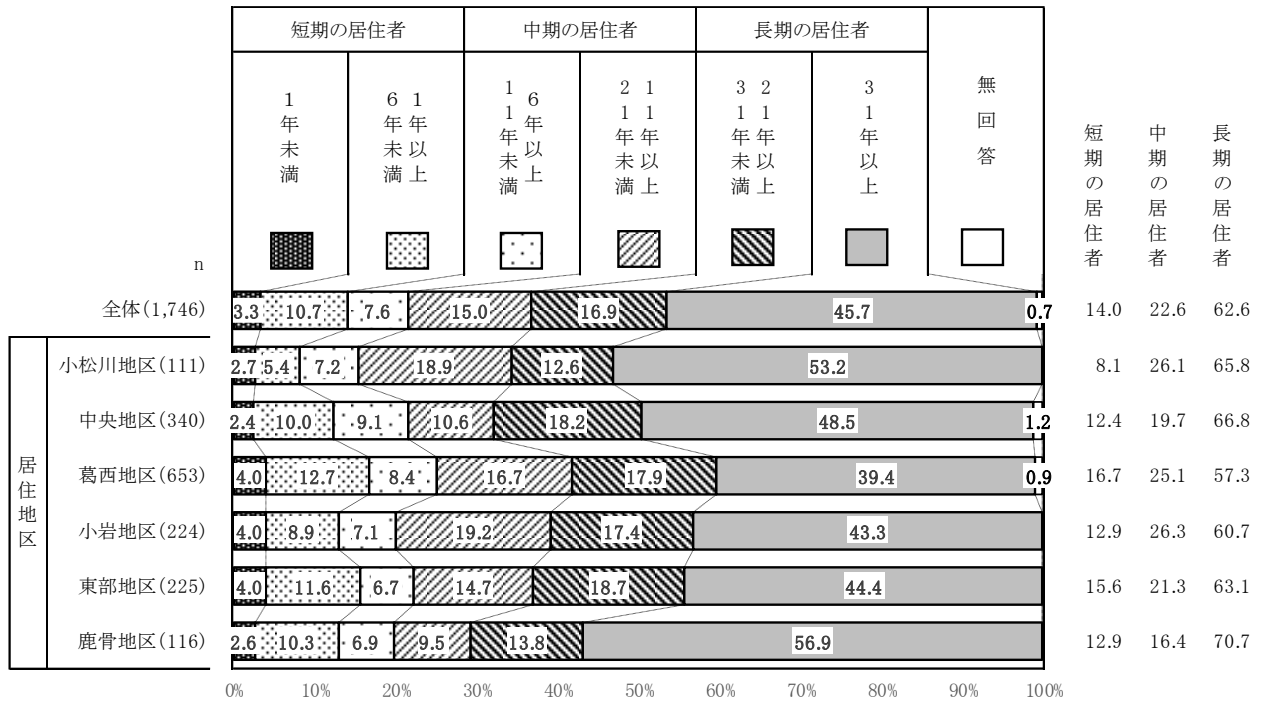
<図表 1-2> 居住年数/性・年齢別



【居住地区別】

全ての居住地区で『長期の居住者』は過半数に達して高く、特に鹿骨地区(70.7%)が7割を超えて高くなっている。一方で、『短期の居住者』は葛西地区(16.7%)、東部地区(15.6%)が他の地区に比べて高く、『中期の居住者』は小松川地区(26.1%)、葛西地区(25.1%)、小岩地区(26.3%)が2割台半ばで高くなっている。(図表1-3)

＜図表1-3＞居住年数／居住地区別

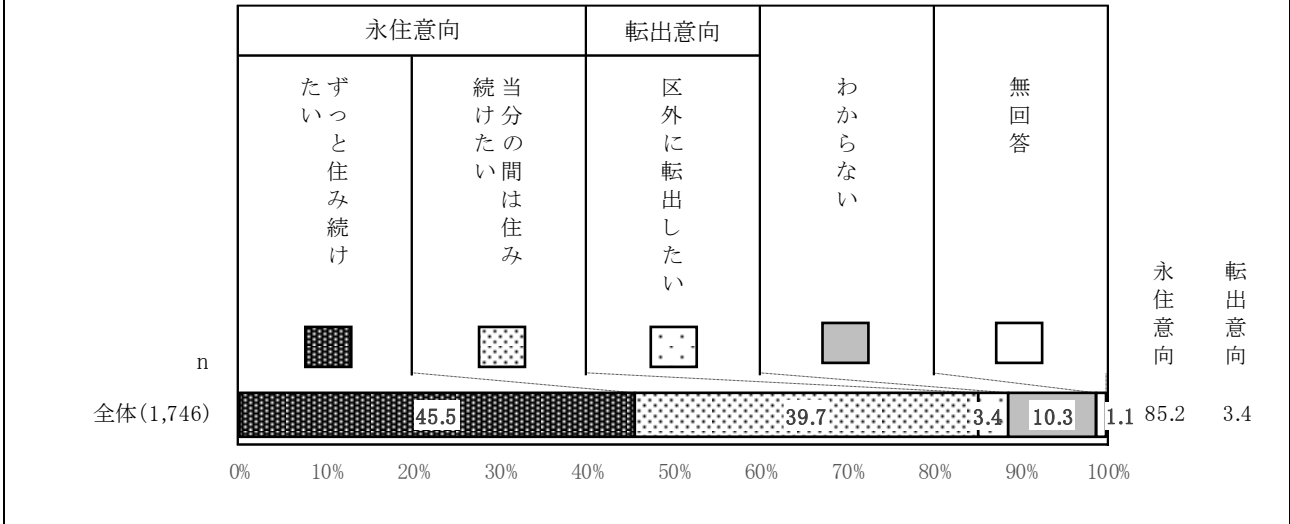


(2) 永住意向

◇『永住意向』は85.2%を占める。

問2 あなたは、今後も江戸川区に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

<図表1-4>永住意向

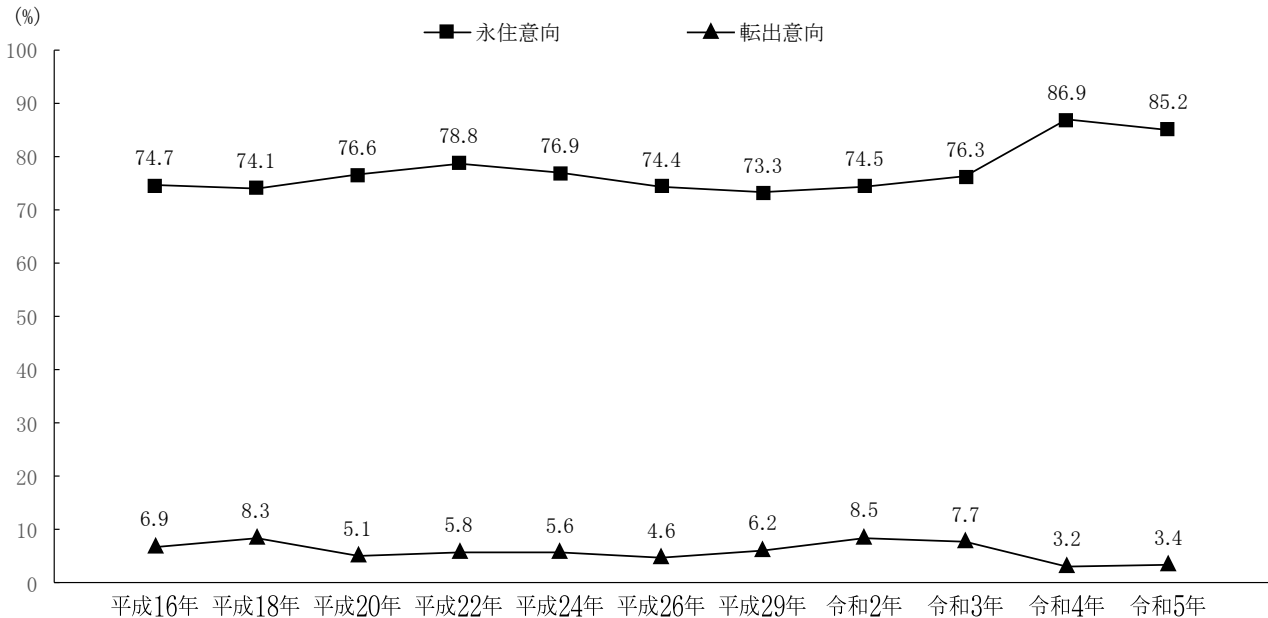


「ずっと住み続けたい」が45.5%、「当分の間は住み続けたい」が39.7%で、『永住意向』(「ずっと住み続けたい」+「当分の間は住み続けたい」)は85.2%となっている。一方で、『転出意向』(「区外に転出したい」)は3.4%とわずかしき見られない。(図表1-4)

【時系列比較】

『永住意向』は前回の令和4年より 1.7 ポイント減少しているが、8割台半ばと高い。一方、『転出意向』は前回の令和4年とほぼ変わらず 3.4%となっている。(図表1-5)

＜図表1-5＞永住意向／時系列比較



※令和3年までは『永住意向』(「住み続けたい」+「できれば住み続けたい」)、『転出意向』(「できれば区外へ移りたい」+「区外へ移るつもり」としていたため、令和4年以降とは選択肢が異なっている。

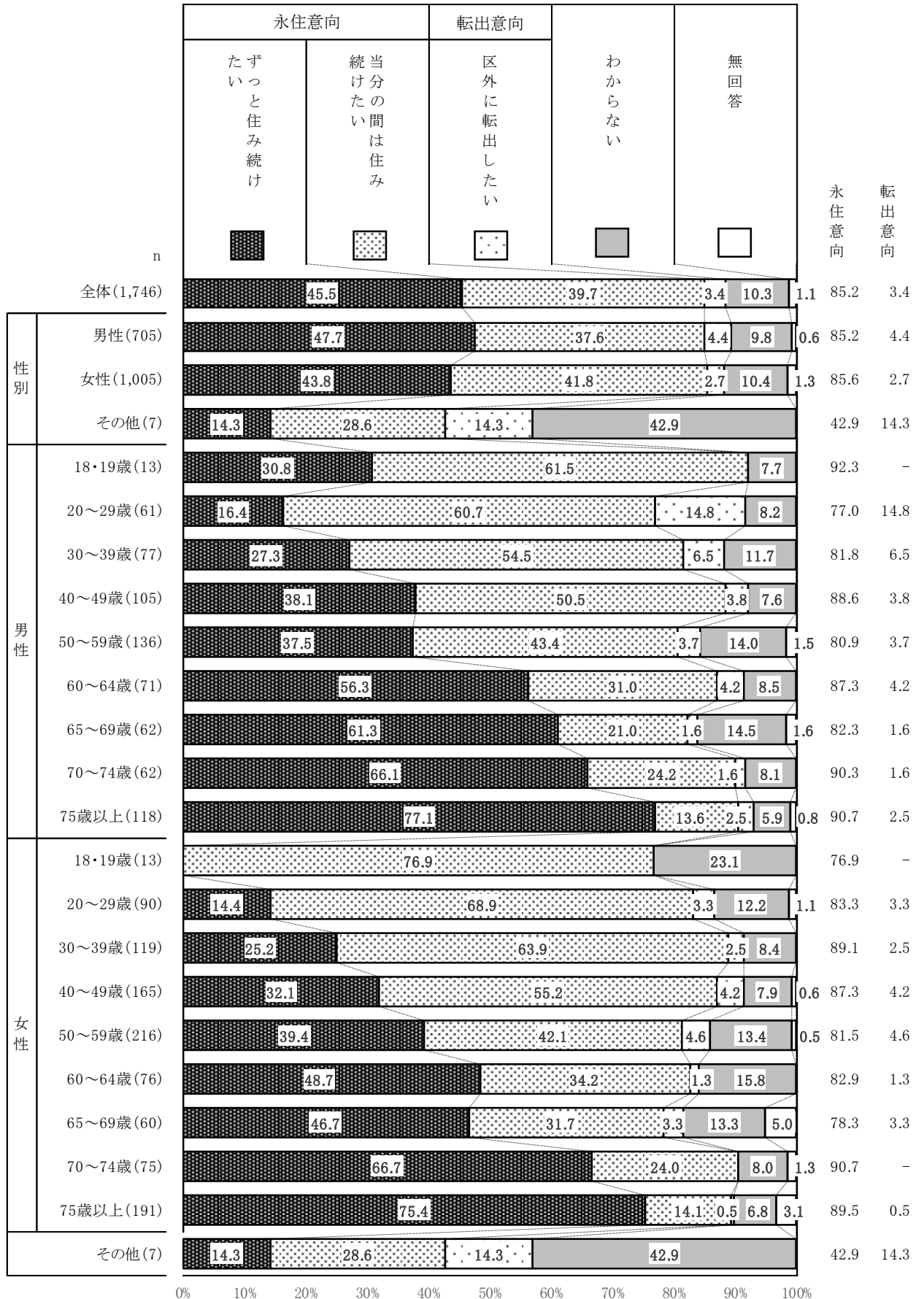
【性・年齢別】

『永住意向』は男性、女性ともに8割台半ばで高い。

男性において、『永住意向』は 40 歳代、60 歳代前半、70 歳代以降が9割前後で高くなっている。『永住意向』の中の「ずっと住み続けたい」については年代が上がるごとに高くなる傾向にある。

女性において、『永住意向』は 30 歳代、40 歳代、70 歳代以降が9割前後で高く、『永住意向』の中の「ずっと住み続けたい」については男性同様に年代が上がるごとに高くなる傾向にある。(図表1-6)

<図表 1-6> 永住意向／性・年齢別

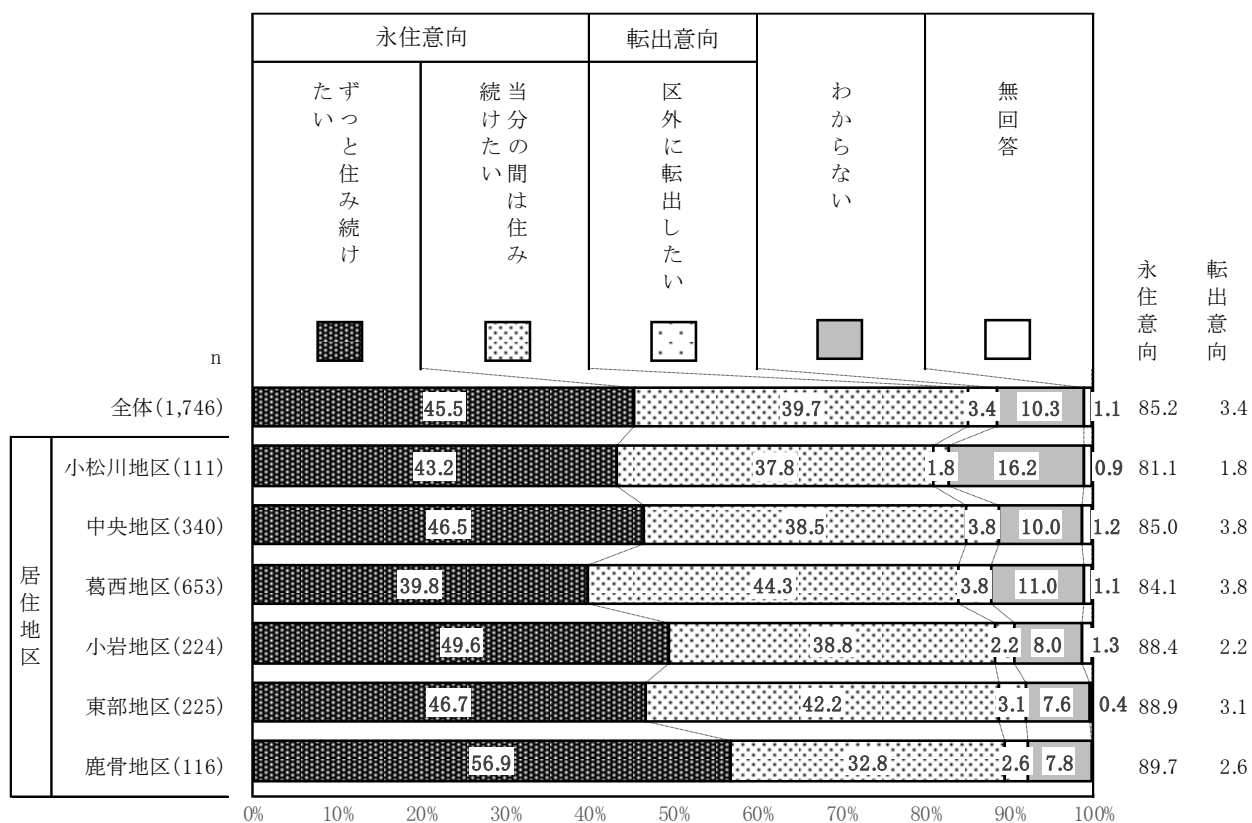


【居住地区別】

『永住意向』は全ての地区で8割を超えている。特に小岩地区(88.4%)、東部地区(88.9%)、鹿骨地区(89.7%)は9割近くで高くなっている。

『転出意向』は中央地区、葛西地区(ともに 3.8%)が他の地区に比べてやや高く、小松川地区(1.8%)、小岩地区(2.2%)で低い。(図表1-7)

<図表 1-7> 永住意向／居住地区別

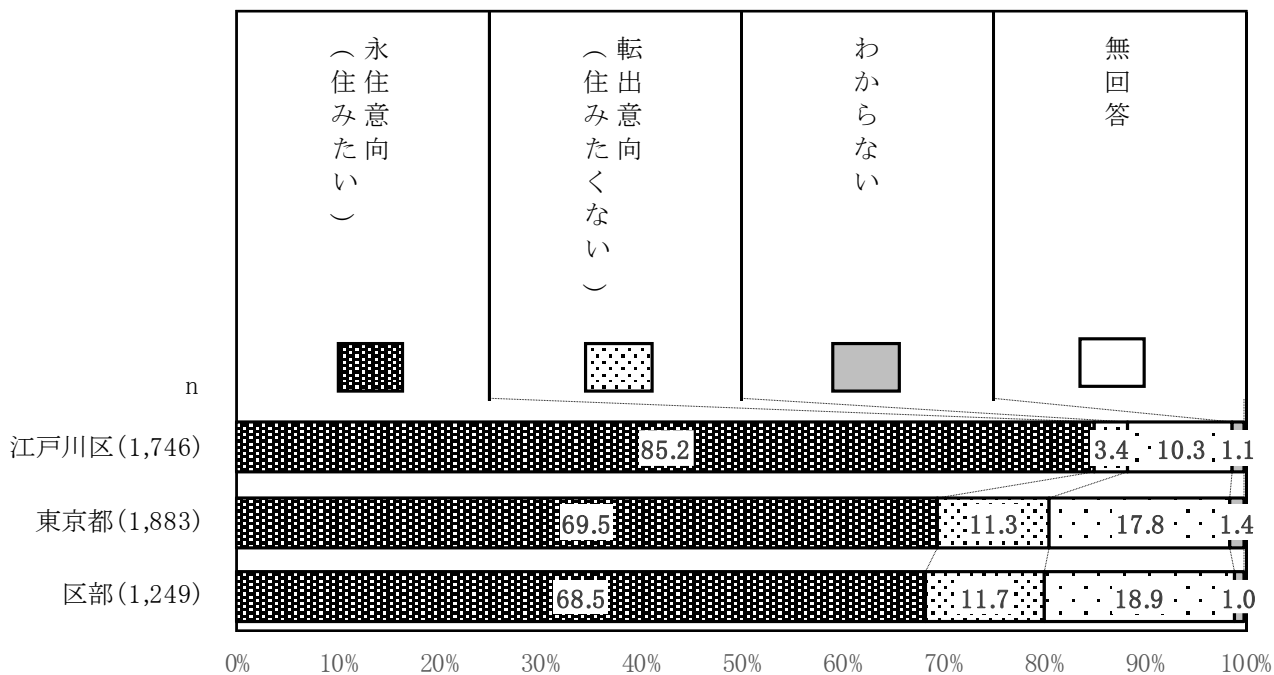


【東京都・区部との比較】

江戸川区の『住みたい』（「ずっと住みたい」＋「当分の間は住みたい」）が 85.2%に対して、東京都が 69.5%、区部が 68.5%と江戸川区が高くなっている。

一方、江戸川区の『住みたくない』（「区外に転出したい」）は 3.4%に対して、東京都と区部はそれぞれ1割を超えて高くなっている。（図表1－8）

＜図表 1－8＞永住意向／東京都・区部との比較



(注1) 東京都と区部は東京定住意向の調査結果

(注2) 表頭の()内は「都民生活に関する世論調査」の選択肢項目

資料出所: 東京都政策企画局「都民生活に関する世論調査」(令和4年6月調査)

(注3) 江戸川区調査と東京都調査で選択肢に違いがあるため、江戸川区の「ずっと住みたい」＋「当分の間は住みたい」を合計した数値と、東京都の「住みたい」の数値を比較している。同様に、江戸川区の「区外に転出したい」の数値と、東京都の「住みたくない」の数値を比較している。

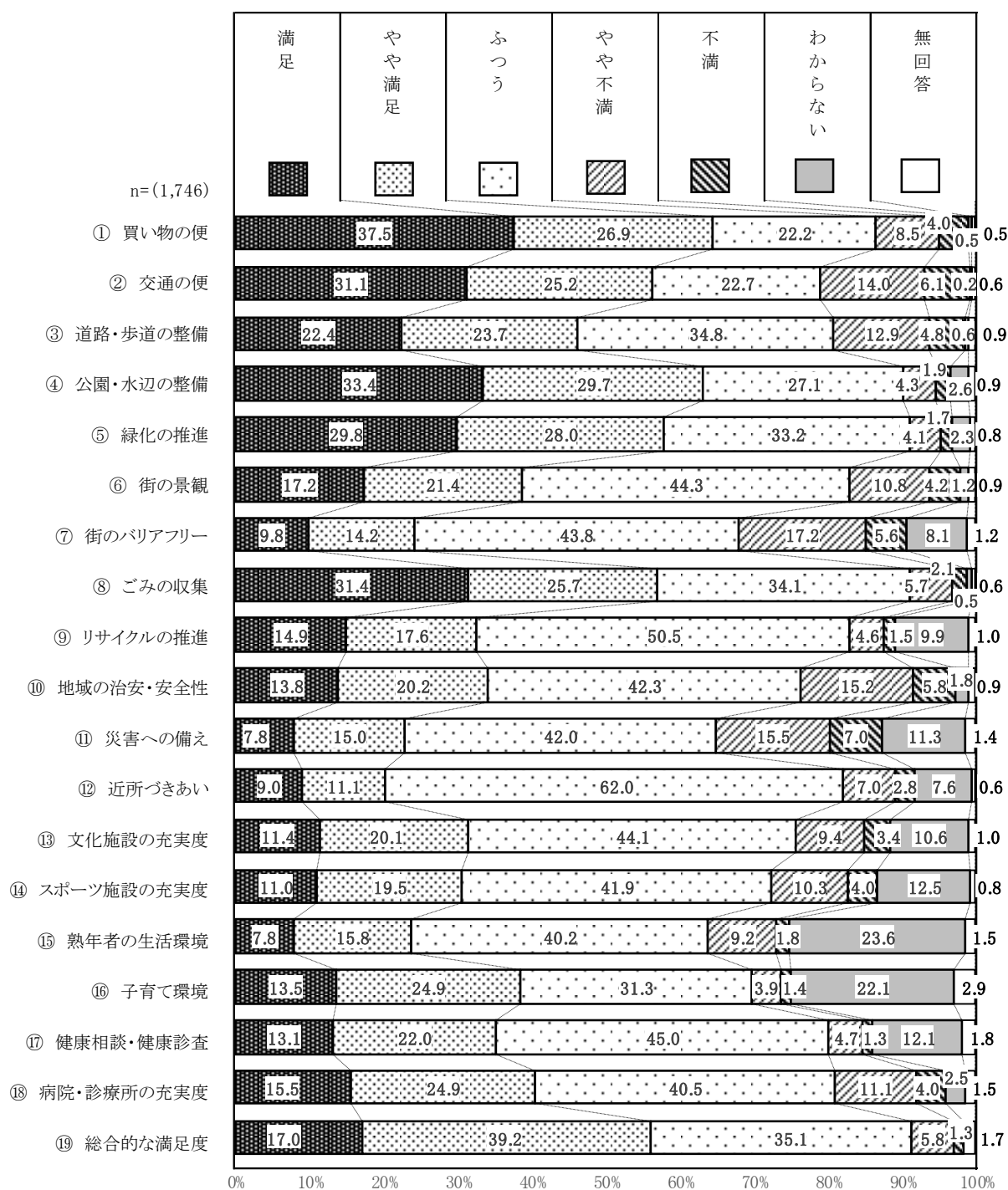
2. 江戸川区の現況について

(1) 各項目の満足度

◇【① 買い物の便】、【② 交通の便】、【④ 公園・水辺の整備】、【⑧ ごみの収集】の「満足」が3割を超えている。

問3 ①～⑲の各項目の現況について、どの程度満足していますか。項目ごとにお答えください。(それぞれ〇は1つずつ)

<図表2-1>各項目の満足度



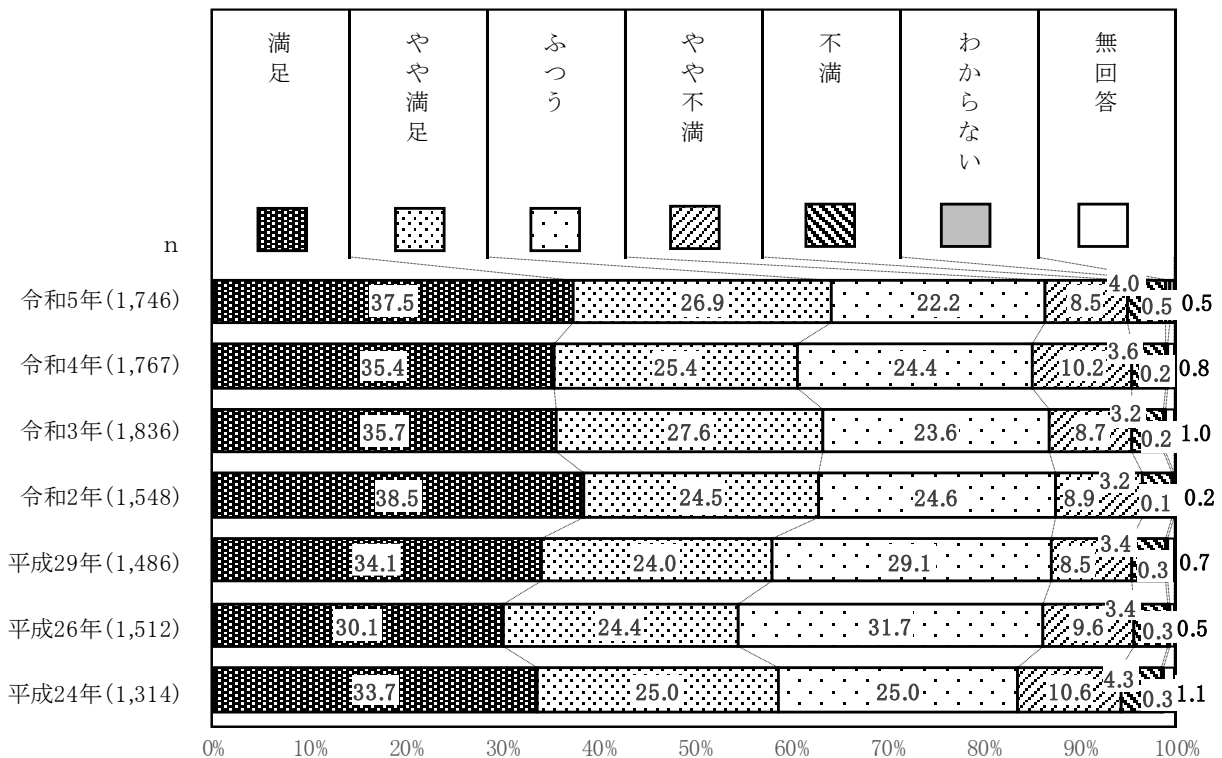
「満足」は【① 買い物の便】(37.5%)、【② 交通の便】(31.1%)、【④ 公園・水辺の整備】(33.4%)、【⑧ ごみの収集】(31.4%)が3割を超えて高くなっている。「不満」は【⑪ 災害への備え】(7.0%)が最も高くなっているが、いずれも1割に満たない。(図表2-1)

【① 買い物の便／時系列比較】

令和4年と比較すると「満足」が2.1ポイント、「やや満足」が1.5ポイント増加している。
一方、「不満」は0.4ポイント増加し、「やや不満」は1.7ポイント減少している。

(図表2-2)

<図表2-2>① 買い物の便／時系列比較



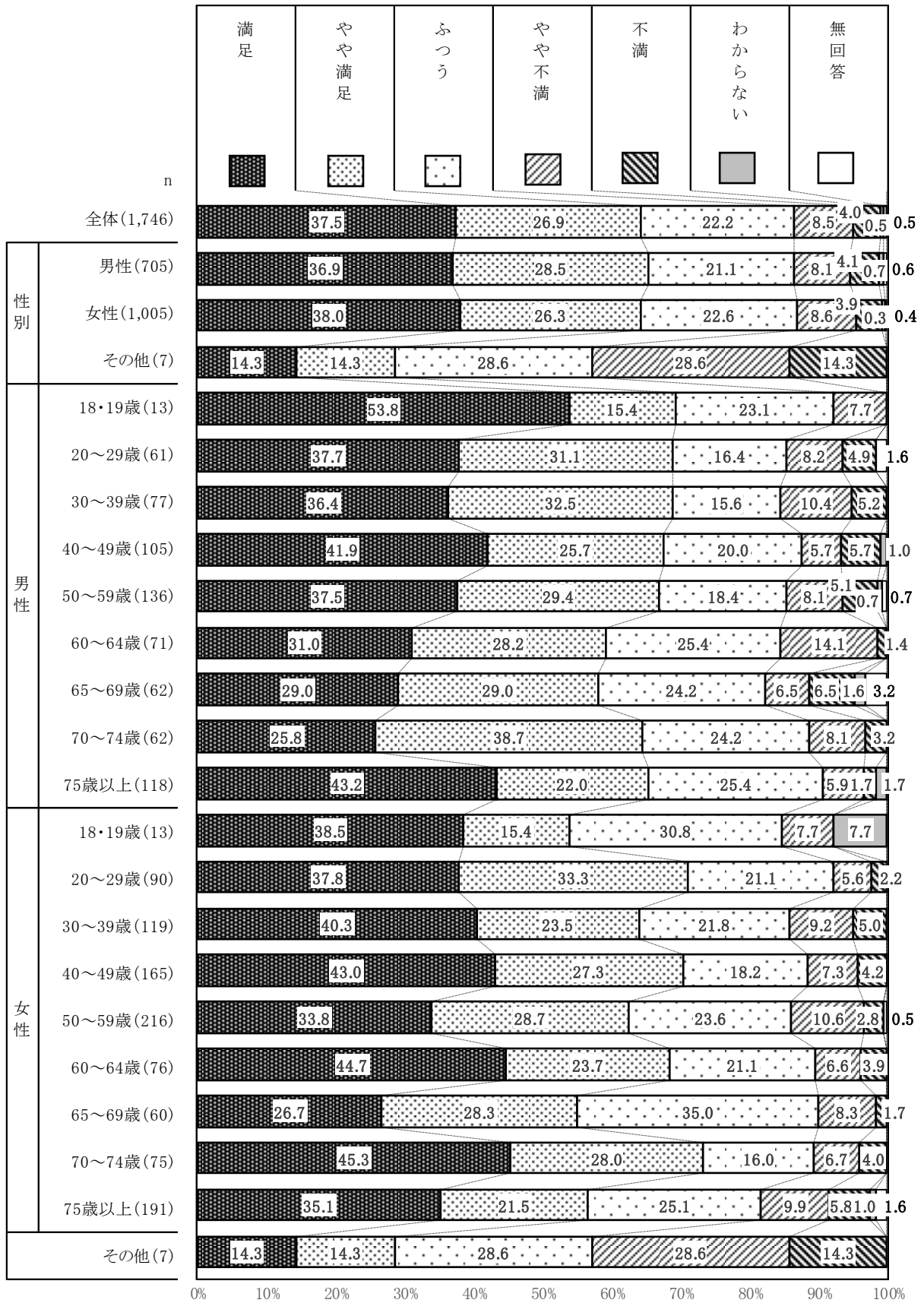
【① 買い物の便／性・年齢別】

男性、女性ともに「満足」は4割近く、「やや満足」は3割近くになっている。

男性において、年代が下がるごとに「満足」は高い傾向にあるが、75歳以上は43.2%と高くなっている。60～64歳は「やや不満」が14.1%と特に高い。

女性において、「満足」は30～39歳(40.3%)、40～49歳(43.0%)、60～64歳(44.7%)、70～74歳(45.3%)で4割を超えて高くなっている。「やや不満」は50～59歳(10.6%)で1割を超えて最も高い。(図表2-3)

<図表2-3>① 買い物の便／性・年齢別

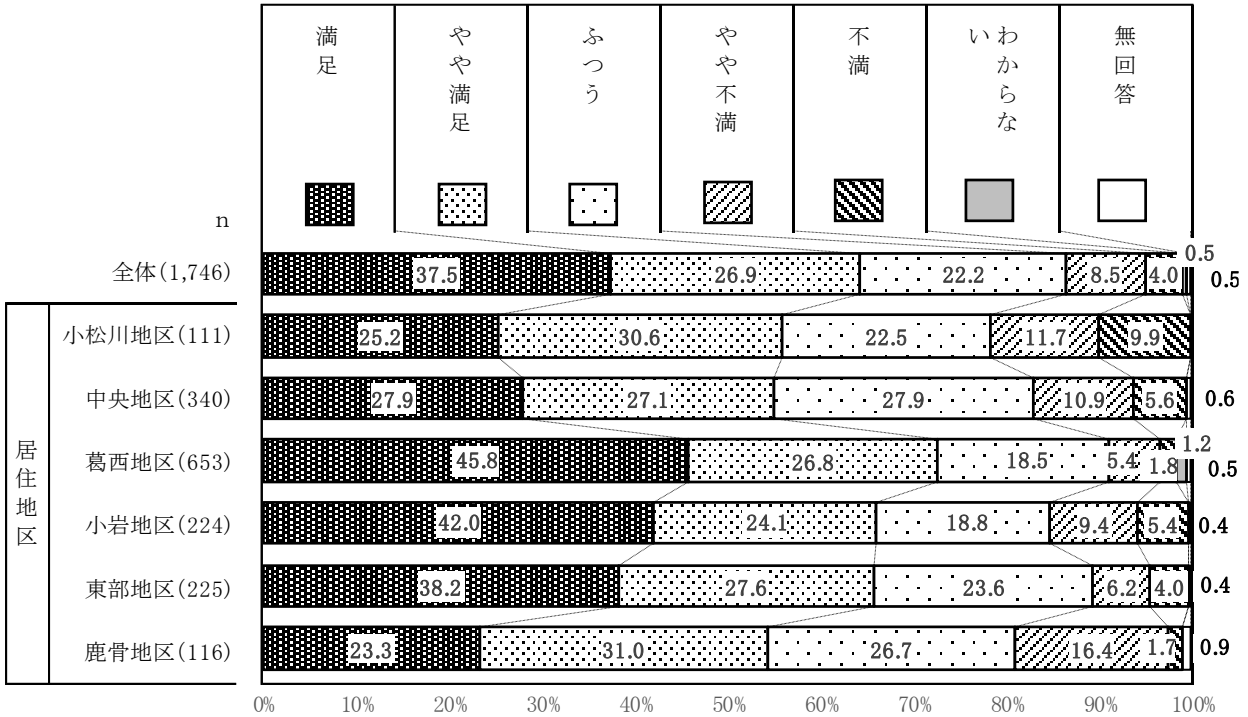


【① 買い物の便／居住地区別】

「満足」は葛西地区(45.8%)、小岩地区(42.0)、東部地区(38.2%)が4割前後で高くなっている。

一方、小松川地区(25.2%)、中央地区(27.9%)、鹿骨地区(23.3%)はいずれも2割台と「満足」が低くなっている。(図表2-4)

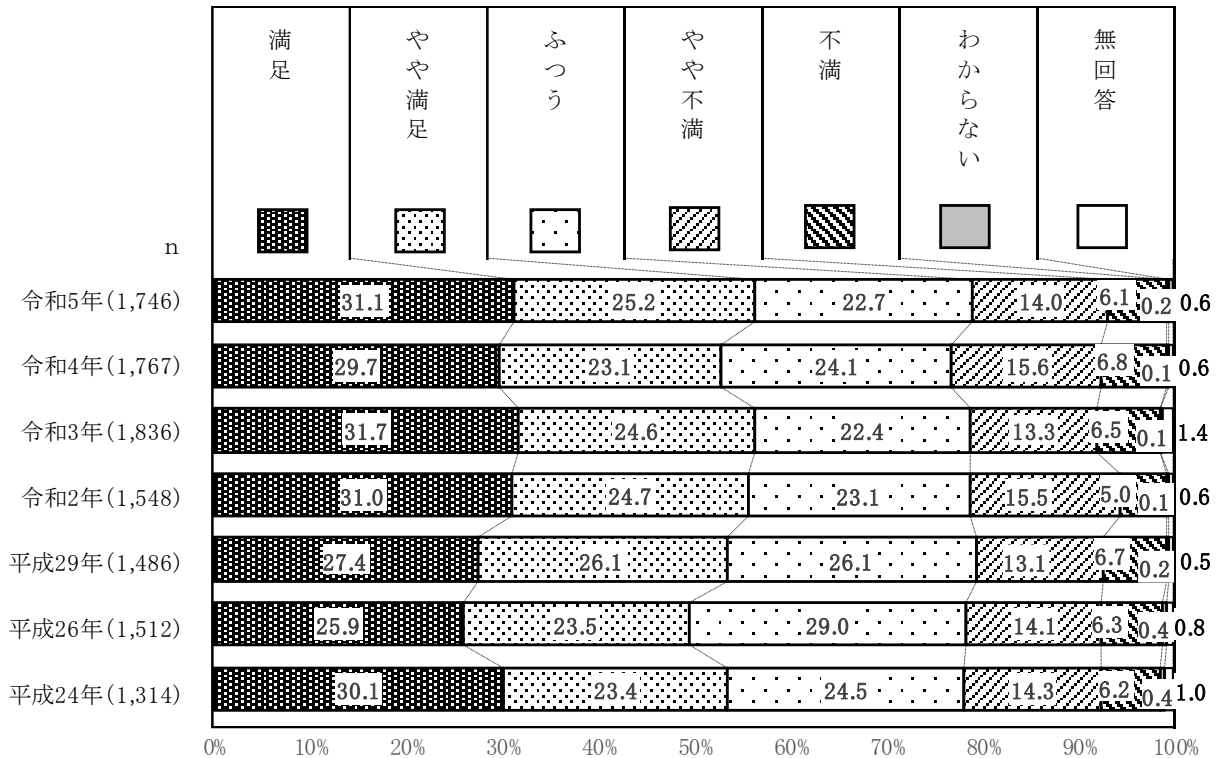
<図表2-4>① 買い物の便／居住地区別



【② 交通の便／時系列比較】

令和4年と比較すると「満足」が1.4ポイント、「やや満足」が2.1ポイント増加している。
一方、「不満」は0.7ポイント、「やや不満」は1.6ポイント減少している。(図表2-5)

＜図表2-5＞② 交通の便／時系列比較



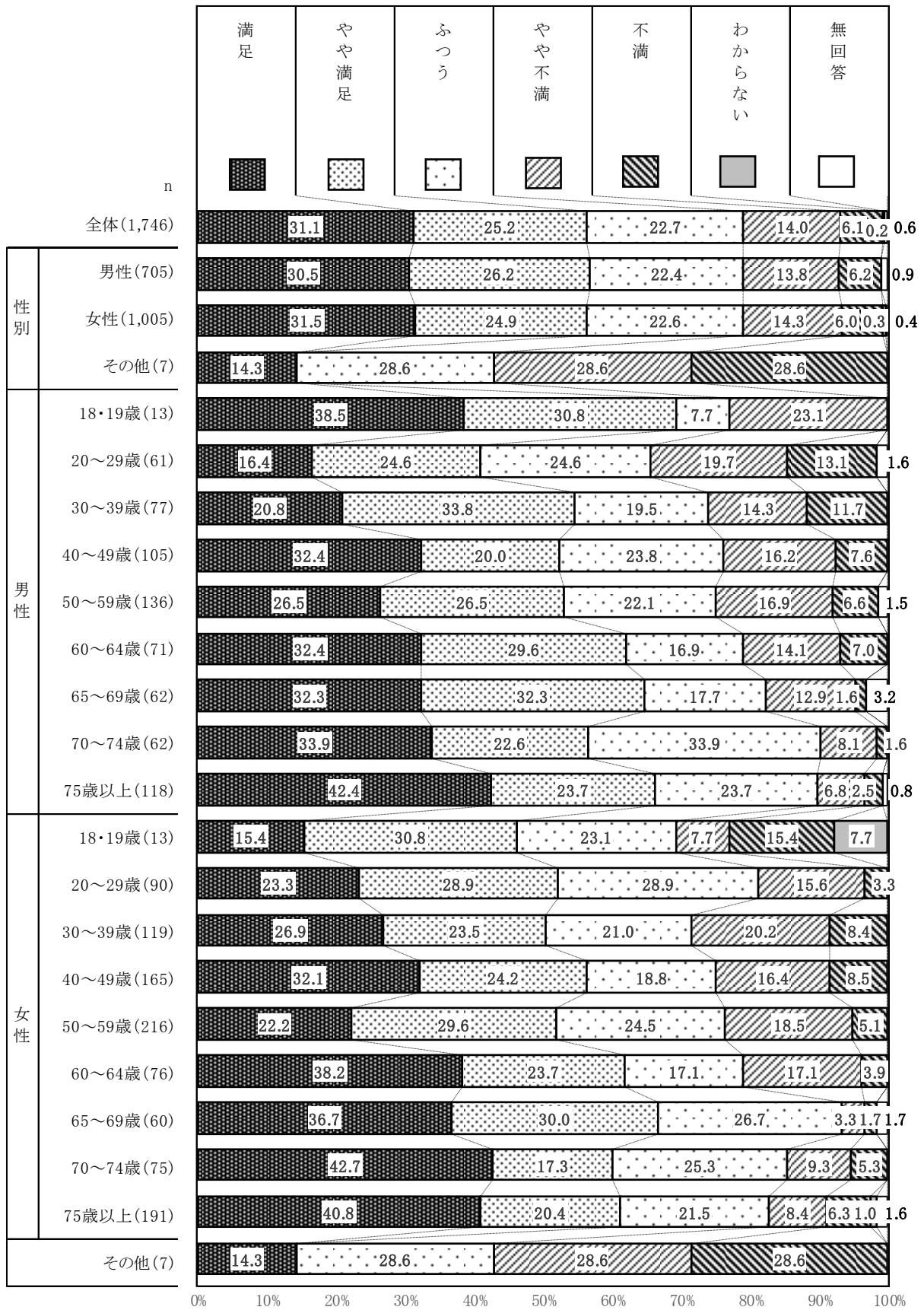
【② 交通の便／性・年齢別】

「満足」は男性・女性ともに3割程度で1ポイント差だが差は見られない。

男性において、「満足」は年代が上がるごとに高い傾向にあり、75歳以上(42.4%)は4割を超えて最も高くなっている。「不満」、「やや不満」は逆に年代が下がるごとに高い傾向にある。

女性において、「満足」は男性同様に年代が上がるごとに高い傾向にある。「不満」、「やや不満」は30～39歳が合わせて3割近くと最も高くなっている。(図表2-6)

<図表2-6>② 交通の便／性・年齢別

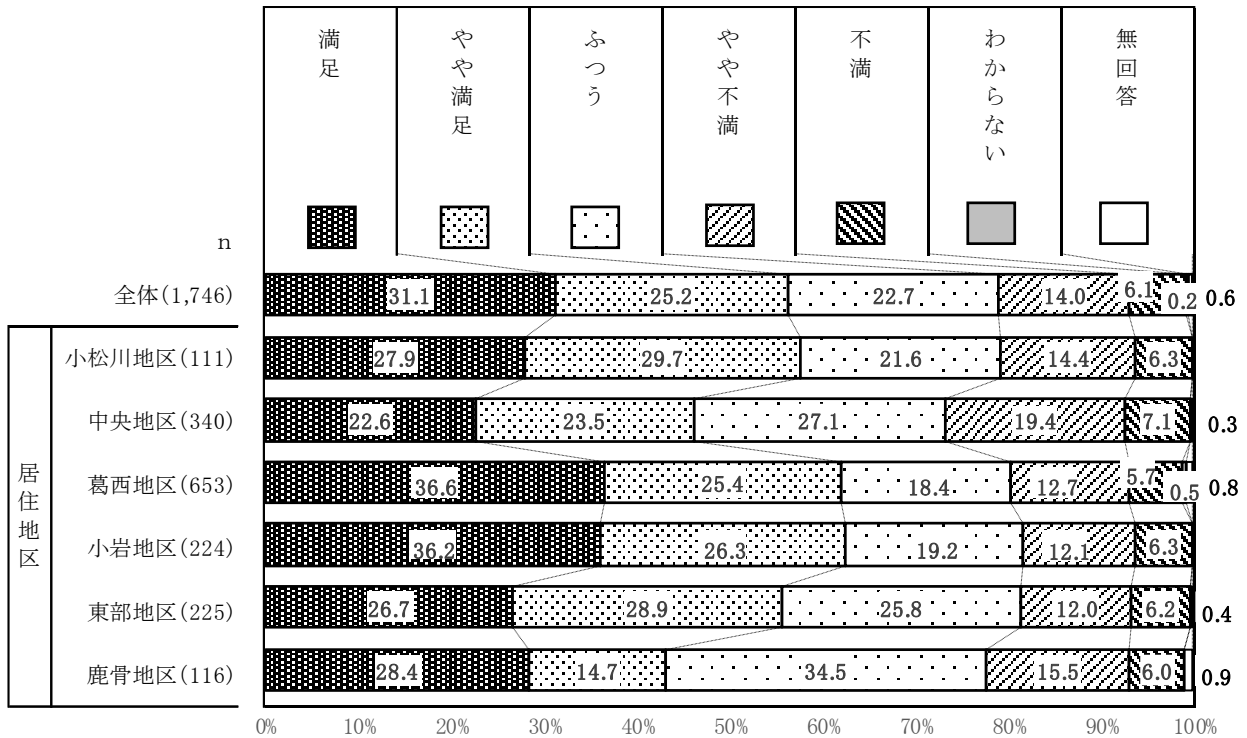


【② 交通の便／居住地区別】

「満足」は葛西地区(36.6%)と小岩地区(36.2%)が3割を超えて高くなっている。

一方、「やや不満」は中央地区(19.4%)が2割弱と特に高い(図表2-7)

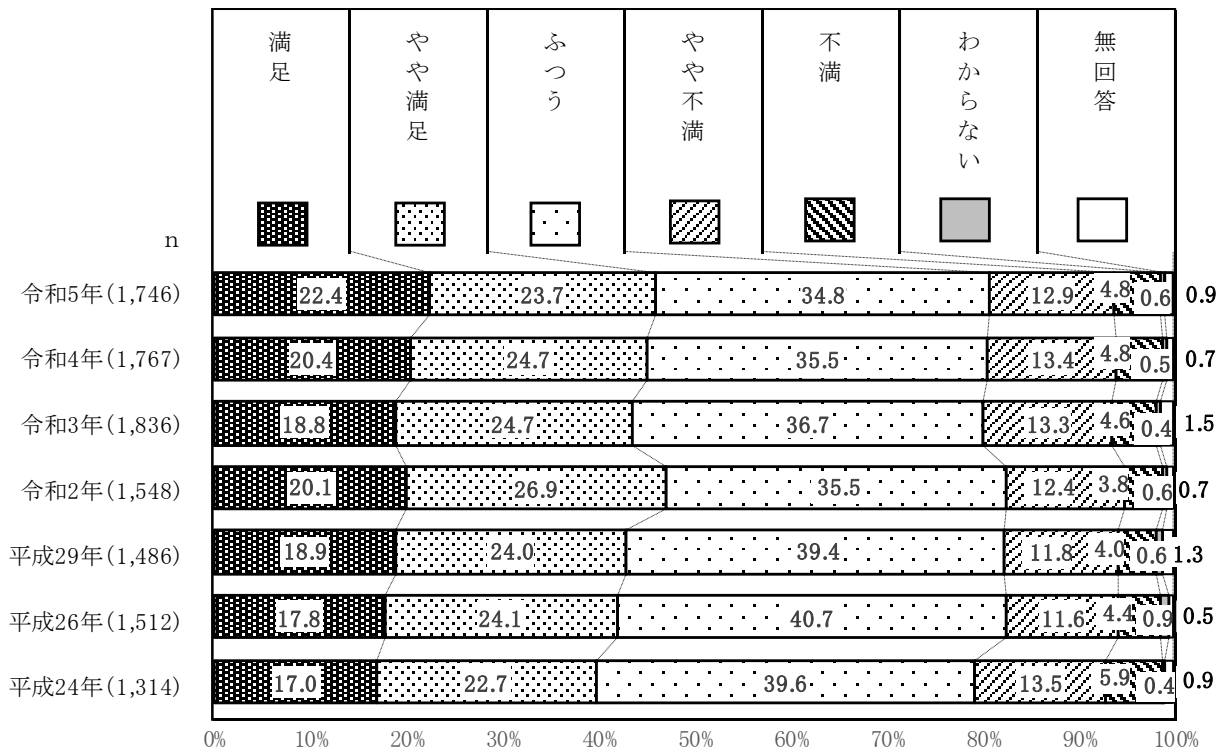
<図表2-7>② 交通の便／居住地区別



【③ 道路・歩道の整備／時系列比較】

令和4年と比較すると「満足」が2.0ポイント増加し、「やや満足」は1.0ポイント減少している。一方、「やや不満」は0.5ポイント減少している。(図表2-8)

＜図表2-8＞③ 道路・歩道の整備／時系列比較



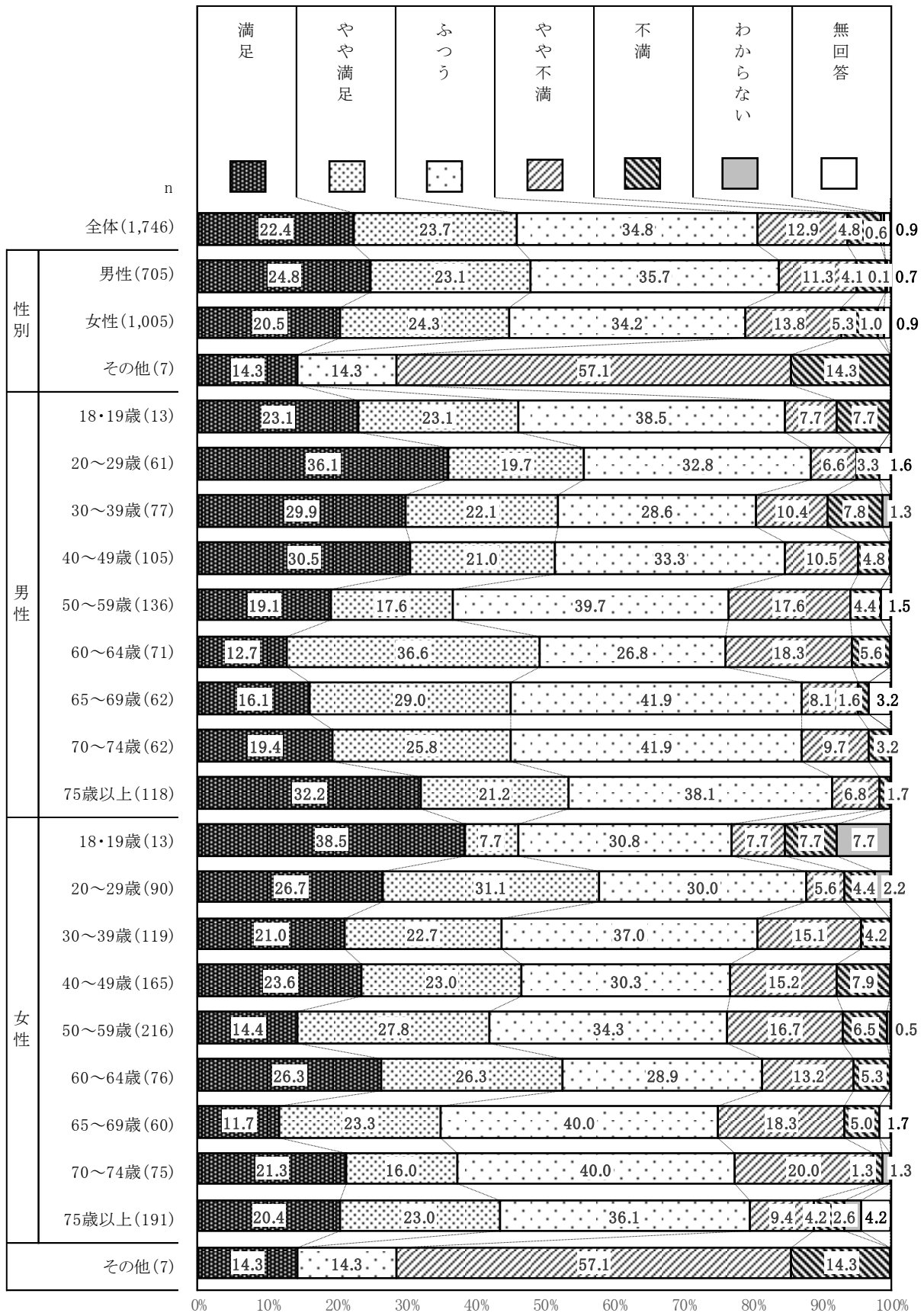
【③ 道路・歩道の整備／性・年齢別】

「満足」は男性(24.8%)が女性(20.5%)に比べて4.3ポイント高く、「やや満足」は女性(24.3%)が男性(23.1%)より1.2ポイント高い。「不満」は女性(5.3%)が男性(4.1%)より1.2ポイント高く、「やや不満」も女性(13.8%)が男性(11.3%)に比べて2.5ポイント高い。

男性において、「満足」は40歳代以下と75歳以上で高く、50歳代～70歳代前半では2割に満たない。60歳代～70歳代前半では「やや満足」がその分高くなっているが、50～59歳は「やや満足」も17.6%と2割に満たず、満足度が低い。

女性において、20～29歳、60～64歳は「満足」と「やや満足」の合計が過半数に達し、他の年代に比べて高くなっている。65～69歳は「満足」、「やや満足」の合計が3割台半ばで最も低い。(図表2-9)

<図表2-9>③ 道路・歩道の整備／性・年齢別

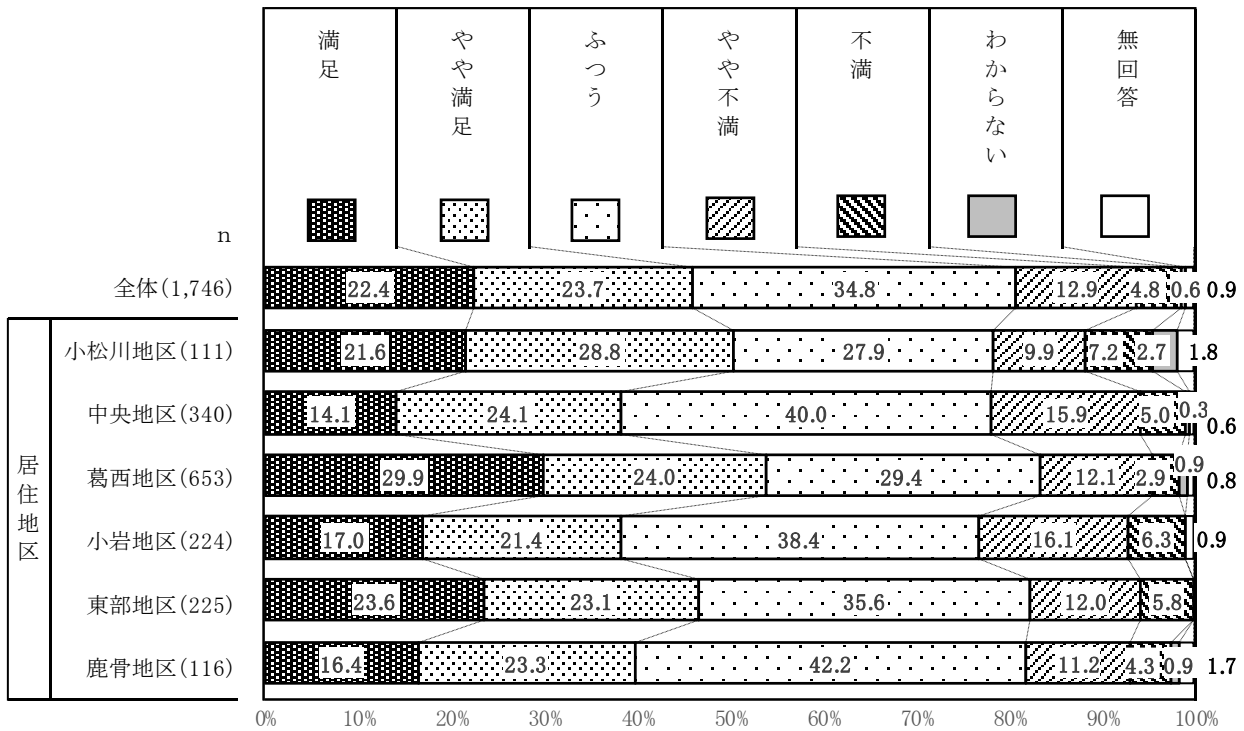


【③ 道路・歩道の整備／居住地区別】

「満足」は葛西地区(29.9%)が3割弱で最も高く、小松川地区(21.6%)、東部地区(23.6%)も2割を超えて高くなっている。

一方、中央地区、小岩地区は「満足」が低く、「不満」、「やや不満」の合計が2割を超えて高くなっている。
(図表2-10)

<図表2-10>③ 道路・歩道の整備／居住地区別

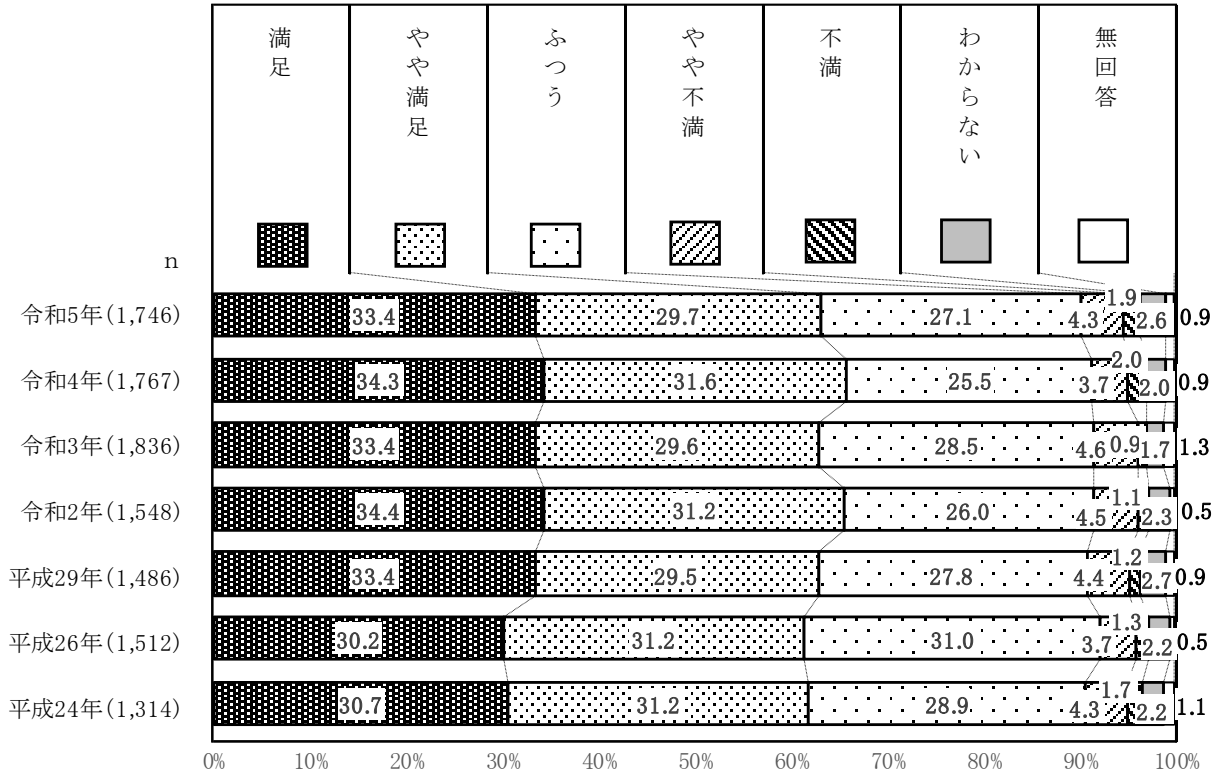


【④ 公園・水辺の整備／時系列比較】

令和4年と比較すると「満足」が0.9ポイント、「やや満足」が1.9ポイント減少している。
一方、「やや不満」は0.6ポイント増加している。

(図表2-11)

<図表2-11>④ 公園・水辺の整備／時系列比較



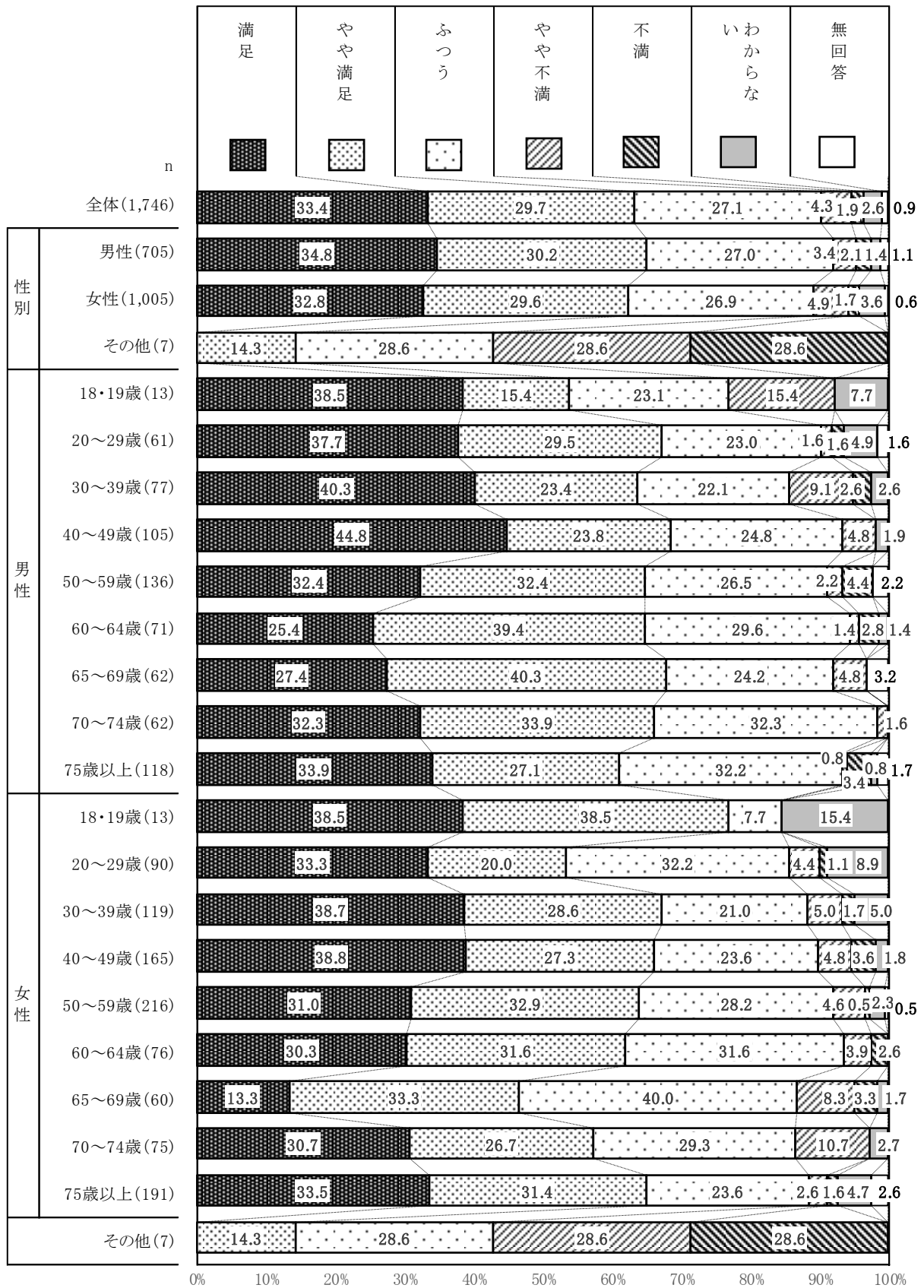
【④ 公園・水辺の整備／性・年齢別】

「満足」は男性(34.8%)が女性(32.8%)より2.0ポイント高く、「やや満足」も男性(30.2%)が女性(29.6%)より0.6ポイント高い。「やや不満」は女性(4.9%)が男性(3.4%)より1.5ポイント高くなっている。

男性において、「満足」は30～39歳(40.3%)、40～49歳(44.8%)が4割を超えて高い。

女性において、「満足」は30～39歳(38.7%)、40～49歳(38.8%)が4割近くで高く、65～69歳(13.3%)が1割強と特に低くなっている。(図表2-12)

＜図表2-12＞④ 公園・水辺の整備／性・年齢別



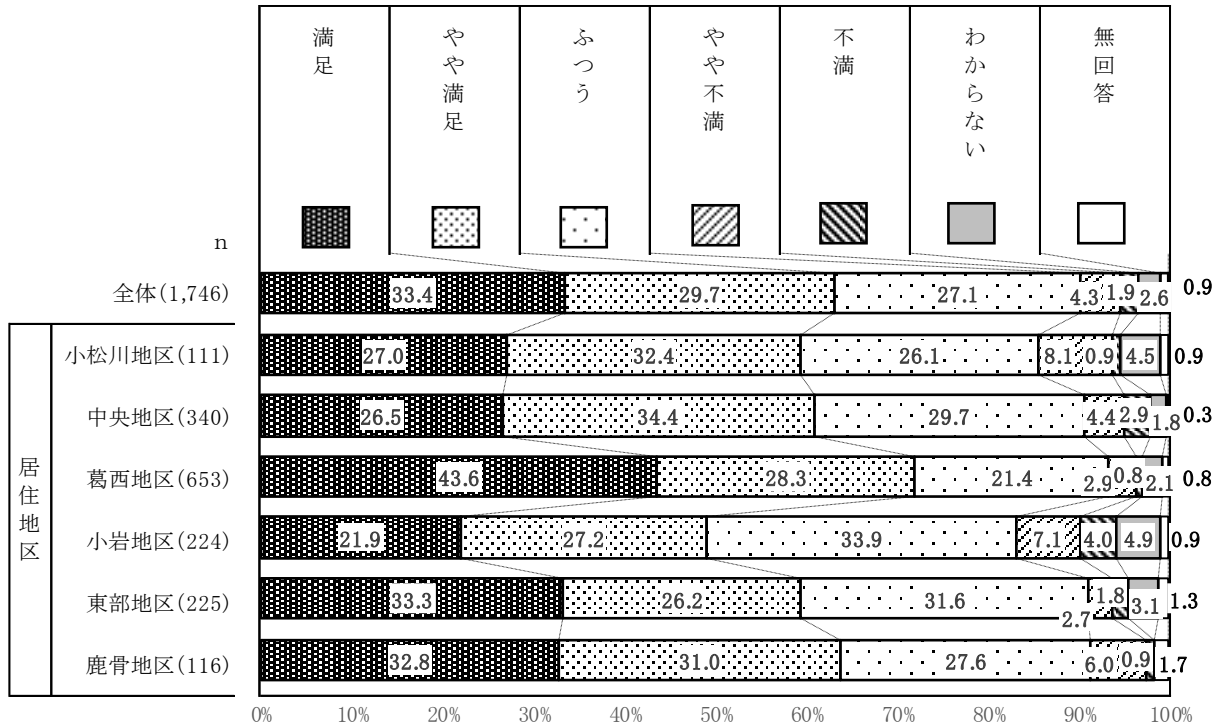
【④ 公園・水辺の整備／居住地区別】

「満足」は葛西地区(43.6%)が4割を超えて高く、小岩地区(21.9%)は2割強で低い。

一方、「やや不満」は小松川地区(8.1%)、小岩地区(7.1%)が他の地区に比べて高くなっている。

(図表2-13)

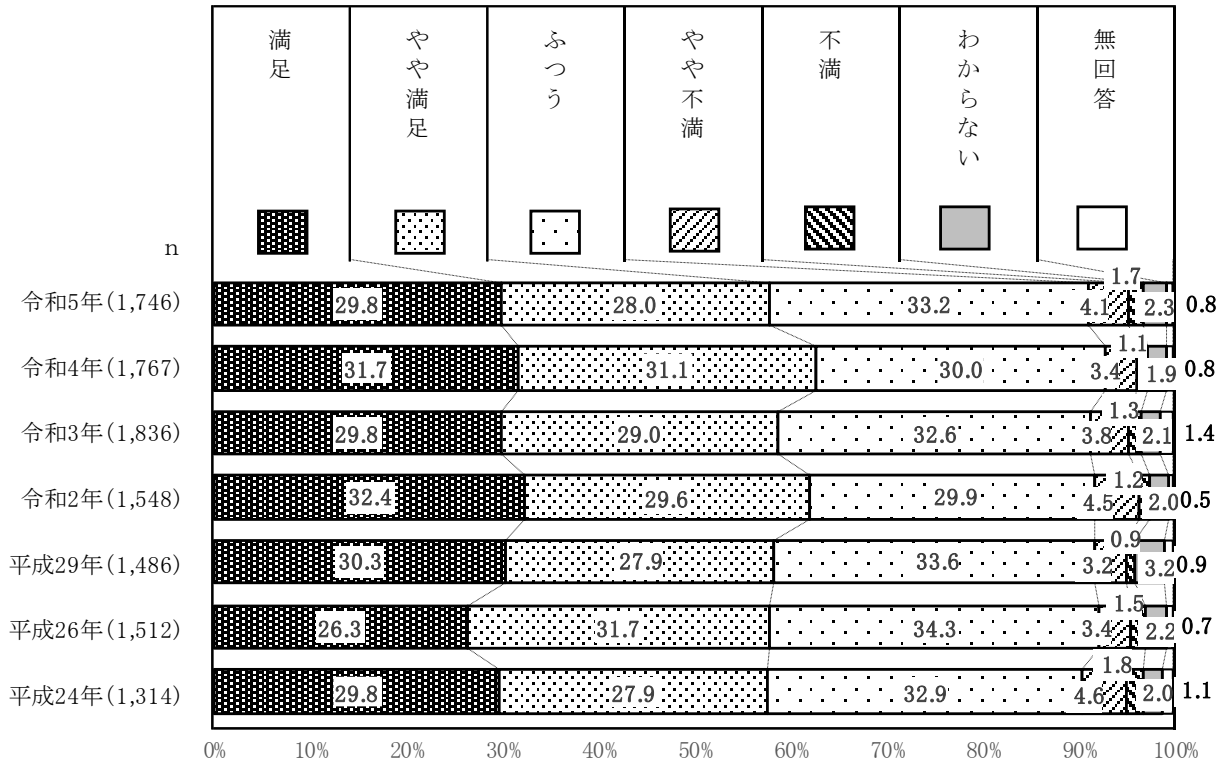
<図表2-13>④ 公園・水辺の整備／居住地区別



【⑤ 緑化の推進／時系列比較】

令和4年と比較すると「満足」が1.9ポイント、「やや満足」が3.1ポイント減少している。
一方、「不満」は0.6ポイント、「やや不満」は0.7ポイント増加している。(図表2-14)

＜図表2-14＞⑤ 緑化の推進／時系列比較



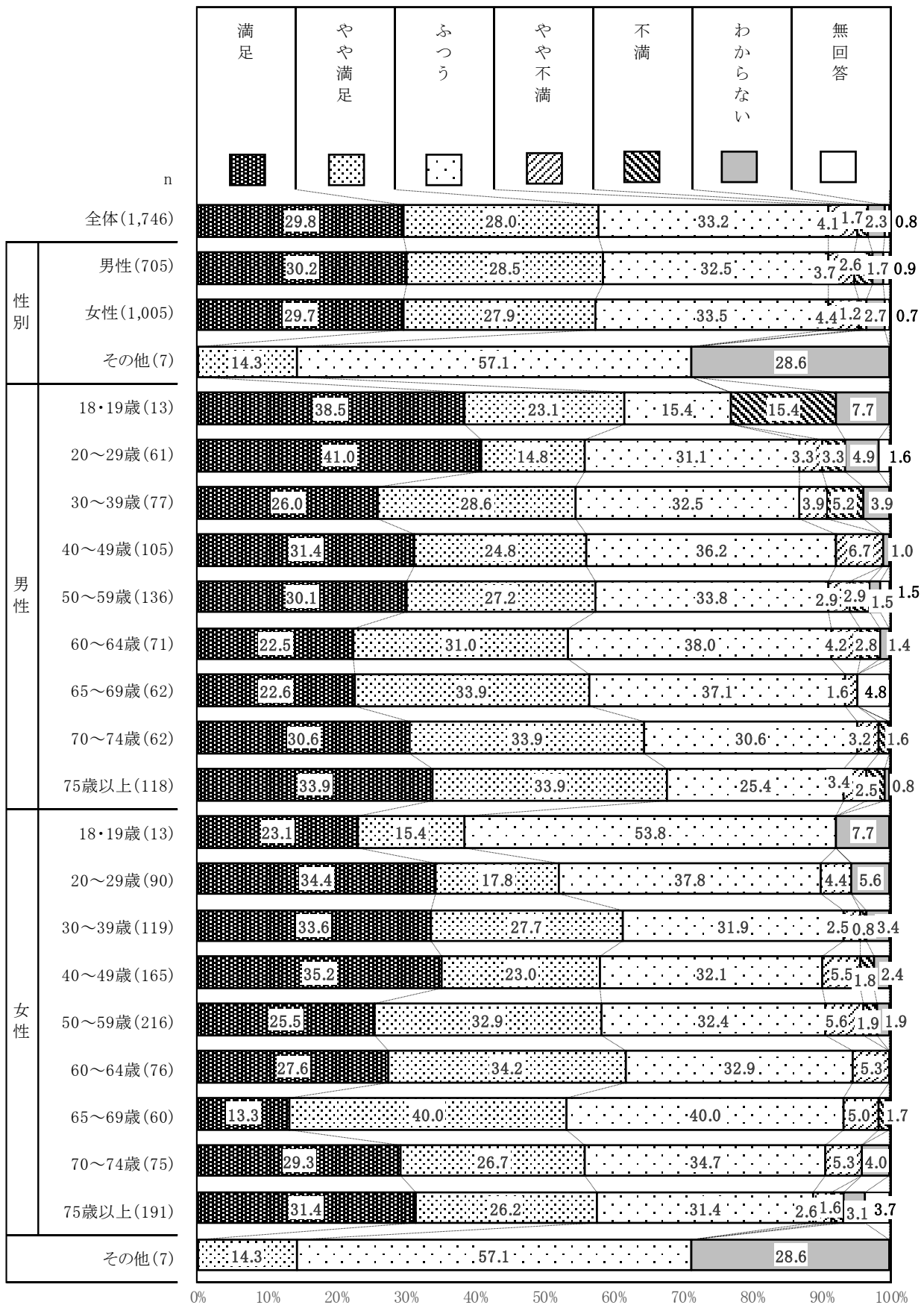
【⑤ 緑化の推進／性・年齢別】

男性、女性ともに「満足」はほぼ3割、「やや満足」は3割弱で差は見られない。

男性において、「満足」は20～29歳(41.0%)が最も高く、60歳代は2割強と低い。「やや不満」は40～49歳(6.7%)が特に高い。

女性において、「満足」は65～69歳(13.3%)が1割強と最も低いが、「やや満足」は40.0%と高くなっている。それに対して20～29歳は「満足」は34.4%と高いが、「やや満足」は17.8%と低く、合計では65～69歳を下回っている。(図表2-15)

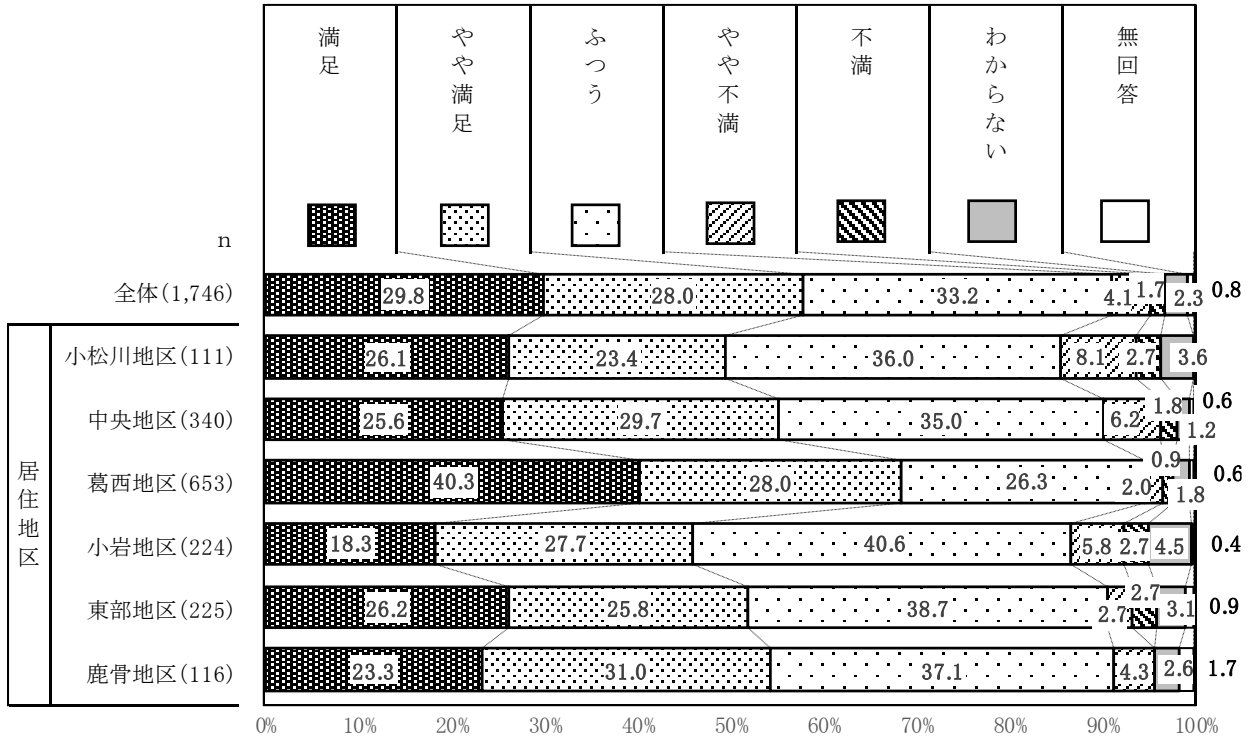
<図表2-15>⑤ 緑化の推進／性・年齢別



【⑤ 緑化の推進／居住地区別】

「満足」は葛西地区(40.3%)が4割を超えて高く、小岩地区(18.3%)は2割に満たず低い。
 一方、「やや不満」は小松川地区(8.1%)が最も高くなっている。(図表2-16)

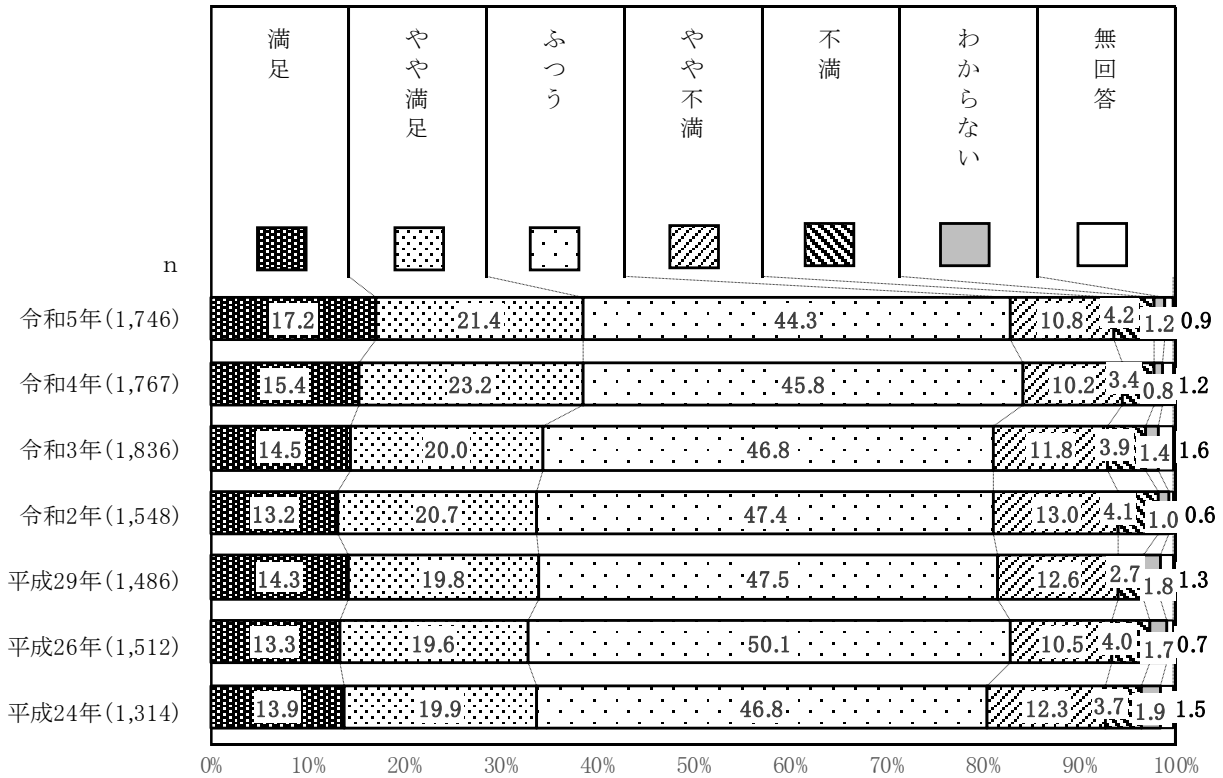
＜図表2-16＞⑤ 緑化の推進／居住地区別



【⑥ 街の景観／時系列比較】

令和4年と比較すると「満足」が1.8ポイント増加し、「やや満足」は1.8ポイント減少している。
一方、「不満」は0.8ポイント、「やや不満」は0.6ポイント増加している。(図表2-17)

<図表2-17>⑥ 街の景観／時系列比較



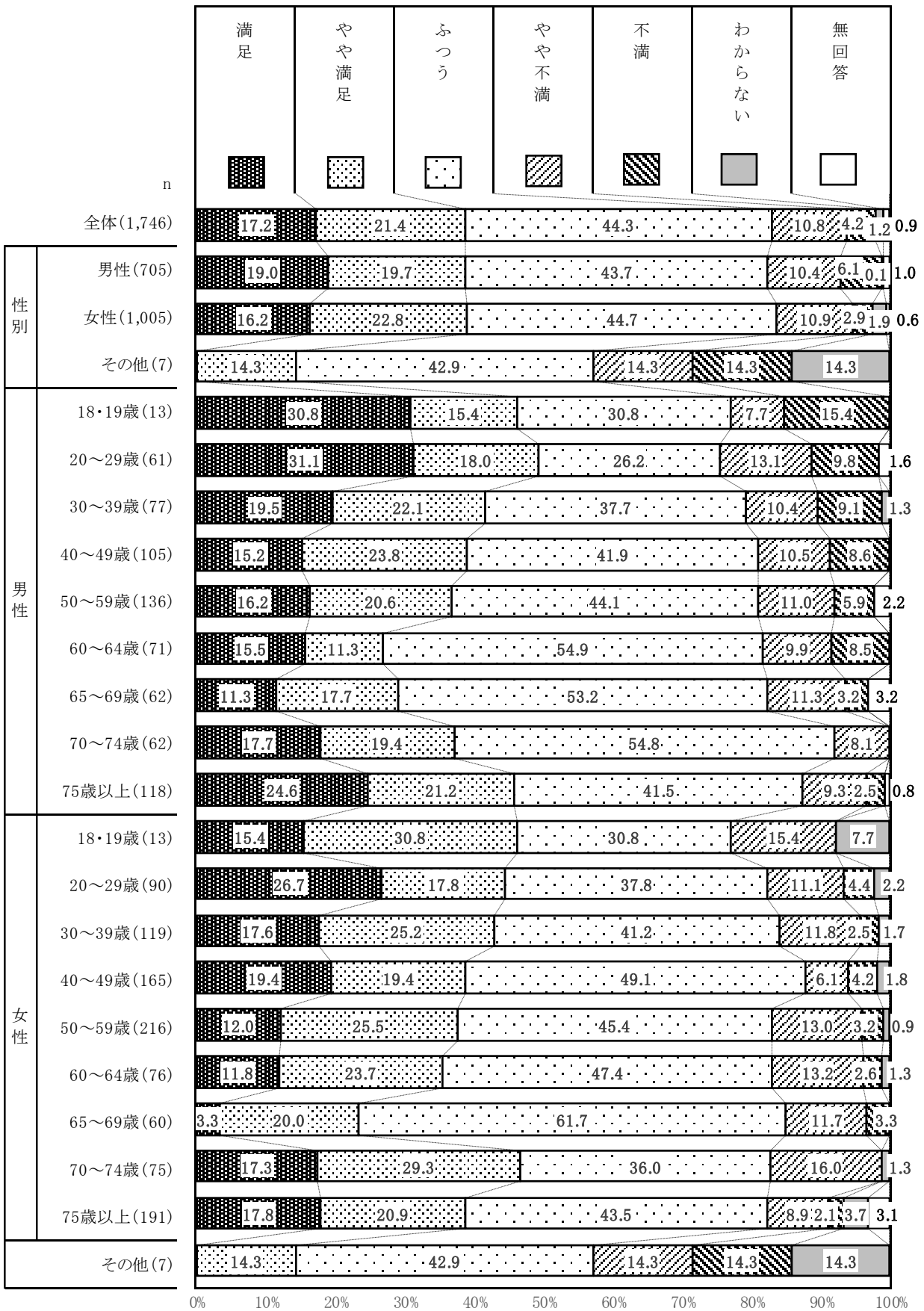
【⑥ 街の景観／性・年齢別】

「満足」は男性(19.0%)が女性(16.2%)より2.8ポイント高く、「やや満足」は女性(22.8%)が男性(19.7%)より3.1ポイント高いため、合計としてはほぼ変わらない。

男性において、「満足」は20～29歳(31.1%)と75歳以上(24.6%)が3割前後で高く、「やや満足」との合計としても20～29歳、75歳以上は高い。60歳代は「満足」、「やや満足」どちらも2割に満たず低い。

女性において、「満足」は20～29歳(26.7%)が高く、65～69歳(3.3%)は特に低い。「やや不満」は70～74歳(16.0%)が他の年代に比べて高くなっている。(図表2-18)

<図表2-18>⑥ 街の景観／性・年齢別



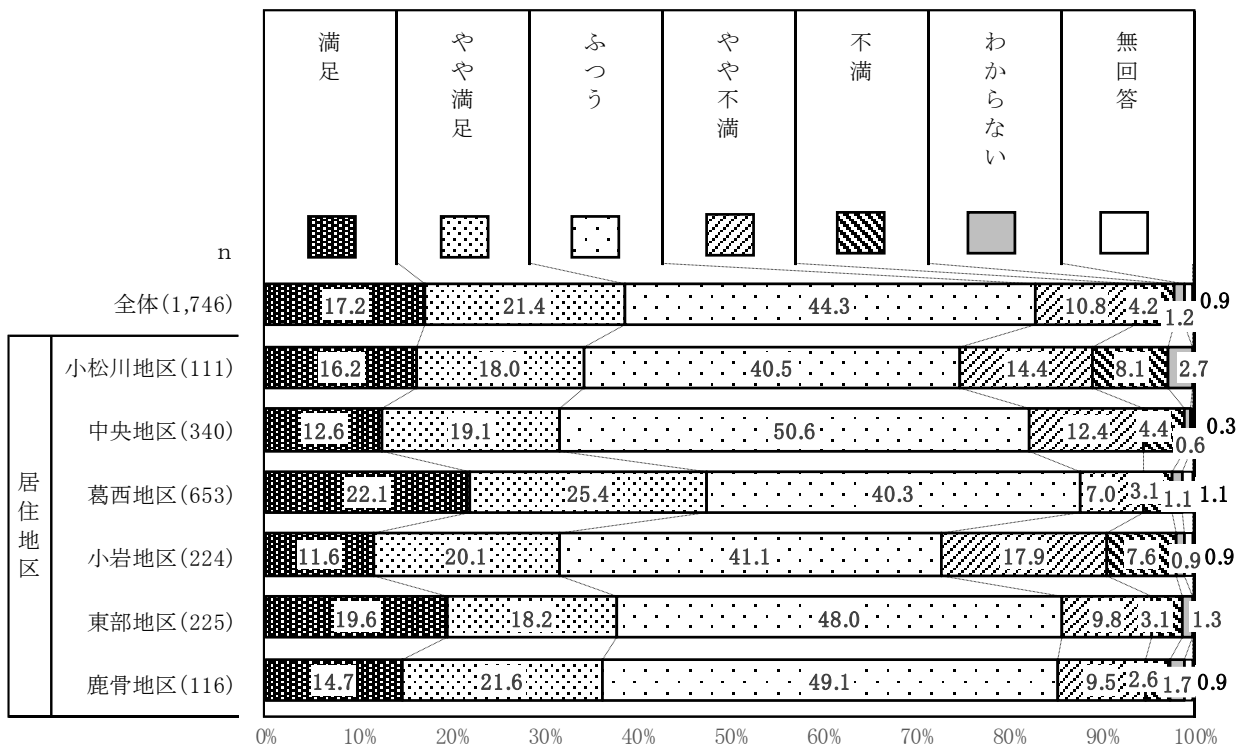
【⑥ 街の景観／居住地区別】

「満足」は葛西地区(22.1%)、東部地区(19.6%)が高く、「やや満足」は葛西地区(25.4%)が高いため、合計としては特に葛西地区が5割近くで高くなっている。

一方、「不満」、「やや不満」は小松川地区、小岩地区が高く、合計するとそれぞれ2割を超える。

(図表2-19)

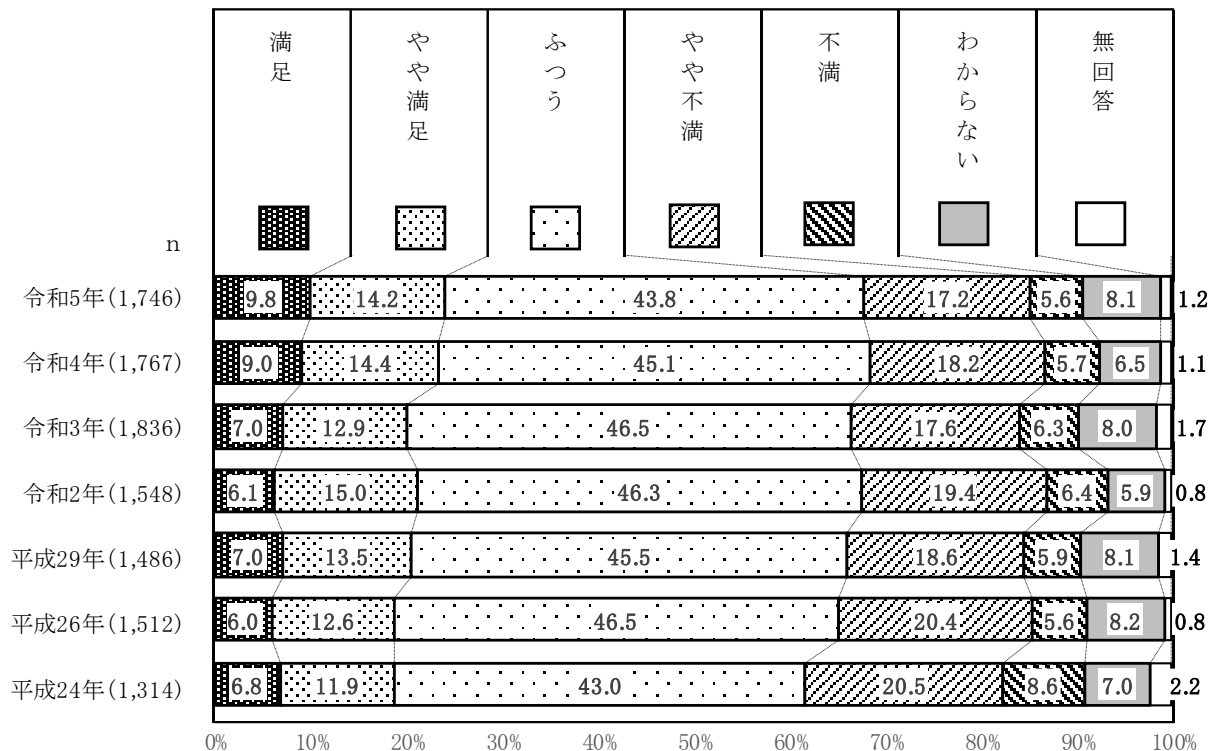
<図表2-19>⑥ 街の景観／居住地区別



【⑦ 街のバリアフリー／時系列比較】

令和4年と比較すると「満足」が0.8ポイント増加している。平成24年以降「満足」は増加傾向にある。一方、「やや不満」は令和4年より1.0ポイント減少し、平成24年以降減少傾向にある。(図表2-20)

＜図表2-20＞⑦ 街のバリアフリー／時系列比較



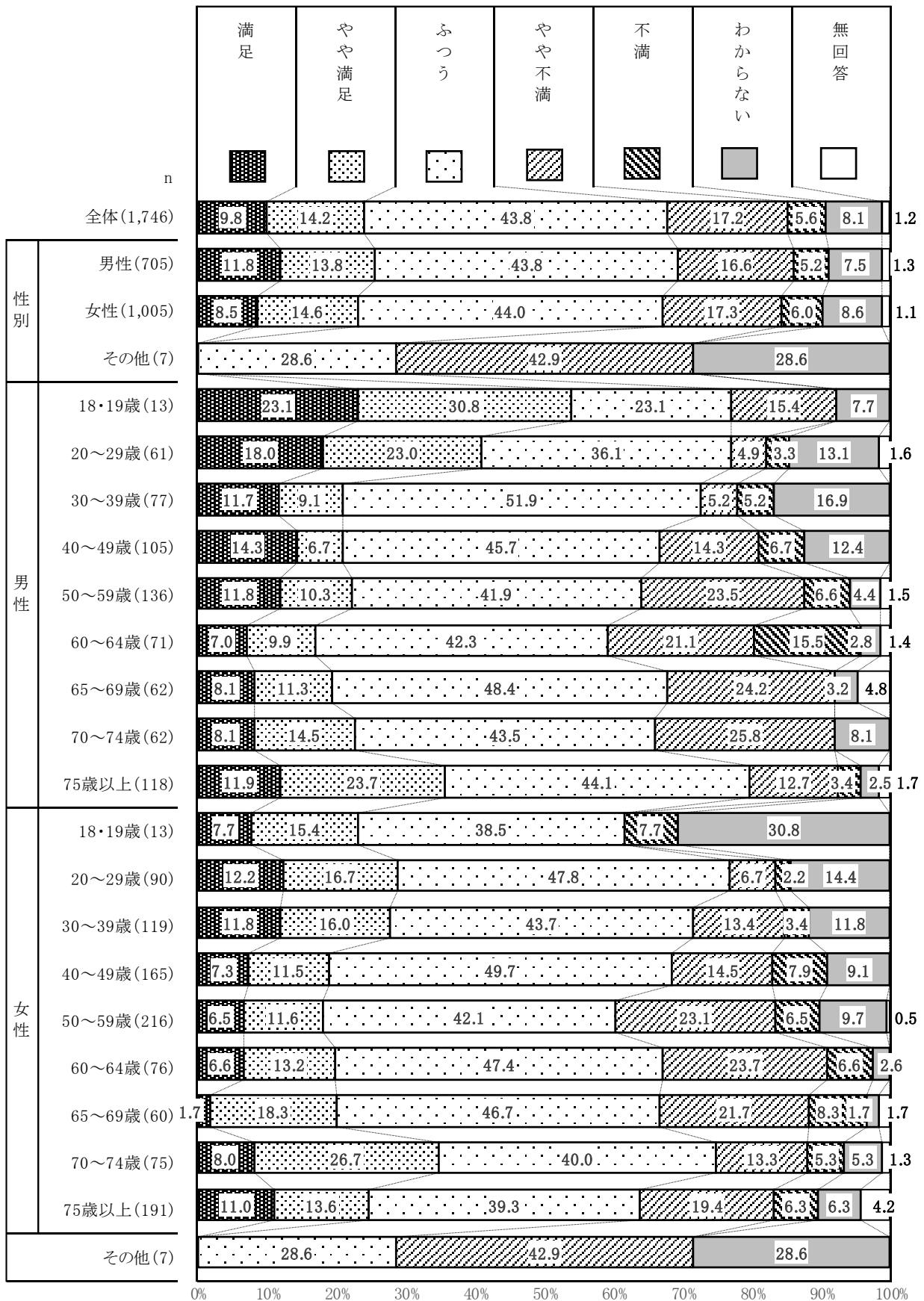
【⑦ 街のバリアフリー／性・年齢別】

「満足」は男性(11.8%)が女性(8.5%)より 3.3ポイント高い。「やや満足」、「不満」、「やや不満」は女性が男性より1ポイント未満だがそれぞれ高くなっている。

男性において、「満足」は20～29歳(18.0%)が特に高く、次いで40～49歳(14.3%)が1割台半ばで高い。20～29歳は「やや満足」も23.0%と高く、合計すると4割に達する。

女性において、「満足」は20～29歳、30～39歳、75歳以上が1割を超えて他の年代に比べ高く、65～69歳は1.7%と特に低い。「やや満足」は70～74歳(26.7%)が特に高くなっている。(図表2-21)

＜図表2-21＞⑦ 街のバリアフリー／性・年齢別

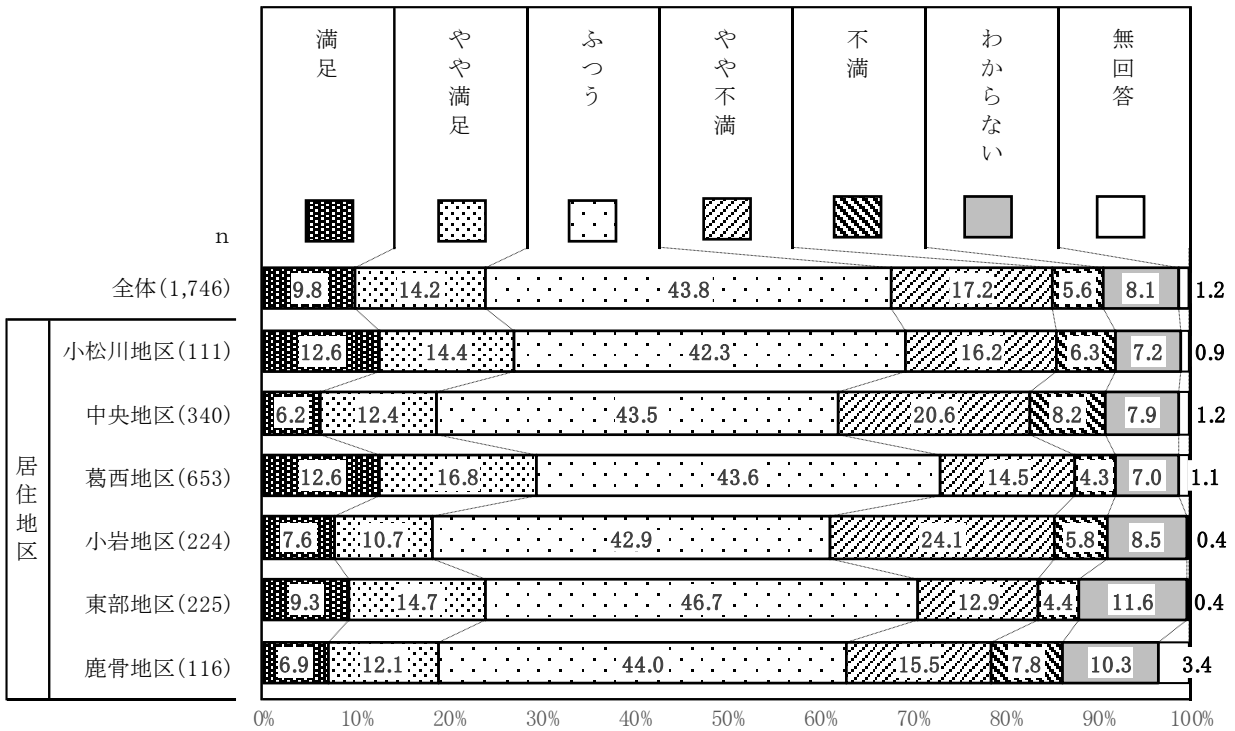


【⑦ 街のバリアフリー／居住地区別】

「満足」は小松川地区、葛西地区(ともに 12.6%)が1割を超えて高くなっている。

一方、「やや不満」は中央地区(20.6%)、小岩地区(24.1%)が2割を超えて高く、両地区は「不満」、「やや不満」の合計が3割弱と他の地区に比べて高くなっている。(図表2-22)

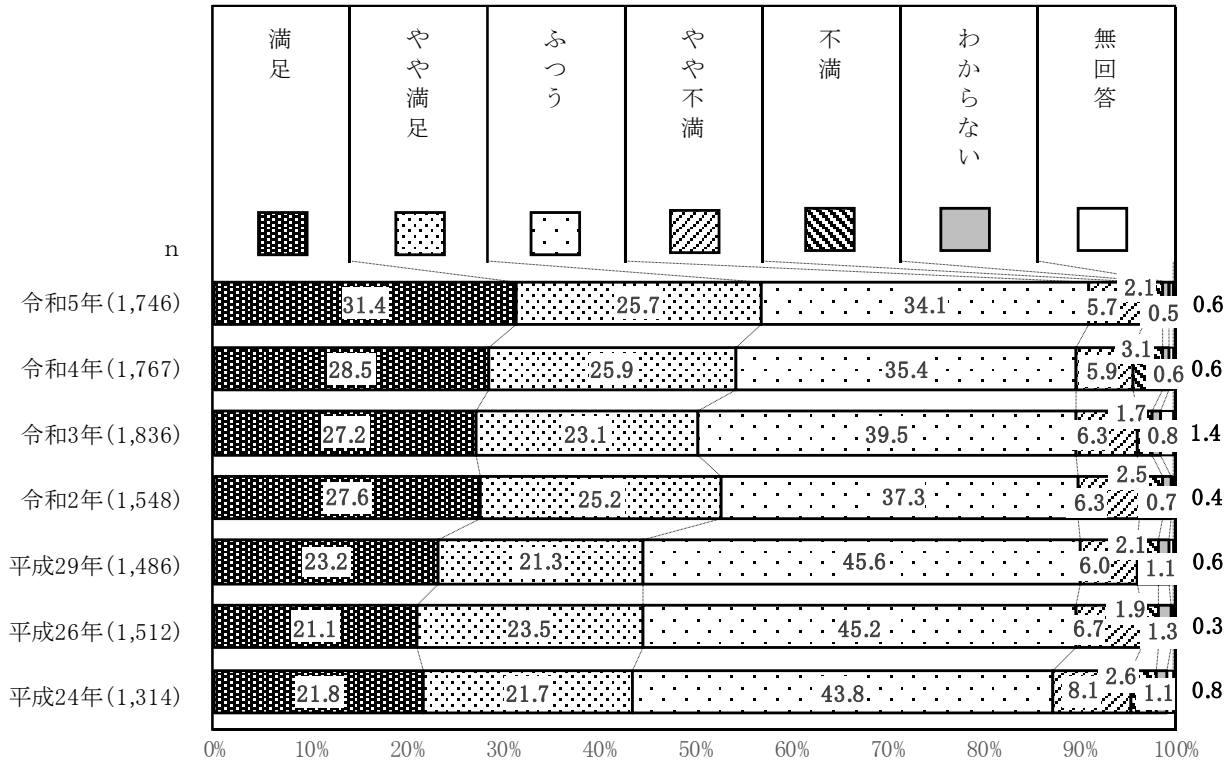
<図表2-22>⑦ 街のバリアフリー／居住地区別



【⑧ ごみの収集／時系列比較】

令和4年と比較すると「満足」は2.9ポイント増加している。平成24年以降「満足」は増加傾向にある。一方、「不満」は令和4年と比較すると1.0ポイント減少している。(図表2-23)

＜図表2-23＞⑧ ごみの収集／時系列比較



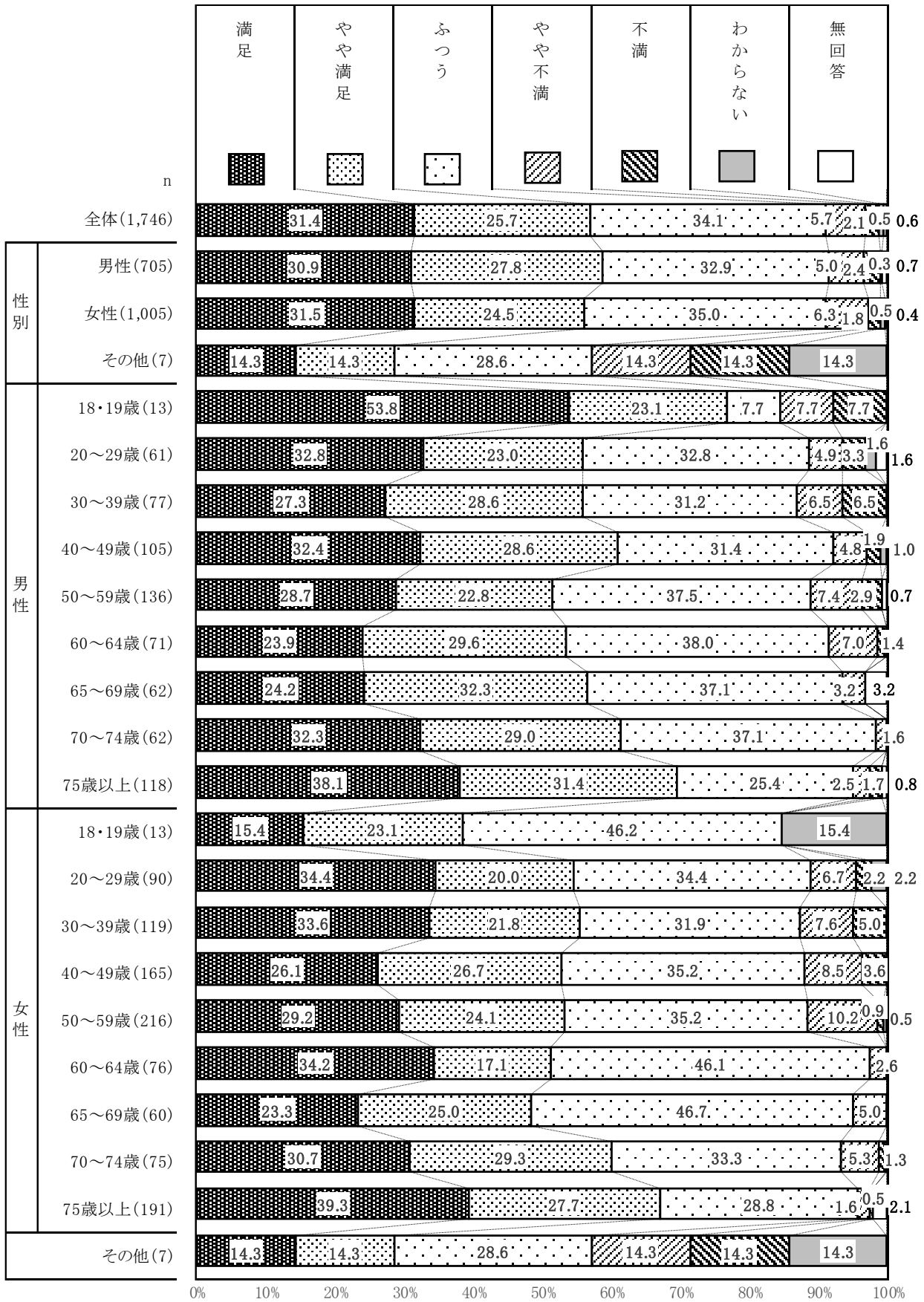
【⑧ ごみの収集／性・年齢別】

「満足」は女性(31.5%)が男性(30.9%)より0.6ポイント高いが、「やや満足」は男性(27.8%)が女性(24.5%)より3.3ポイント高い。「やや満足」との合計では男性が女性より2.7ポイント高い。

男性において、「満足」は75歳以上(38.1%)が最も高く、「やや満足」との合計は7割弱になる。「不満」は30～39歳(6.5%)が特に高い。

女性において、男性同様に「満足」は75歳以上(39.3%)が4割弱と最も高く、「不満」も男性同様に30～39歳(5.0%)が特に高くなっている。(図表2-24)

<図表2-24>⑧ ごみの収集／性・年齢別

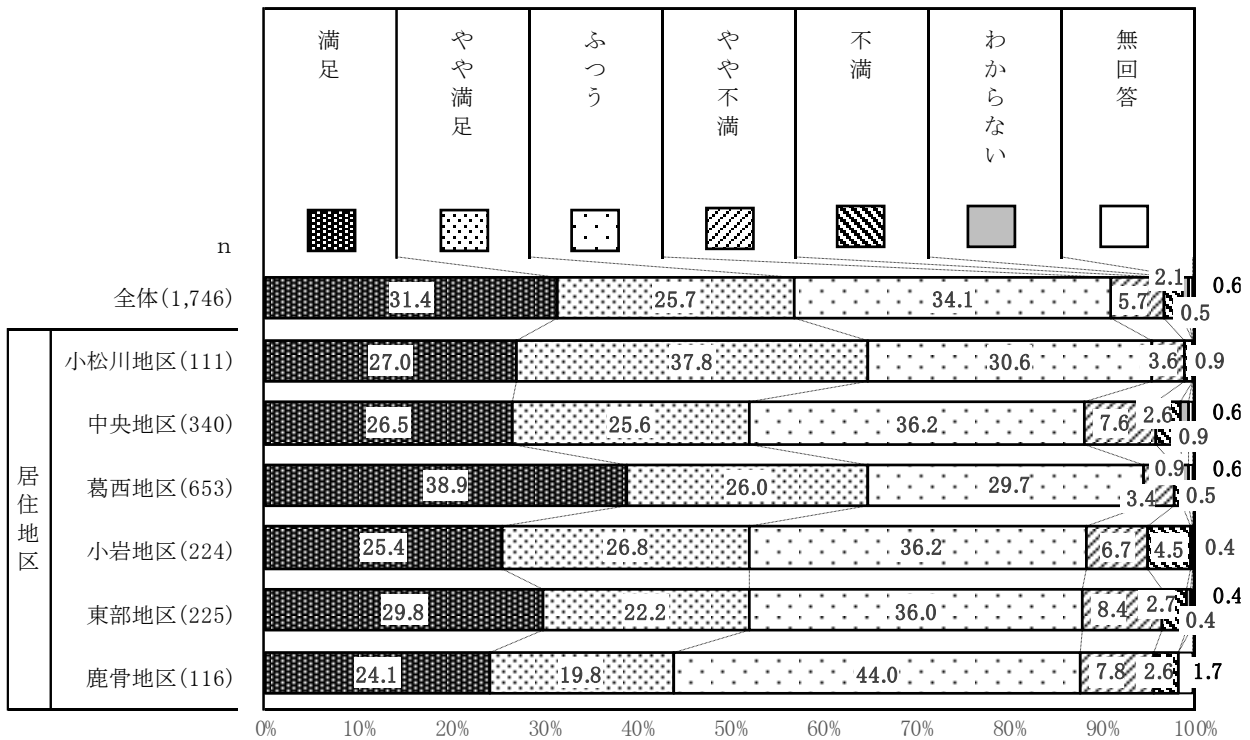


【⑧ ごみの収集／居住地区別】

「満足」は葛西地区(38.9%)が、「やや満足」は小松川地区(37.8%)がそれぞれ4割近くで特に高い。両地区は「満足」、「やや満足」の合計が6割を超えて高くなっている。鹿骨地区は「満足」、「やや満足」の合計が5割に満たない。

一方、「不満」は小岩地区(4.5%)が他の地区に比べて高くなっている。(図表2-25)

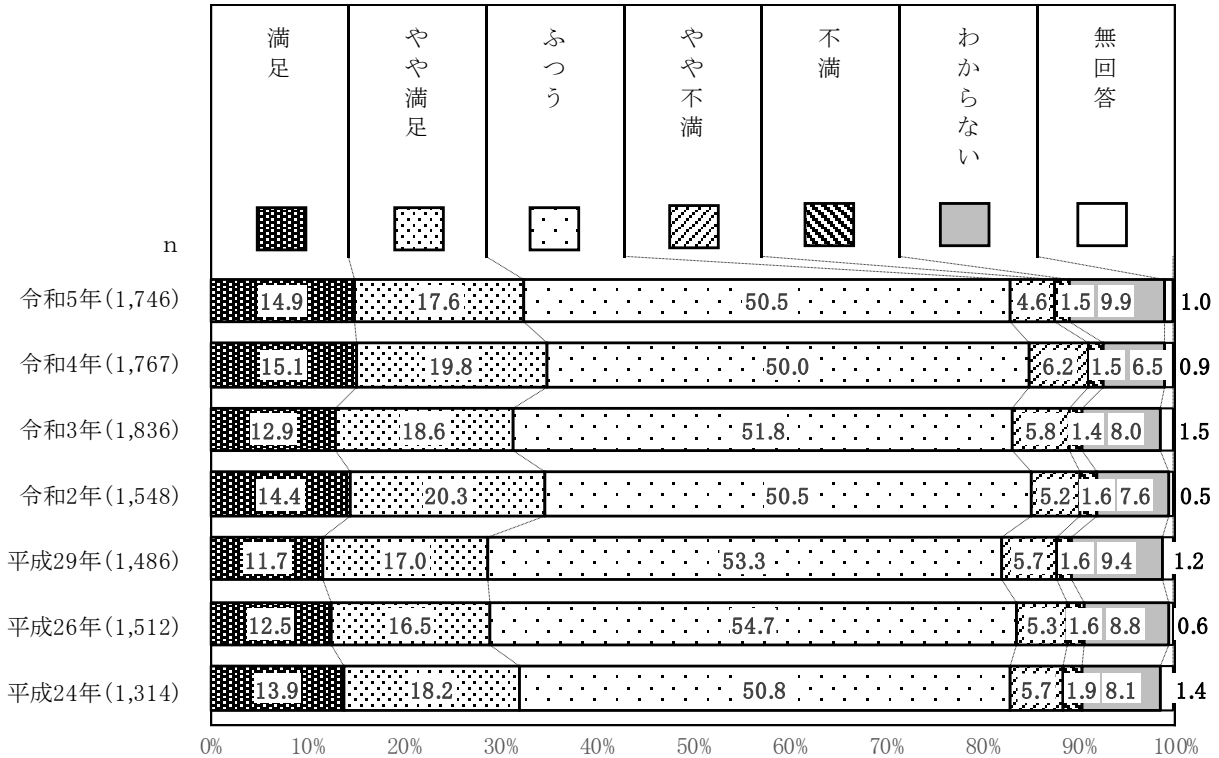
＜図表2-25＞⑧ ごみの収集／居住地区別



【⑨ リサイクルの推進／時系列比較】

令和4年と比較すると「満足」が0.2ポイント、「やや満足」が2.2ポイント減少している。
 一方、「やや不満」も1.6ポイント減少し、「わからない」が3.4ポイント増加している。(図表2-26)

＜図表2-26＞⑨ リサイクルの推進／時系列比較



【⑨ リサイクルの推進／性・年齢別】

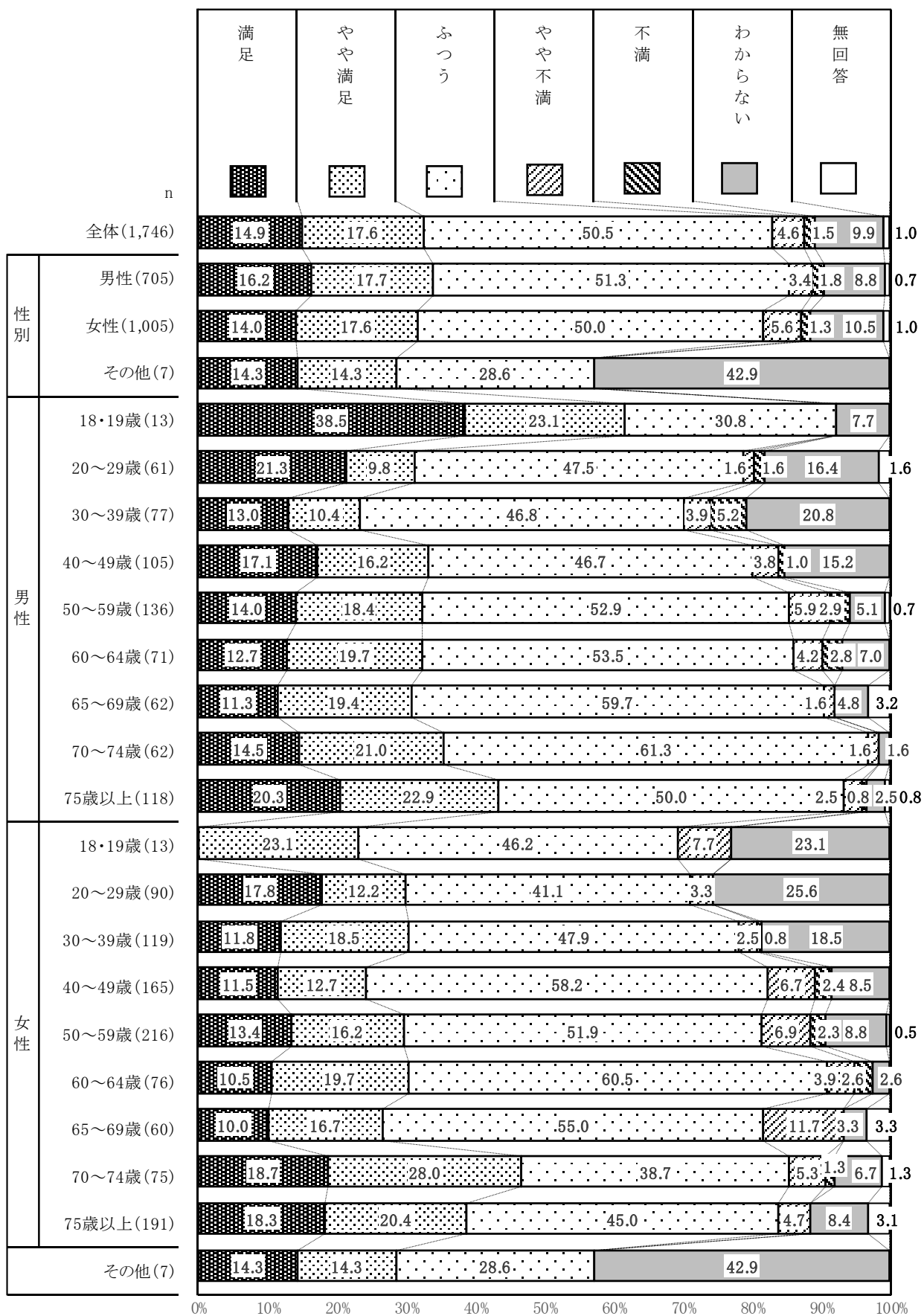
「満足」は男性(16.2%)が女性(14.0%)より2.2ポイント高く、「やや不満」は女性(5.6%)が男性(3.4%)より2.2ポイント高い。

男性において、「満足」は20～29歳(21.3%)、75歳以上(20.3%)が2割を超えて高く、75歳以上は「やや満足」との合計が4割強と他の年代に比べて高くなっている。

女性において、「満足」は20～29歳(17.8%)、70～74歳(18.7%)、75歳以上(18.3%)が他の年代に比べて高く、70～74歳は「やや満足」との合計が5割近くで他の年代に比べて高くなっている。

男性、女性ともに若年層は「わからない」が多い傾向にある。(図表2-27)

<図表2-27>⑨ リサイクルの推進／性・年齢別

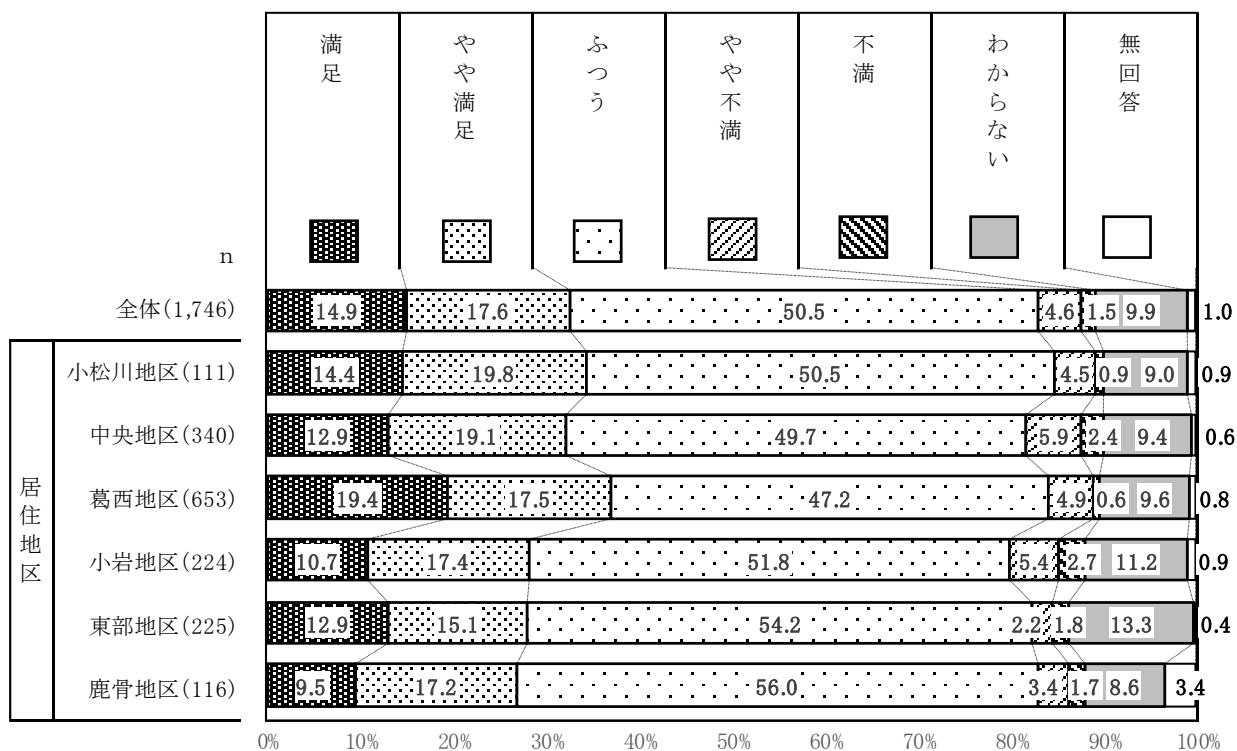


【⑨ リサイクルの推進／居住地区別】

「満足」は葛西地区(19.4%)が2割弱で他の地区に比べて高くなっている。「やや満足」は小松川地区(19.8%)、中央地区(19.1%)が2割弱で高い。

一方、「不満」、「やや不満」の合計は中央地区、小岩地区が1割近くで他の地区に比べてやや高く、「わからない」は小岩地区(11.2%)と東部地区(13.3%)が1割を超えている。(図表2-28)

<図表2-28>⑨ リサイクルの推進／居住地区別

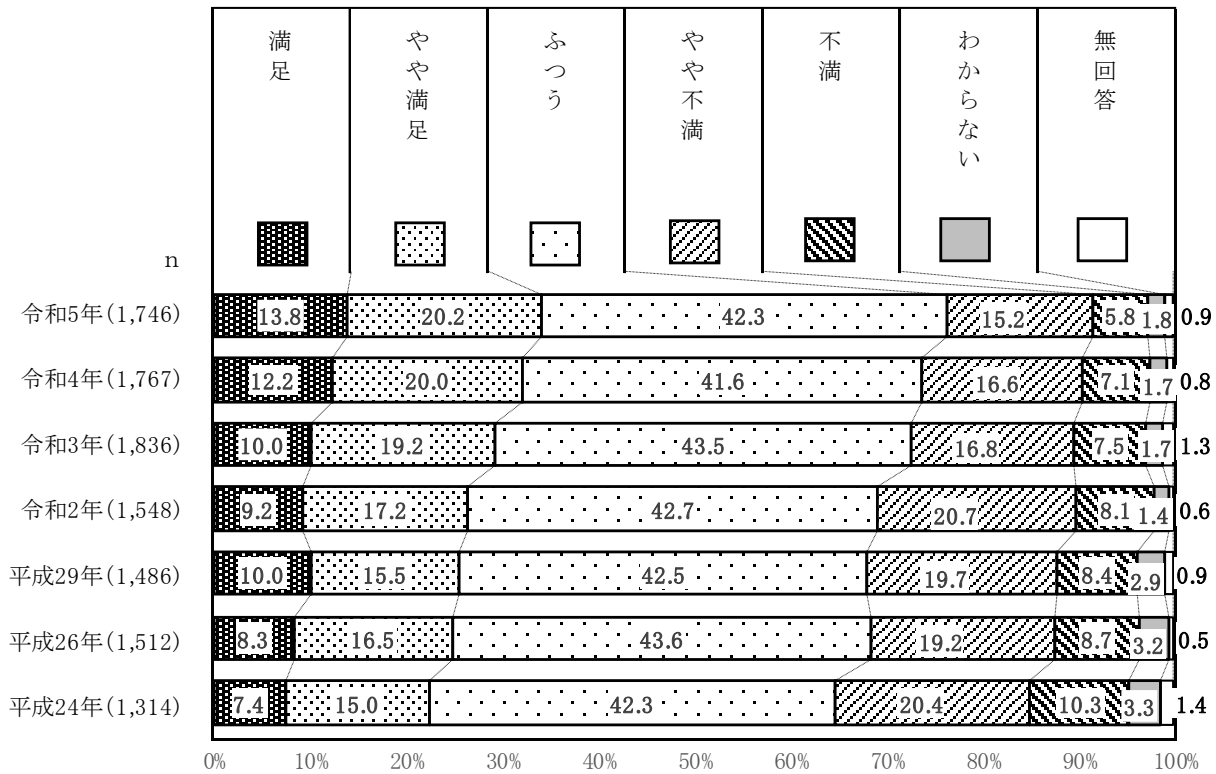


【⑩ 地域の治安・安全性／時系列比較】

令和4年と比較すると「満足」が1.6ポイント増加している。「満足」、「やや満足」はどちらも平成24年以降、増加傾向にある。

一方、「不満」は1.3ポイント、「やや不満」は1.4ポイント、令和4年度より減少し、平成24年以降減少傾向にある。(図表2-29)

＜図表2-29＞⑩ 地域の治安・安全性／時系列比較



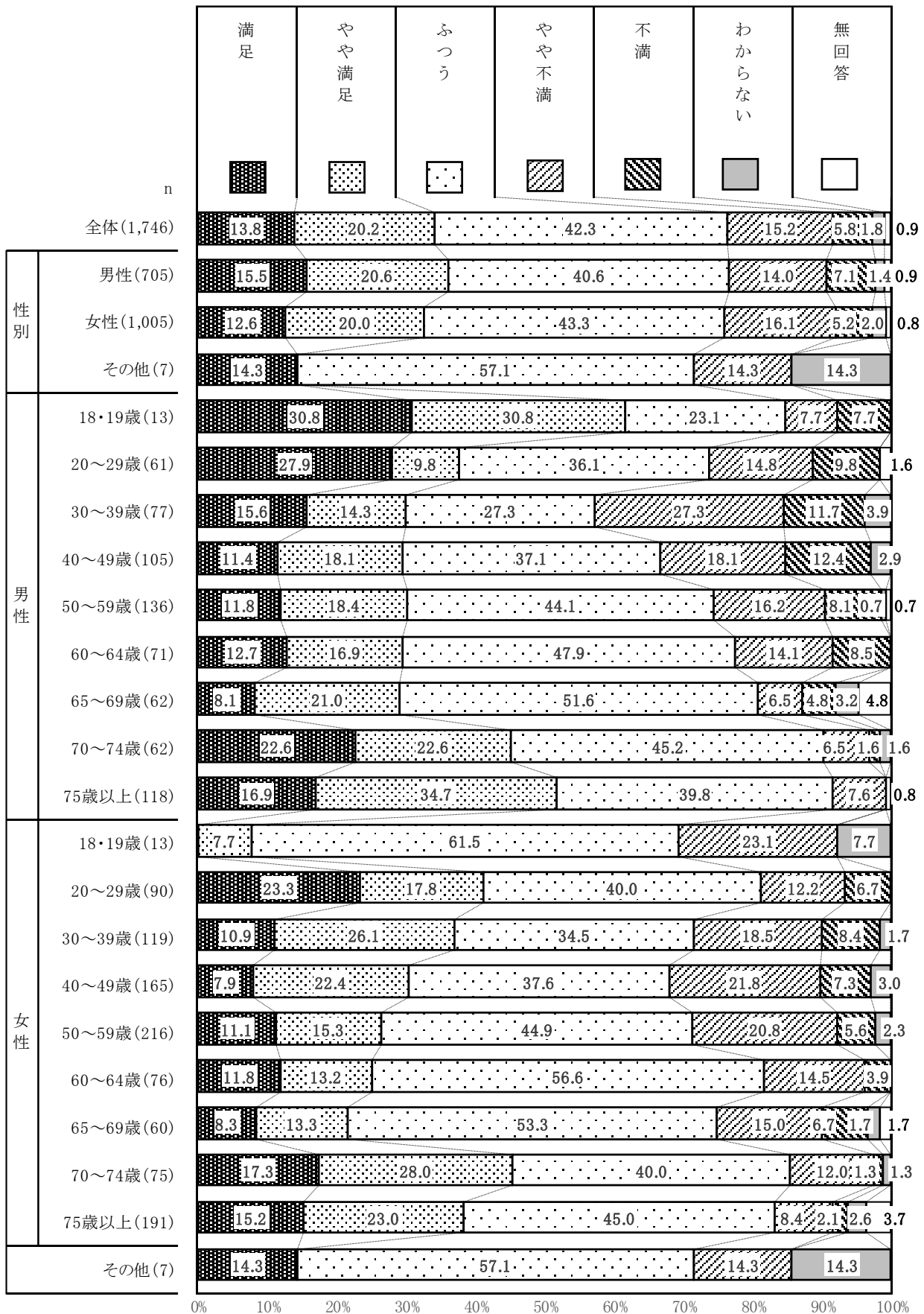
【⑩ 地域の治安・安全性／性・年齢別】

「満足」は男性(15.5%)が女性(12.6%)より 2.9ポイント高いが、「不満」も男性(7.1%)は女性(5.2%)より1.9ポイント高くなっている。「やや不満」は女性(16.1%)が男性(14.0%)より2.1ポイント高い。

男性において、「満足」は20～29歳(27.9%)が3割近くで最も高く、次いで70～74歳(22.6%)が2割強で高くなっている。「やや満足」は75歳以上(34.7%)が3割台半ばで高く、「満足」との合計が5割を超える。「不満」や「やや不満」は30歳代、40歳代が合計で3割を超えて高くなっている。

女性において、「満足」は20～29歳(23.3%)が2割強で最も高く、次いで70～74歳(17.3%)が2割近くで高くなっている。「やや満足」は70～74歳(28.0%)が3割近くで最も高く、「満足」との合計が4割台半ばに達する。「不満」や「やや不満」は30歳代～50歳代が合計で3割近くと高くなっている。(図表2-30)

<図表2-30>⑩ 地域の治安・安全性／性・年齢別



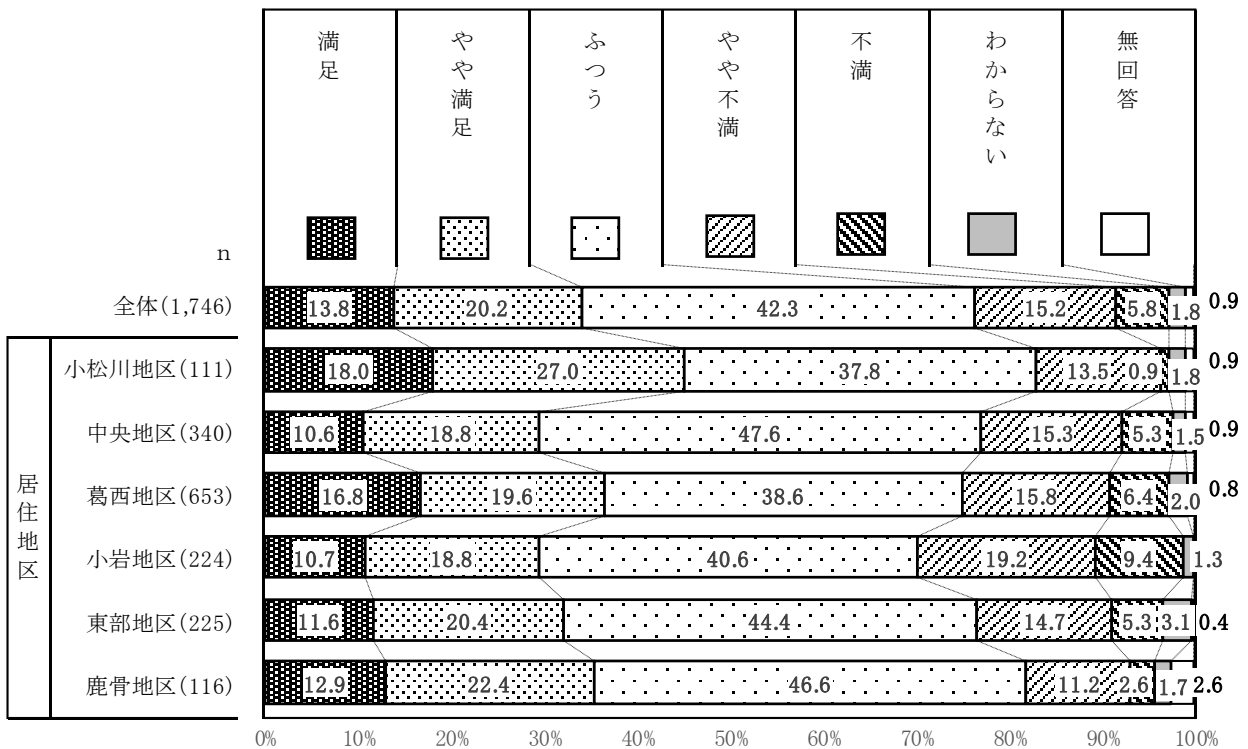
【⑩ 地域の治安・安全性／居住地区別】

「満足」は小松川地区(18.0%)、葛西地区(16.8%)が2割近くで高く、小松川地区は「やや満足」も 27.0%と高くなっていて合計が4割台半ばに達する。

一方、「不満」は小岩地区(9.4%)が1割弱で最も高く、「やや不満」も 19.2%と高く合計は3割弱になる。

(図表2-31)

＜図表2-31＞⑩ 地域の治安・安全性／居住地区別

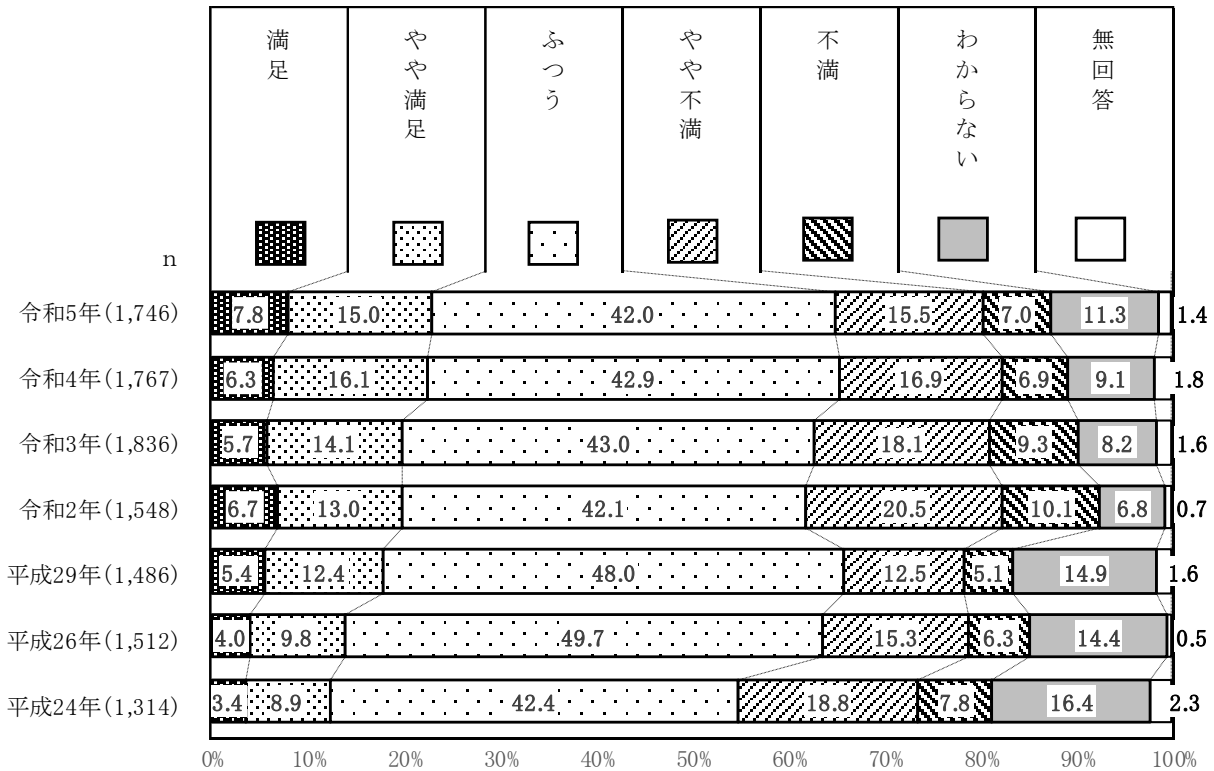


【⑪ 災害への備え／時系列比較】

令和4年と比較すると「満足」が 1.5 ポイント増加し、「やや満足」は 1.1 ポイント減少している。「満足」、「やや満足」の合計は平成 24 年以降増加傾向にある。

一方、「やや不満」は 1.4 ポイント減少している。(図表2-32)

＜図表2-32＞⑪ 災害への備え／時系列比較



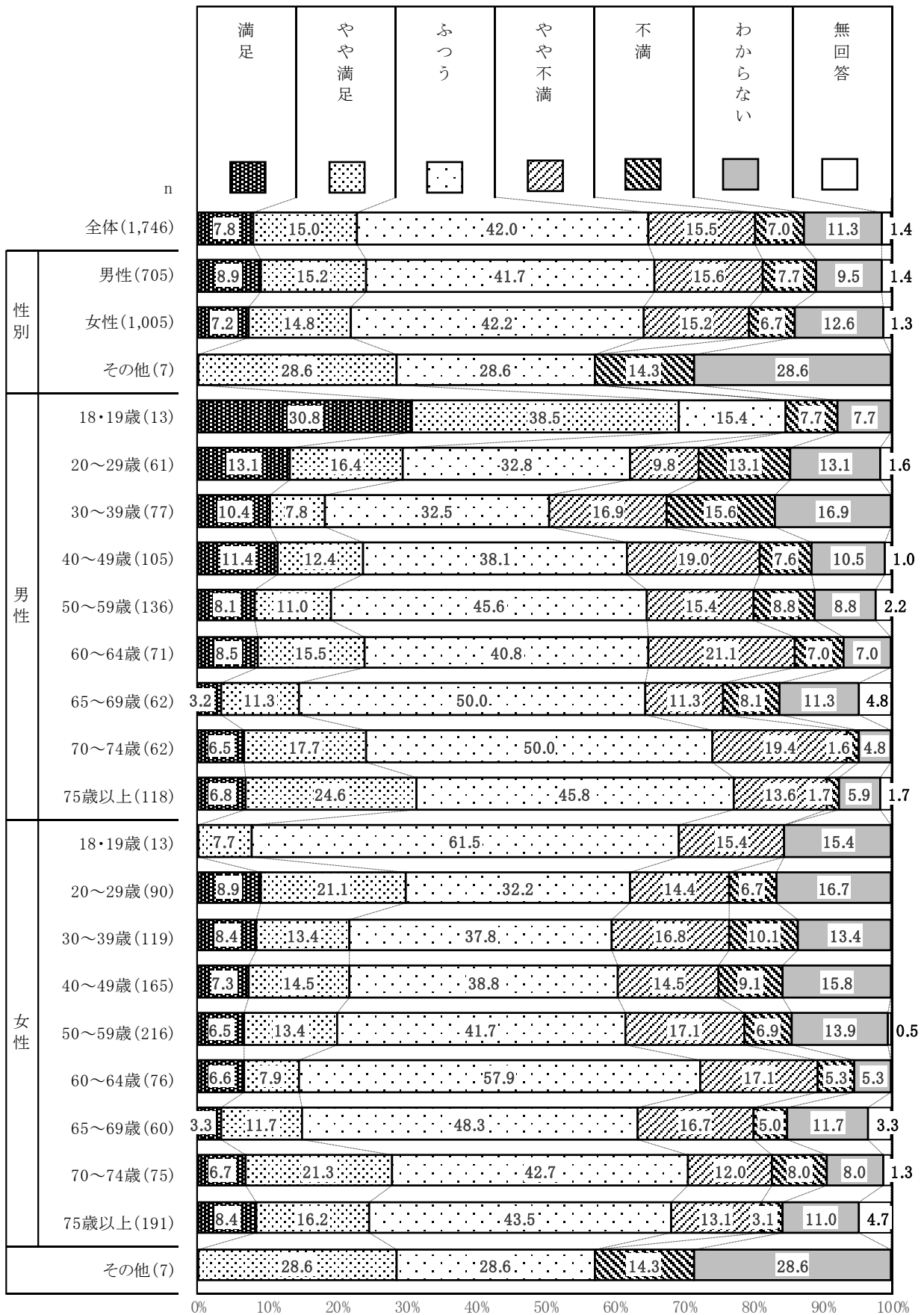
【⑫ 災害への備え／性・年齢別】

「満足」は男性(8.9%)が女性(7.2%)より 1.7 ポイント高いが、「不満」も男性(7.7%)が女性(6.7%)より 1.0 ポイント高くなっている。

男性において、「満足」は 20～29 歳(13.1%)が特に高く、若年層ほど高い傾向にあるが、「不満」も 20～29 歳(13.1%)、30～39 歳(15.6%)で高い。

女性において、60 歳代までは「満足」、「やや満足」は若年層ほど高い傾向にあるが、70 歳代以降も「満足」、「やや満足」の合計が2割台半ばに達し高くなっている。(図表2-33)

<図表2-33>⑪ 災害への備え／性・年齢別



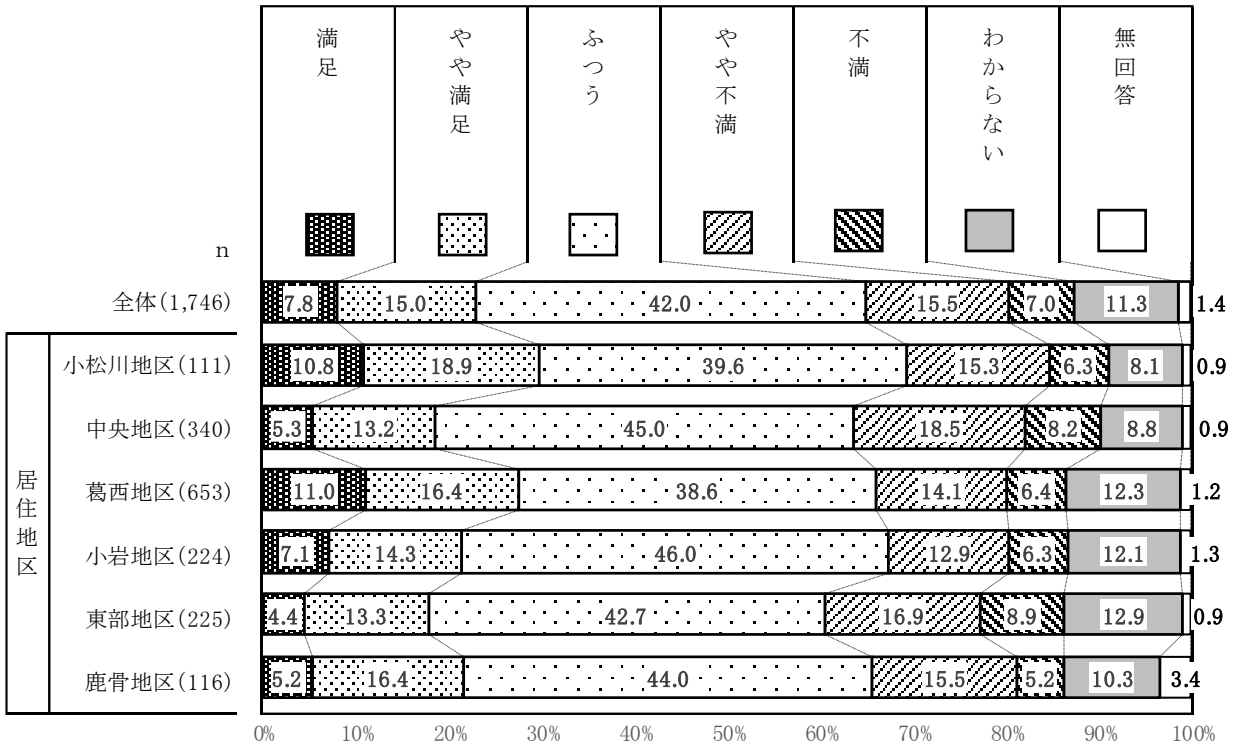
【⑪ 災害への備え／居住地区別】

「満足」は小松川地区(10.8%)、葛西地区(11.0%)で1割を超え、「やや満足」との合計も3割弱と高くなっている。

一方、「不満」、「やや不満」の合計は中央地区、東部地区で2割台半ばに達し、他の地区より高い。

(図表2-34)

<図表2-34>⑪ 災害への備え／居住地区別

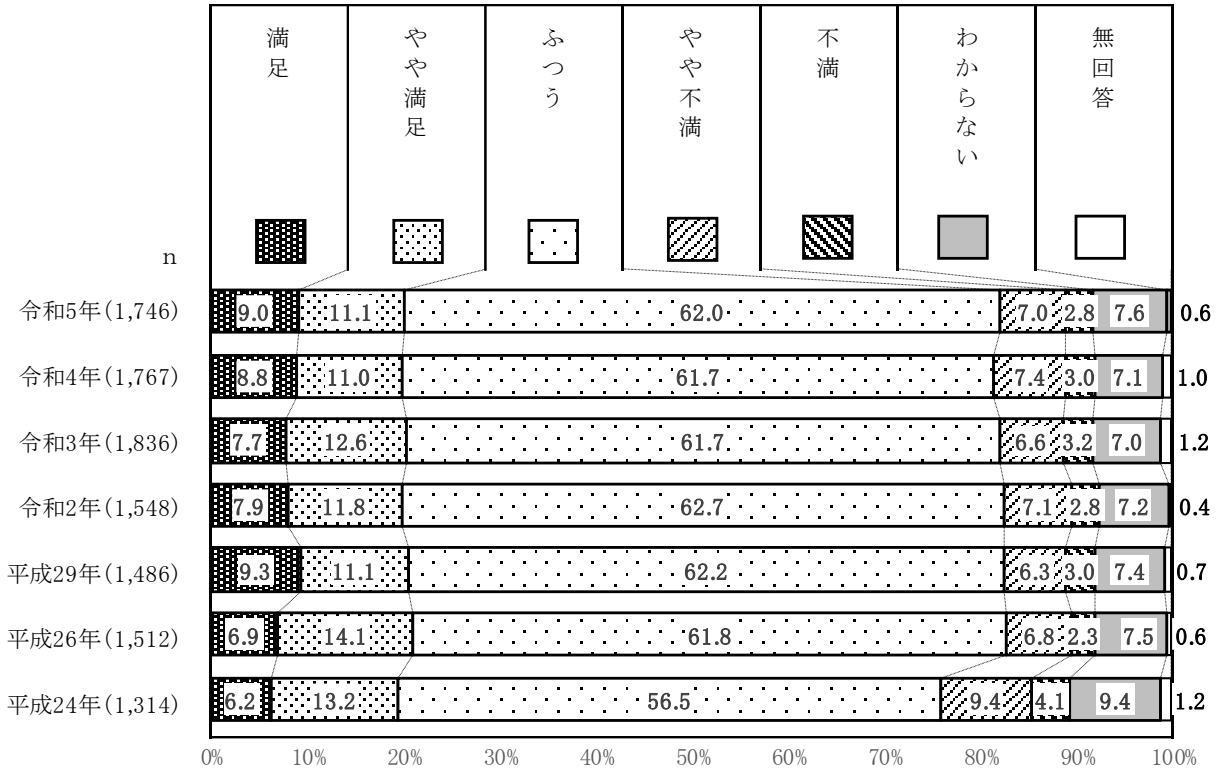


【⑫ 近所づきあい／時系列比較】

令和4年と比較すると「満足」、「やや満足」はほぼ変わらない。

一方、「不満」は0.2ポイント、「やや不満」は0.4ポイント減少している。(図表2-35)

＜図表2-35＞⑫ 近所づきあい／時系列比較



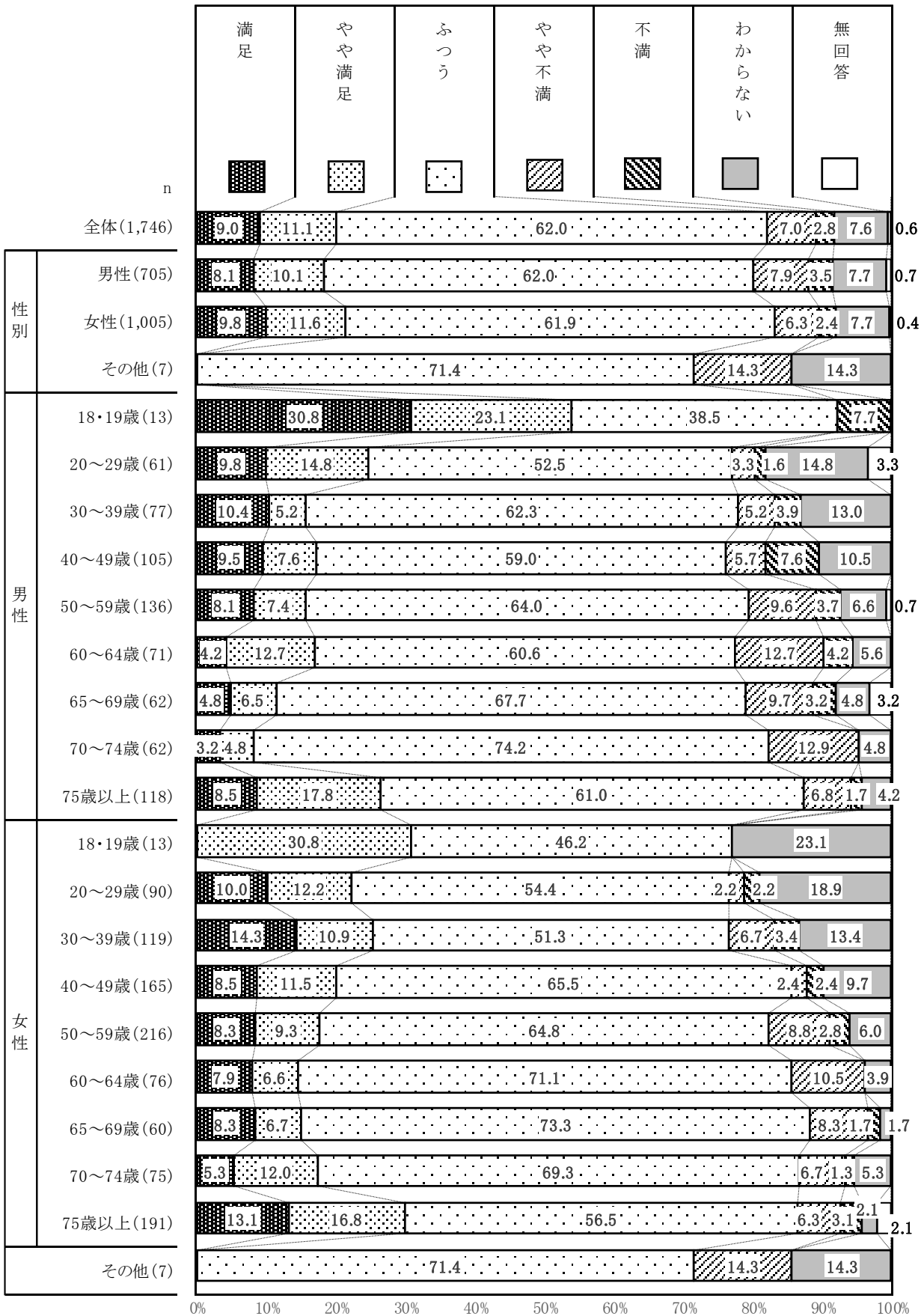
【⑫ 近所づきあい／性・年齢別】

「満足」は女性(9.8%)が男性(8.1%)より1.7ポイント、「やや満足」も女性(11.6%)が男性(10.1%)より1.5ポイント高い。「不満」は男性(3.5%)が女性(2.4%)より1.1ポイント、「やや不満」も男性(7.9%)が女性(6.3%)より1.6ポイント高くなっている。

男性において、「満足」は50歳代以下と75歳以上が1割前後で高く、「やや満足」は75歳以上(17.8%)が2割近くで最も高い。20～29歳と75歳以上は「満足」、「やや満足」の合計が2割を超えている。「不満」は40～49歳(7.6%)が最も高い。

女性において、「満足」は20～29歳(10.0%)、30～39歳(14.3%)、75歳以上(13.1%)が1割を超えて高くなっている。「やや満足」は75歳以上(16.8%)が2割近くで高い。「やや不満」は50歳代～60歳代で1割前後と他の年代より高くなっている。(図表2-36)

＜図表2-36＞⑫ 近所づきあい／性・年齢別

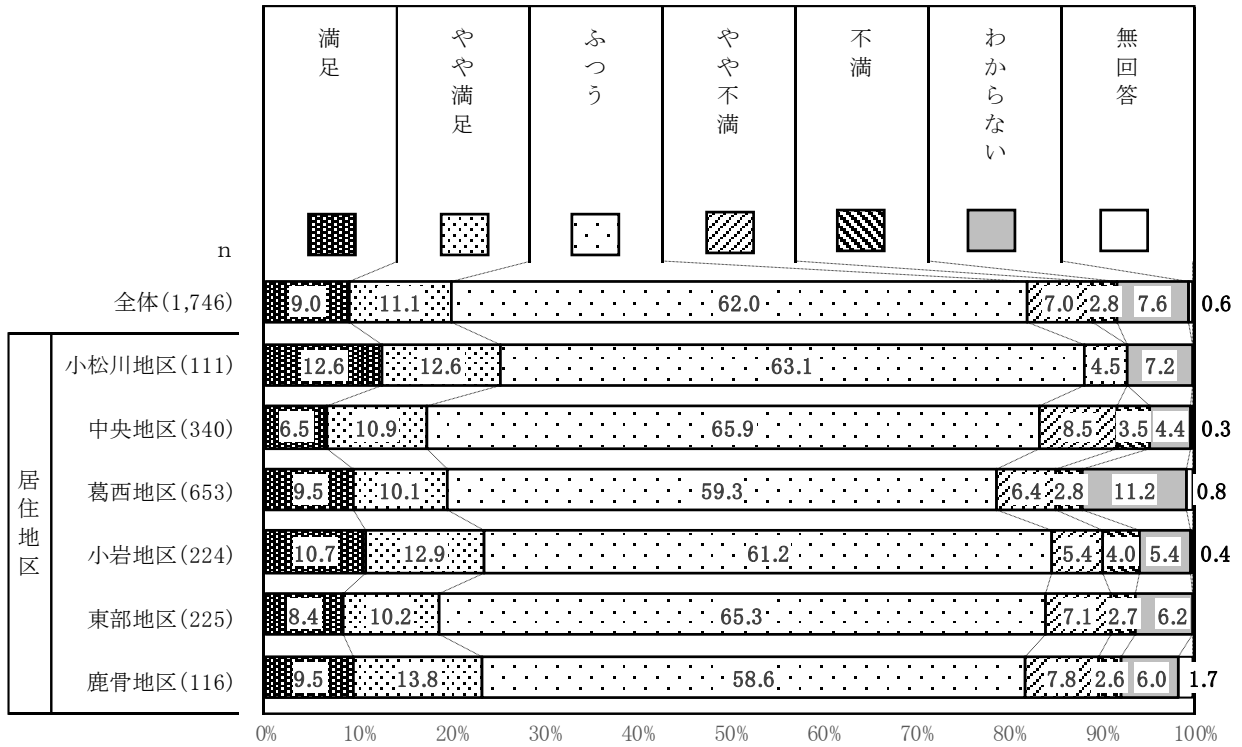


【⑫ 近所づきあい／居住地区別】

「満足」は小松川地区(12.6%)、小岩地区(10.7%)が1割を超えて高くなっている。

一方、「不満」、「やや不満」の合計が中央地区、鹿骨地区は1割を超えている。(図表2-37)

<図表2-37>⑫ 近所づきあい／居住地区別

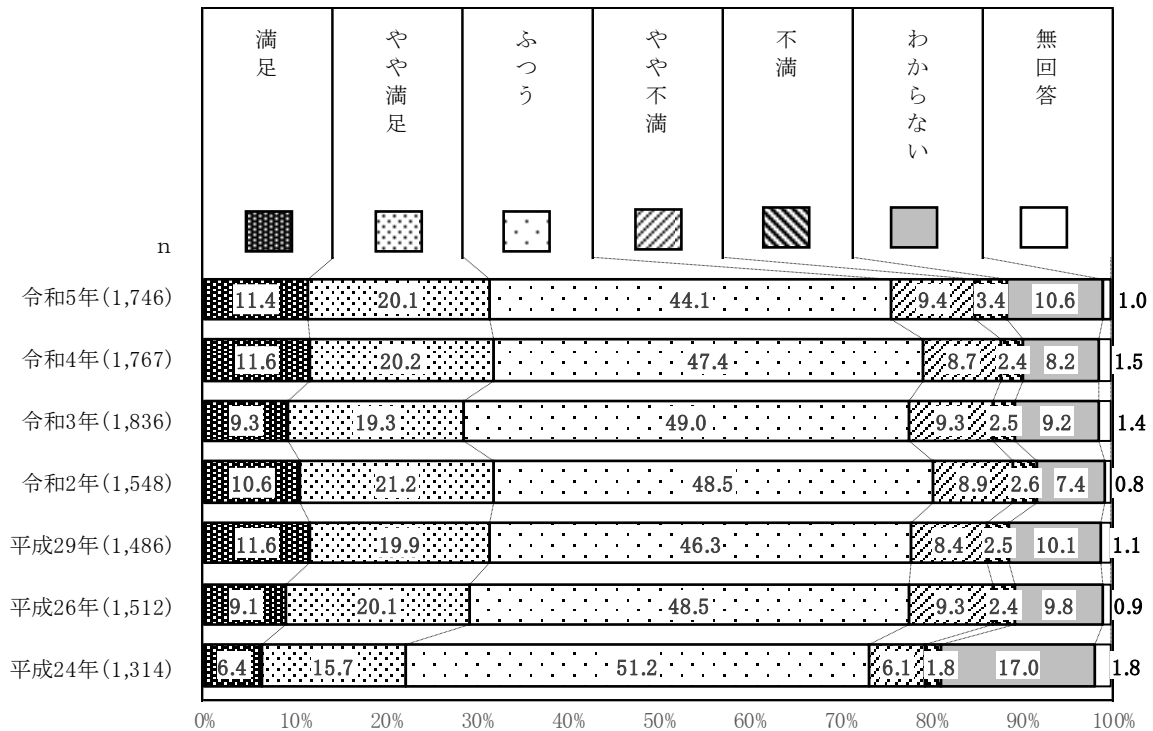


【⑬ 文化施設の充実度／時系列比較】

令和4年と比較すると「満足」や「やや満足」はほぼ変わらない。

一方、「不満」は1.0ポイント、「やや不満」は0.7ポイント増加している。(図表2-38)

＜図表2-38＞⑬ 文化施設の充実度／時系列比較



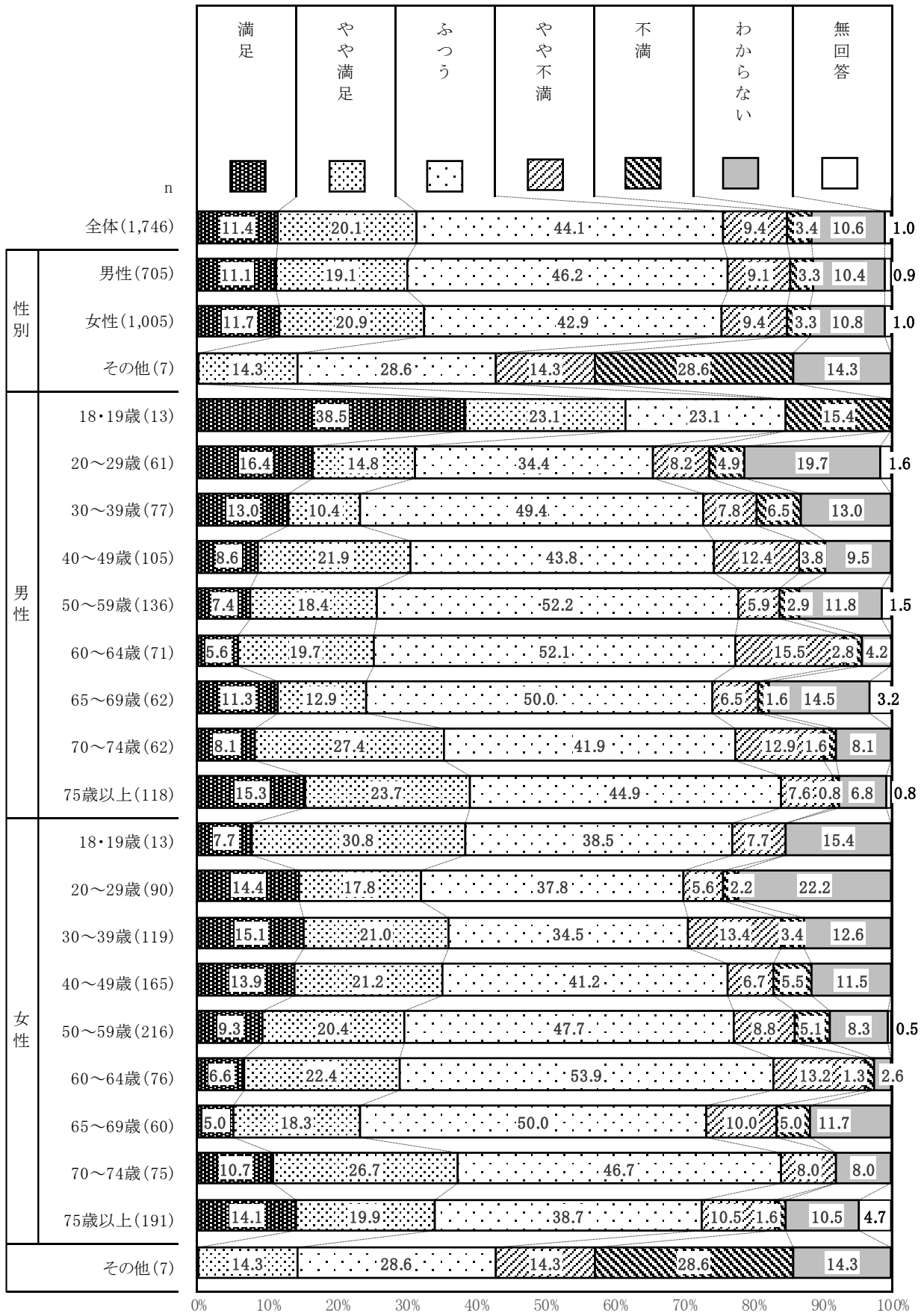
【⑬ 文化施設の充実度／性・年齢別】

「満足」は女性(11.7%)が男性(11.1%)より 0.6 ポイント、「やや満足」も女性(20.9%)が男性(19.1%)より 1.8 ポイント高い。「不満」、「やや不満」はほぼ変わらない。

男性において、「満足」は 20～29 歳(16.4%)、75 歳以上(15.3%)が、「やや満足」は 70～74 歳(27.4%)が特に高い。60～64 歳は「満足」が 5.6%と他の年代に比べて低く、「やや不満」が 15.5%と特に高い。

女性において、「満足」は 20～29 歳(14.4%)、30～39 歳(15.1%)、40～49 歳(13.9%)、75 歳以上(14.1%)が、「やや満足」は 70～74 歳(26.7%)が特に高い。60 歳代は「満足」が他の年代に比べて低い。「やや不満」は 30～39 歳(13.4%)、60～64 歳(13.2%)が他の年代に比べて高くなっている。(図表2-39)

<図表2-39>⑬ 文化施設の充実度／性・年齢別



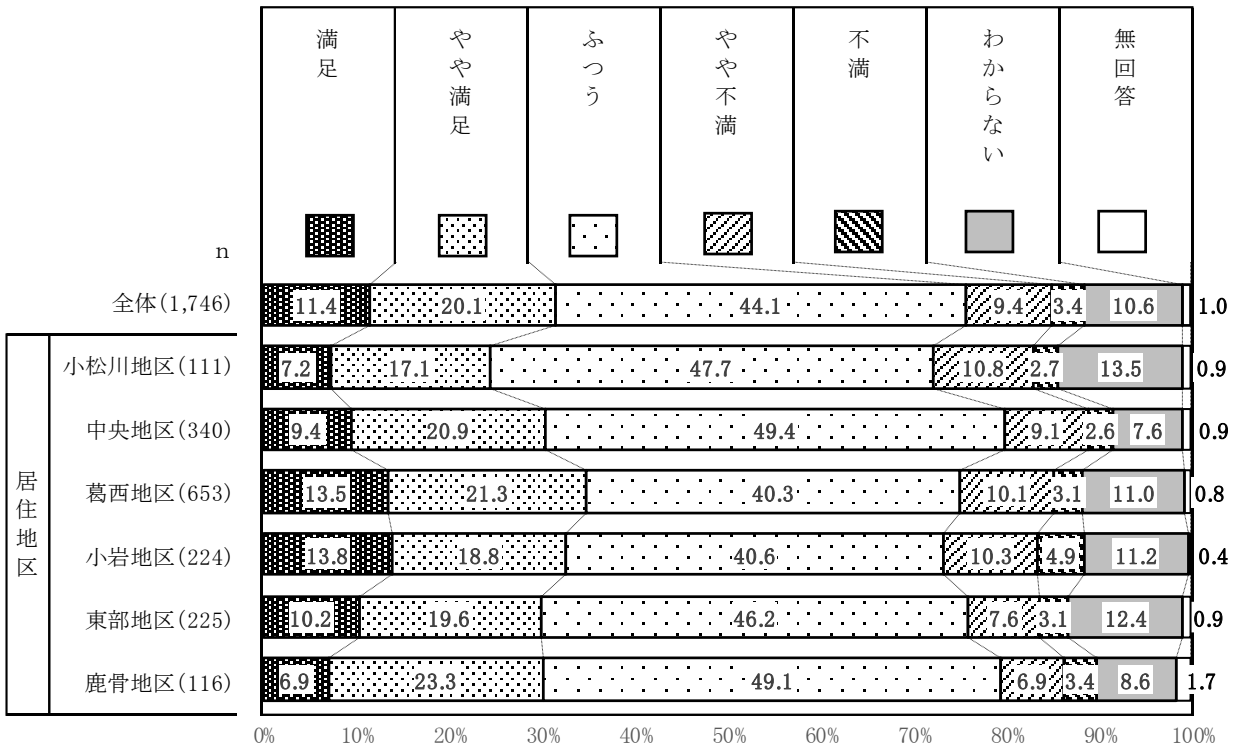
【⑬ 文化施設の充実度／居住地区別】

「満足」は葛西地区(13.5%)、小岩地区(13.8%)が、「やや満足」は鹿骨地区(23.3%)が他の地区に比べて高くなっている。

一方、「やや不満」は小松川地区(10.8%)、葛西地区(10.1%)、小岩地区(10.3%)が1割を超えて高い。

(図表2-40)

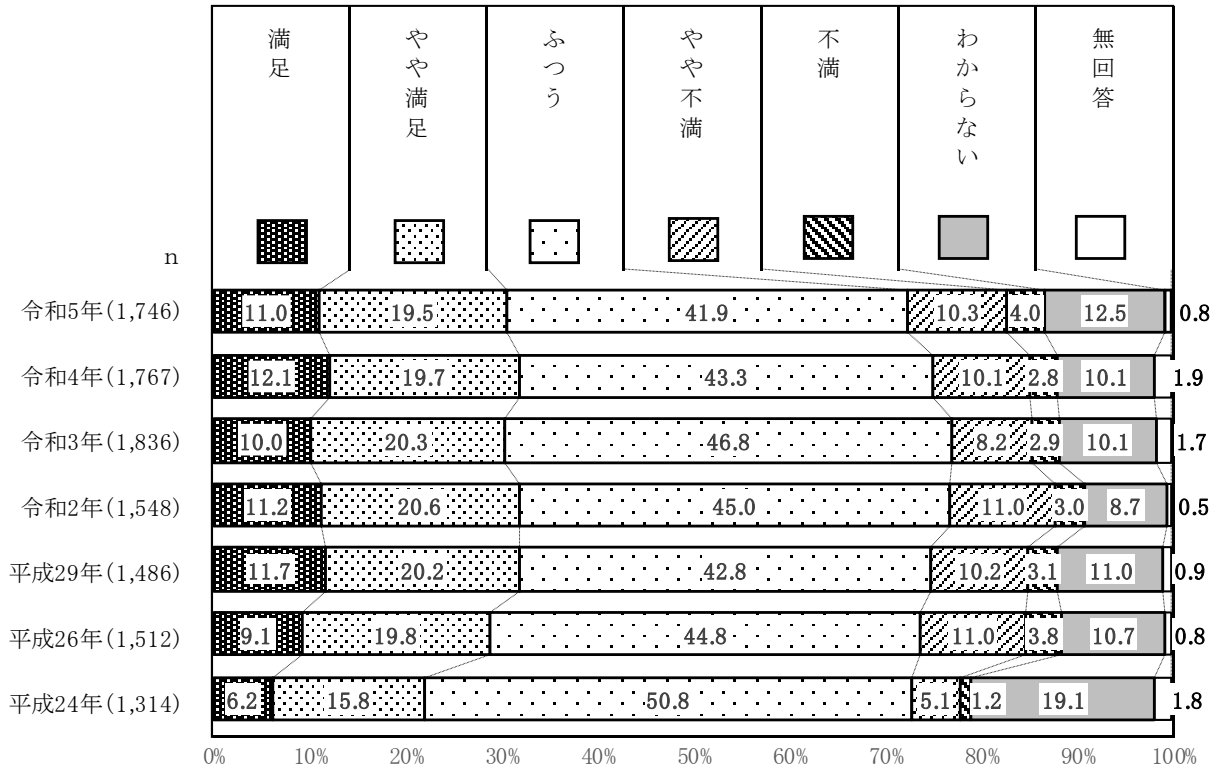
<図表2-40>⑬ 文化施設の充実度／居住地区別



【⑭ スポーツ施設の充実度／時系列比較】

令和4年と比較すると「満足」が1.1ポイント、「やや満足」が0.2ポイント減少している。
一方、「不満」は1.2ポイント、「やや不満」は0.2ポイント増加している。(図表2-41)

＜図表2-41＞⑭ スポーツ施設の充実度／時系列比較



【⑭ スポーツ施設の充実度／性・年齢別】

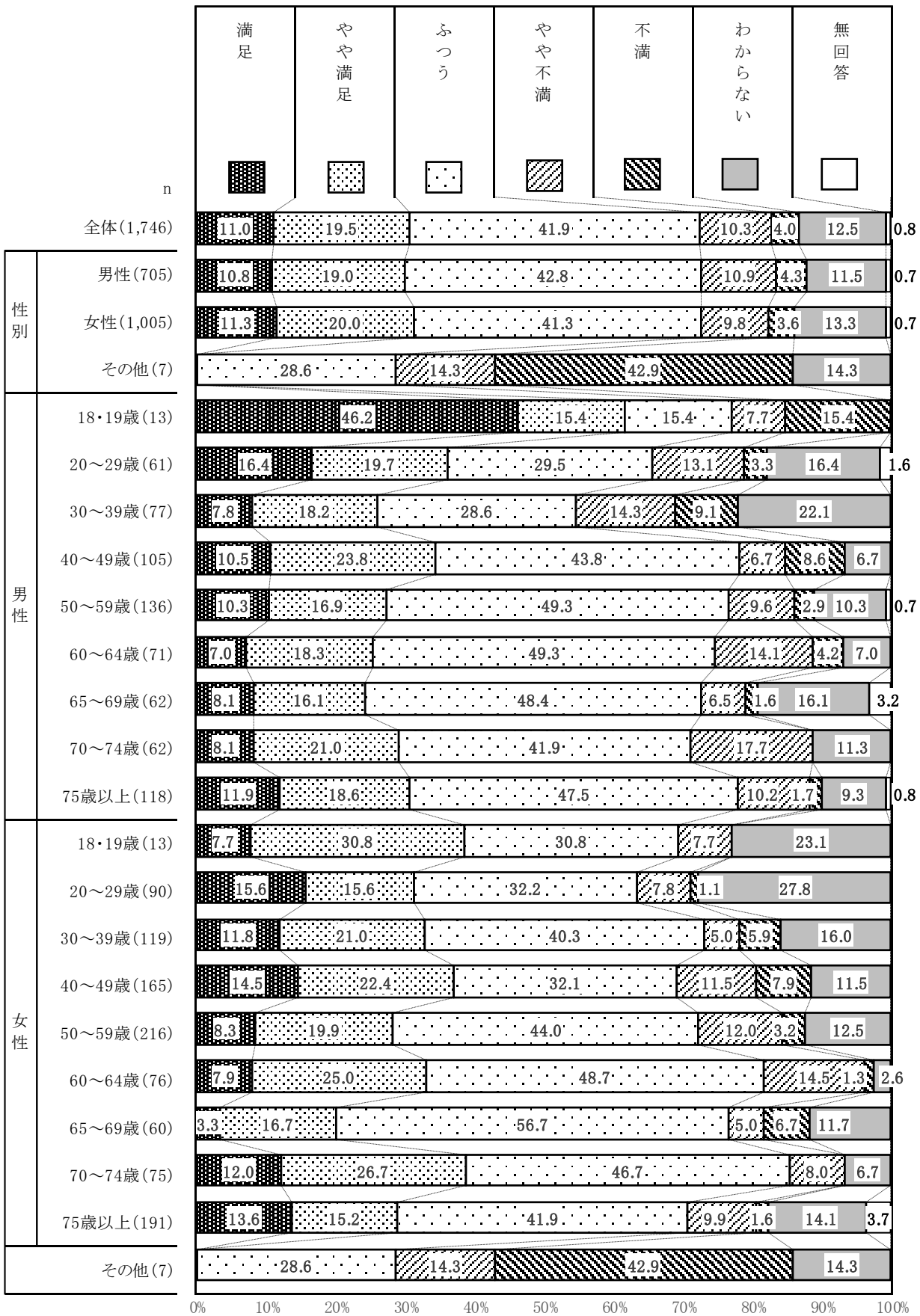
「満足」は女性(11.3%)が男性(10.8%)より0.5ポイント、「やや満足」も女性(20.0%)が男性(19.0%)より1.0ポイント高い。「不満」は男性(4.3%)が女性(3.6%)より0.7ポイント、「やや不満」も男性(10.9%)が女性(9.8%)より1.1ポイント高くなっている。

男性において、「満足」は20～29歳(16.4%)が、「やや満足」は40～49歳(23.8%)、70～74歳(21.0%)が他の年代に比べて高い。「不満」、「やや不満」の合計は30～39歳が2割強と特に高くなっている。

女性において、「満足」は20～29歳(15.6%)、40～49歳(14.5%)が、「やや満足」は60～64歳(25.0%)、70～74歳(26.7%)が特に高い。「不満」、「やや不満」の合計は40～49歳が2割弱で特に高くなっている。

(図表2-42)

＜図表2-42＞⑭ スポーツ施設の充実度／性・年齢別

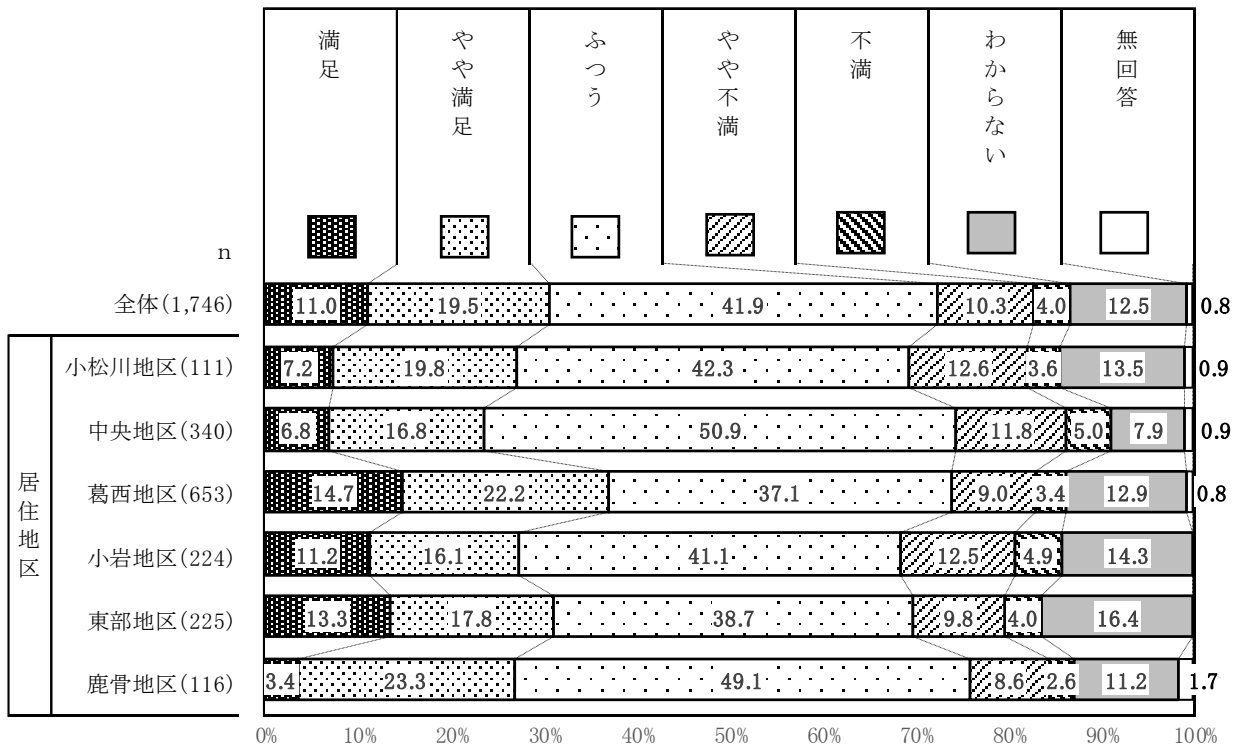


【⑭ スポーツ施設の充実度／居住地区別】

「満足」は葛西地区(14.7%)が特に高く、小岩地区(11.2%)、東部地区(13.3%)も1割を超えて高い。「やや満足」は葛西地区(22.2%)、鹿骨地区(23.3%)が特に高くなっている。

一方、「不満」、「やや不満」の合計が小松川地区、中央地区、小岩地区は2割近くと他の地区に比べて高い。(図表2-43)

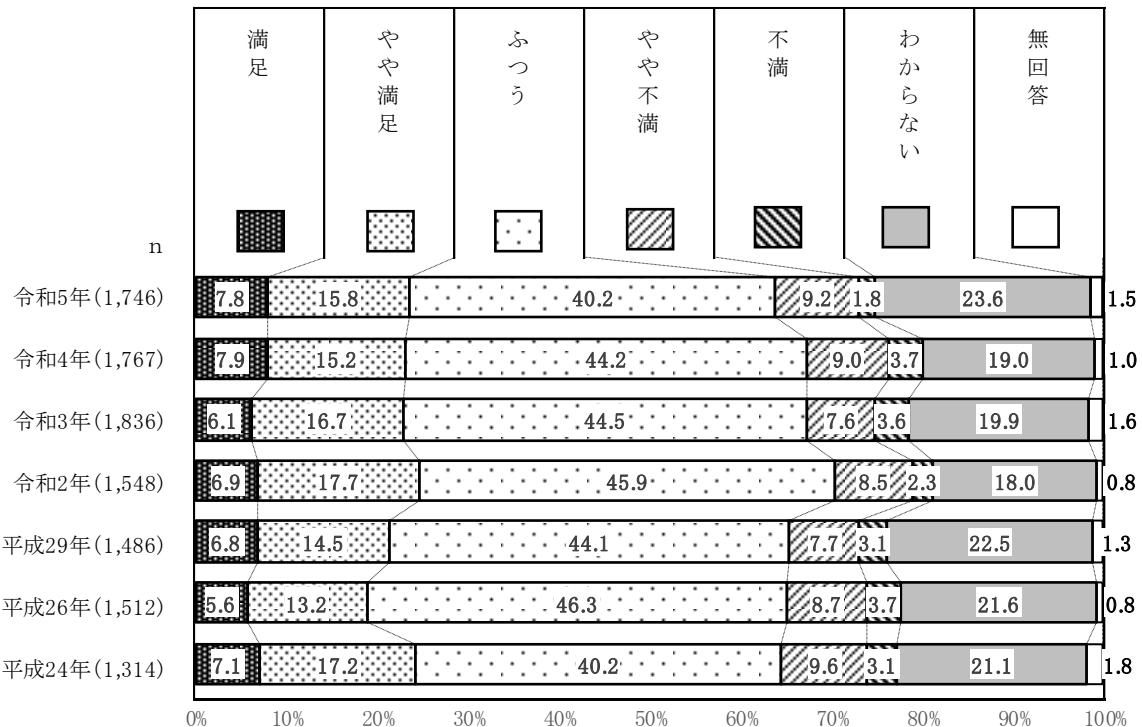
<図表2-43>⑭ スポーツ施設の充実度／居住地区別



【15 熟年者の生活環境／時系列比較】

令和4年と比較すると「満足」はほぼ変わらず、「やや満足」が0.6ポイント増加している。
一方、「不満」は1.9ポイント減少している。(図表2-44)

＜図表2-44＞15 熟年者の生活環境／時系列比較



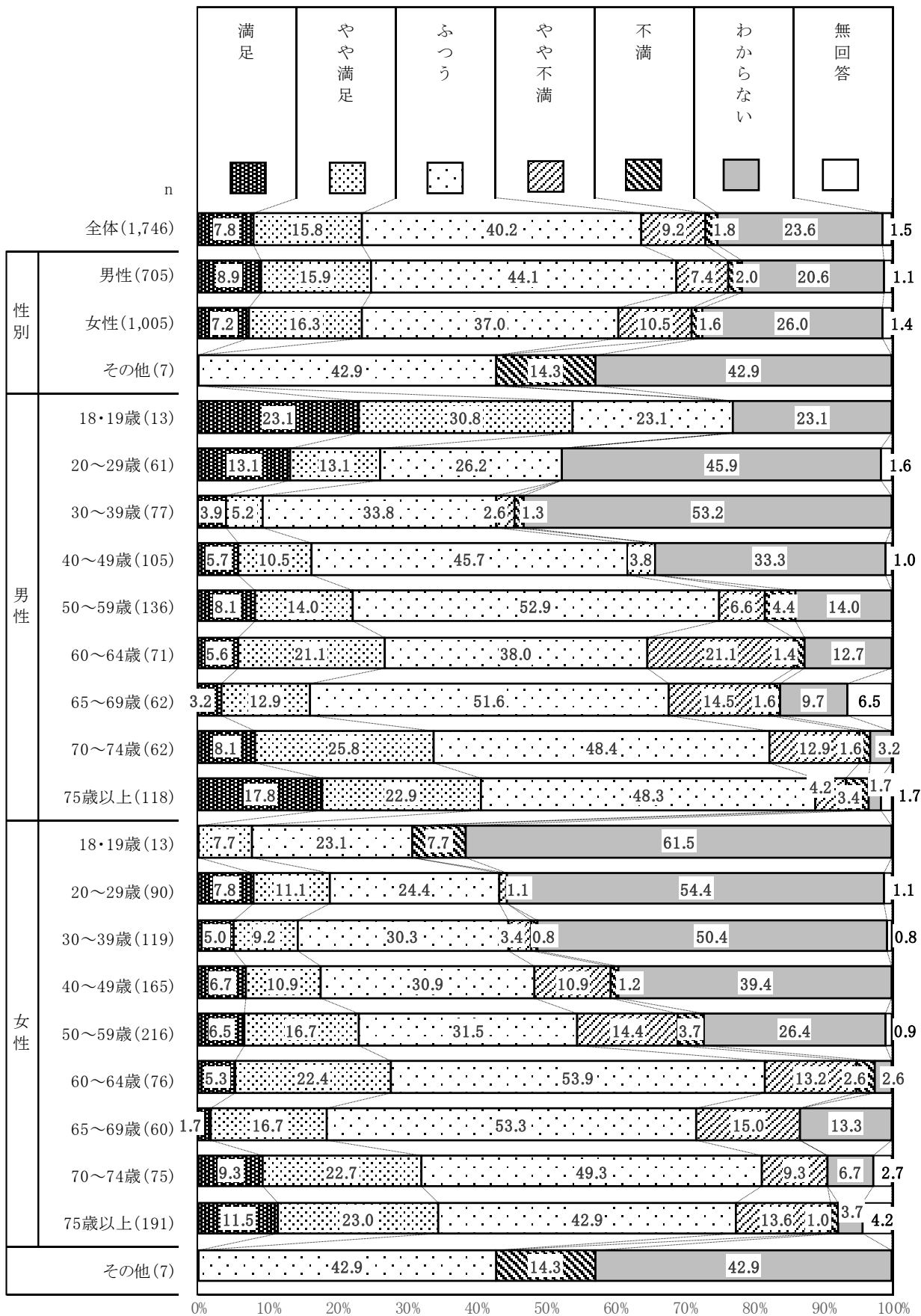
【15 熟年者の生活環境／性・年齢別】

「満足」は男性(8.9%)が女性(7.2%)より1.7ポイント高い。「やや不満」は女性(10.5%)が男性(7.4%)より3.1ポイント高くなっている。

男性において、「満足」は75歳以上(17.8%)が2割近くで他の年代に比べて特に高く、次いで20～29歳(13.1%)が高くなっている。「やや満足」は60～64歳(21.1%)、70～74歳(25.8%)、75歳以上(22.9%)が他の年代に比べて高い。「やや不満」は60～64歳(21.1%)が2割を超えて高くなっている。

女性において、「満足」は75歳以上(11.5%)が1割を超えて他の年代に比べて高い。「やや満足」は男性同様に、60～64歳(22.4%)、70～74歳(22.7%)、75歳以上(23.0%)が2割強と高くなっている。「やや不満」は50～59歳(14.4%)、65～69歳(15.0%)が1割台半ばで高くなっている。(図表2-45)

<図表2-45>⑮ 熟年者の生活環境／性・年齢別

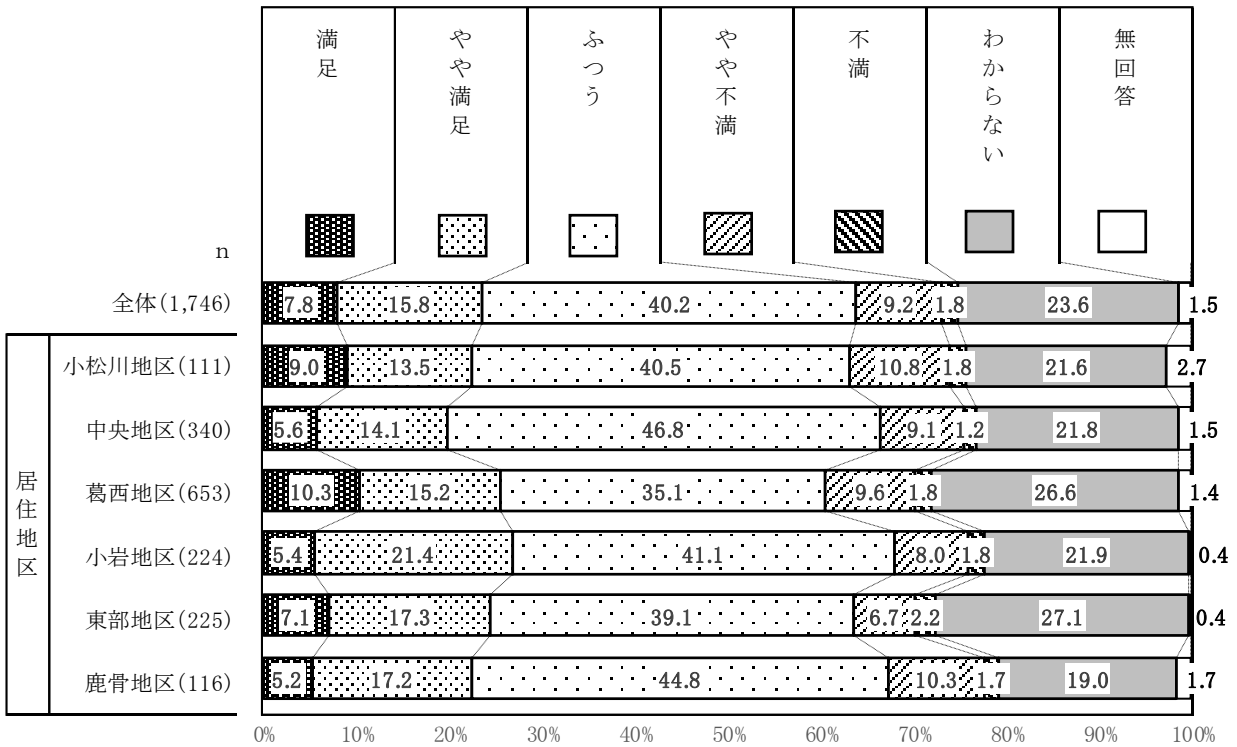


【⑮ 熟年者の生活環境／居住地区別】

「満足」は葛西地区(10.3%)が1割を超えて高い。「やや満足」は小岩地区(21.4%)が2割を超えて高く、「満足」との合計では小岩地区が3割近くで最も高くなっている。

一方、「やや不満」は小松川地区(10.8%)、鹿骨地区(10.3%)が1割を超えている。(図表2-46)

<図表2-46>⑮ 熟年者の生活環境／居住地区別

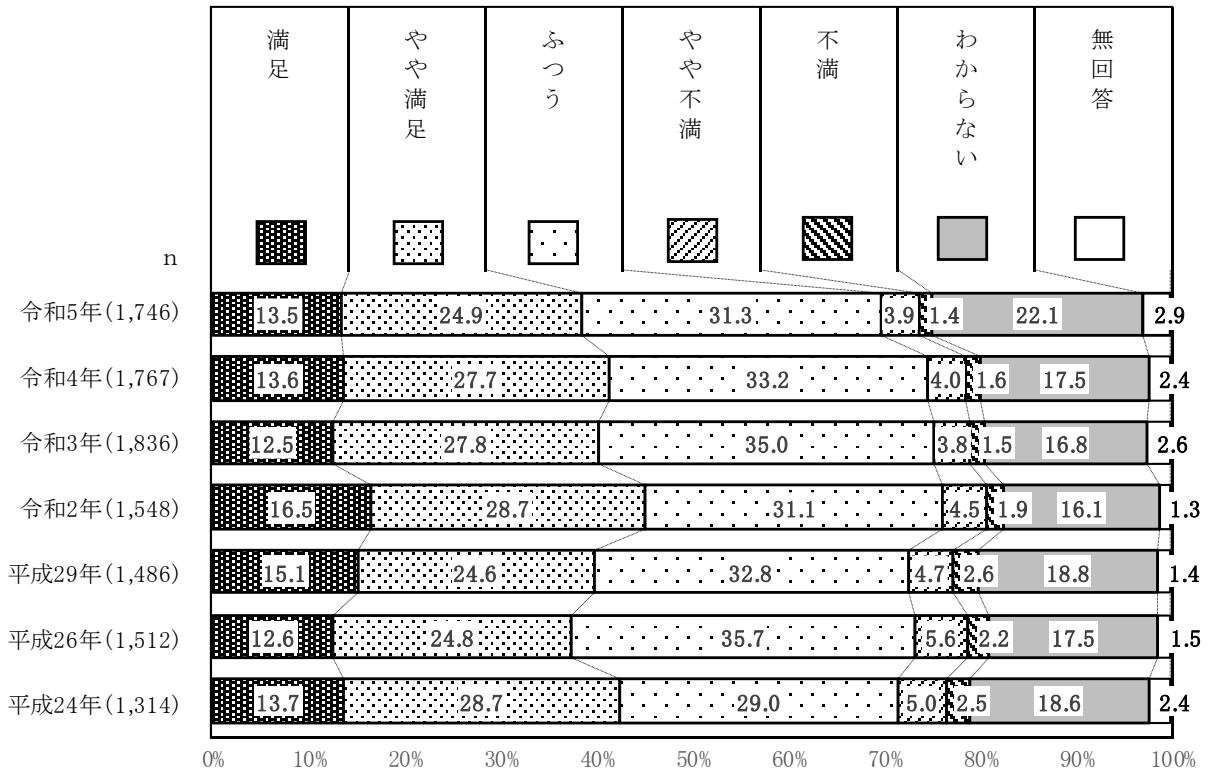


【16】子育て環境／時系列比較】

令和4年と比較すると「やや満足」が2.8ポイント減少している。

一方、「不満」、「やや不満」はほぼ変わらず、「わからない」が4.6ポイント増加している。(図表2-47)

＜図表2-47＞⑬ 子育て環境／時系列比較



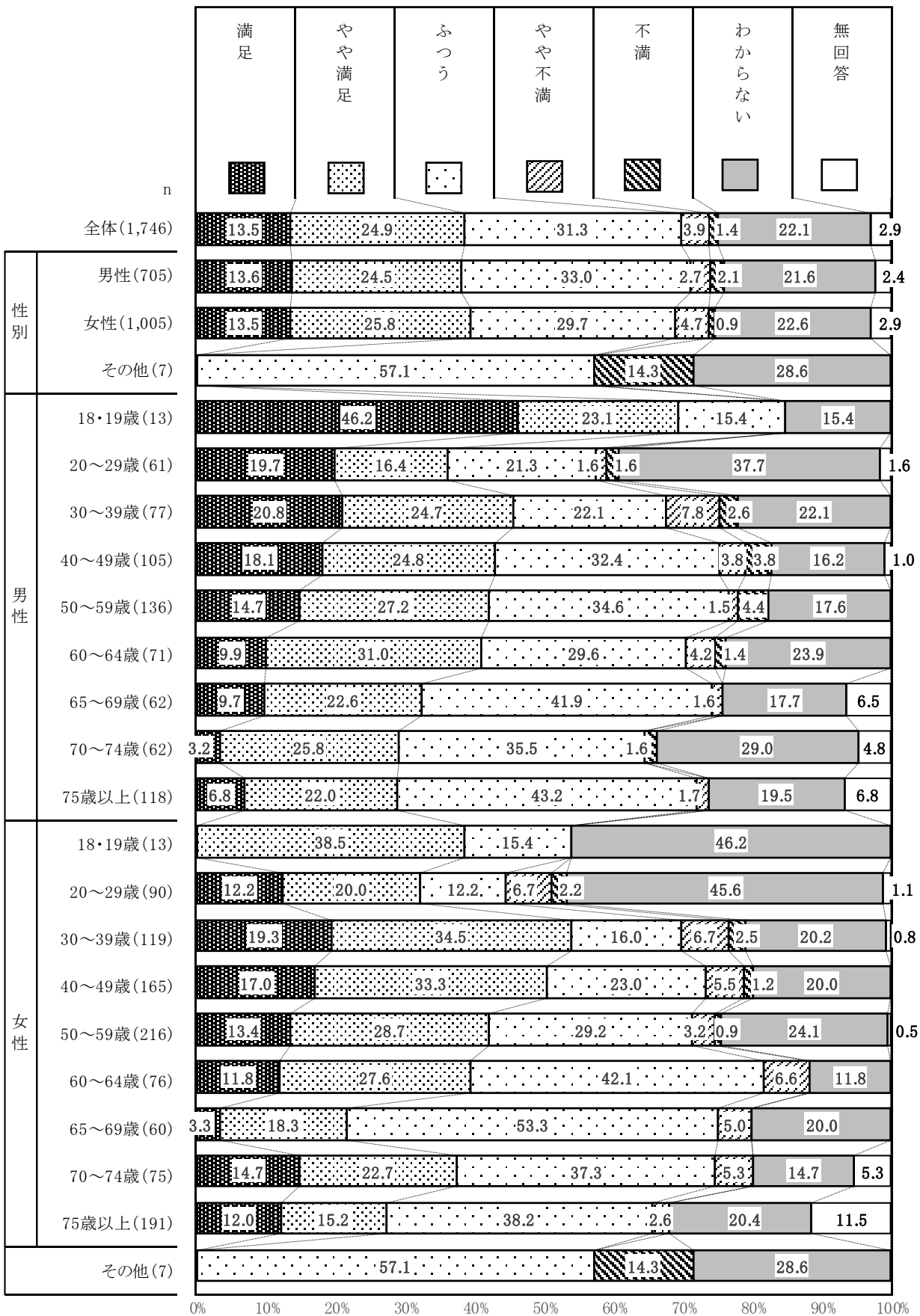
【16】子育て環境／性・年齢別】

「やや満足」は女性(25.8%)が男性(24.5%)より1.3ポイント高い。「やや不満」も女性(4.7%)が男性(2.7%)より2.0ポイント高くなっている。「不満」は男性(2.1%)が女性(0.9%)より1.2ポイント高い。

男性において、「満足」は30～39歳(20.8%)が最も高く、年代が下がるごとに高い傾向にある。「やや不満」は30～39歳(7.8%)が特に高い。

女性において、「満足」は男性同様に30～39歳(19.3%)が最も高く、年代が下がるごとに高い傾向にあるが、20～29歳は「満足」、「やや満足」ともに低い。65～69歳は「満足」が3.3%と特に低い。(図表2-48)

＜図表2-48＞⑯ 子育て環境／性・年齢別

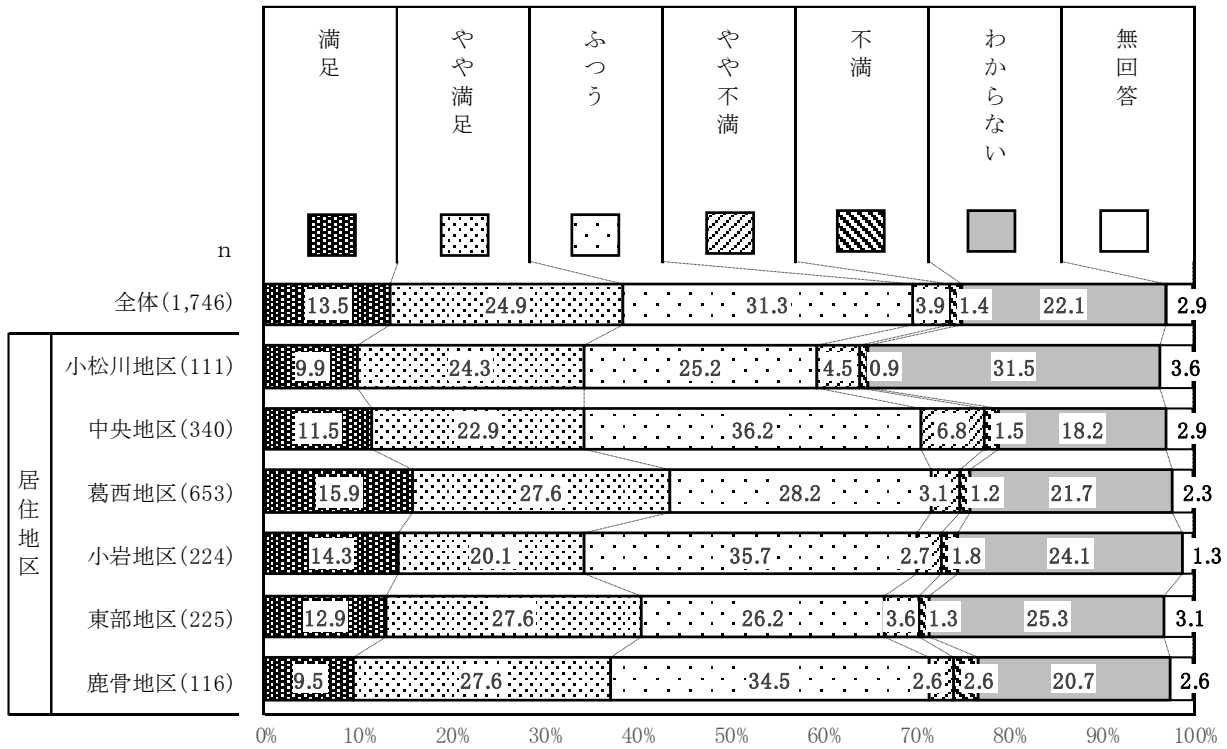


【⑩ 子育て環境／居住地区別】

「満足」は葛西地区(15.9%)、小岩地区(14.3%)が高く、「やや満足」は葛西地区、東部地区、鹿骨地区(ともに27.6%)が高い。

一方、「やや不満」は中央地区(6.8%)が特に高くなっている。(図表2-49)

<図表2-49>⑩ 子育て環境／居住地区別

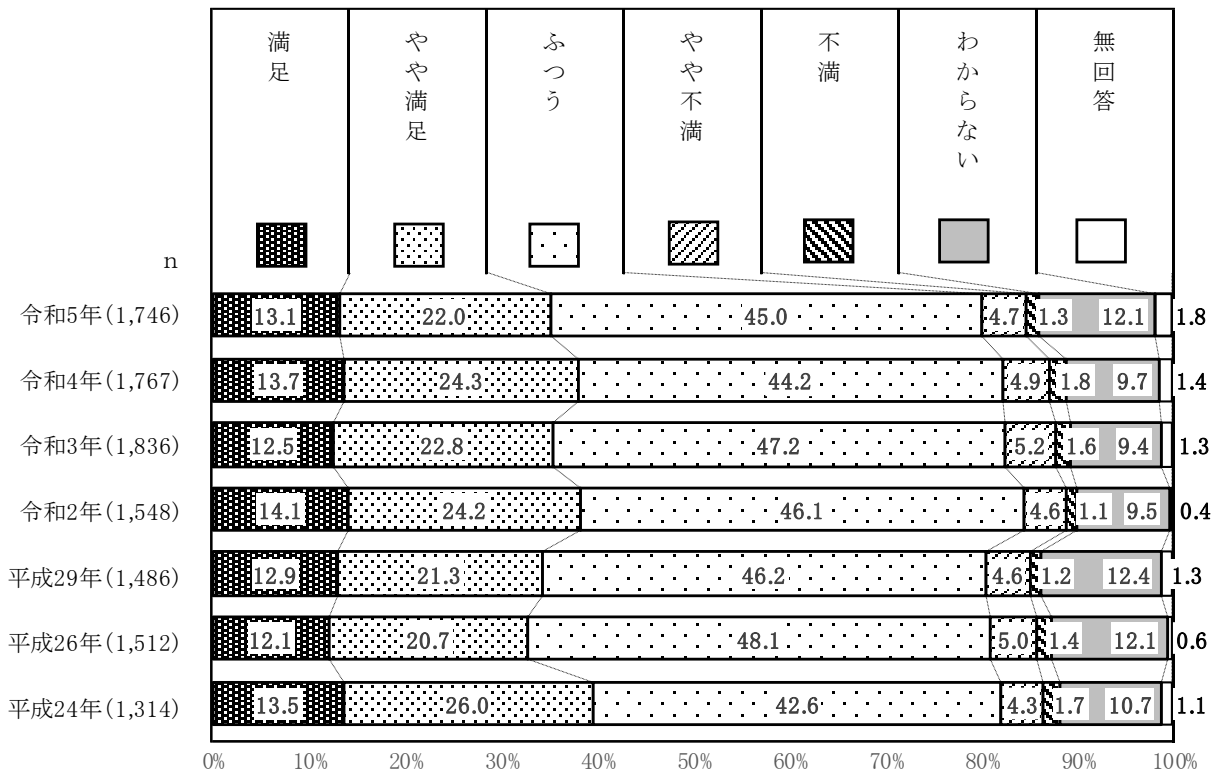


【⑰ 健康相談・健康診査／時系列比較】

令和4年と比較すると「満足」が0.6ポイント、「やや満足」が2.3ポイント減少している。

一方、「不満」や「やや不満」もそれぞれ減少し、「ふつう」は0.8ポイント、「わからない」は2.4ポイント増加している。(図表2-50)

＜図表2-50＞⑰ 健康相談・健康診査／時系列比較



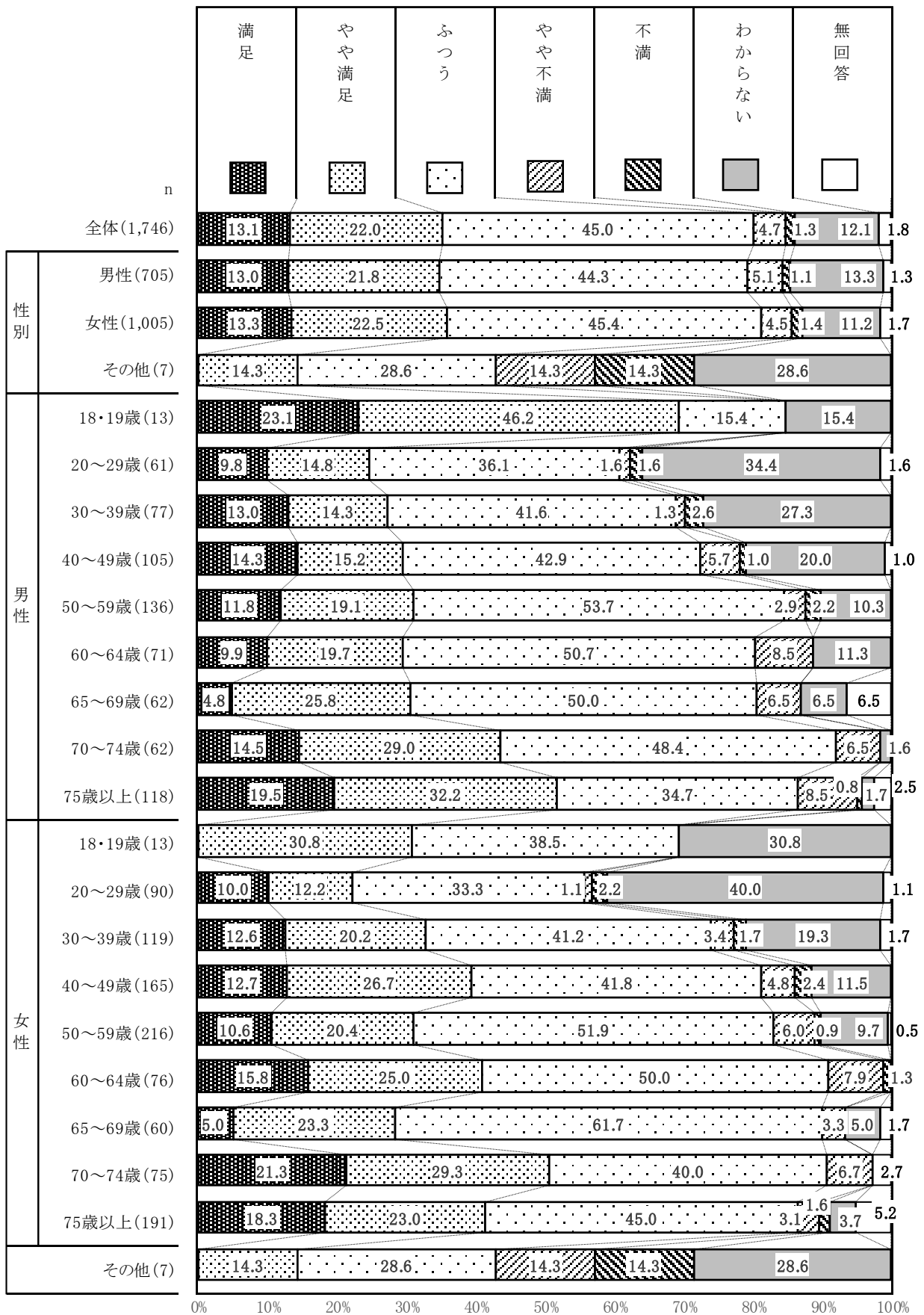
【⑰ 健康相談・健康診査／性・年齢別】

「満足」は女性(13.3%)が男性(13.0%)より0.3ポイント、「やや満足」も女性(22.5%)が男性(21.8%)より0.7ポイント高い。「不満」も女性(1.4%)が男性(1.1%)より0.3ポイント高いが、「やや不満」は男性(5.1%)が女性(4.5%)より0.6ポイント高い。

男性において、「満足」、「やや満足」ともに75歳以上が最も高く、合計は5割を超えるが、「やや不満」も60～64歳とともに8.5%で最も高い。

女性において、「満足」は70～74歳(21.3%)が最も高く、「やや満足」も29.3%と高く、合計は5割を超える。65～69歳は「満足」が5.0%で特に低い。「やや不満」は60～64歳(7.9%)が他の年代に比べて高くなっている。(図表2-51)

<図表2-51>⑰ 健康相談・健康診査／性・年齢別

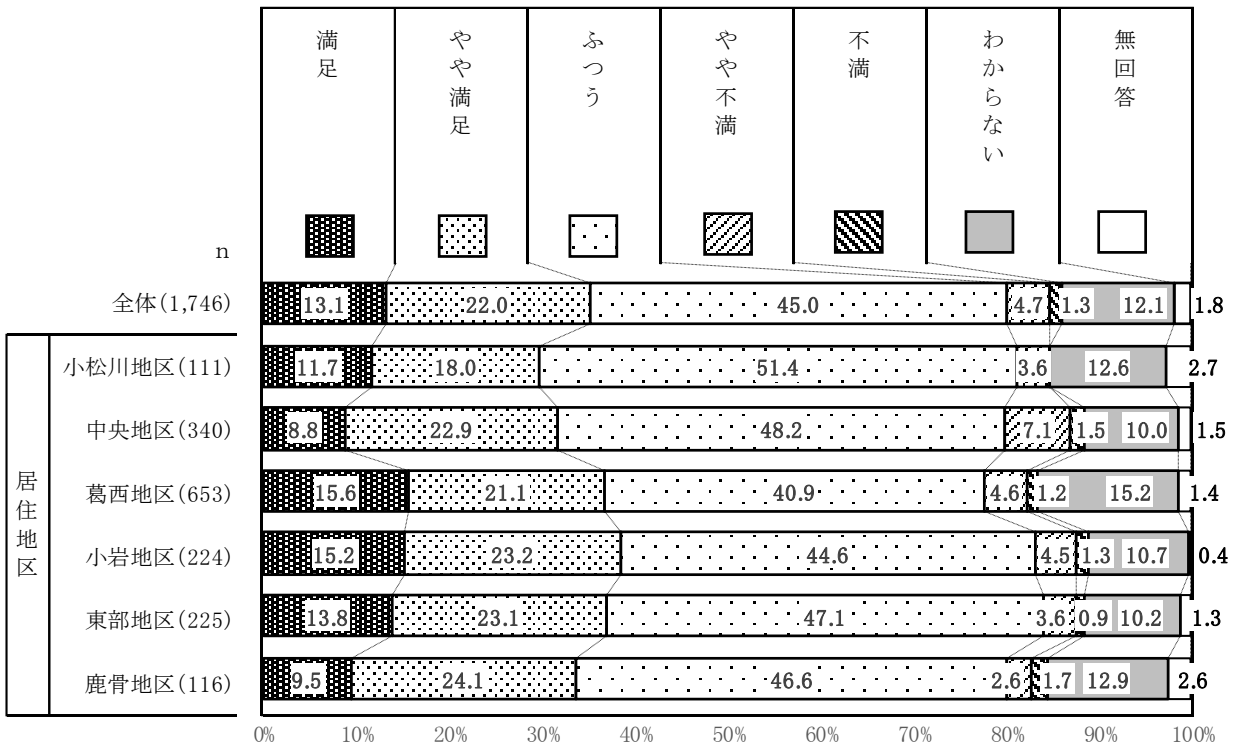


【⑰ 健康相談・健康診査／居住地区別】

「満足」は葛西地区(15.6%)、小岩地区(15.2%)が1割台半ばで高い。

一方、「やや不満」は中央地区(7.1%)が他の地区に比べて高くなっている。(図表2-52)

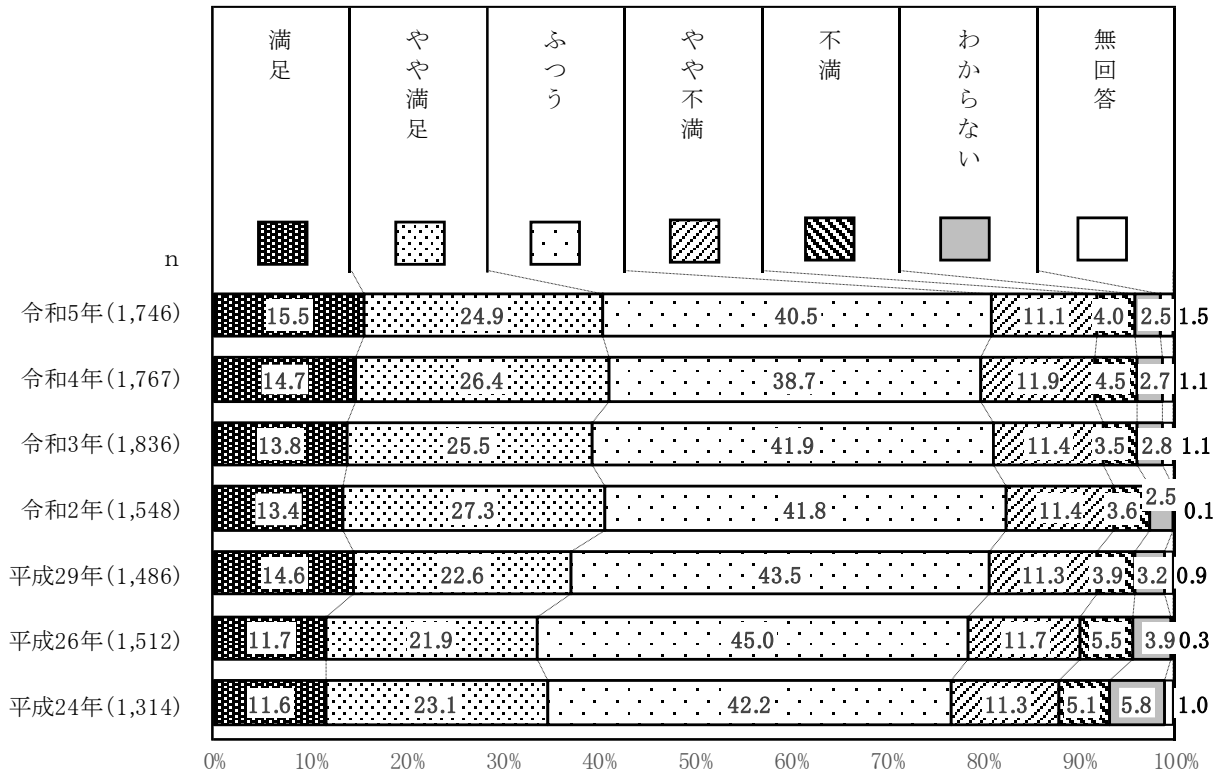
<図表2-52> ⑰ 健康相談・健康診査／居住地区別



【⑩ 病院・診療所の充実度／時系列比較】

令和4年と比較すると「満足」は0.8ポイント増加しているが、「やや満足」は1.5ポイント減少している。一方、「不満」は0.5ポイント、「やや不満」は0.8ポイント減少している。(図表2-53)

＜図表2-53＞⑩ 病院・診療所の充実度／時系列比較



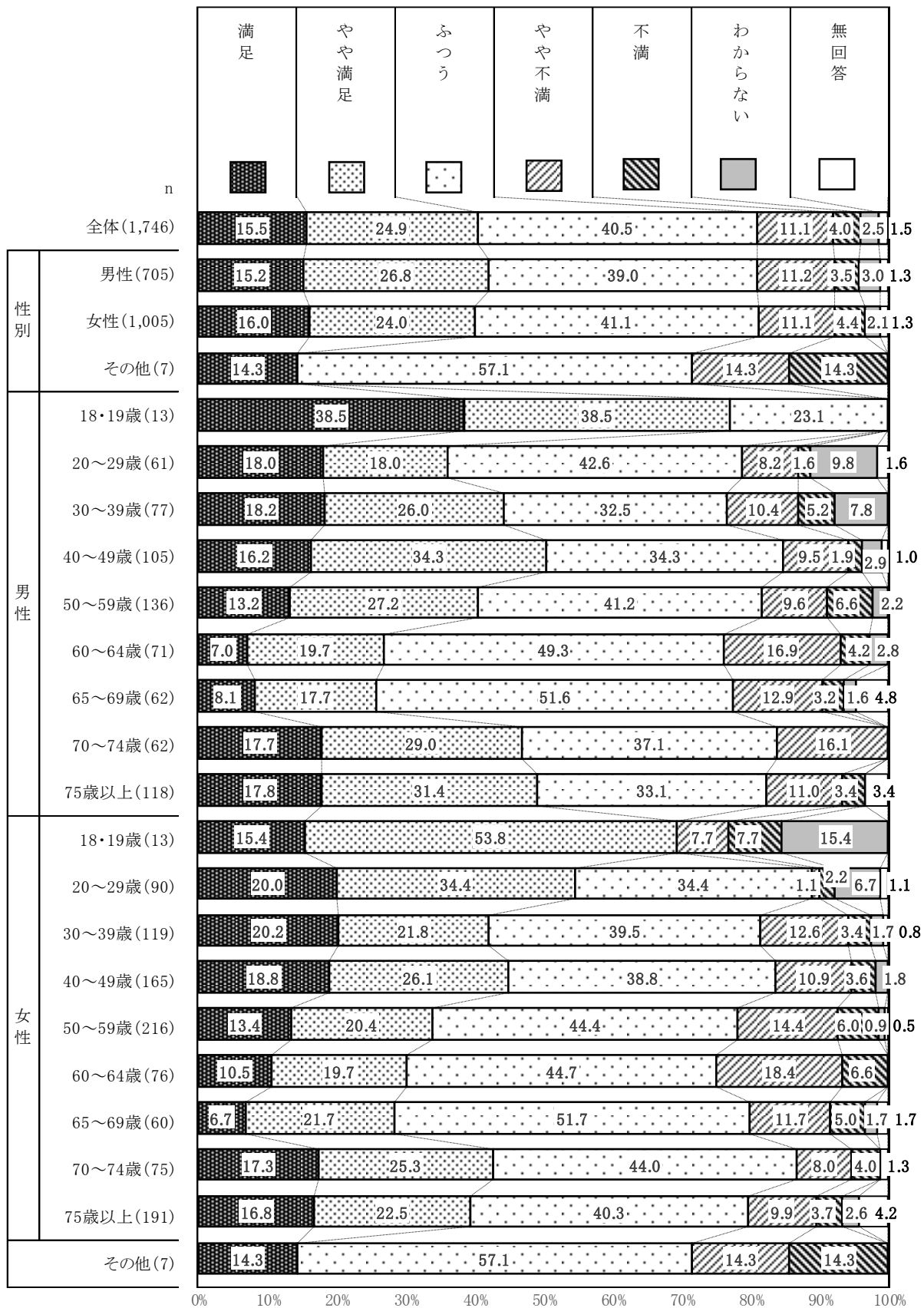
【⑩ 病院・診療所の充実度／性・年齢別】

「満足」は女性(16.0%)が男性(15.2%)より0.8ポイント高いが、「やや満足」は男性(26.8%)が女性(24.0%)より2.8ポイント高くなっている。「不満」は女性(4.4%)が男性(3.5%)より0.9ポイント高い。

男性において、40～49歳、75歳以上は「満足」、「やや満足」の合計が5割前後で他の年代に比べて高くなっている。「不満」は30～39歳(5.2%)、50～59歳(6.6%)で高く、「やや不満」は60～64歳(16.9%)、70～74歳(16.1%)が2割台半ばで特に高い。

女性において、「満足」は20～29歳(20.0%)、30～39歳(20.2%)が2割を超えて高い。20～29歳は「やや満足」も34.4%と特に高く、「満足」との合計は5割を超える。「不満」、「やや不満」の合計は50～59歳、60～64歳が2割を超えて高くなっている。(図表2-54)

＜図表2-54＞⑱ 病院・診療所の充実度／性・年齢別

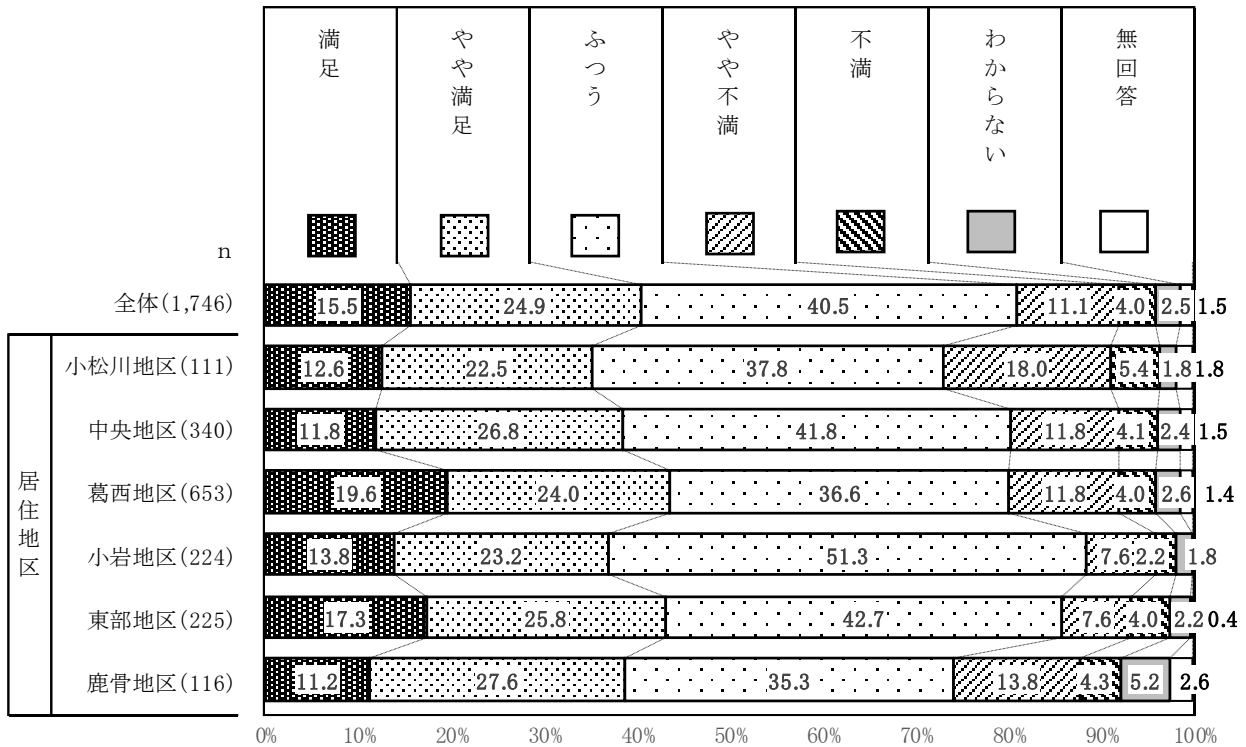


【⑱ 病院・診療所の充実度／居住地区別】

「満足」は葛西地区(19.6%)、東部地区(17.3%)が2割近くで高く、両地区は「やや満足」との合計が4割を超える。

一方、「やや不満」は小松川地区(18.0%)が高く、「不満」との合計は2割を超えて他の地区に比べて高くなっている。(図表2-55)

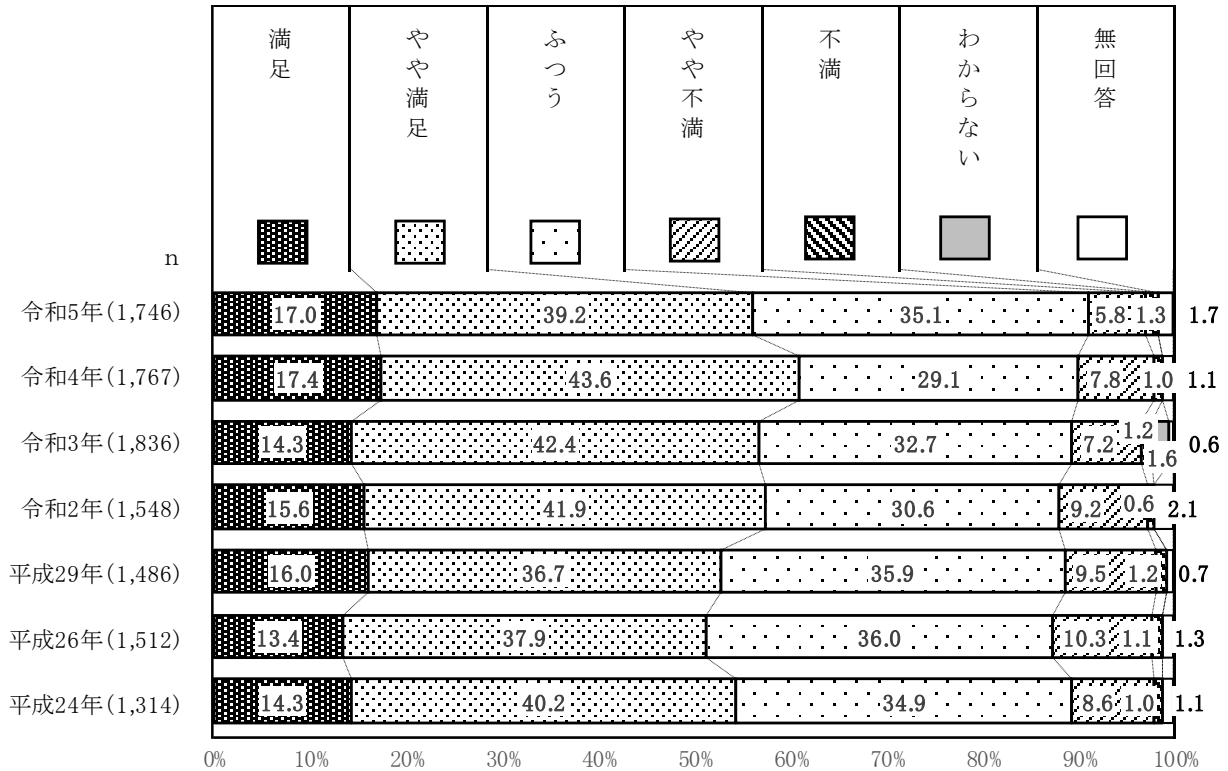
＜図表2-55＞⑱ 病院・診療所の充実度／居住地区別



【⑱ 総合的な満足度／時系列比較】

令和4年と比較すると「満足」は0.4ポイント、「やや満足」も4.4ポイント減少している。
一方、「不満」は0.3ポイント増加し、「やや不満」は2.0ポイント減少している。(図表2-56)

＜図表2-56＞⑱ 総合的な満足度／時系列比較



※令和3年のみ「わからない」も選択肢にあるため、時系列比較では記載

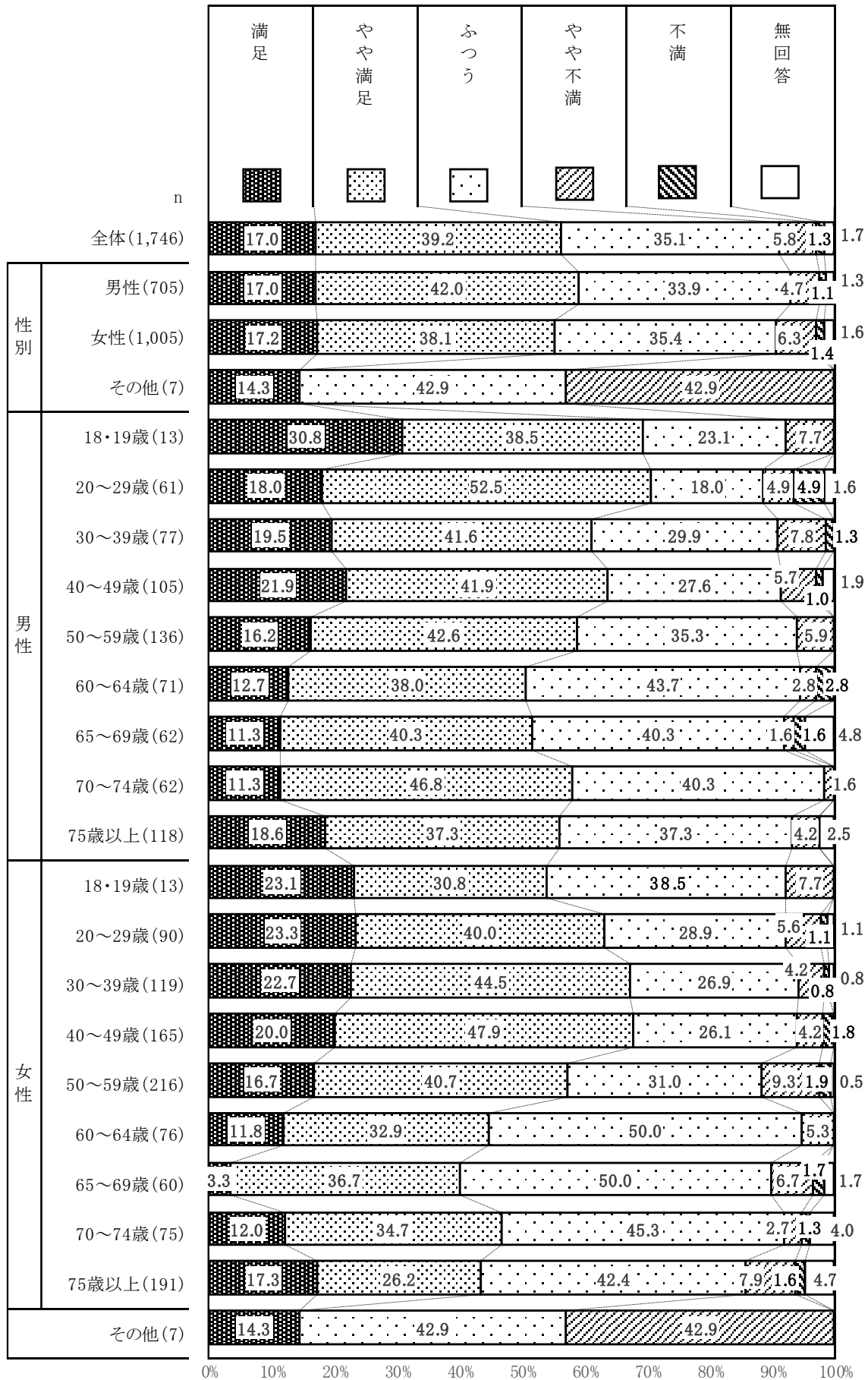
【⑲ 総合的な満足度／性・年齢別】

「満足」は男性、女性ほぼ変わらないが、「やや満足」は男性(42.0%)が女性(38.1%)より3.9ポイント高い。「やや不満」は女性(6.3%)が男性(4.7%)より1.6ポイント高くなっている。

男性において、「満足」は40～49歳(21.9%)が2割を超えて他の年代に比べて高く、「やや満足」は20～29歳(52.5%)が5割を超え、「満足」との合計は7割に達している。「不満」は30～39歳(7.8%)が高く、「やや不満」は60歳代～70歳代前半が4割前後で高くなっている。

女性において、「満足」は40歳代以下がそれぞれ2割を超えて高く、65～69歳(3.3%)は特に低い。「やや満足」は50歳代以下が4割を超え、「満足」との合計では30～39歳、40～49歳が7割近くと高くなっている。「やや不満」は50～59歳(9.3%)が1割弱で特に高い。(図表2-57)

<図表2-57>⑱ 総合的な満足度／性・年齢別

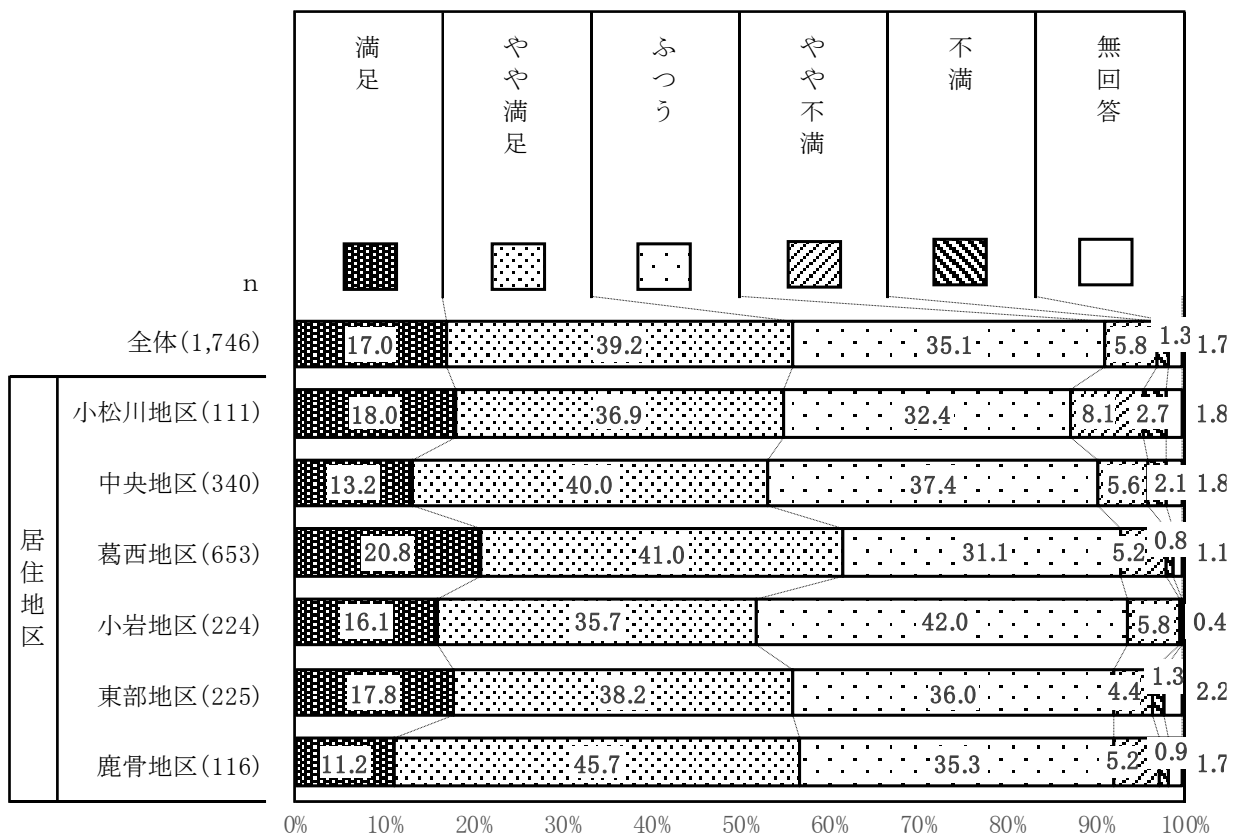


【⑱ 総合的な満足度／居住地区別】

「満足」は葛西地区(20.8%)が2割を超えて高く、「やや満足」は鹿骨地区(45.7%)が4割台半ばと高くなっている。

一方、「やや不満」は小松川地区(8.1%)が他の地区に比べて高い。(図表2-58)

<図表2-58>⑱ 総合的な満足度／居住地区別



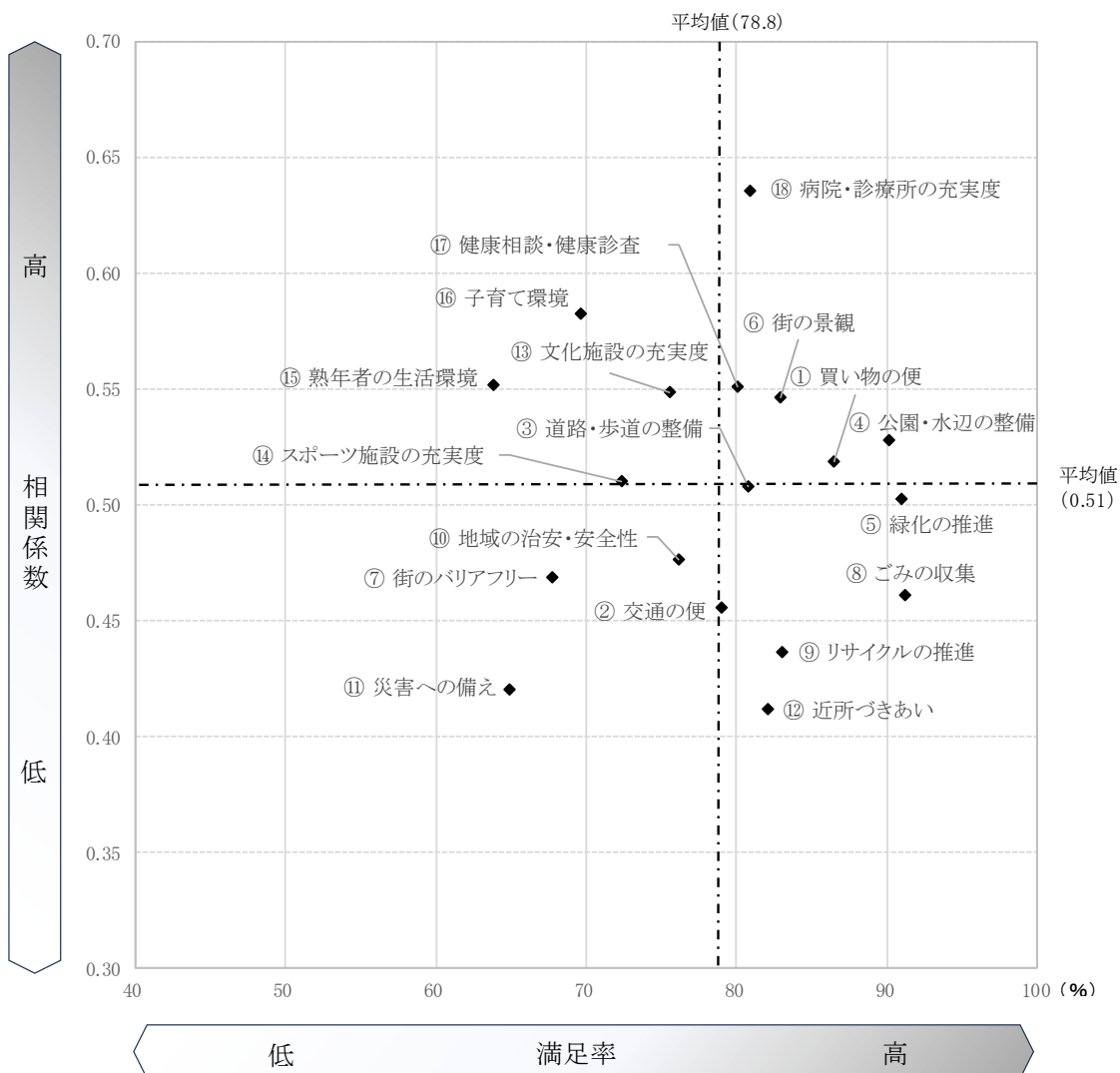
【相関分析】

「各項目の満足度」と「総合的な満足度」から相関係数を算出し、それぞれの相関係数(①～⑮には「わからない」という選択肢があるが算出時には除外して計算している)と満足率(「満足」と「やや満足」と「ふつう」の合計の割合)から散布図を作成した。相関係数は0.2～0.4だと弱い相関関係が、0.4～0.7だと相関関係が、0.7～1.0だと強い相関関係があるとされている。

「総合的な満足度」と強い相関がある項目は見られないが、「①買い物の便」(0.52)、「④公園・水辺の整備」(0.53)、「⑥街の景観」(0.55)、「⑬健康相談・健康診査」(0.55)、「⑮病院・診療所の充実度」(0.64)は相関が見られ相関係数は平均値(0.51)より高く、満足率も平均値(78.8%)を上回っている。上記の5項目は江戸川区への総合的な評価での満足率に貢献しているといえ、特に「⑮病院・診療所の充実度」は全ての項目の中で最も高い相関を示しているので、満足率を更に高めることでより総合的な満足度の上昇が見込める。

一方、「⑬文化施設の充実度」(0.55)、「⑭スポーツ施設の充実度」(0.51)、「⑮熟年者の生活環境」(0.55)、「⑯子育て環境」(0.58)は相関が見られ相関係数は平均値(0.51)より高いが、満足率は平均値(78.8%)を下回っている。これら4項目について改善していくことが総合的な満足度を向上させるためには重要であるといえる。(図表2-60)

<図表2-60>「各項目の満足度」と「総合的な満足度」との相関分析



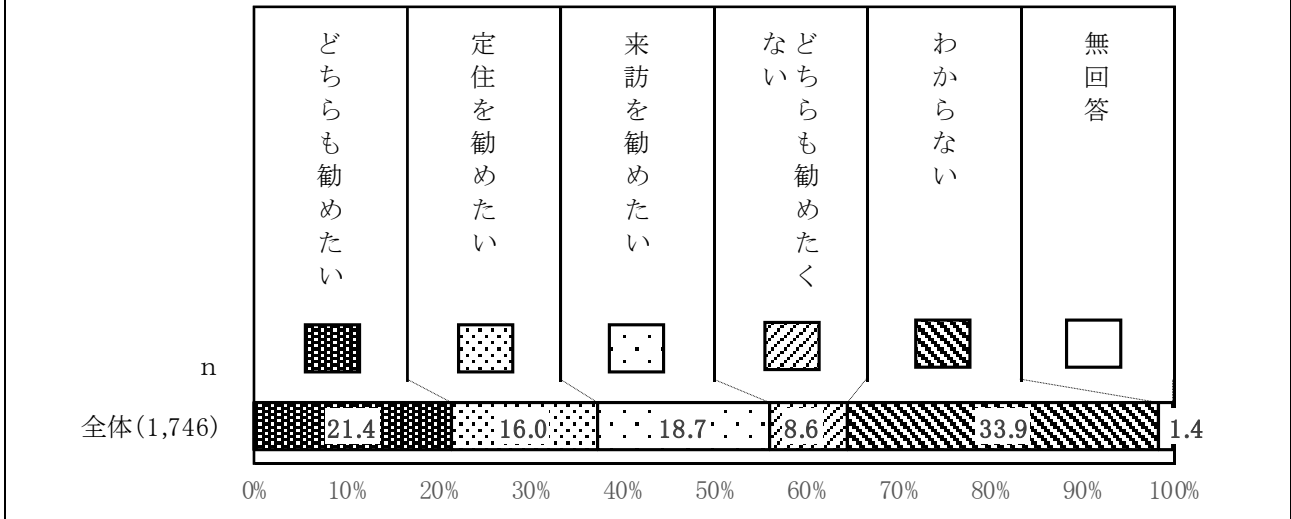
3. 区の推奨度について

(1) 定住・来訪の推奨度

◇「勧めたい」の合計は過半数に達している。

問4 あなたは、区外の方に江戸川区に住むことや来ていただくことを勧めたいですか。(○は1つ)

<図表3-1> 定住・来訪の推奨度



「わからない」(33.9%)が最も高く、次いで「どちらも勧めたい」(21.4%)、「来訪を勧めたい」(18.7%)、「定住を勧めたい」(16.0%)、「どちらも勧めたくない」(8.6%)の順になっている。(図表3-1)

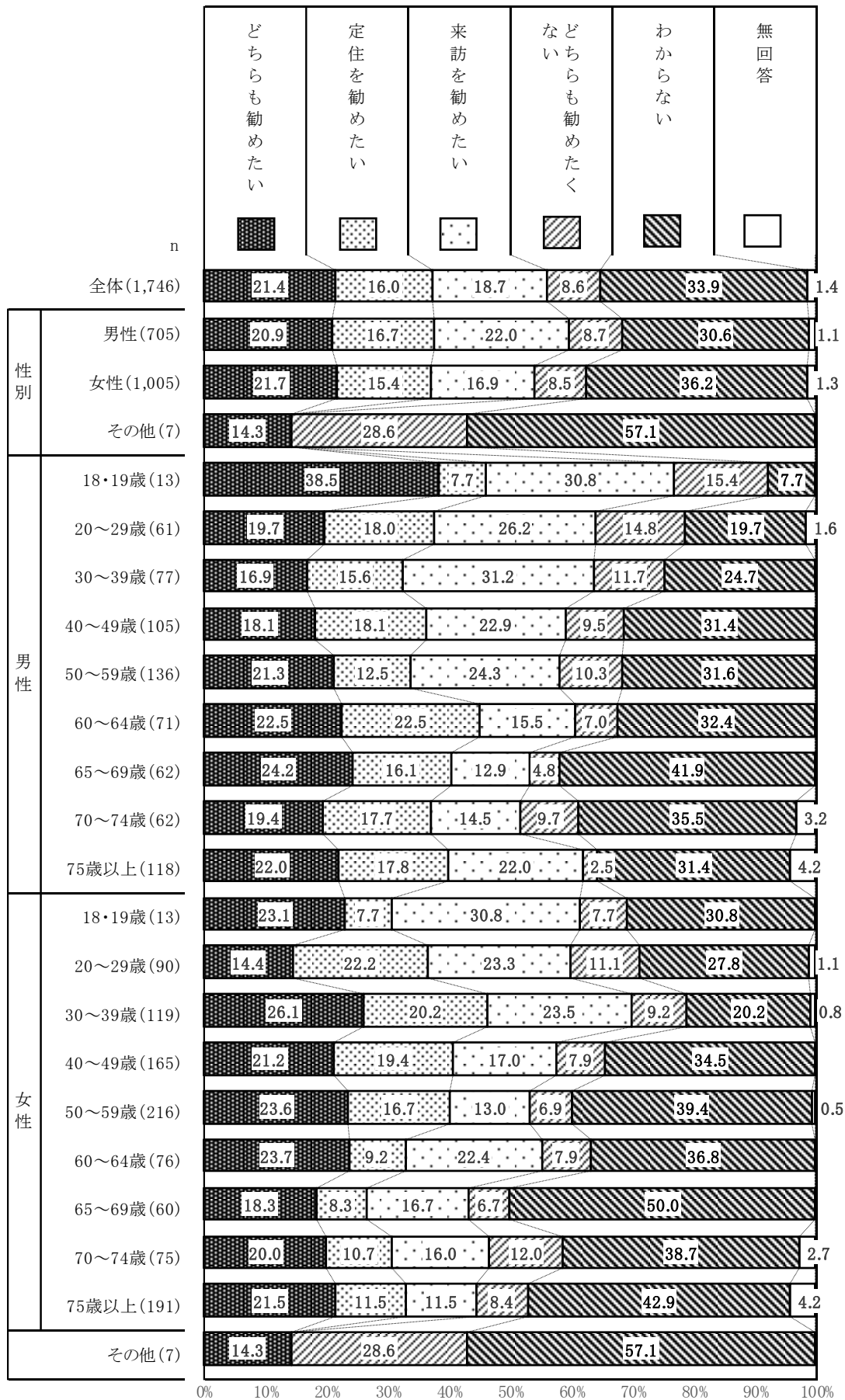
【性・年齢別】

「どちらも勧めたい」は女性(21.7%)が男性(20.9%)より 0.8 ポイント高い。「定住を勧めたい」は男性(16.7%)が女性(15.4%)より 1.3 ポイント高く、「来訪を勧めたい」も男性(22.0%)が女性(16.9%)より 5.1 ポイント高くなっている。「どちらも勧めたくない」は男性、女性に差は見られない。

男性において、「どちらも勧めたい」は 65～69 歳(24.2%)が高く、「定住を勧めたい」は 60～64 歳(22.5%)が、「来訪を勧めたい」は 30～39 歳(31.2%)が高くなっている。「どちらも勧めたくない」は 20～29 歳(14.8%)が高い。

女性において、「どちらも勧めたい」は 30～39 歳(26.1%)が高く、20～29 歳(14.4%)は他の年代に比べて低い。「定住を勧めたい」、「来訪を勧めたい」は 20 歳代、30 歳代が2割を超えて高くなっている。「来訪を勧めたい」は 60～64 歳(22.4%)も2割を超えて高い。「どちらも勧めたくない」は 20～29 歳(11.1%)、70～74 歳(12.0%)が1割を超えて高くなっている。(図表3-2)

<図表3-2> 定住・来訪の推奨度／性・年齢別



4. 広報と情報化について

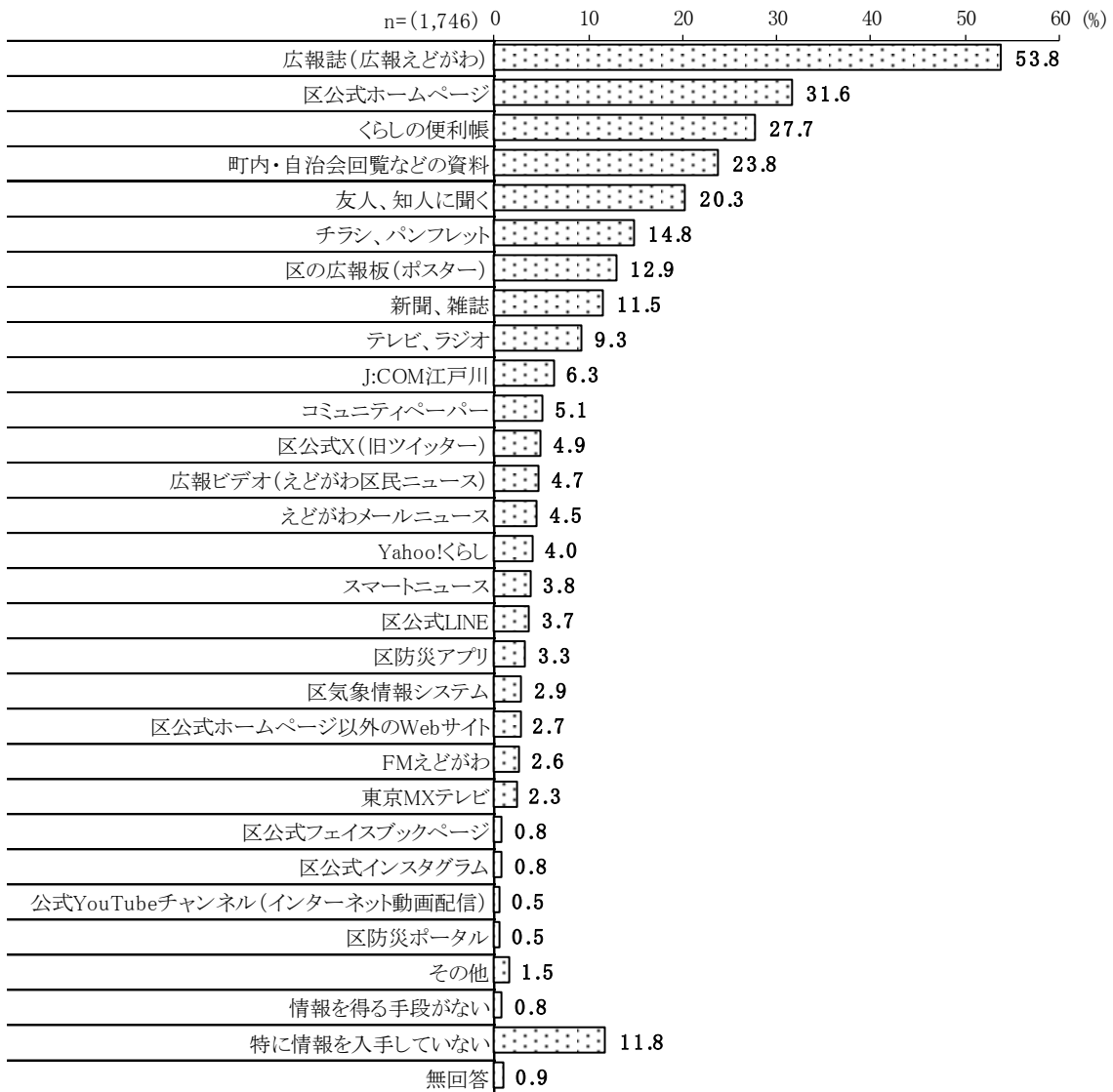
(1) 区の情報の入手手段

◇「広報誌（広報えどがわ）」が5割を超えて特に高い。

問5 あなたは、江戸川区からの情報全般をどのような手段(媒体)で入手していますか。

(○はいくつでも)

<図表4-1> 区の情報の入手手段



「広報誌(広報えどがわ)」(53.8%)が最も高く、次いで「区公式ホームページ」(31.6%)、「くらしの便利帳」(27.7%)、「町内・自治会回覧などの資料」(23.8%)、「友人、知人に聞く」(20.3%)の順となっている。

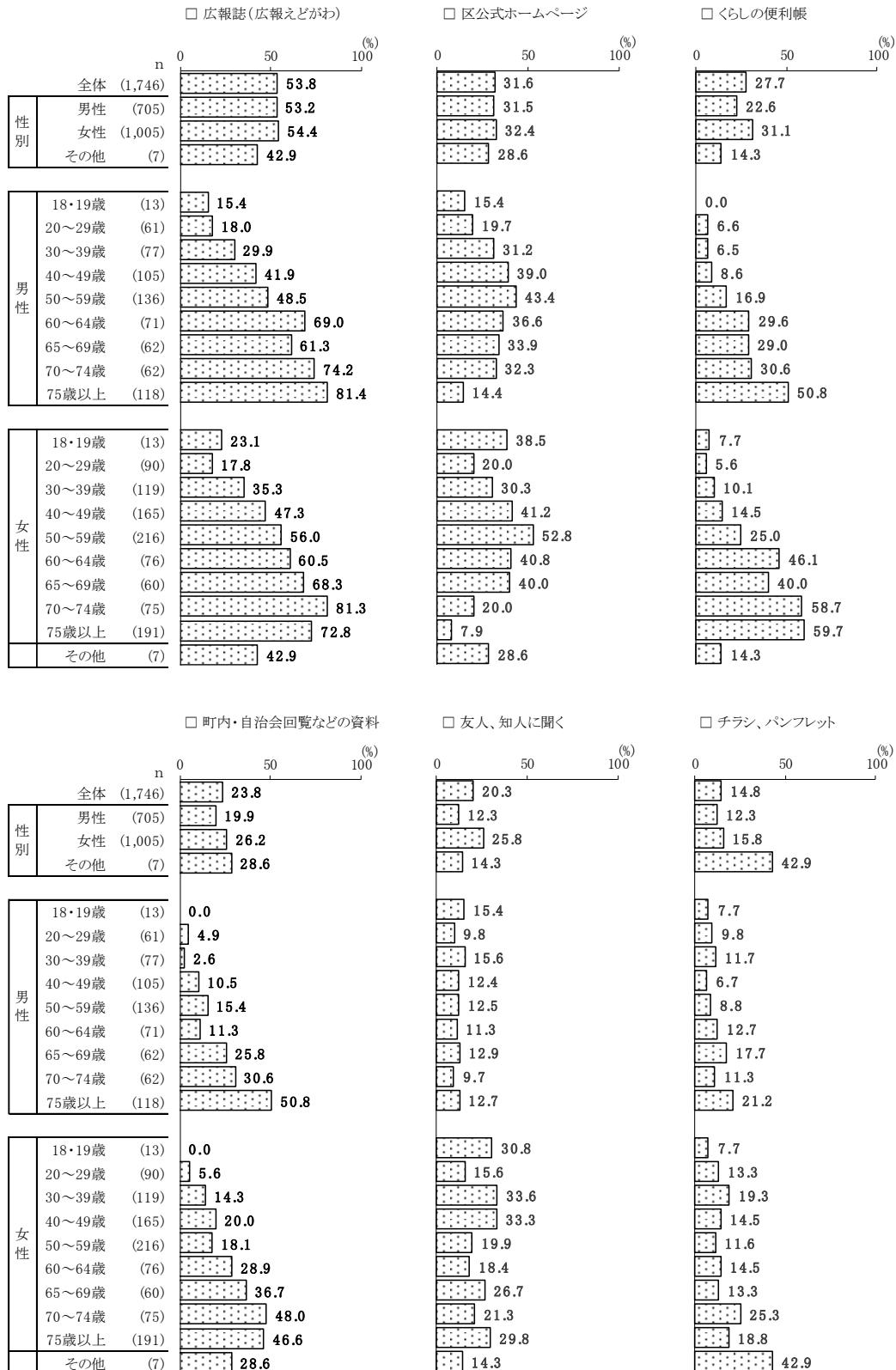
(図表4-1)

【性・年齢別】

「広報誌(広報えどがわ)」、「くらしの便利帳」、「町内・自治会回覧などの資料」、「チラシ、パンフレット」は男性、女性ともに年代が上がるごとに高くなる傾向がある。

「区公式ホームページ」は男性、女性ともに50～59歳が最も高くなっている。(図表4-2)

＜図表4-2＞区の情報の入手手段(上位6項目)／性・年齢別

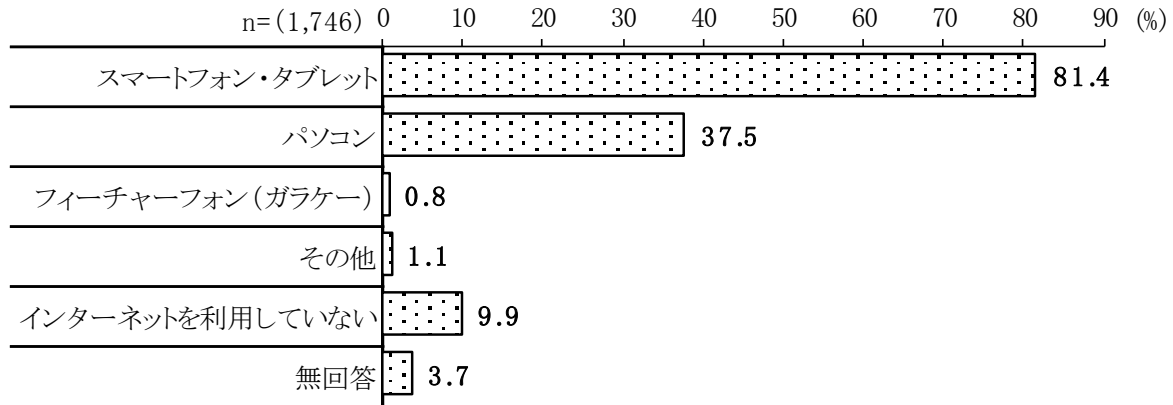


(2) インターネットの利用媒体

◇「スマートフォン・タブレット」が8割を超えて高い。

問6 あなたは、インターネットを利用するときは何を使いますか。(○はいくつでも)

<図表4-3>インターネットの利用媒体



インターネットの利用媒体について回答を見ると、「スマートフォン・タブレット」(81.4%)が特に高く、「パソコン」(37.5%)が4割近くとなっている。

「インターネットを利用していない」(9.9%)は全体の1割弱を占めている。(図表4-3)

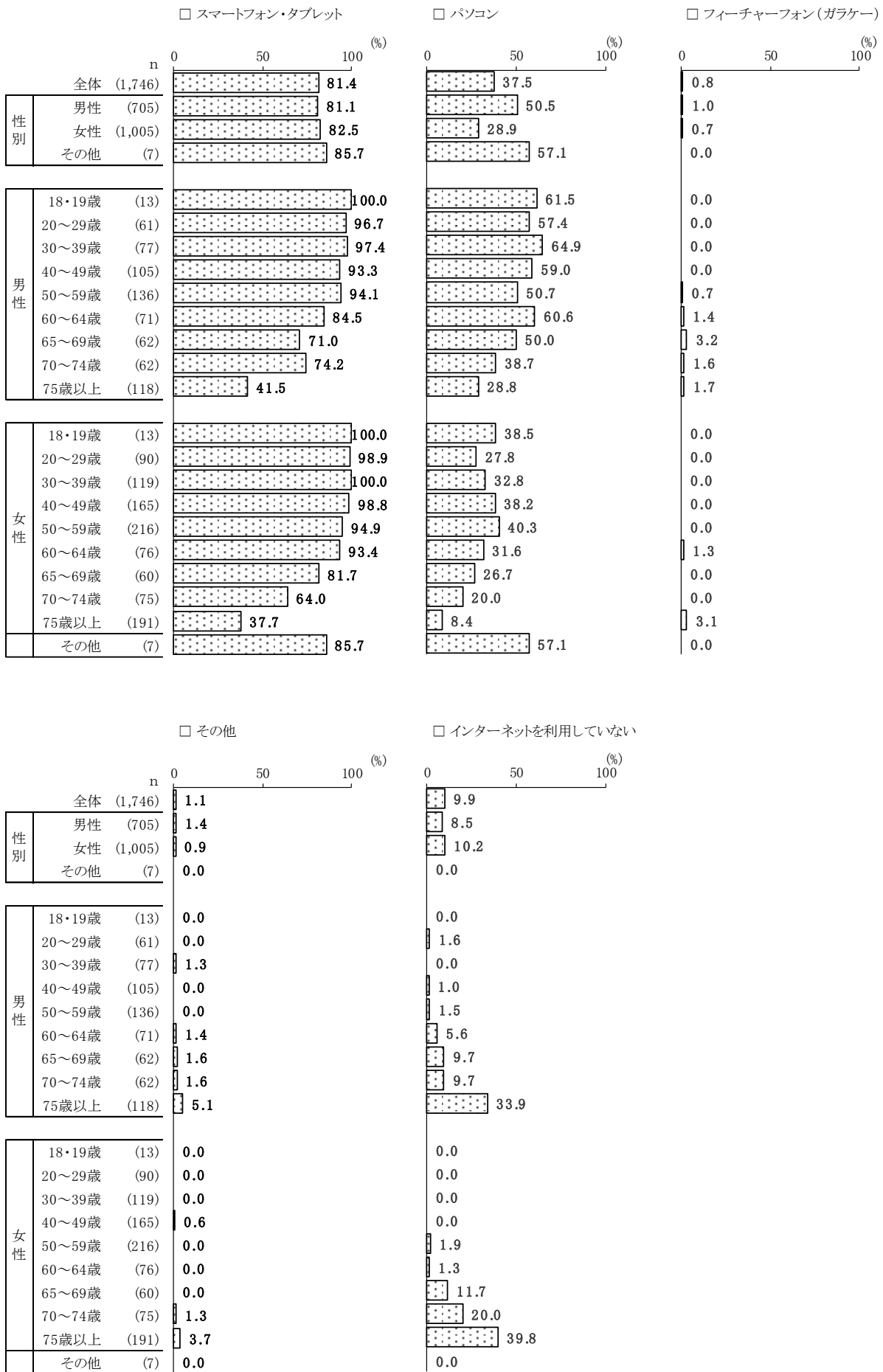
【性・年齢別】

「スマートフォン・タブレット」は、男性は50歳代以下、女性は60歳代前半以下が9割を超えて特に高くなっている。60歳代までは女性の方が男性より利用率はやや高いが、70歳代以降は男性の方が女性より高く逆転する。75歳以上は男性、女性ともに4割前後と一気に利用率は低くなる。

「パソコン」は、「スマートフォン・タブレット」とは逆に全体的に男性の方が利用率は高い傾向にある。男性は75歳以上でも3割近くと利用率が高く、女性の3倍以上になる。

「インターネットを利用していない」は、男性、女性ともに75歳以上は3割を超えて特に高い。女性は70～74歳も2割と高くなっている。(図表4-4)

<図表4-4> インターネットの利用状況／性・年齢別



5. デジタル化について

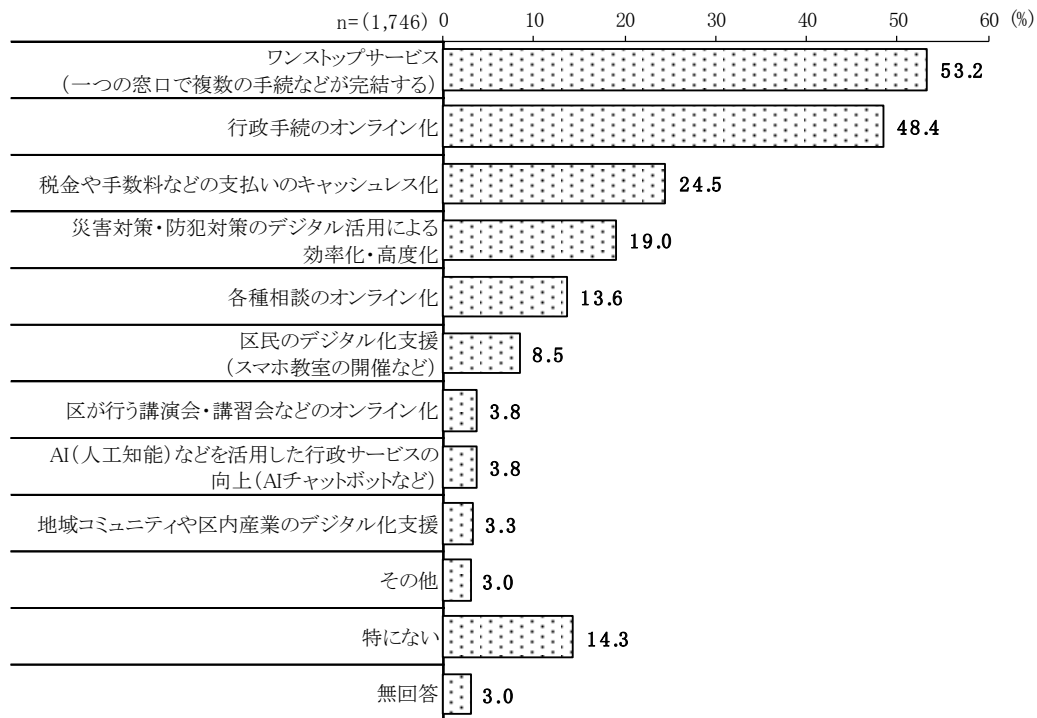
(1) 区にデジタル化に向けて取り組んでほしいこと

◇「ワンストップサービス」、「行政手続のオンライン化」が5割前後で最も高い。

問7 江戸川区では、「来庁不要の区役所」の実現をはじめとする様々な行政サービスなどのデジタル化の取り組みを行っています。

あなたは、江戸川区に今後どのような取り組みを推進してほしいですか。(〇は3つまで)

<図表5-1> 区にデジタル化に向けて取り組んでほしいこと



「ワンストップサービス」(53.2%)、「行政手続のオンライン化」(48.4%)が5割前後で特に高い。次いで「税金や手数料などの支払いのキャッシュレス化」(24.5%)、「災害対策・防犯対策のデジタル活用による効率化・高度化」(19.0%)、「各種相談のオンライン化」(13.6%)と続いている。(図表5-1)

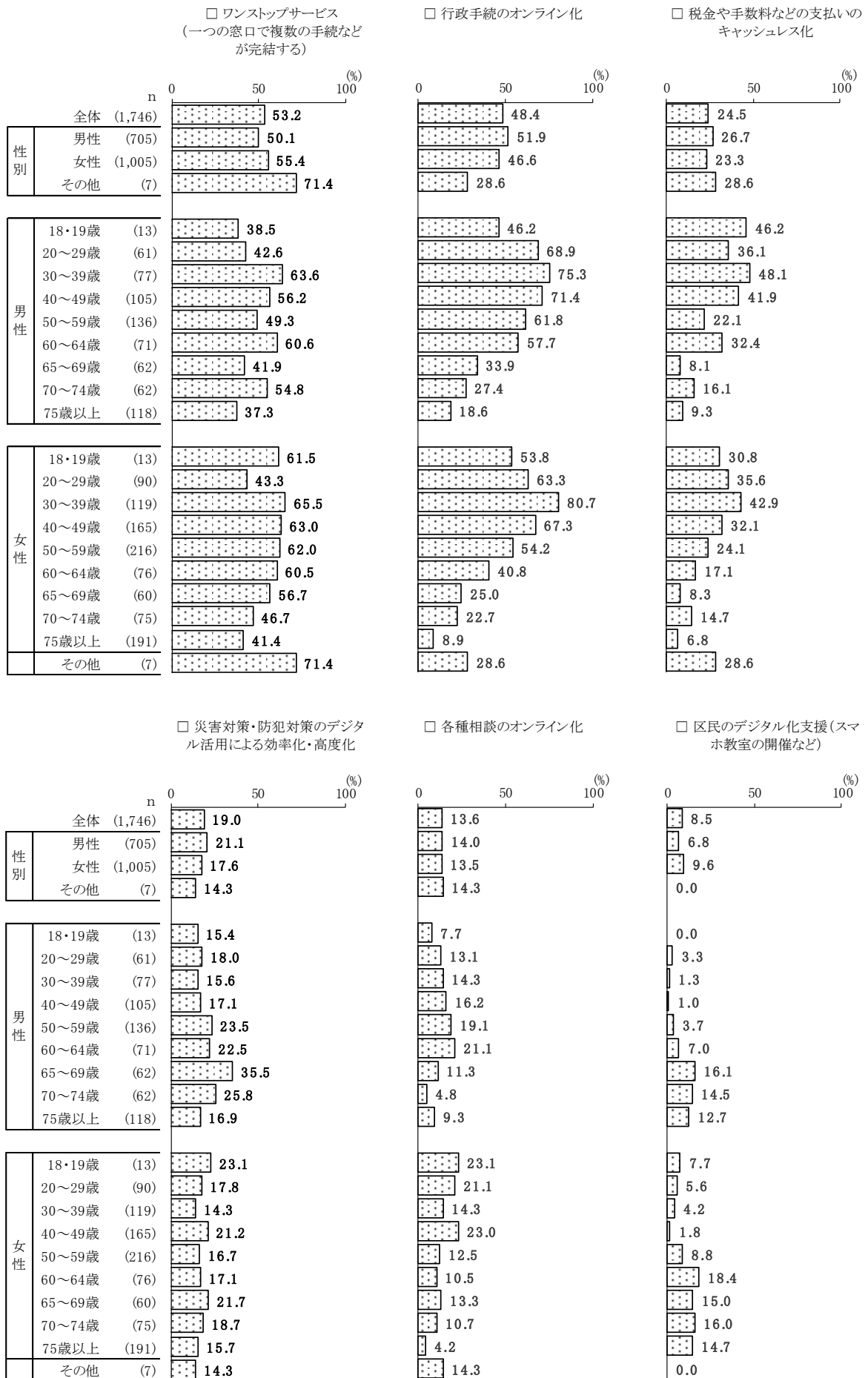
【性・年齢別】

「ワンストップサービス」は女性(55.4%)が男性(50.1%)より 5.3 ポイント高く、男性の 30 歳代、60 歳代前半、女性 30 歳代～60 歳代前半が6割を超えて特に高くなっている。

「行政手続のオンライン化」は男性(51.9%)が女性(46.6%)より 5.3 ポイント高く、女性 30～39 歳(80.7%)が8割を超えて高い。

「税金や手数料などの支払いのキャッシュレス化」も男性(26.7%)が女性(23.3%)より 3.4%高い。男性、女性ともに 30 歳代が4割を超えて特に年代別に見ると高くなっている。(図表5-2)

＜図表5-2＞区にデジタル化に向けて取り組んでほしいこと(上位6項目)／性・年齢別



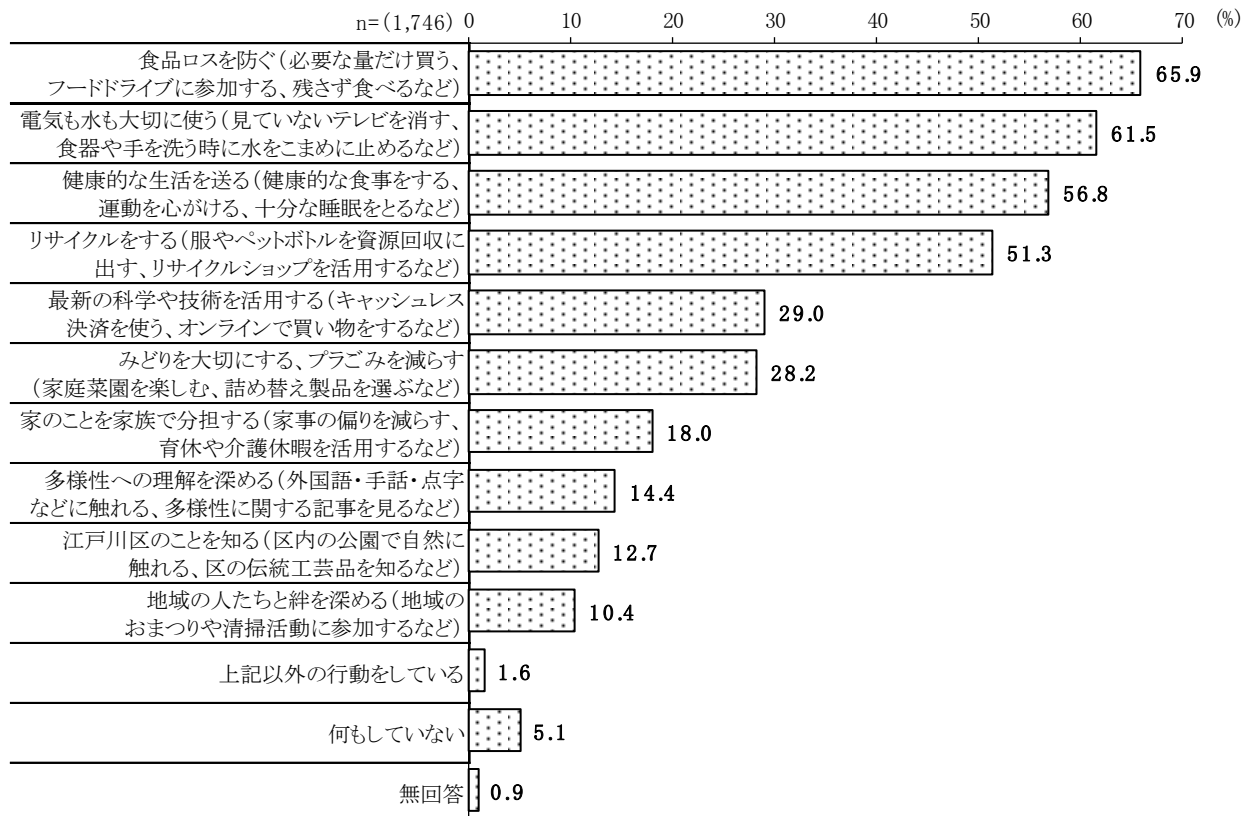
6. SDGsについて

(1) 日ごろから取り組んでいるSDGsの行動

◇「食品ロスを防ぐ」が6割台半ばで最も高くなっている。

問8 ご自身の生活の中で日ごろから取り組んでいるSDGsの行動をお答えください。(〇はいくつでも)

<図表6-1> 日ごろから取り組んでいるSDGsの行動



「食品ロスを防ぐ」(65.9%)、「電気も水も大切に使う」(61.5%)、「健康的な生活を送る」(56.8%)、「リサイクルをする」(51.3%)までが5割を超えて特に高くなっている。次いで「最新の科学や技術を活用する」(29.0%)、「みどりを大切にする、プラごみを減らす」(28.2%)が3割近くで続いている。(図表6-1)

【性・年齢別】

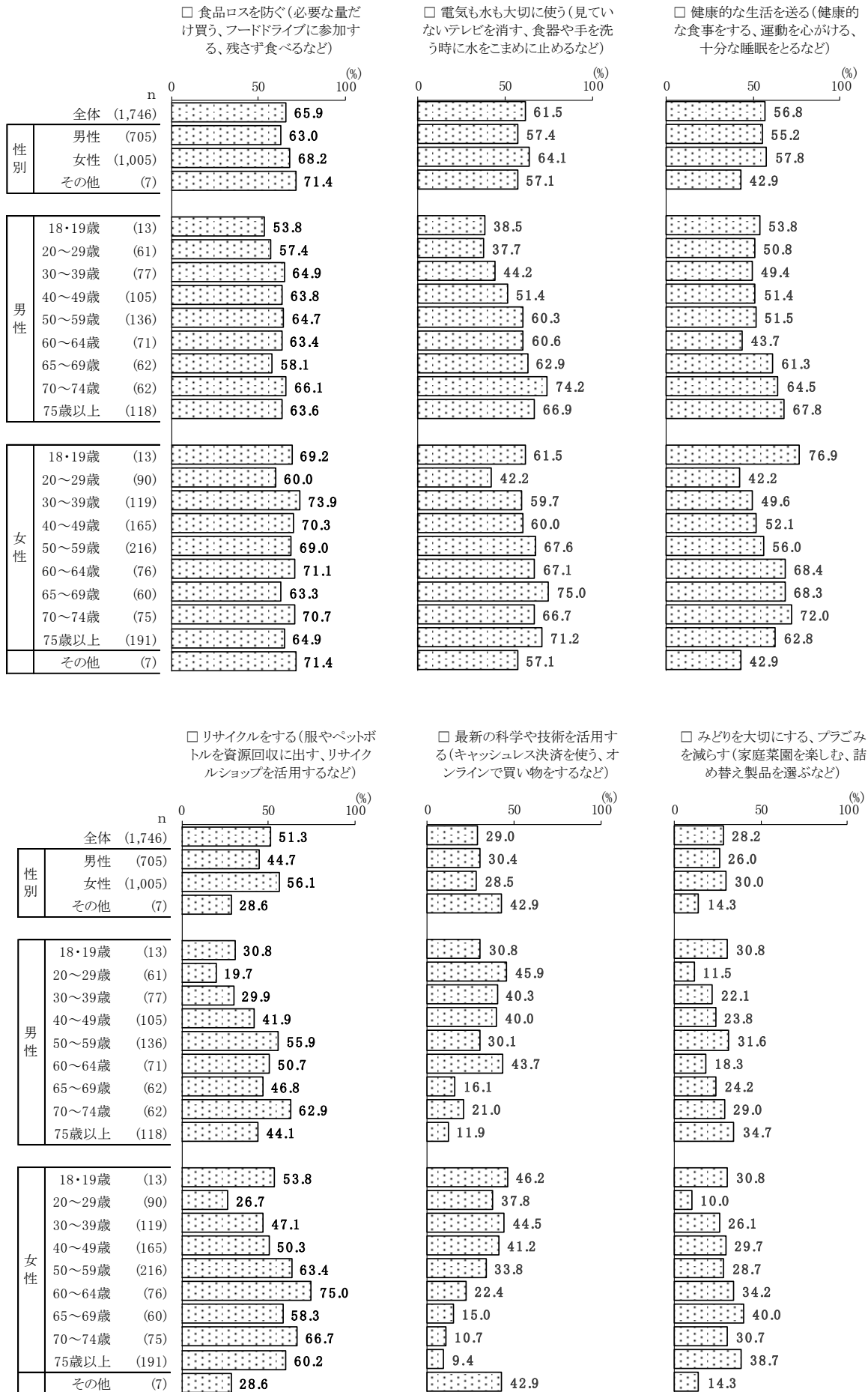
「食品ロスを防ぐ」は全年代ともに5割以上が行動をしている。

「電気も水も大切に使う」は男性 50 歳代以上と女性 40 歳代以上は6割を超えている。

「健康的な生活を送る」は男性 60 歳代後半以降、女性 60 歳代以降で高い傾向にある。

「リサイクルをする」は男性、女性ともに 50 歳代以降が高く、20～29 歳が低くなっている。(図表6-2)

<図表6-2> 日ごろから取り組んでいるSDGsの行動(上位6項目)／性・年齢別



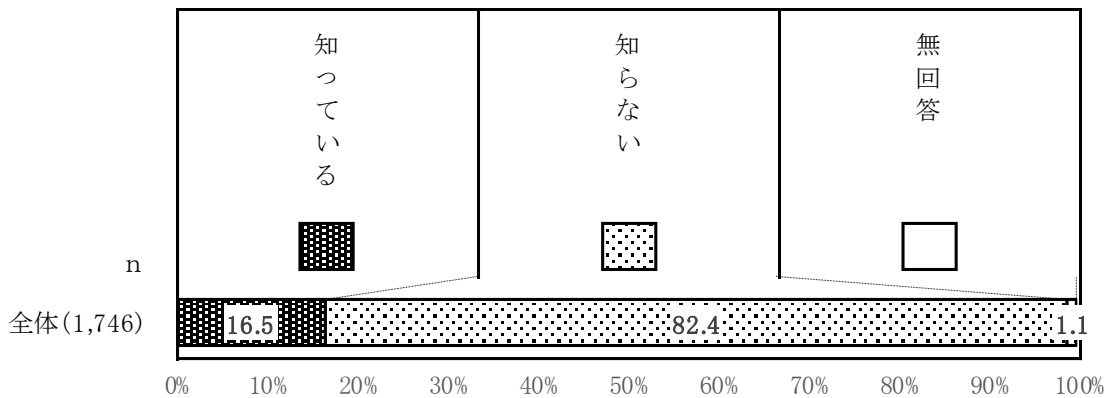
7. 共生社会について

(1) 共生社会についての認知度

◇「知っている」が16.5%。

問9 あなたは、区が全ての人とともに生きる共生社会を目指していることを知っていますか。
(○は1つ)

<図表7-1> 共生社会についての認知度



江戸川区が、令和3年7月1日に制定した「ともに生きるまちを目指す条例」をもとに人の多様性を認め合い、支え合う、共生社会を目指していることの認知度をはかったところ、「知らない」(82.4%)が8割強で高く、「知っている」(16.5%)は1割台半ばと低い。(図表7-1)

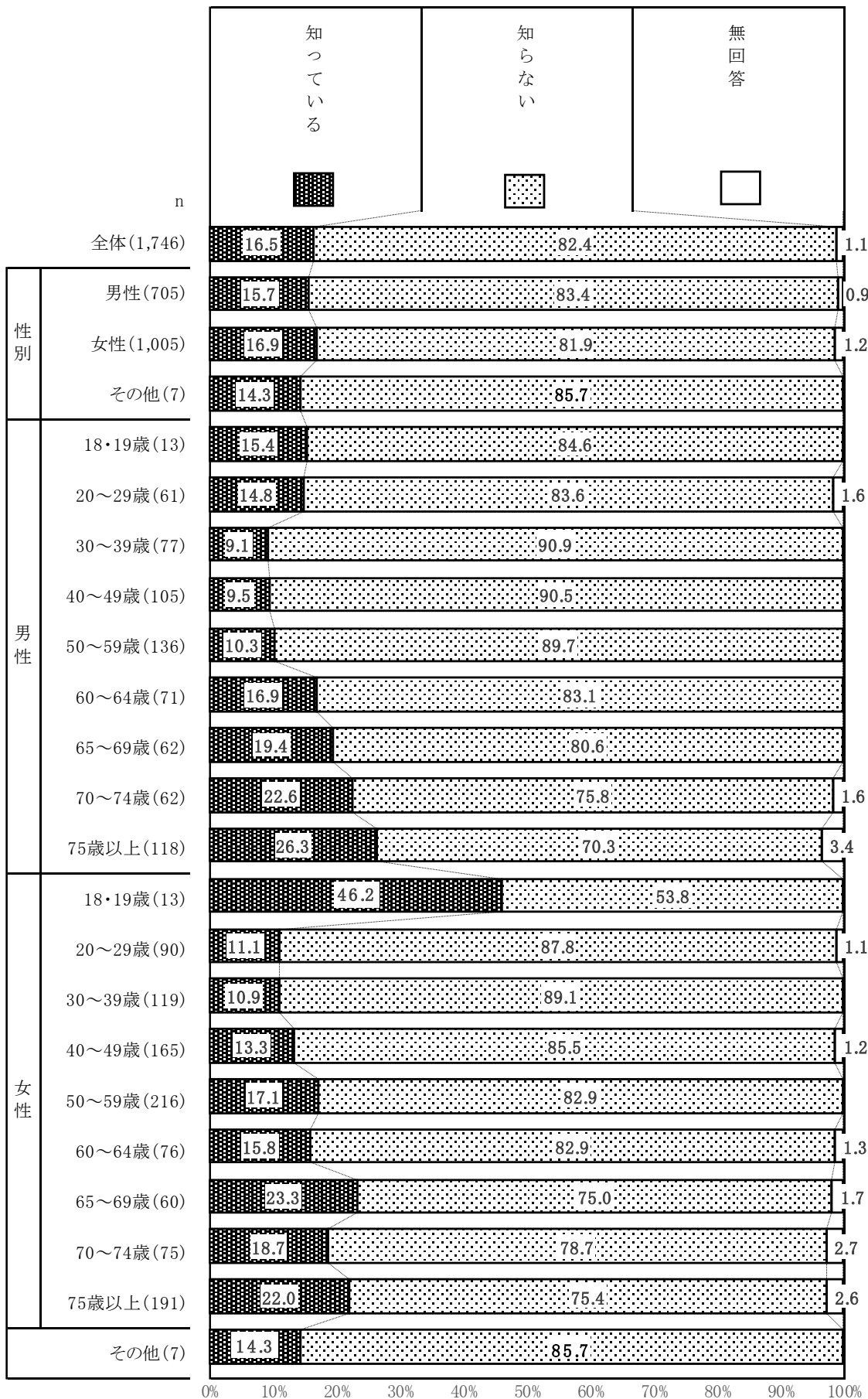
【性・年齢別】

「知っている」は女性(16.9%)が男性(15.7%)より1.2ポイント高く、「知らない」は男性(83.4%)が女性(81.9%)より1.5ポイント高くなっている。

男性において、「知らない」は30歳代から50歳代にかけて9割前後で他の年代に比べて高い。70歳代以降は「知っている」が2割を超えて高くなっている。

女性において、「知らない」は20歳代から30歳代にかけて9割弱で他の年代に比べて高い。「知っている」は60歳代後半、70歳代後半以降が2割を超えて高くなっている。(図表7-2)

<図表7-2> 共生社会についての認知度／性・年齢別



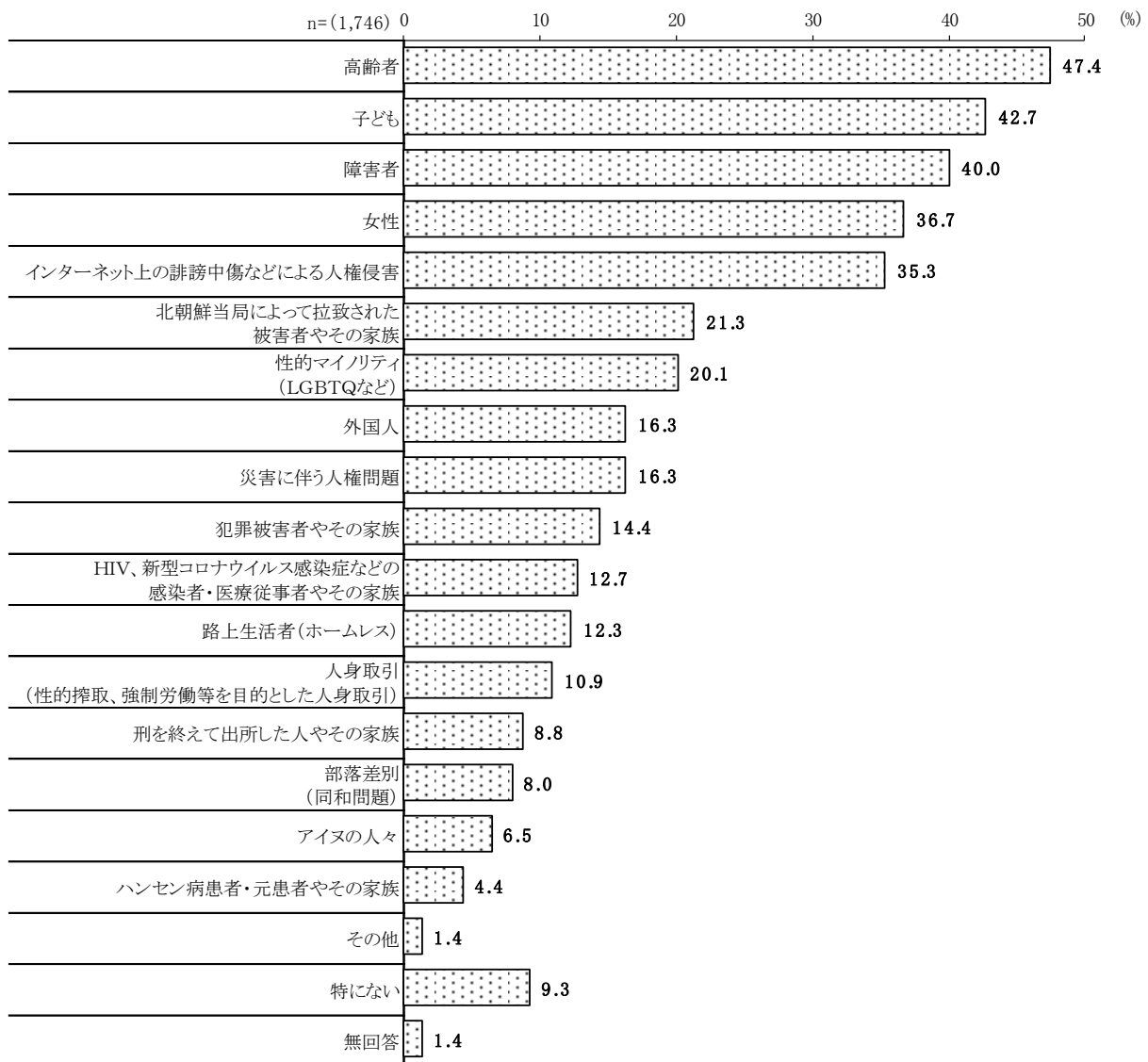
8. 人権について

(1) 関心のある人権課題

◇「高齢者」の人権課題についての関心は5割近くで最も高い。

問10 日本における人権課題について、あなたの関心のあるものはどれですか。(〇はいくつでも)

<図表8-1> 関心のある人権課題



「高齢者」(47.4%)が特に高く、次いで「子ども」(42.7%)、「障害者」(40.0%)、「女性」(36.7%)、「インターネット上の誹謗中傷などによる人権侵害」(35.3%)が4割前後で高くなっている。

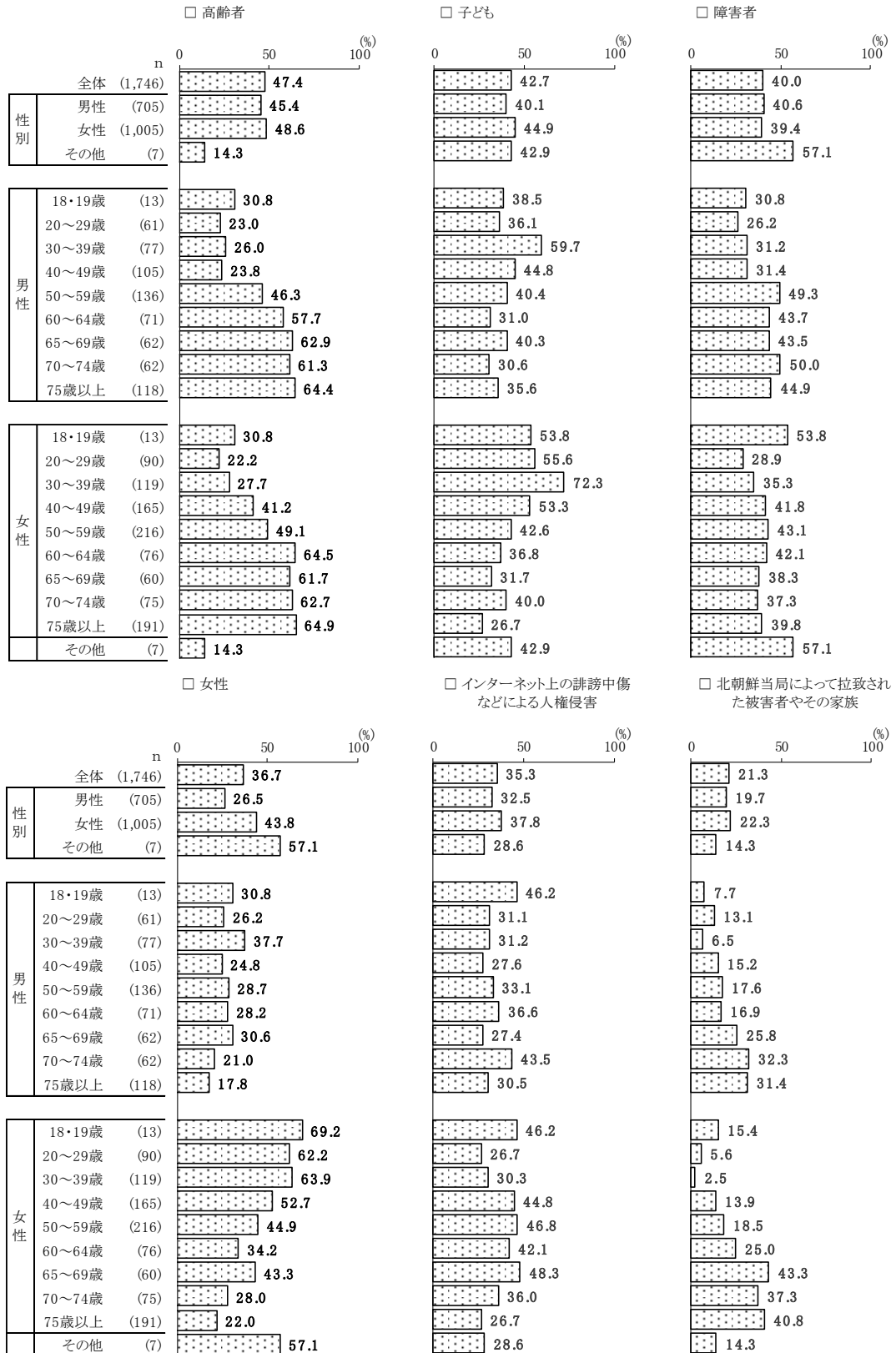
一方、「刑を終えて出所した人やその家族」(8.8%)、「部落差別」(8.0%)、「アイヌの人々」(6.5%)、「ハンセン病患者・元患者やその家族」(4.4%)は1割に満たず低い。(図表8-1)

【性・年齢別】

「高齢者」は男性、女性ともに60歳代以降が5割を超えて高い。

「子ども」は男性30歳代と女性40歳代以下が5割を超えて高く、女性30～39歳(72.3%)は7割強で最も高くなっている。(図表8-2)

＜図表8-2＞関心のある人権課題(上位6項目)／性・年齢別



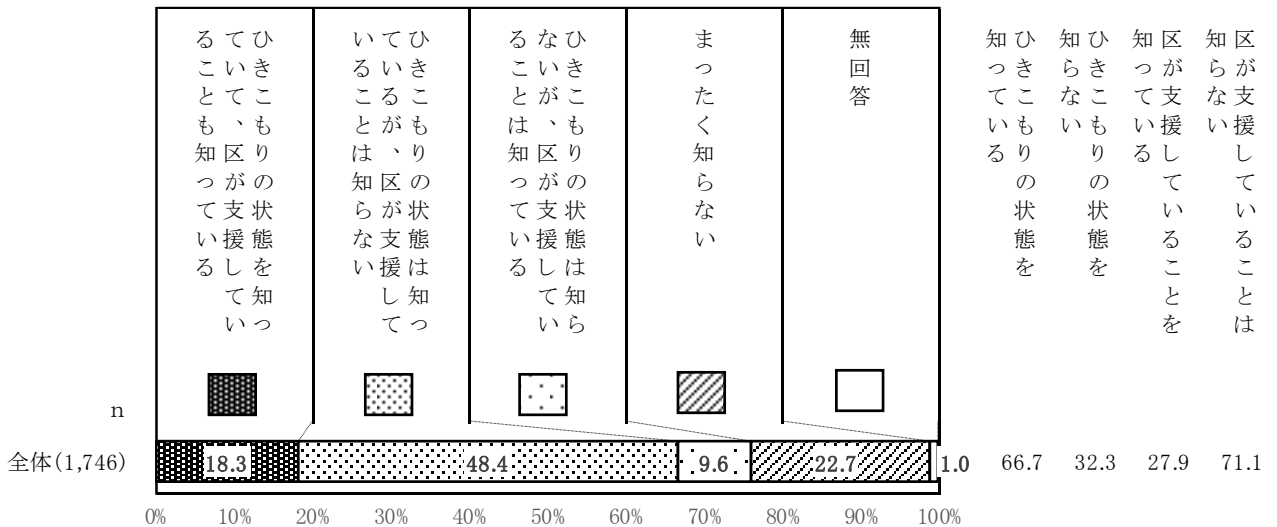
9. ひきこもり支援について

(1) ひきこもりの状態や区の支援についての認知度

◇「ひきこもりの状態は知っているが、区が支援していることは知らない」が5割弱で高い。

問11 あなたはひきこもりについて、どの程度知っていますか。(〇は1つ)

<図表9-1> ひきこもりの状態や区の支援についての認知度



「ひきこもりの状態は知っているが、区が支援していることは知らない」(48.4%)が5割弱で最も高い。次いで「まったく知らない」(22.7%)、「ひきこもりの状態を知っていて、区が支援していることも知っている」(18.3%)、「ひきこもりの状態は知らないが、区が支援していることは知っている」(9.6%)の順になっている。『ひきこもりの状態を知っている』の合計は7割近くと高く、『区が支援していることを知っている』の合計は3割近くにとどまる。(図表9-1)

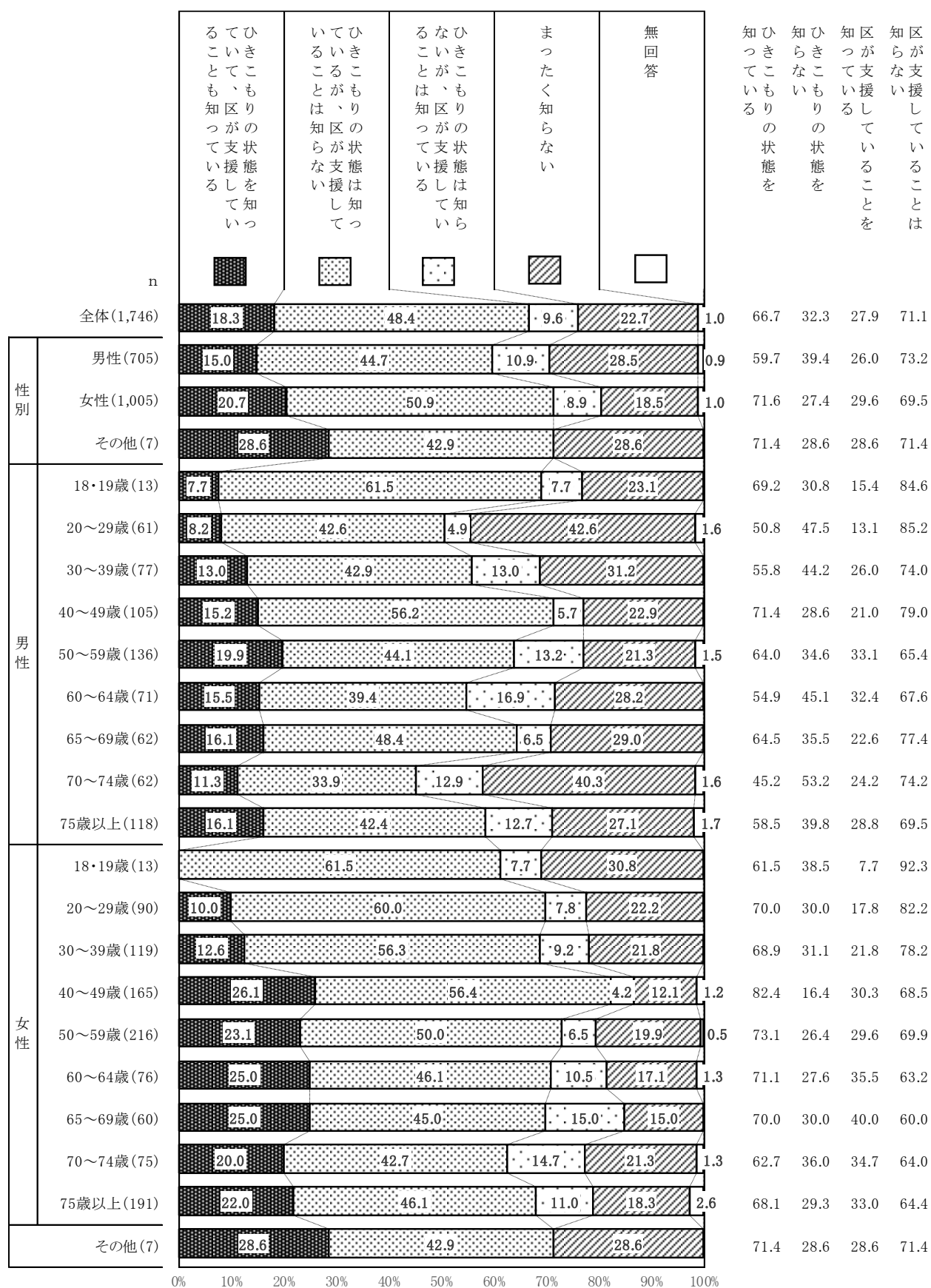
【性・年齢別】

「ひきこもりの状態を知っていて、区が支援していることも知っている」は女性(20.7%)が男性(15.0%)より5.7ポイント高い。「ひきこもりの状態は知っているが、区が支援していることは知らない」も女性(50.9%)が男性(44.7%)より6.2ポイント高くなっている。「ひきこもりの状態は知らないが、区が支援していることは知っている」は男性(10.9%)が女性(8.9%)より2.0ポイント高く、「まったく知らない」も男性(28.5%)が女性(18.5%)より10.0ポイント高くなっている。

男性において、「ひきこもりの状態を知っていて、区が支援していることも知っている」は50～59歳(19.9%)が2割弱で最も高く、「まったく知らない」は20～29歳(42.6%)、70～74歳(40.3%)が4割を超えて高い。

女性において、「ひきこもりの状態を知っていて、区が支援していることも知っている」は男性の各年代に比べて30歳代以外はそれぞれ高いが、20～29歳(10.0%)、30～39歳(12.6%)は他の年代に比べて低い。「まったく知らない」は40歳代から60歳代で1割台と低くなっている。(図表9-2)

<図表9-2>ひきこもりの状態や区の支援についての認知度/性・年齢別



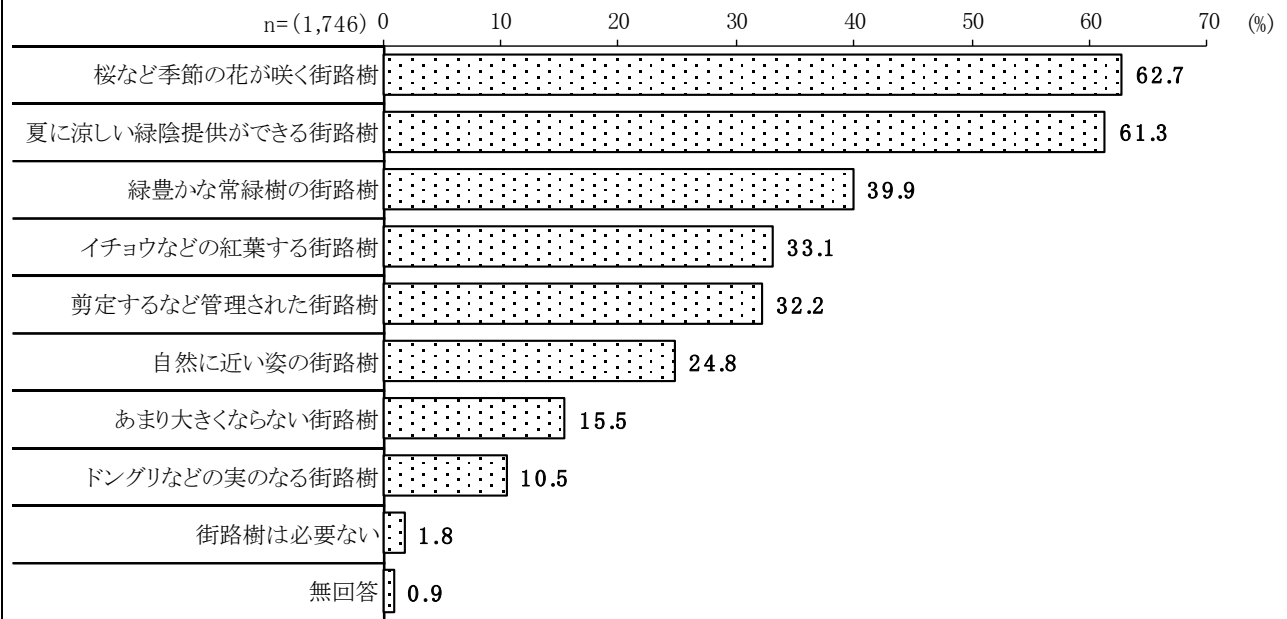
10. 街路樹について

(1) 街路樹への要望

◇「桜など季節の花が咲く街路樹」、「夏に涼しい緑陰提供ができる街路樹」が6割強と高い。

問12 あなたは、どのような街路樹があれば良いと思いますか。(〇はいくつでも)

<図表 10-1>街路樹への要望



「桜など季節の花が咲く街路樹」(62.7%)、「夏に涼しい緑陰提供ができる街路樹」(61.3%)が6割を超えて特に高くなっている。次いで「緑豊かな常緑樹の街路樹」(39.9%)が4割弱、「イチョウなどの紅葉する街路樹」(33.1%)、「剪定するなど管理された街路樹」(32.2%)が3割強で続く。(図表 10-1)

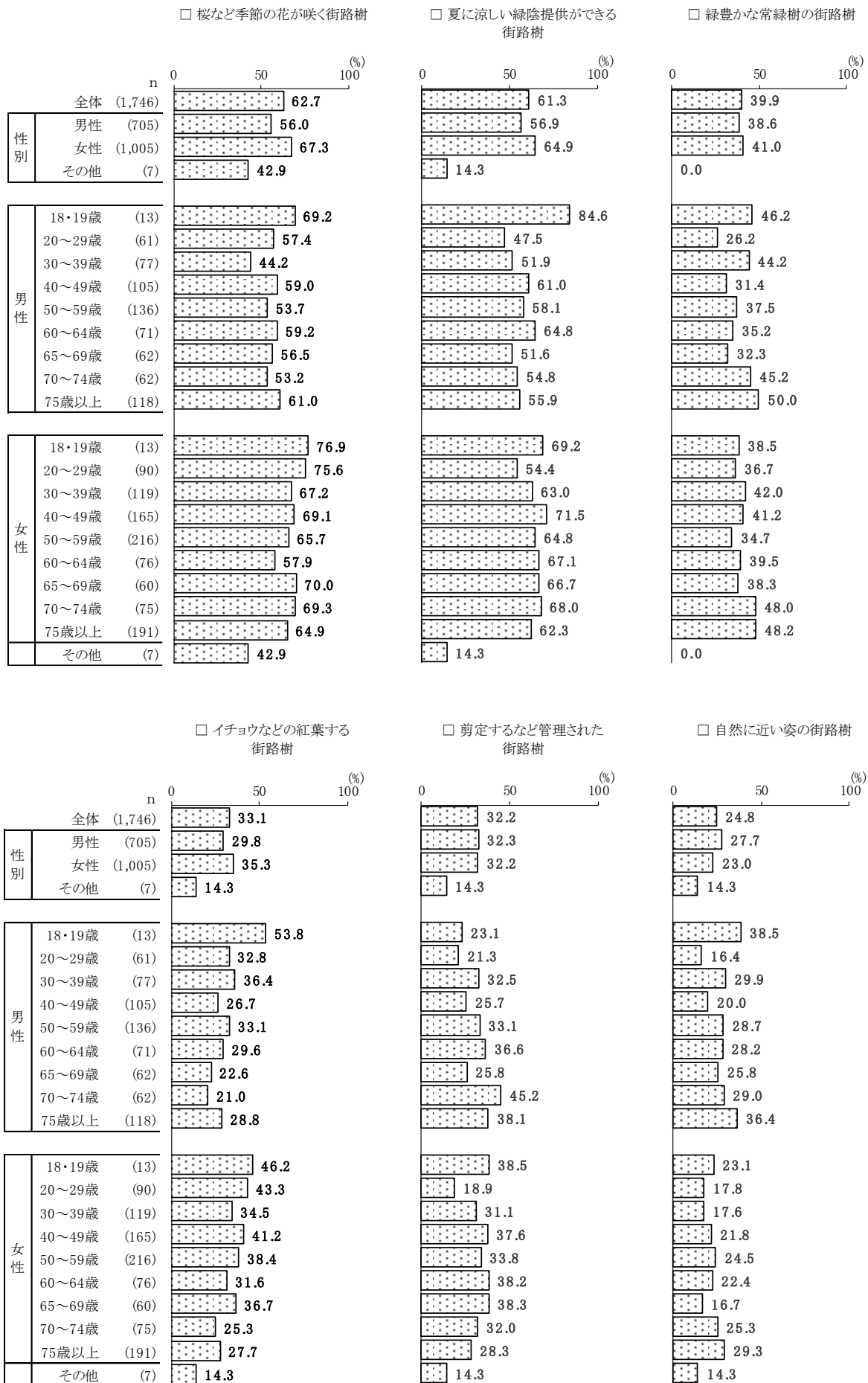
【性・年齢別】

「桜など季節の花が咲く街路樹」は女性(67.3%)が男性(56.0%)より11.3ポイント高い。

「夏に涼しい緑陰提供ができる街路樹」も女性(64.9%)が男性(56.9%)より8.0ポイント高い。

上位6項目のうち、その他に「緑豊かな常緑樹の街路樹」や「イチョウなどの紅葉する街路樹」も女性の方が要望度は高くなっている。(図表 10-2)

<図表 10-2>街路樹への要望(上位6項目)／性・年齢別



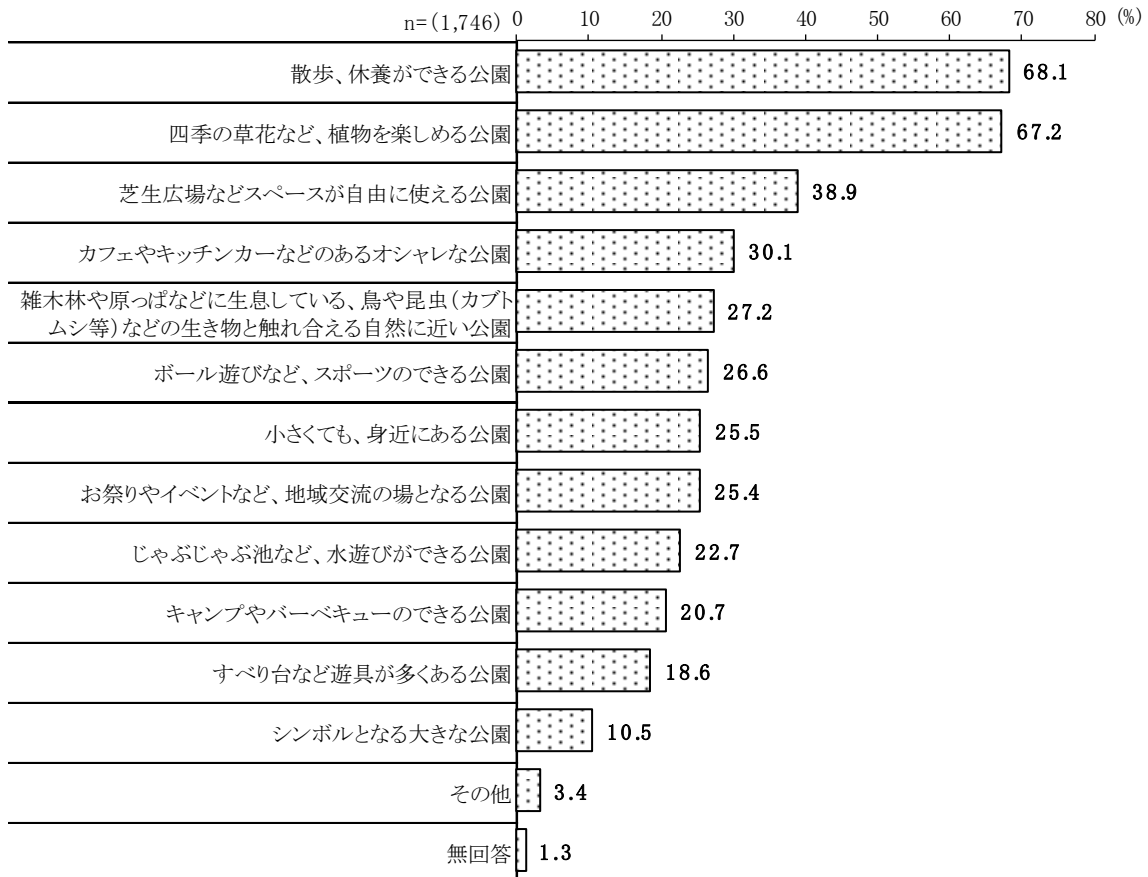
11. 公園について

(1) 公園への要望

◇「散歩、休養ができる公園」、「四季の草花など、植物を楽しめる公園」が7割近くで高い。

問13 あなたは、どのような公園があれば良いと思いますか。(〇はいくつでも)

<図表 11-1>公園への要望



「散歩、休養ができる公園」(68.1%)、「四季の草花など、植物を楽しめる公園」(67.2%)が7割近くで特に高くなっている。次いで、「芝生広場などスペースが自由に使える公園」(38.9%)が4割近くで高い。「シンボルとなる大きな公園」(10.5%)は約1割と他に比べて要望度が低い。(図表 11-1)

【性・年齢別】

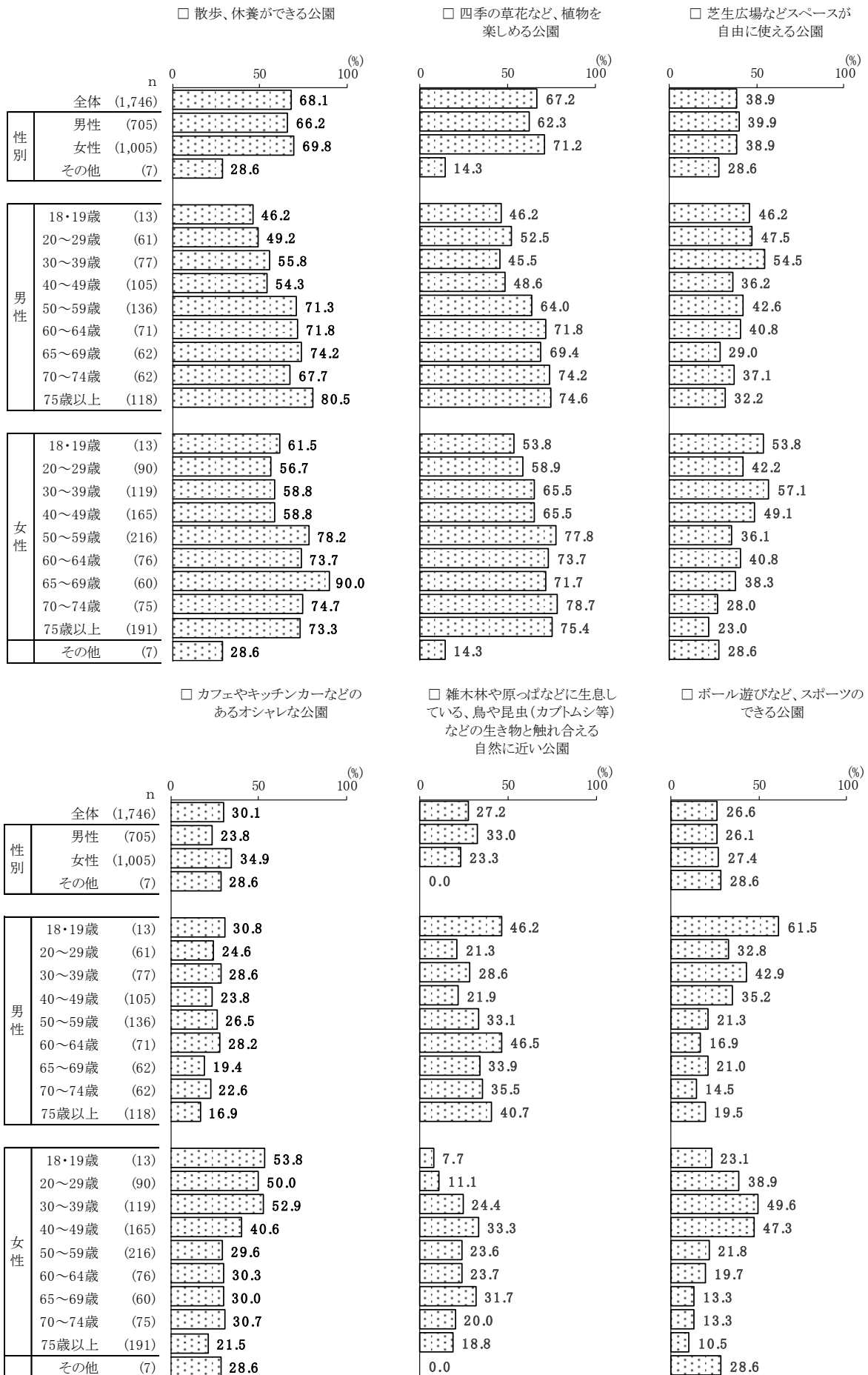
「散歩、休養ができる公園」は、男性、女性ともに50歳代以降で特に高く、女性65～69歳(90.0%)は9割に達している。「四季の草花など、植物を楽しめる公園」も同様に50歳代以降で高くなっている。

「芝生広場などスペースが自由に使える公園」は逆に男性、女性ともに若年層で高い傾向にあり、30～39歳が5割を超えて高くなっている。

「カフェやキッチンカーなどのあるオシャレな公園」は女性の30歳代以下が5割を超えて高い。

(図表 11-2)

<図表 11-2>公園への要望(上位6項目)／性・年齢別



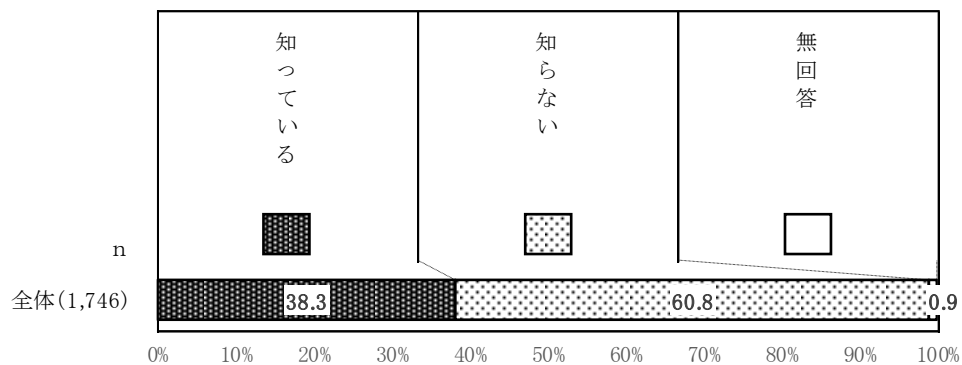
12. 葛西海浜公園について

(1) 葛西海浜公園がラムサール条約湿地に登録されていることの認知度

◇葛西海浜公園がラムサール条約湿地に登録されていることを「知っている」は4割近く。

問14 あなたは、葛西海浜公園がラムサール条約湿地に登録されていることを知っていますか。
(○は1つ)

<図表 12-1> 葛西海浜公園がラムサール条約湿地に登録されていることの認知度



葛西海浜公園がラムサール条約湿地に登録されていることの認知度をはかったところ、「知らない」(60.8%)が6割を超えて高く、「知っている」(38.3%)は4割近くにとどまる。(図表 12-1)

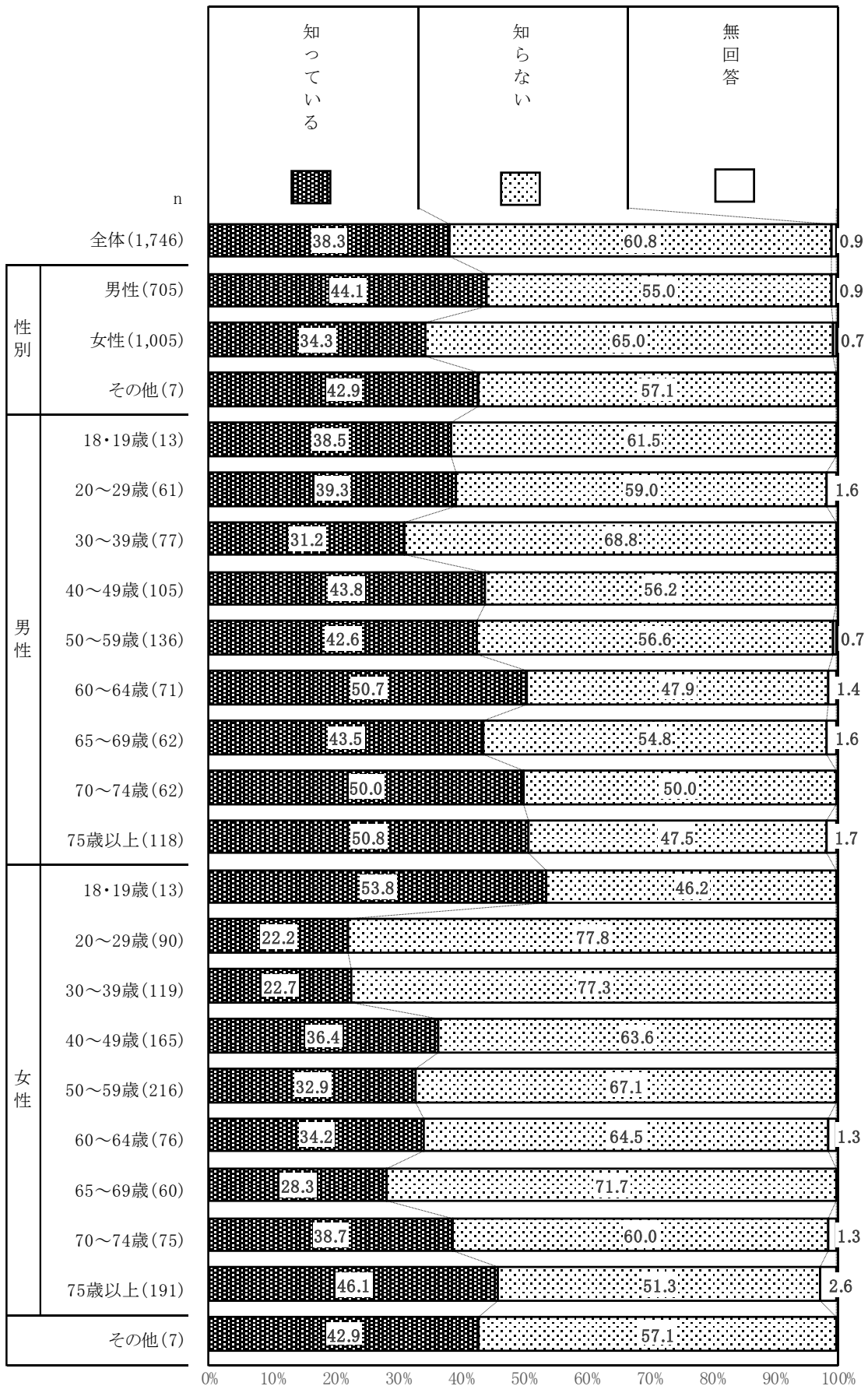
【性・年齢別】

「知っている」は男性(44.1%)が女性(34.3%)より 9.8 ポイント高く、男性の方が登録されていることの認知度は高くなっている。

男性において、「知っている」は 40 歳代以降で高く、60～64 歳(50.7%)、70～74 歳(50.0%)、75 歳以上(50.8%)では5割に達している。30～39 歳(31.2%)は3割強と、他の年代に比べて低い。

女性において、「知っている」は 75 歳以上(46.1%)が5割近くで高いが、他の年代は4割に満たない。20～29 歳(22.2%)、30～39 歳(22.7%)は2割強と他の年代に比べて低い。(図表 12-2)

＜図表 12-2＞葛西海浜公園がラムサール条約湿地に登録されていることの認知度／性・年齢別



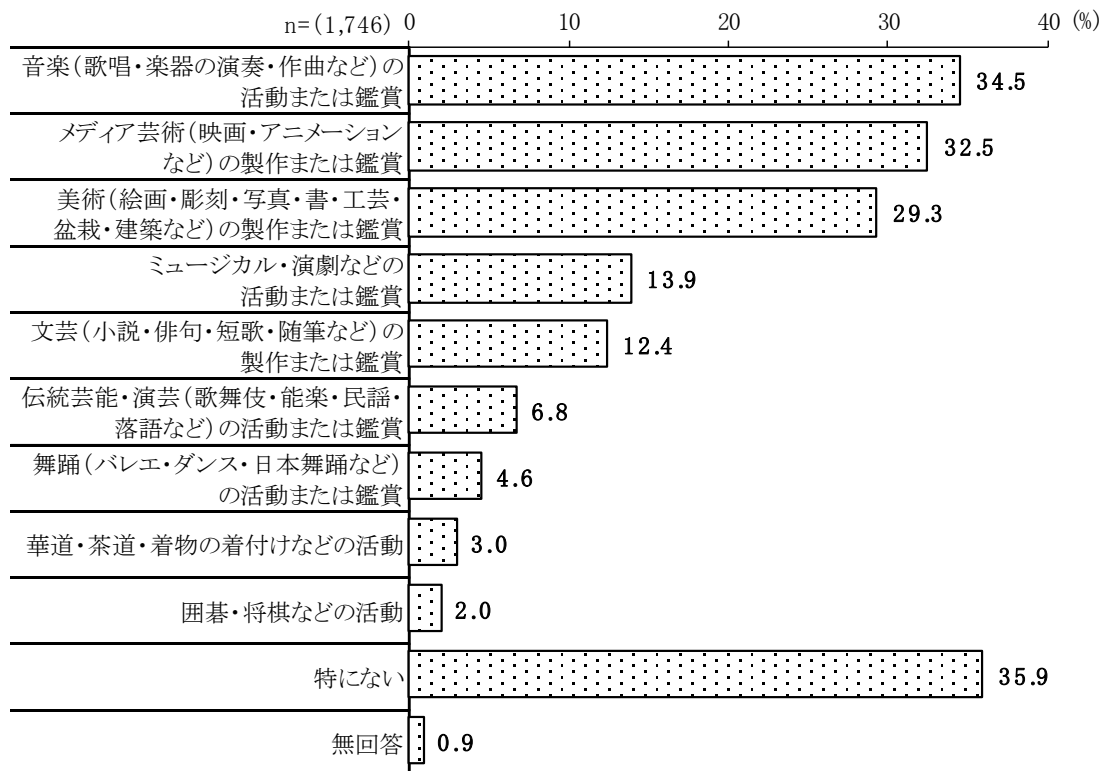
13. 文化芸術活動について

(1) 文化芸術活動や鑑賞の種類

◇「音楽の活動または鑑賞」、「メディア芸術の製作または鑑賞」、「美術の製作または鑑賞」が3割前後で高くなっている。

問15 あなたは、この1年間にどのような文化芸術活動や鑑賞(テレビ・インターネット・DVD などによる鑑賞を除く)をしましたか。(○はいくつでも)

<図表 13-1>文化芸術活動や鑑賞の種類



「音楽の活動または鑑賞」(34.5%)、「メディア芸術の製作または鑑賞」(32.5%)、「美術の製作または鑑賞」(29.3%)が3割前後で特に高くなっている。次いで「ミュージカル・演劇などの活動または鑑賞」(13.9%)、「文芸の製作または鑑賞」(12.4%)が1割強で続いている。(図表 13-1)

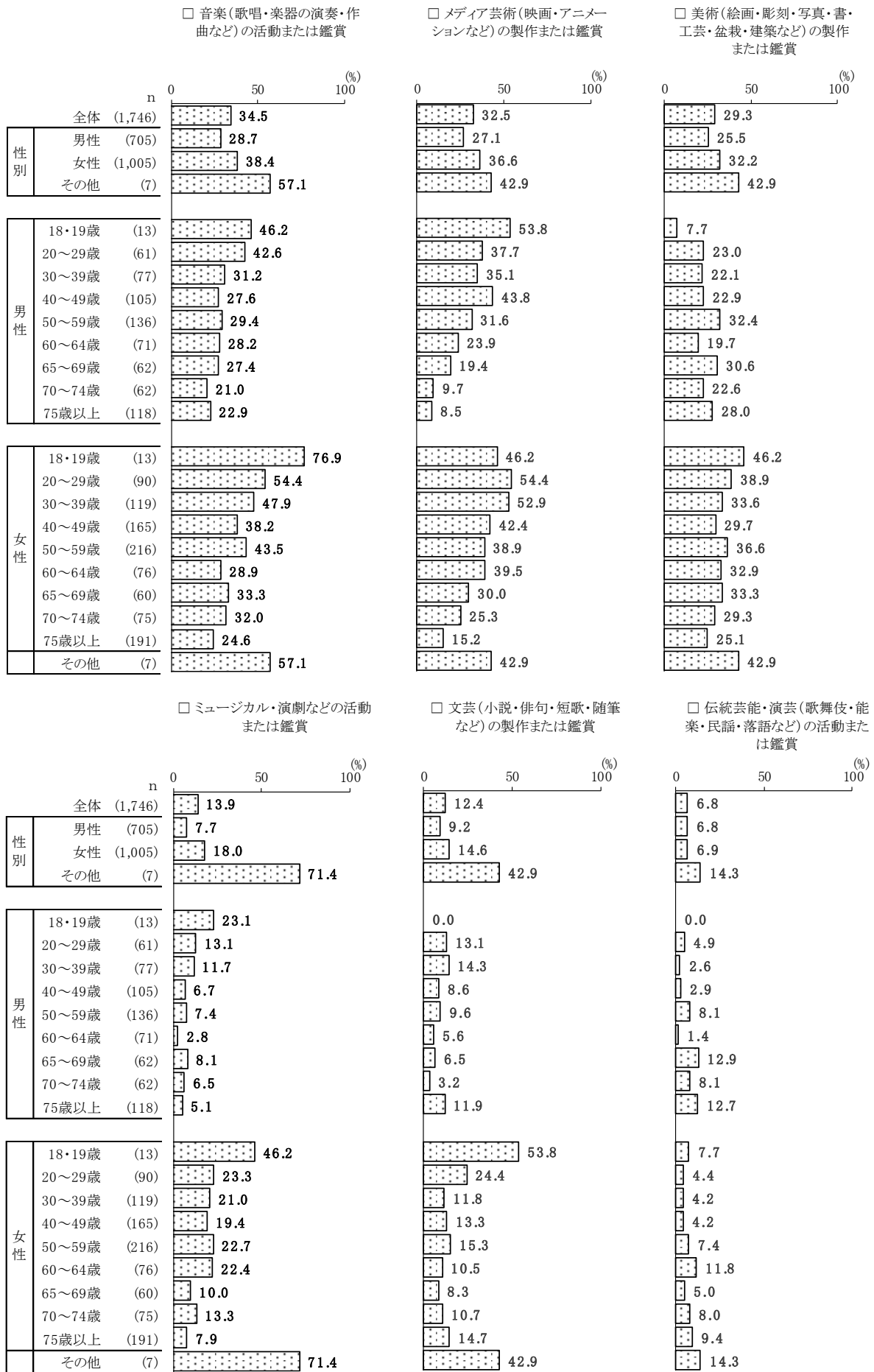
【性・年齢別】

「音楽の活動または鑑賞」は男性、女性ともに年代が下がるごとに高い傾向にある。特に女性は顕著で 20～29 歳(54.4%)は5割を超えて高い。

「メディア芸術の製作または鑑賞」も同様に男性、女性ともに年代が下がるごとに高い傾向にあり、女性 20～29 歳(54.4%)、30～39 歳(52.9%)は5割を超えて高くなっている。

「美術の製作または鑑賞」は男性、女性ともに各年代2～3割程度で大きな差は見られないが、女性が全年代において男性より高い傾向にある。(図表 13-2)

<図表 13-2>文化芸術活動や鑑賞の種類(上位6項目)／性・年齢別

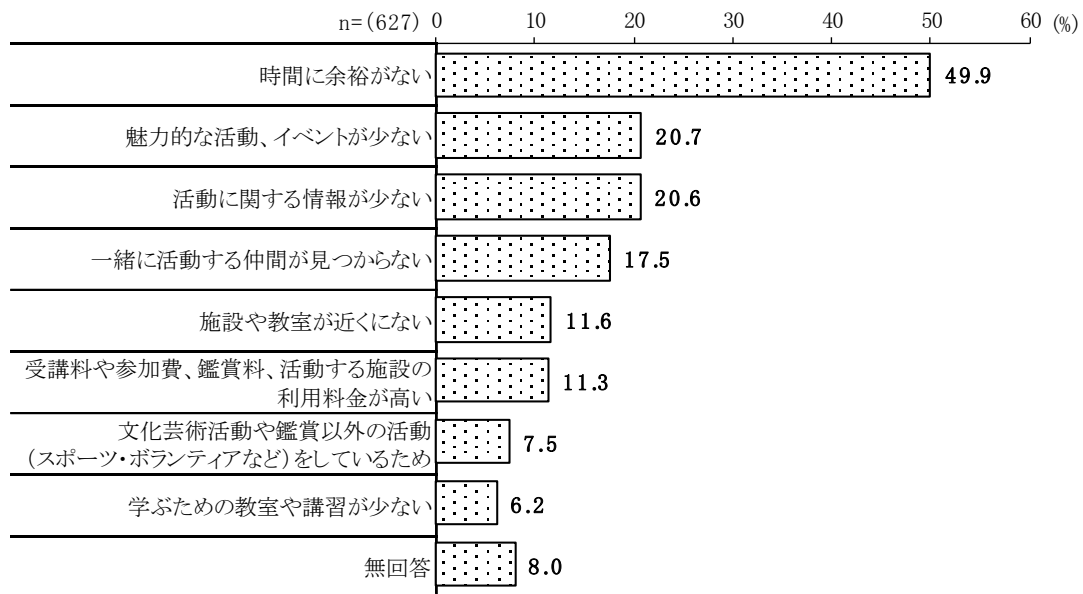


(2) 文化芸術活動や鑑賞をしなかった理由

◇「時間に余裕がない」が5割弱と最も高くなっている。

問15-1 問15で「10」と答えた方にお尋ねします。この1年間に文化芸術活動や鑑賞(テレビ・インターネット・DVD などによる鑑賞を除く)をしなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

<図表 13-3>文化芸術活動や鑑賞をしなかった理由



文化芸術活動や鑑賞をしなかった理由では、「時間に余裕がない」(49.9%)が5割弱で特に高くなっている。次いで、「魅力的な活動、イベントが少ない」(20.7%)、「活動に関する情報が少ない」(20.6%)が約2割で続いている。(図表 13-3)

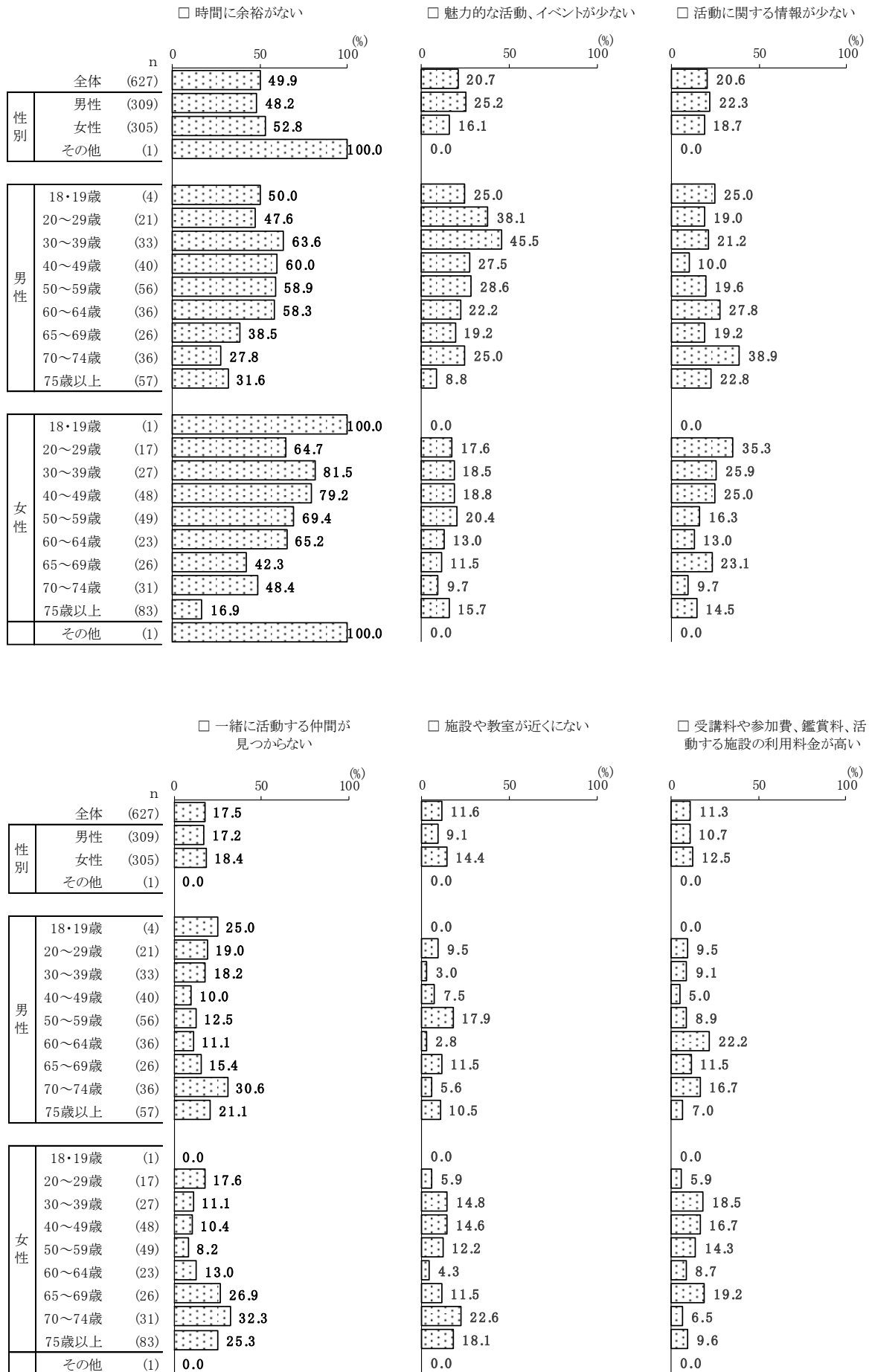
【性・年齢別】

「時間に余裕がない」は女性(52.8%)が男性(48.2%)より4.6ポイント高い。30歳代から60歳代前半にかけて仕事や子育てなどが想定される年齢層が高く、30歳代から40歳代の女性の割合が特に高くなっている。

「魅力的な活動、イベントが少ない」は男性(25.2%)が女性(16.1%)より9.1ポイント高く、男女の差が大きい。特に男性の20～29歳(38.1%)、30～39歳(45.5%)が4割前後で高くなっている。

「活動に関する情報が少ない」は男性(22.3%)が女性(18.7%)より3.6ポイント高い。特に男性75歳以上(38.9%)が4割弱で高くなっている。(図表 13-4)

<図表 13-4>文化芸術活動や鑑賞をしなかった理由(上位6項目)／性・年齢別



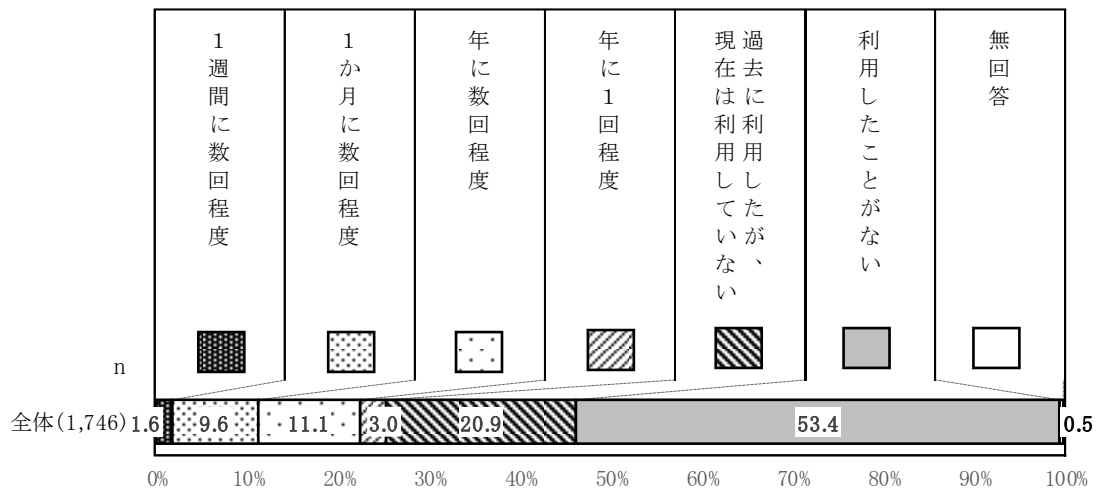
14. 図書館について

(1) 図書館や図書館サテライトの利用頻度

◇「利用したことがない」が5割強で過半数に達している。

問16 あなたは図書館や図書館サテライトをどのくらいの頻度で利用していますか。(〇は1つ)

<図表 14-1> 図書館や図書館サテライトの利用頻度



「利用したことがない」(53.4%)が5割強で特に高くなっている。次いで、「過去に利用したが、現在は利用していない」(20.9%)、「年に回数程度」(11.1%)、「1か月に回数程度」(9.6%)、「年に1回程度」(3.0%)、「1週間に回数程度」(1.6%)の順になっている。「利用したことがない」、「過去に利用したが、現在は利用していない」の合計は7割台半ばを占める。(図表 14-1)

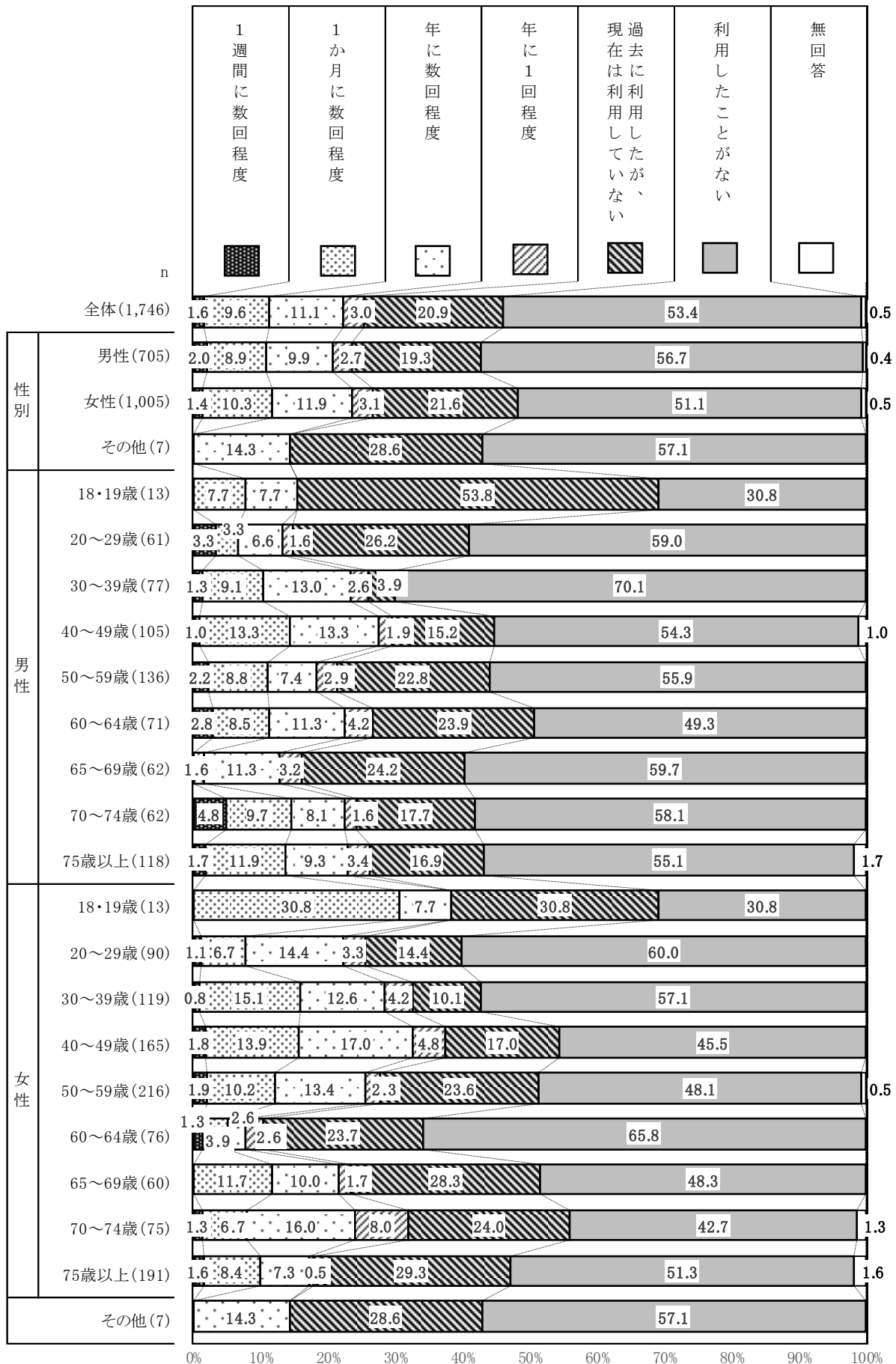
【性・年齢別】

「利用したことがない」は男性(56.7%)が女性(51.1%)より 5.6 ポイント高い。「過去に利用したが、現在は利用していない」は女性(21.6%)が男性(19.3%)より 2.3 ポイント高くなっている。

男性において、「利用したことがない」は 30～39 歳(70.1%)が7割を超えて特に高い。「過去に利用したが、現在は利用していない」は 20 歳代、50 歳代、60 歳代が2割を超えて高くなっている。「1週間に回数程度」は 70～74 歳(4.8%)が他の年代に比べて高い。

女性において、「利用したことがない」は 60～64 歳(65.8%)が6割台半ばで特に高い。「過去に利用したが、現在は利用していない」は 50 歳代以降が 2 割を超えて高くなっている。60～64 歳は「利用したことがない」、「過去に利用したが、現在は利用していない」の合計が9割弱と他の年代に比べて特に高い。(図表 14-2)

<図表 14-2> 図書館や図書館サテライトの利用頻度／性・年齢別

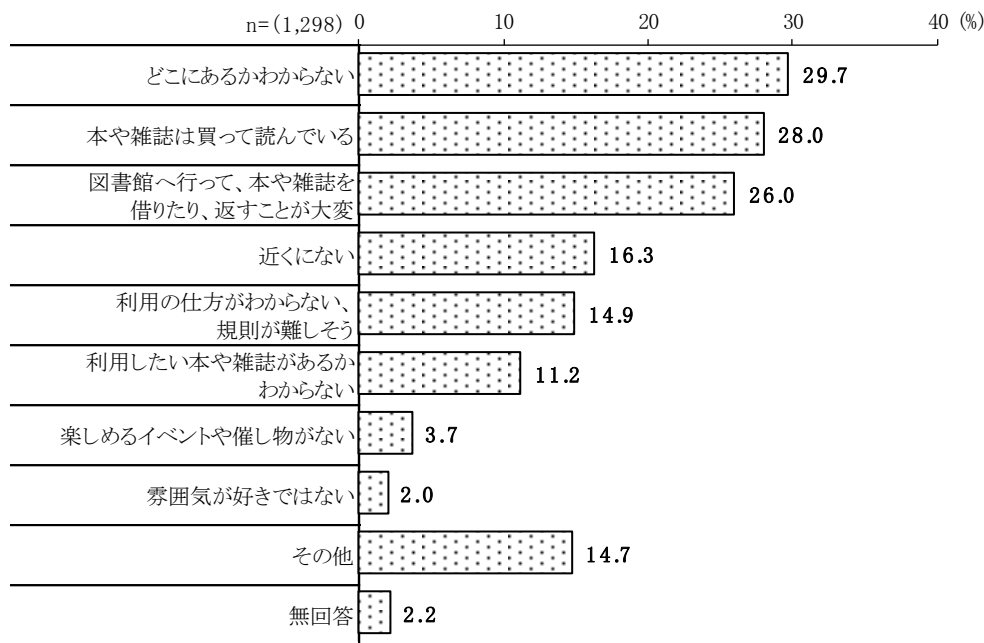


(2) 図書館や図書館サテライトを利用しなかった理由

◇「どこにあるかわからない」、「本や雑誌は買って読んでいる」、「図書館へ行って、本や雑誌を借りたり、返すことが大変」が3割近くで高い。

問16-1 問16で「5」または「6」と答えた方にお尋ねします。図書館や図書館サテライトを利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

<図表 14-3> 図書館や図書館サテライトを利用しなかった理由



「どこにあるかわからない」(29.7%)、「本や雑誌は買って読んでいる」(28.0%)、「図書館へ行って、本や雑誌を借りたり、返すことが大変」(26.0%)が3割近くで特に高い。次いで「近くにない」(16.3%)、「利用の仕方がわからない、規則が難しそう」(14.9%)、「利用したい本や雑誌があるかわからない」(11.2%)と続いている。(図表 14-3)

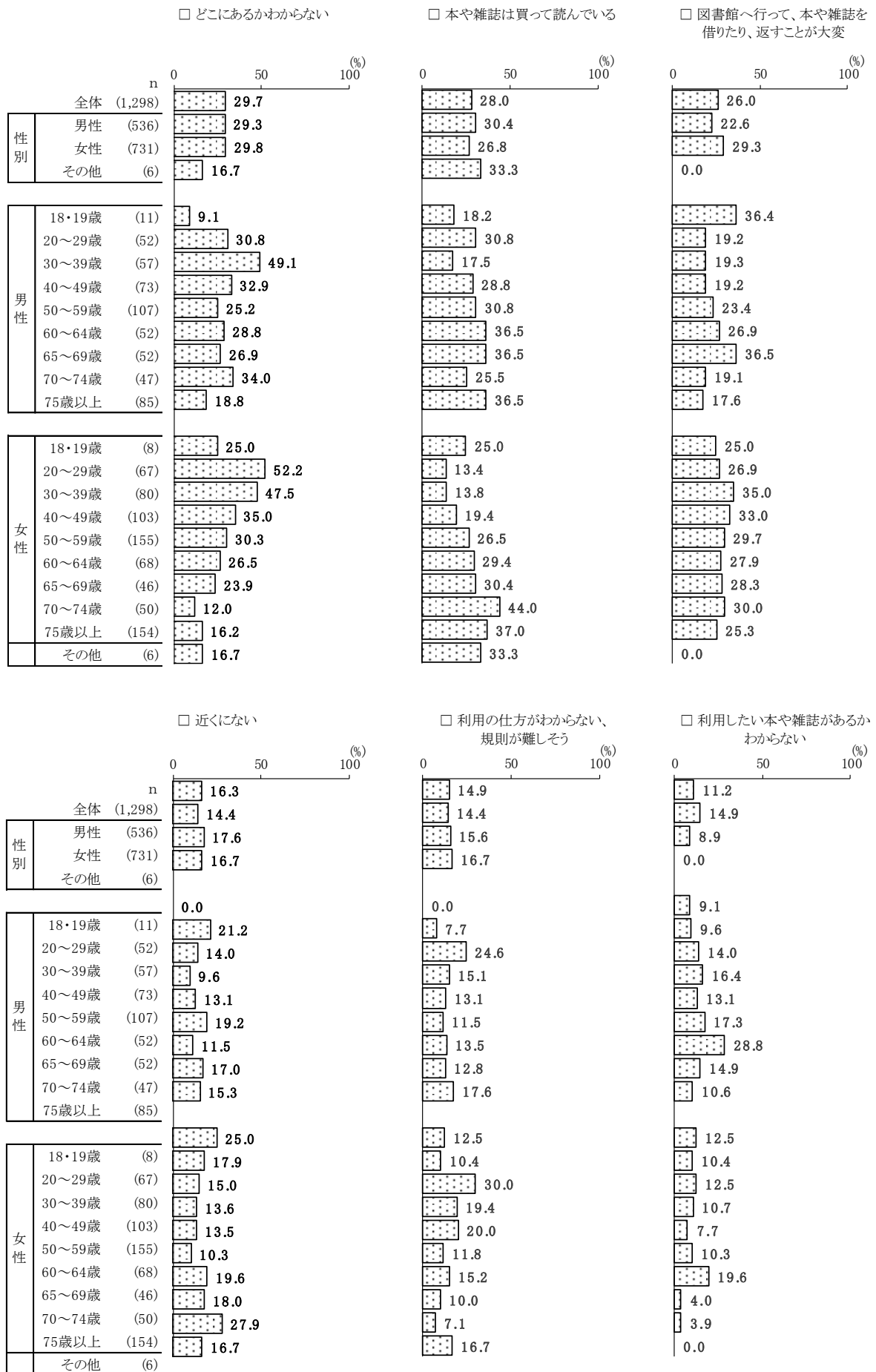
【性・年齢別】

「どこにあるかわからない」は男性、女性ともに若年層の方が高い傾向にあるが、男性は70～74歳(34.0%)も高くなっている。

「本や雑誌は買って読んでいる」は男性、女性ともに熟年層の方が高い傾向にあり、女性70～74歳(44.0%)が4割台半ばで特に高い。

「図書館へ行って、本や雑誌を借りたり、返すことが大変」は、男性では65～69歳(36.5%)が特に高く、女性では各年代とも3割前後で高くなっている。(図表 14-4)

<図表 14-4> 図書館や図書館サテライトを利用しなかった理由(上位6項目)／性・年齢別



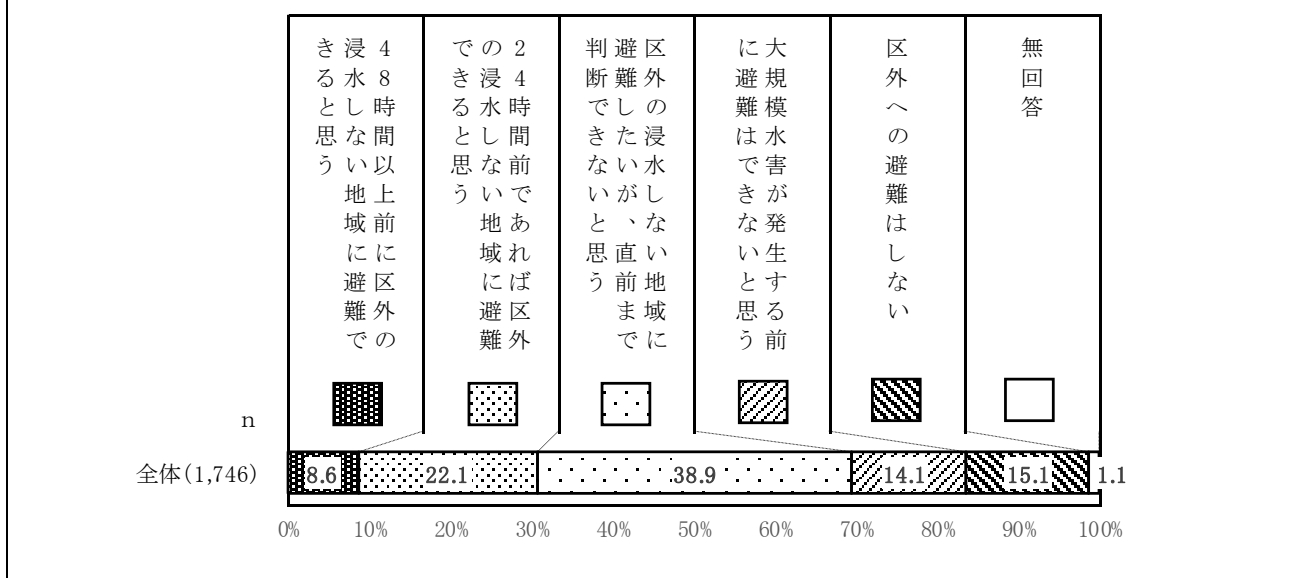
15. 災害対策について

(1) 大規模水害時の避難するタイミング

◇「区外の浸水しない地域に避難したいが、直前まで判断できないと思う」が4割弱で高い。

問17 超大型台風の接近など大規模水害の発生が予測される時に、あなたは江戸川区外の浸水しない地域にどのタイミングで避難できると思いますか。(〇は1つ)

<図表 15-1>大規模水害時の避難するタイミング



「区外の浸水しない地域に避難したいが、直前まで判断できないと思う」(38.9%)が4割弱で特に高く、「大規模水害が発生する前に避難はできないと思う」(14.1%)、「区外への避難はしない」(15.1%)との合計は7割弱になる。(図表 15-1)

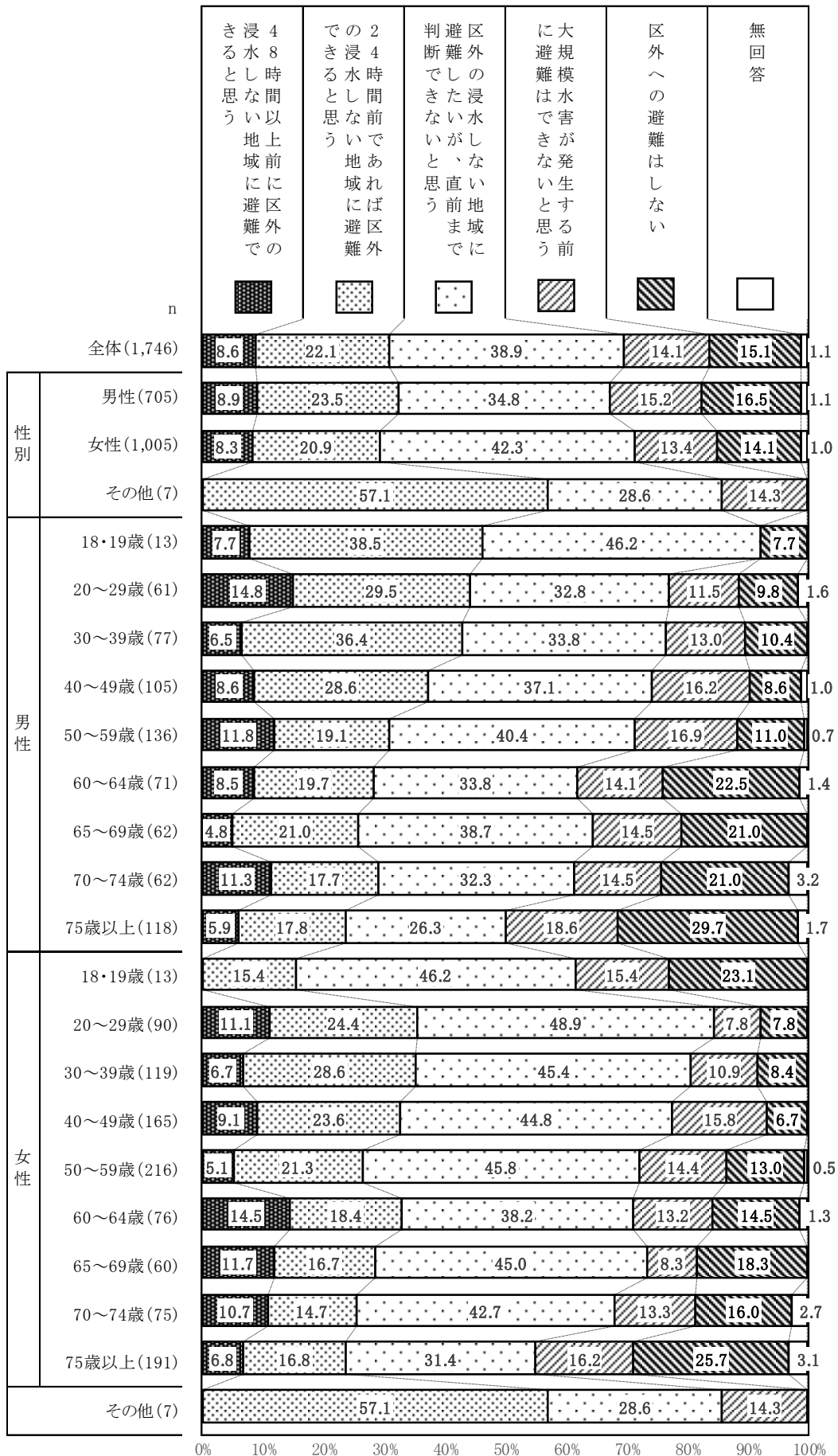
【性・年齢別】

「区外の浸水しない地域に避難したいが、直前まで判断できないと思う」は女性(42.3%)が男性(34.8%)より7.5ポイント高い。「大規模水害が発生する前に避難はできないと思う」は男性(15.2%)が女性(13.4%)より1.8ポイント、「区外への避難はしない」も男性(16.5%)が女性(14.1%)より2.4ポイント高くなっている。

男性において、「区外の浸水しない地域に避難したいが、直前まで判断できないと思う」は50～59歳(40.4%)が4割を超えて高い。「区外への避難はしない」は75歳以上(29.7%)が3割弱で特に高くなっている。

女性において、「区外の浸水しない地域に避難したいが、直前まで判断できないと思う」は各年代とも3～4割と高く、20～29歳(48.9%)は5割近くで高い。「区外への避難はしない」は男性同様に年代が上がるごとに高い傾向にあり、75歳以上(25.7%)は2割を超えて特に高くなっている(図表 15-2)

＜図表 15-2＞大規模水害時の避難するタイミング／性・年齢別



【居住地区別】

「48 時間以上前に区外の浸水しない地域に避難できると思う」は東部地区(11.1%)が1割を超えて最も高く、「24 時間前であれば区外の浸水しない地域に避難できると思う」は小松川地区(26.1%)、中央地区(25.0%)、東部地区(25.8%)が2割台半ばで高い。『避難できる』の合計は小松川地区、東部地区が3割台半ばで高い。

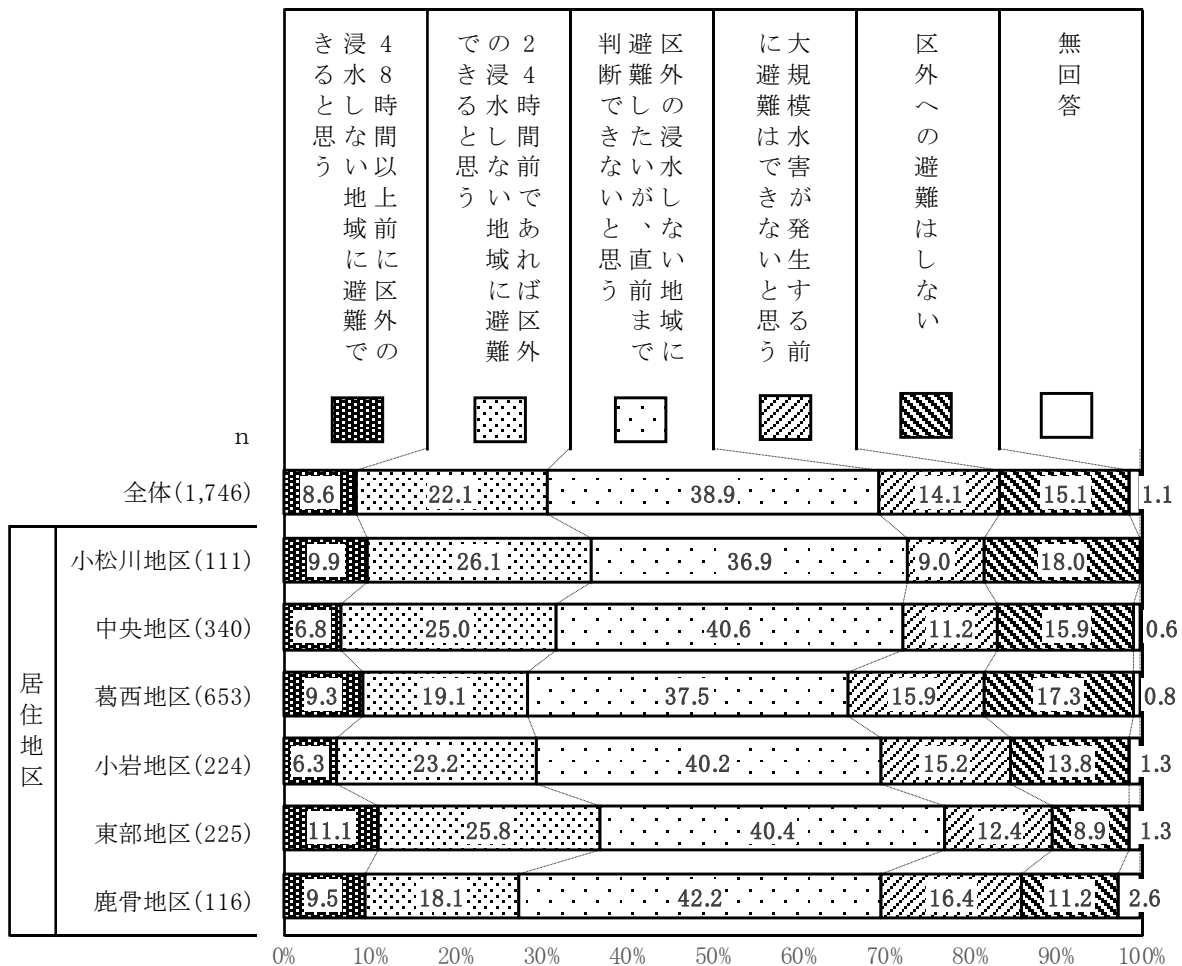
「区外の浸水しない地域に避難したいが、直前まで判断できないと思う」は中央地区(40.6%)、小岩地区(40.2%)、東部地区(40.4%)、鹿骨地区(42.2%)が4割を超える。

「大規模水害が発生する前に避難はできないと思う」は葛西地区(15.9%)、小岩地区(15.2%)、鹿骨地区(16.4%)が1割台半ばで高い。

「区外への避難はしない」は小松川地区(18.0%)、葛西地区(17.3%)が2割近くで高くなっている。

(図表 15-3)

<図表 15-3>大規模水害時の避難するタイミング／居住地区別

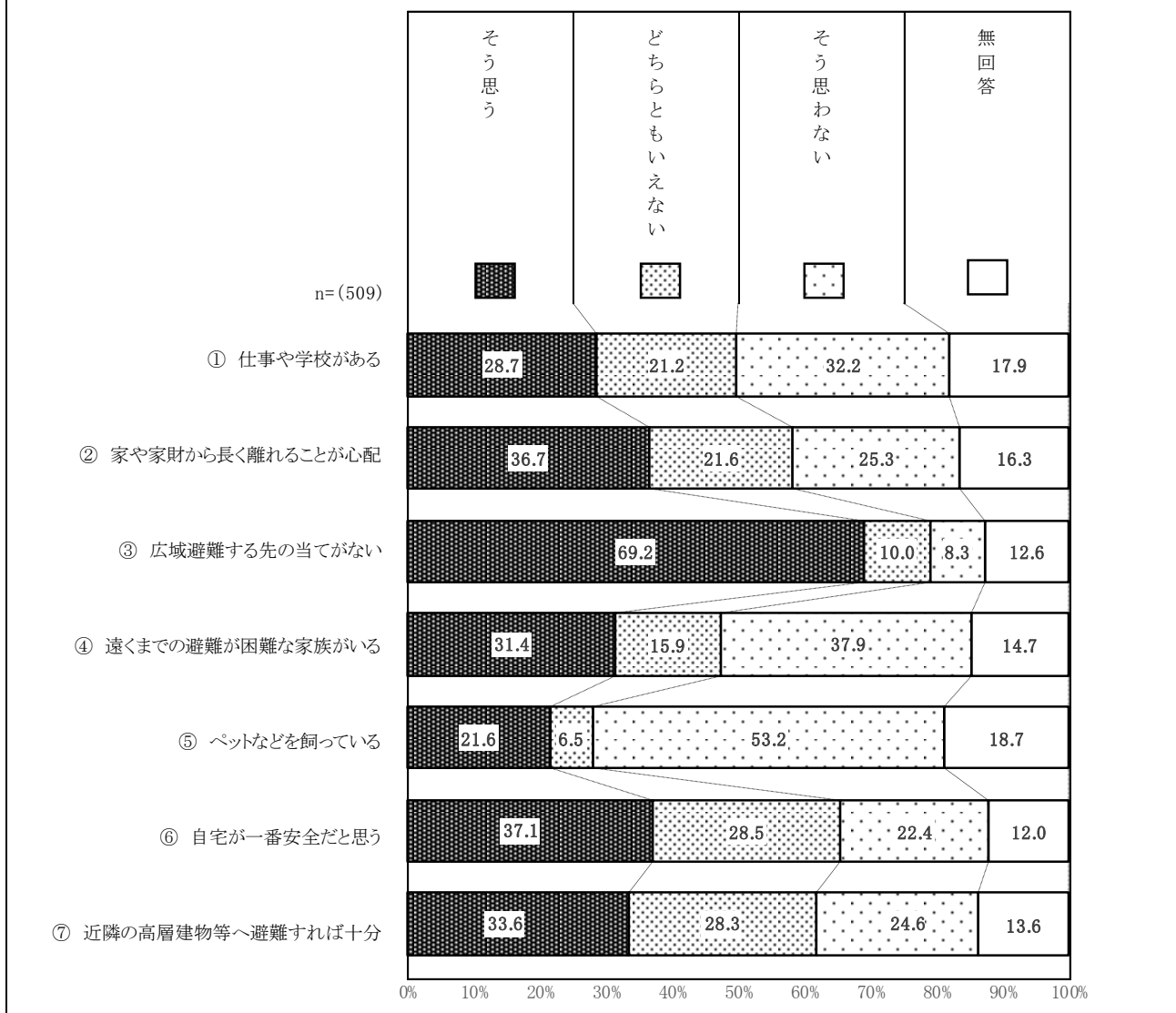


(2) 広域避難しない理由・各項目

◇「そう思う」は【③ 広域避難する先の当てがない】が7割弱と最も高い。「そう思わない」は【⑤ ペットなどを飼っている】が5割強と高い。

問17-1 問17で「4」または「5」と答えた方にお尋ねします。大規模水害時に広域避難しない(できない)理由について、あなたはどのようにお考えですか。理由ごとにお答えください。
(それぞれ〇は1つつ)

<図表 15-4> 広域避難しない理由・各項目



大規模水害時に広域避難しない(できない)理由について「そう思う」は【③ 広域避難する先の当てがない】(69.2%)が7割弱と特に高くなっている。次いで、【⑥ 自宅が一番安全だと思う】(37.1%)、【② 家や家財から長く離れることが心配】(36.7%)が4割近くで続く。

「そう思わない」は【⑤ ペットなどを飼っている】(53.2%)が5割強で特に高くなっている。次いで、【④ 遠くまでの避難が困難な家族がいる】(37.9%)、【① 仕事や学校がある】(32.2%)が3割を超えて高い。

(図表 15-4)

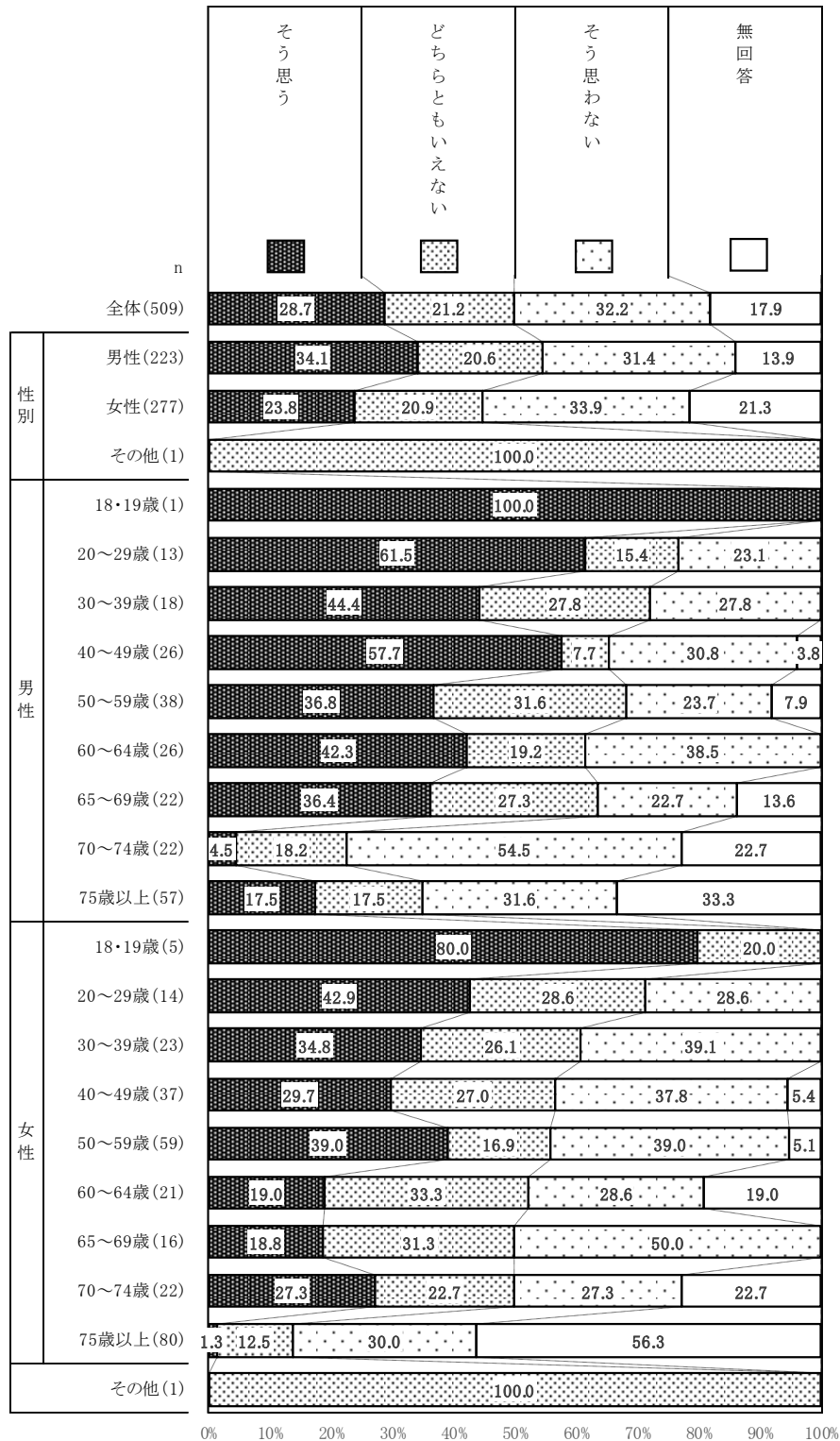
【① 仕事や学校がある／性・年齢別】

「そう思う」は男性(34.1%)が女性(23.8%)より10.3ポイント高く、差が大きい。

男性において、「そう思う」は20～29歳(61.5%)、40～49歳(57.7%)が6割前後で高く、「そう思わない」は70～74歳(54.5%)が5割台半ばで高くなっている。

女性において、「そう思う」は20～29歳(42.9%)、50～59歳(39.0%)が4割前後で高く、「そう思わない」は65～69歳(50.0%)が5割で高い。(図表15-5)

＜図表 15-5＞① 仕事や学校がある／性・年齢別

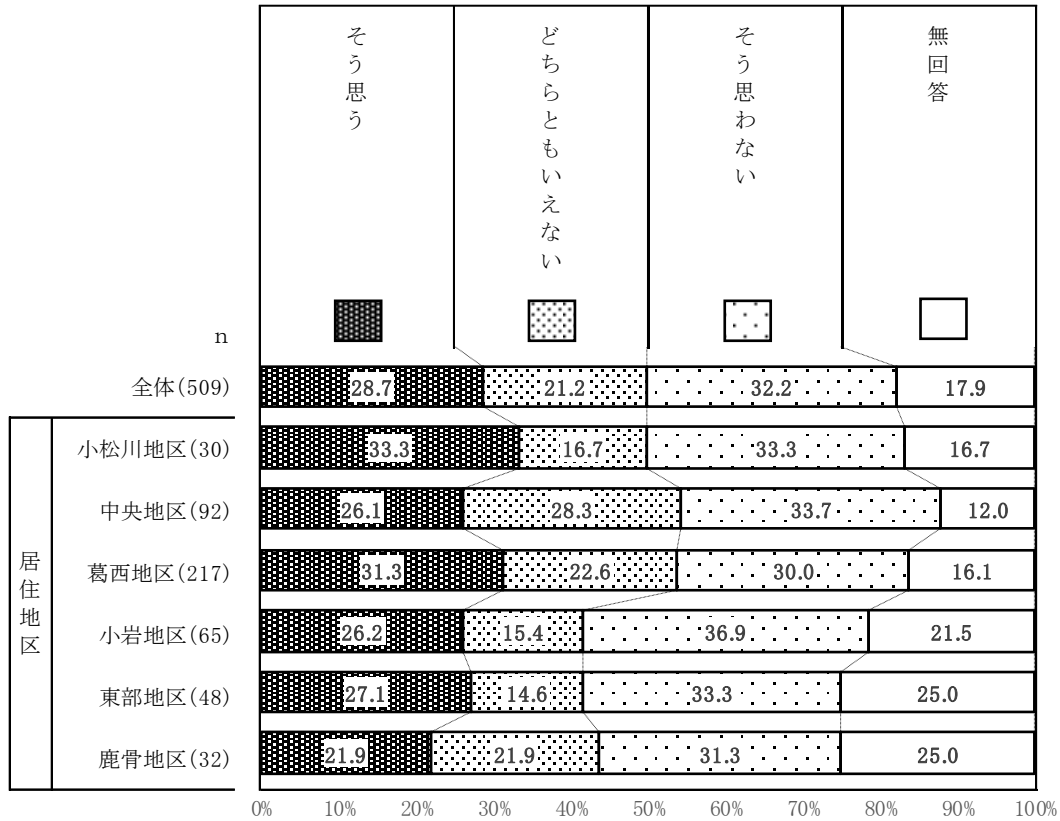


【① 仕事や学校がある／居住地区別】

「そう思う」は小松川地区(33.3%)、葛西地区(31.3%)が3割を超えて高い。

一方、「そう思わない」は小岩地区(36.9%)が4割近くで高くなっている。(図表 15-6)

<図表 15-6>① 仕事や学校がある／居住地区別



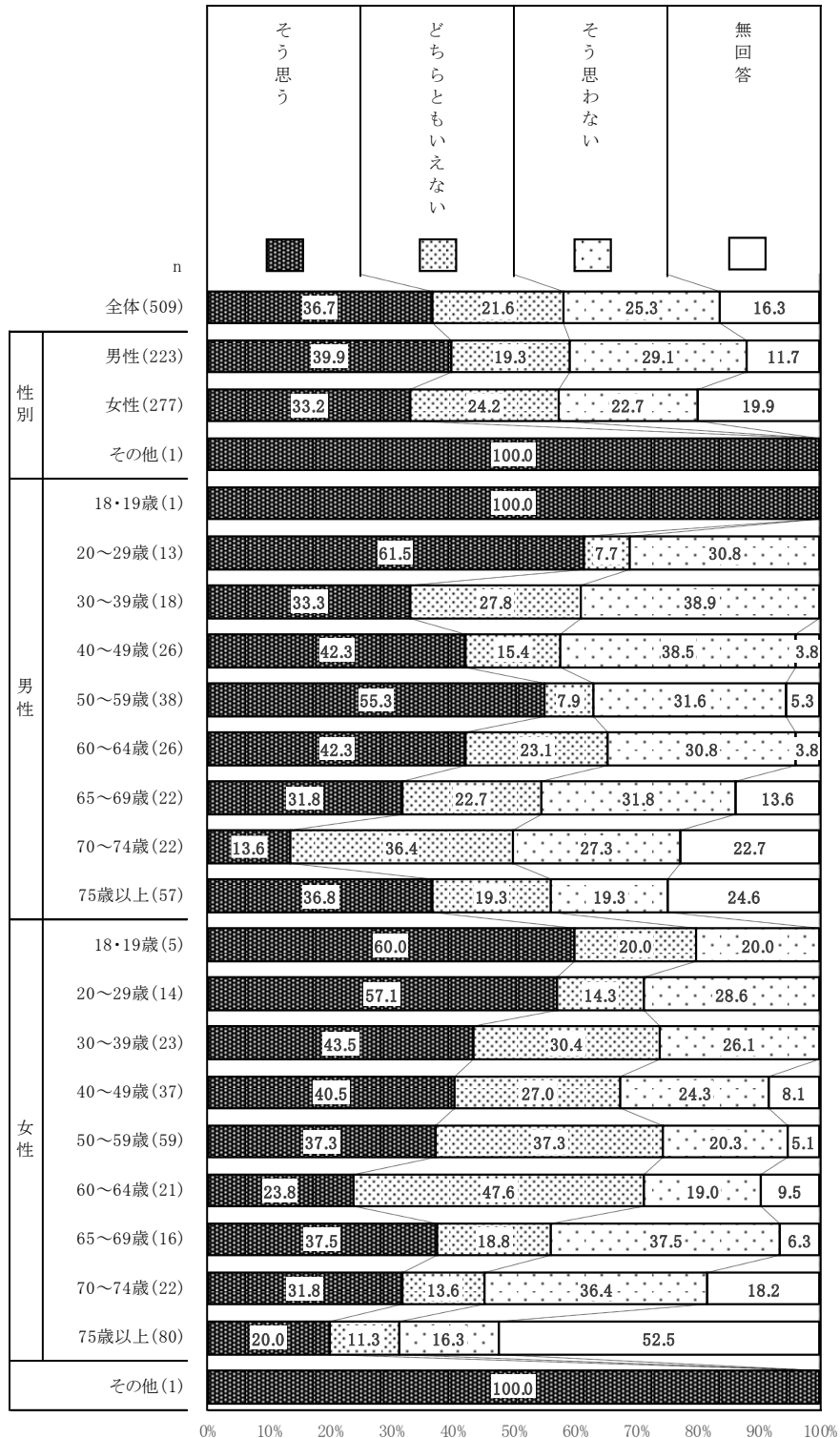
【②家や家財から長く離れることが心配／性・年齢別】

「そう思う」は男性(39.9%)が女性(33.2%)より6.7ポイント高い。

男性において、「そう思う」は20～29歳(61.5%)、50～59歳(55.3%)が6割前後で高く、「そう思わない」は30～39歳(38.9%)、40～49歳(38.5%)が4割弱で高くなっている。

女性において、「そう思う」は20歳代が6割近くで高く、「そう思わない」は60歳代後半、70歳代前半が4割近くで高い。(図表 15-7)

<図表 15-7>②家や家財から長く離れることが心配／性・年齢別

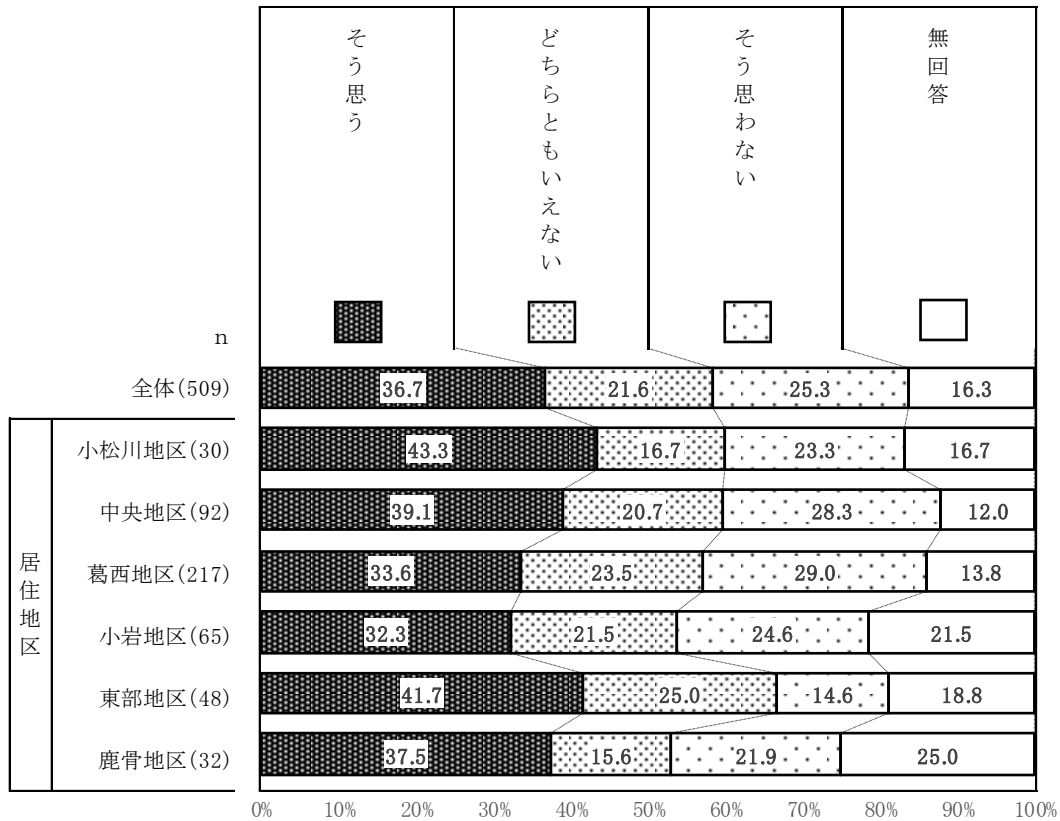


【②家や家財から長く離れることが心配／居住地区別】

「そう思う」は小松川地区(43.3%)、東部地区(41.7%)が4割強で高い。

一方、「そう思わない」は中央地区(28.3%)、葛西地区(29.0%)が3割弱で高くなっている。(図表 15-8)

<図表 15-8>②家や家財から長く離れることが心配／居住地区別



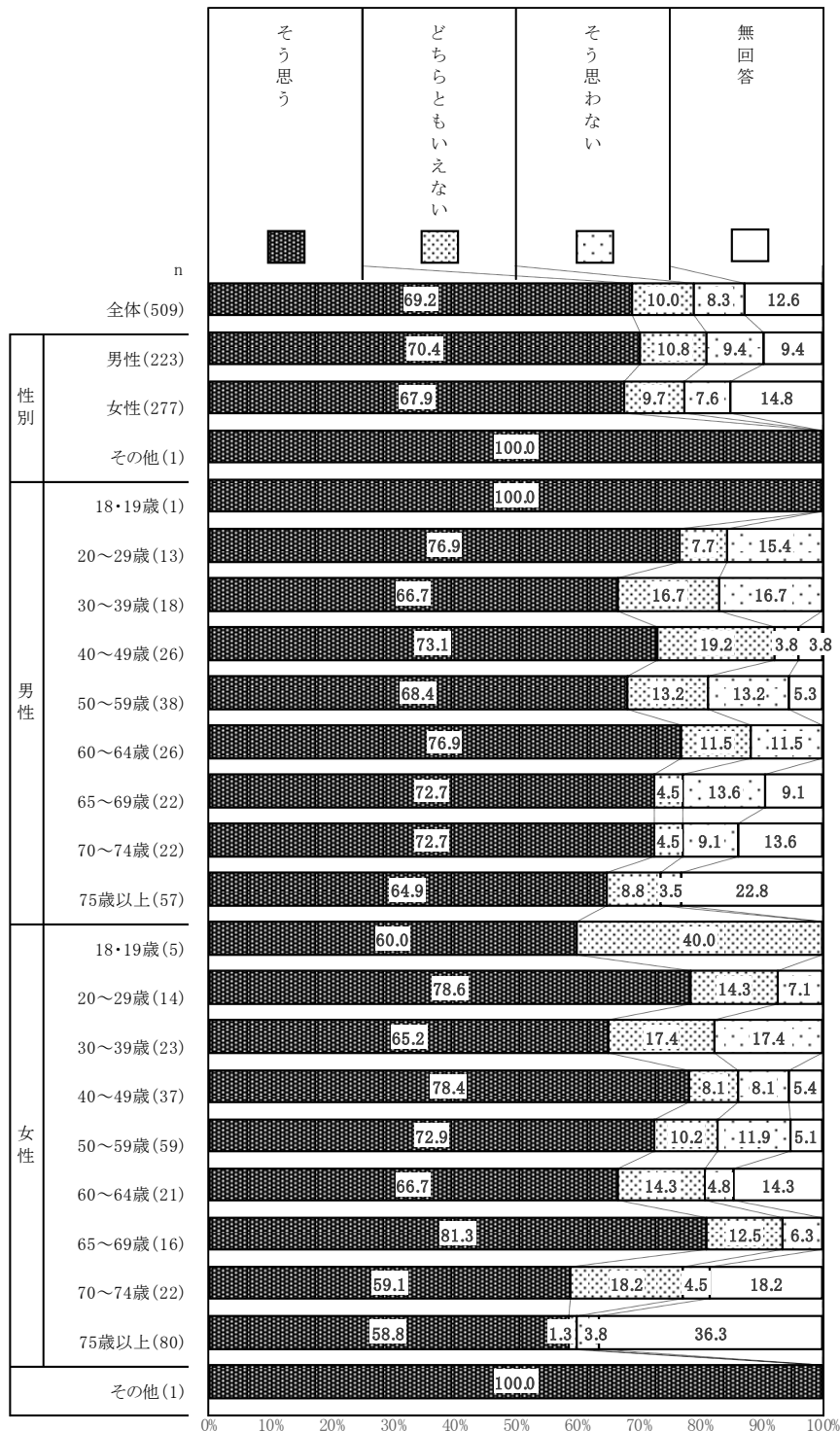
【③ 広域避難する先の当てがない／性・年齢別】

「そう思う」は男性(70.4%)が女性(67.9%)より2.5ポイント高い。

男性において、「そう思う」は各年代とも6～7割と高く、「そう思わない」は20～29歳(15.4%)、30～39歳(16.7%)が1割台半ばで高い。

女性において、「そう思う」は20～29歳(78.6%)、65～59歳(81.3%)が8割前後で高く、70歳代以降は6割に満たず他の年代に比べて低い。「そう思わない」は30～39歳(17.4%)、70～74歳(18.2%)が2割近くで高い。(図表15-9)

<図表 15-9>③ 広域避難する先の当てがない／性・年齢別

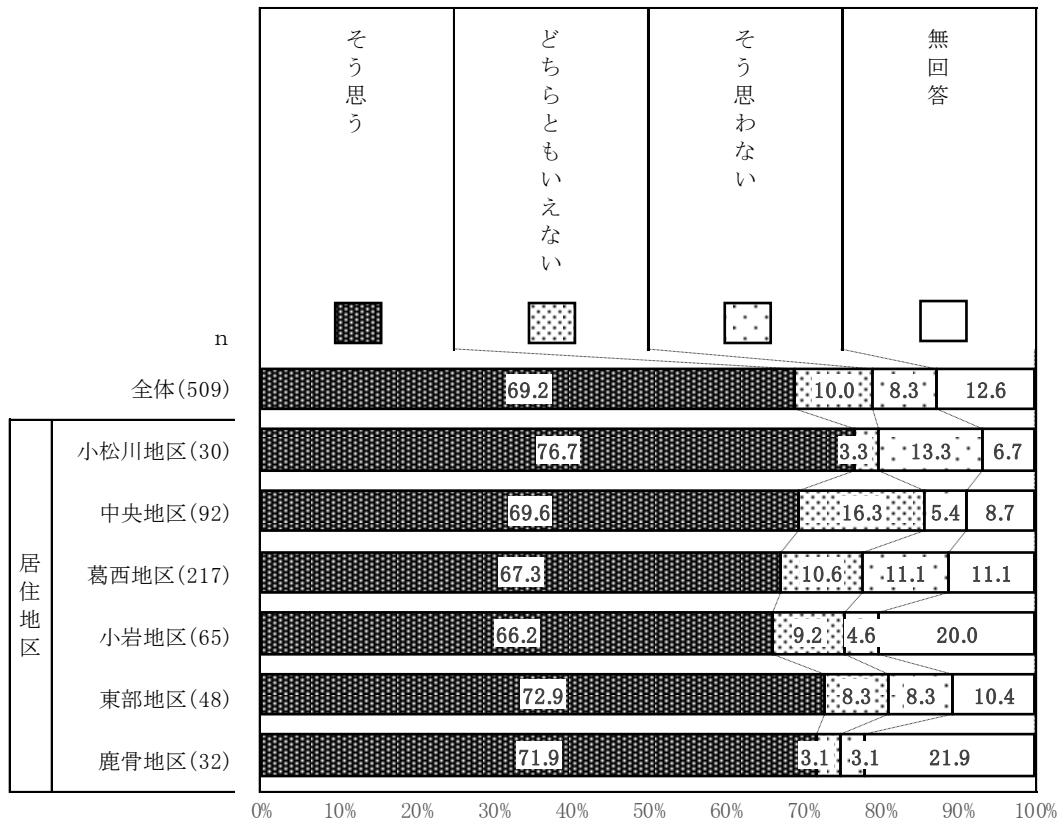


【③ 広域避難する先の当てがない／居住地区別】

「そう思う」は小松川地区(76.7%)、東部地区(72.9%)、鹿骨地区(71.9%)が7割を超えて高い。

一方、「そう思わない」は小松川地区(13.3%)、葛西地区(11.1%)が1割を超えて他の地区に比べて高くなっている。(図表 15-10)

<図表 15-10>③ 広域避難する先の当てがない／居住地区別



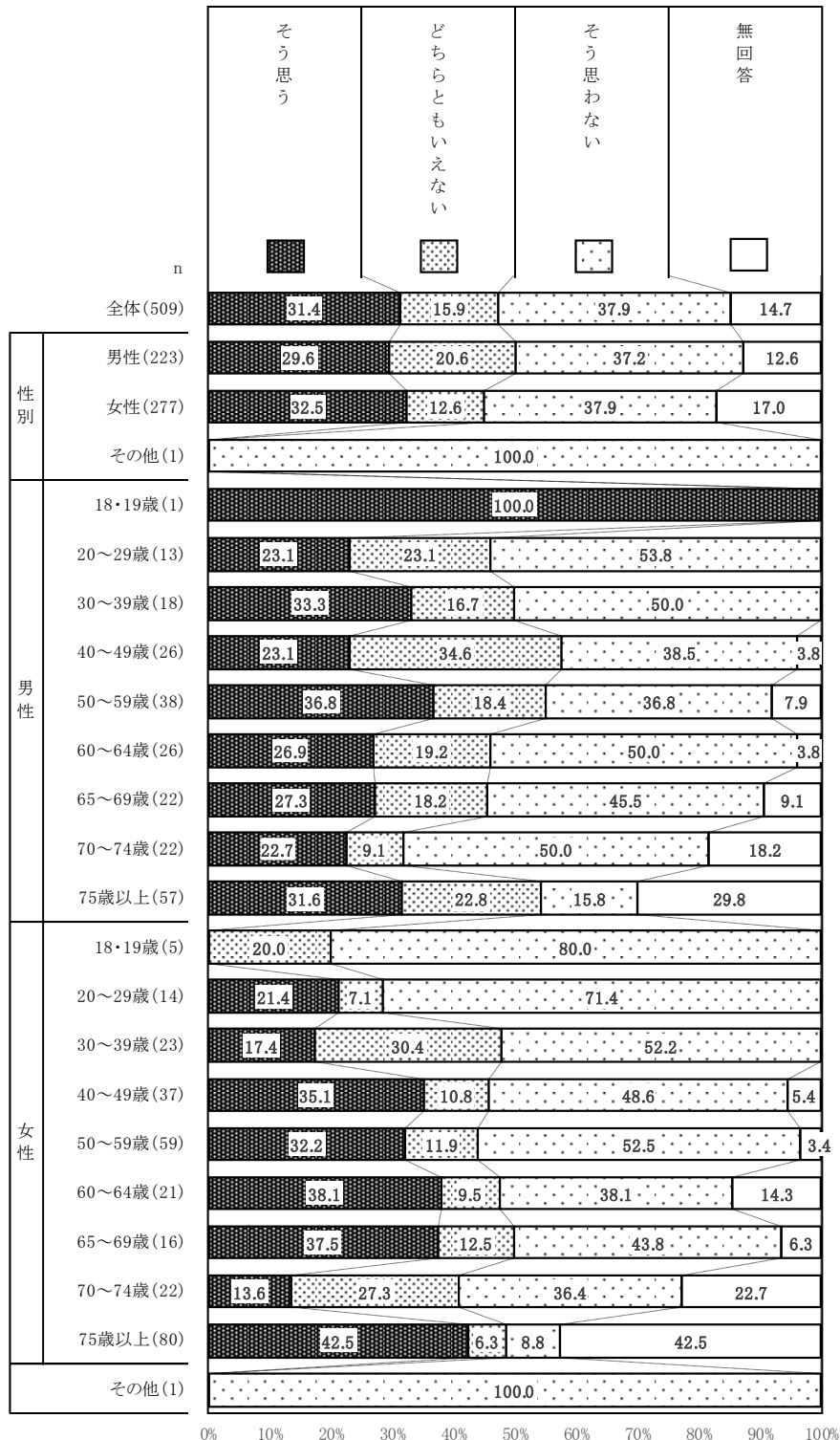
【④ 遠くまでの避難が困難な家族がいる／性・年齢別】

「そう思う」は女性(32.5%)が男性(29.6%)より2.9ポイント高い。

男性において、「そう思う」は50～59歳(36.8%)が4割近くで高く、「そう思わない」は20～29歳(53.8%)、30～39歳、60～64歳、70～74歳(ともに50.0)が5割程度で高い。

女性において、「そう思う」は75歳以上(42.5%)が4割強で高く、「そう思わない」は20～29歳(71.4%)が7割強で特に高くなっている。(図表 15-11)

＜図表 15-11＞④ 遠くまでの避難が困難な家族がいる／性・年齢別

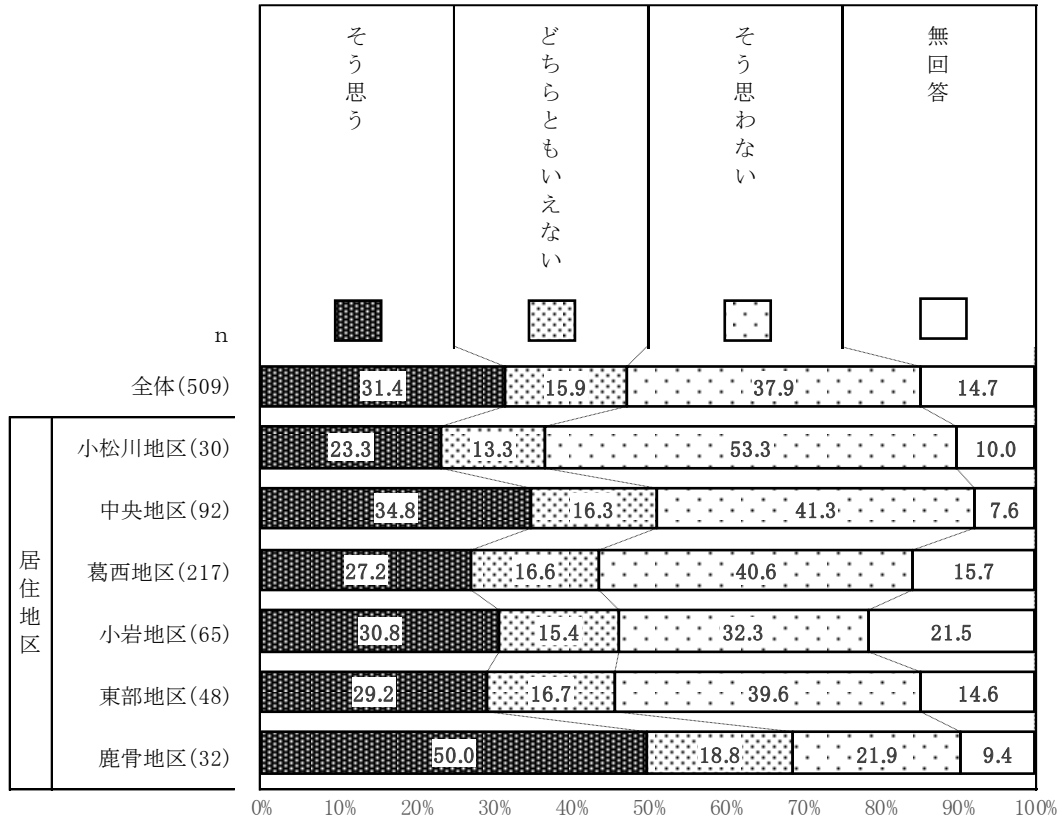


【④ 遠くまでの避難が困難な家族がいる／居住地区別】

「そう思う」は鹿骨地区(50.0%)が5割と特に高い。

一方、「そう思わない」は小松川地区(53.3%)が5割を超えて高くなっている。(図表 15-12)

<図表 15-12>④ 遠くまでの避難が困難な家族がいる／居住地区別



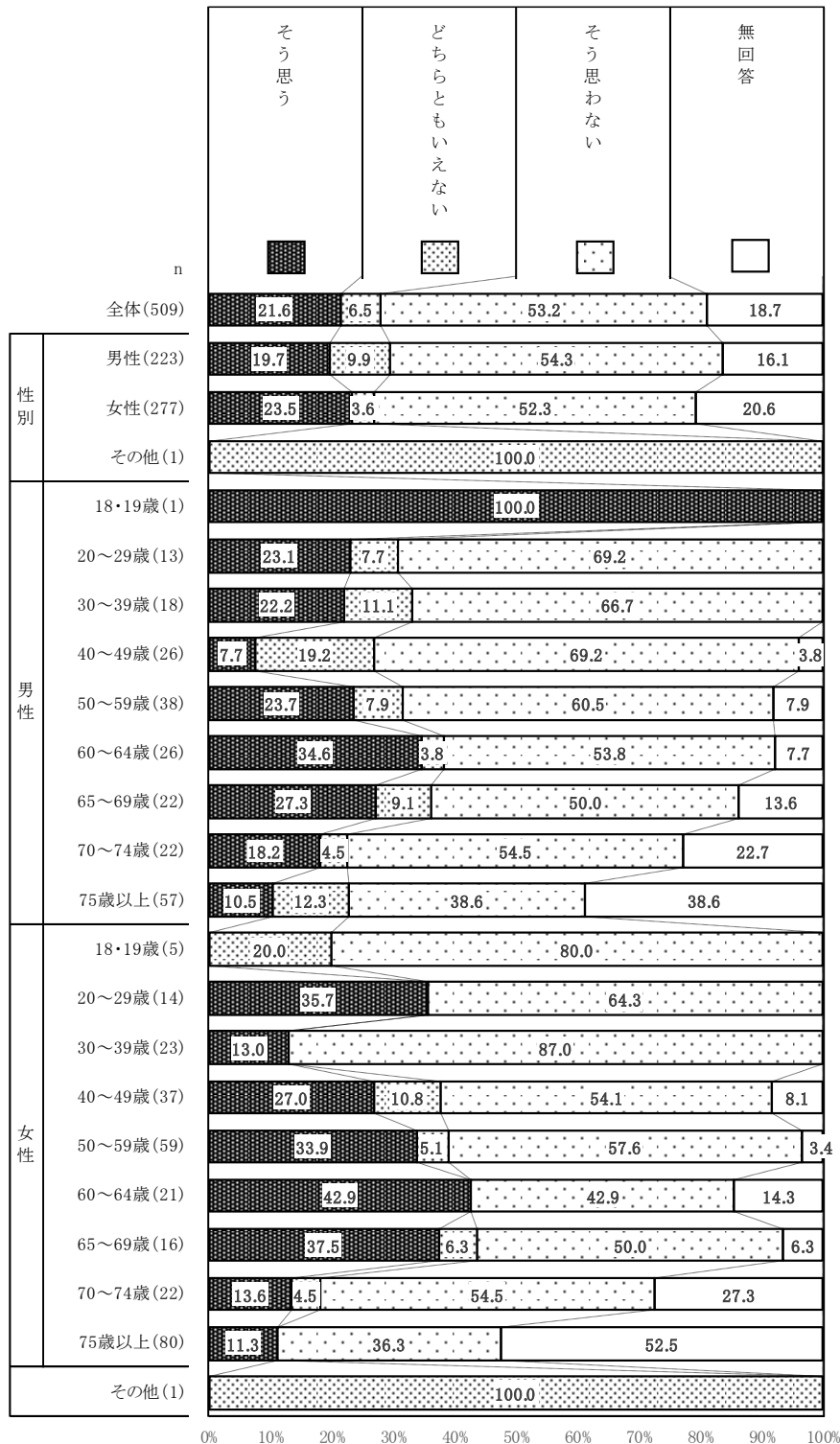
【⑤ ペットなどを飼っている／性・年齢別】

「そう思う」は女性(23.5%)が男性(19.7%)より3.8ポイント高い。

男性において、「そう思う」は60～64歳(34.6%)が3割台半ばで特に高く、「そう思わない」は50歳代以下が6割を超えて高い。

女性において、「そう思う」は60～64歳(42.9%)が4割強で特に高く、「そう思わない」は30～39歳(87.0%)が9割近くで高い。(図表 15-13)

＜図表 15-13＞⑤ ペットなどを飼っている／性・年齢別

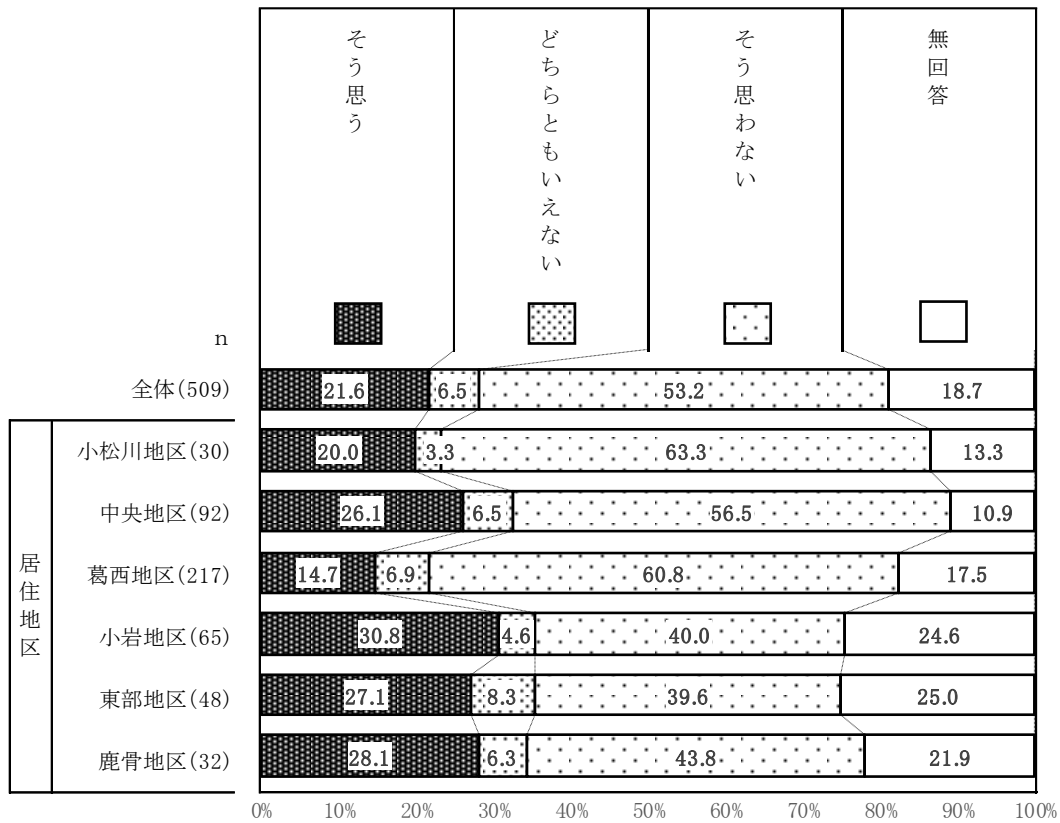


【⑤ ペットなどを飼っている／居住地区別】

「そう思う」は小岩地区(30.8%)が3割を超えて高く、次いで鹿骨地区(28.1%)、東部地区(27.1%)、中央地区(26.1%)の順に3割近くで高い。

一方、「そう思わない」は小松川地区(63.3%)、葛西地区(60.8%)が6割を超えて高い。(図表 15-14)

<図表 15-14>⑤ ペットなどを飼っている／居住地区別



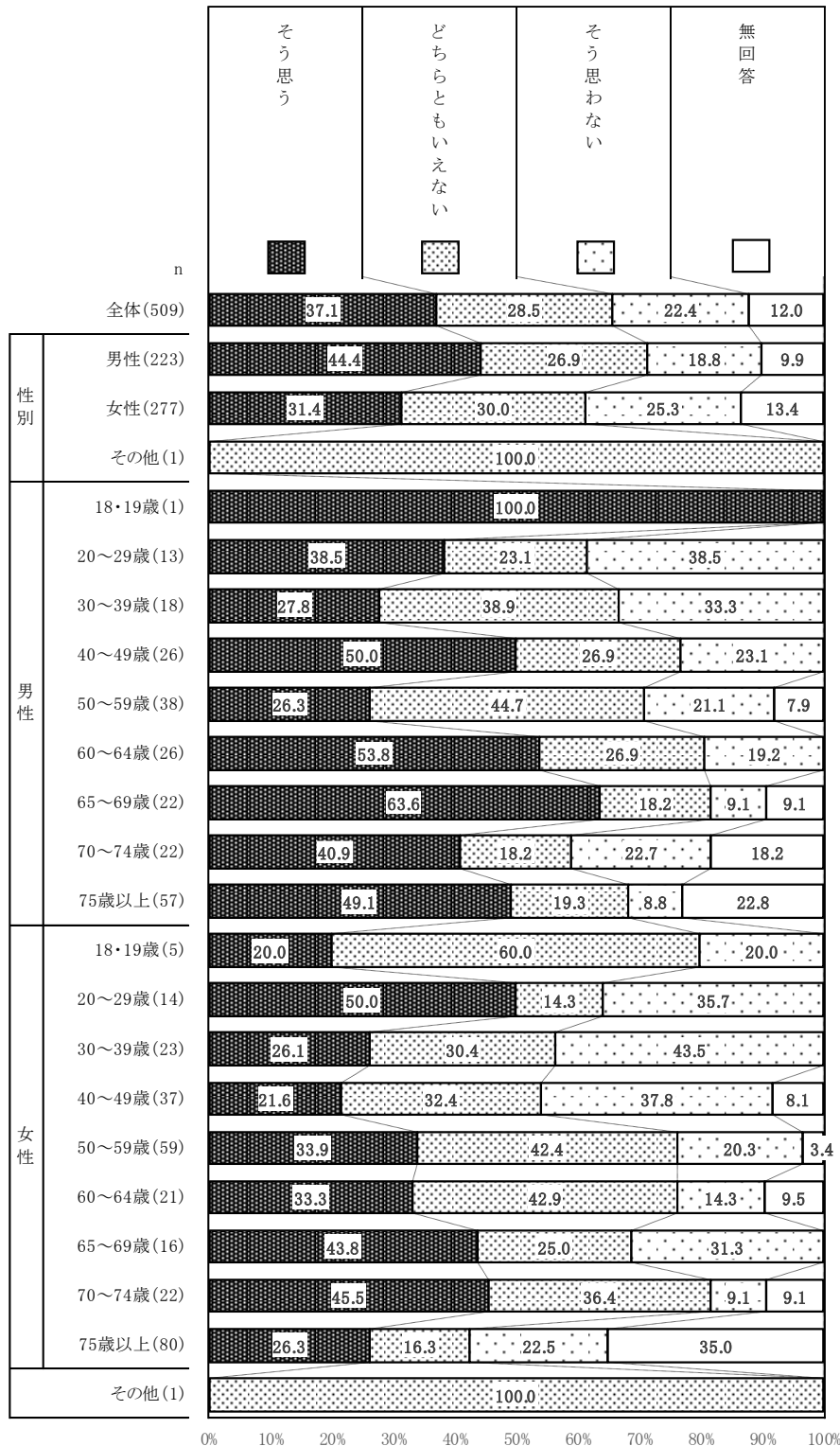
【⑥ 自宅が一番安全だと思う／性・年齢別】

「そう思う」は男性(44.4%)が女性(31.4%)より13.0ポイント高く、差が大きい。

男性において、「そう思う」は65～69歳(63.6%)が6割強で高く、「そう思わない」は20～29歳が4割近くで高くなっている。

女性において、「そう思う」は20～29歳が5割で高く、「そう思わない」は30～39歳(43.5%)が4割強で高くなっている。(図表15-15)

＜図表 15-15＞⑥ 自宅が一番安全だと思う／性・年齢別



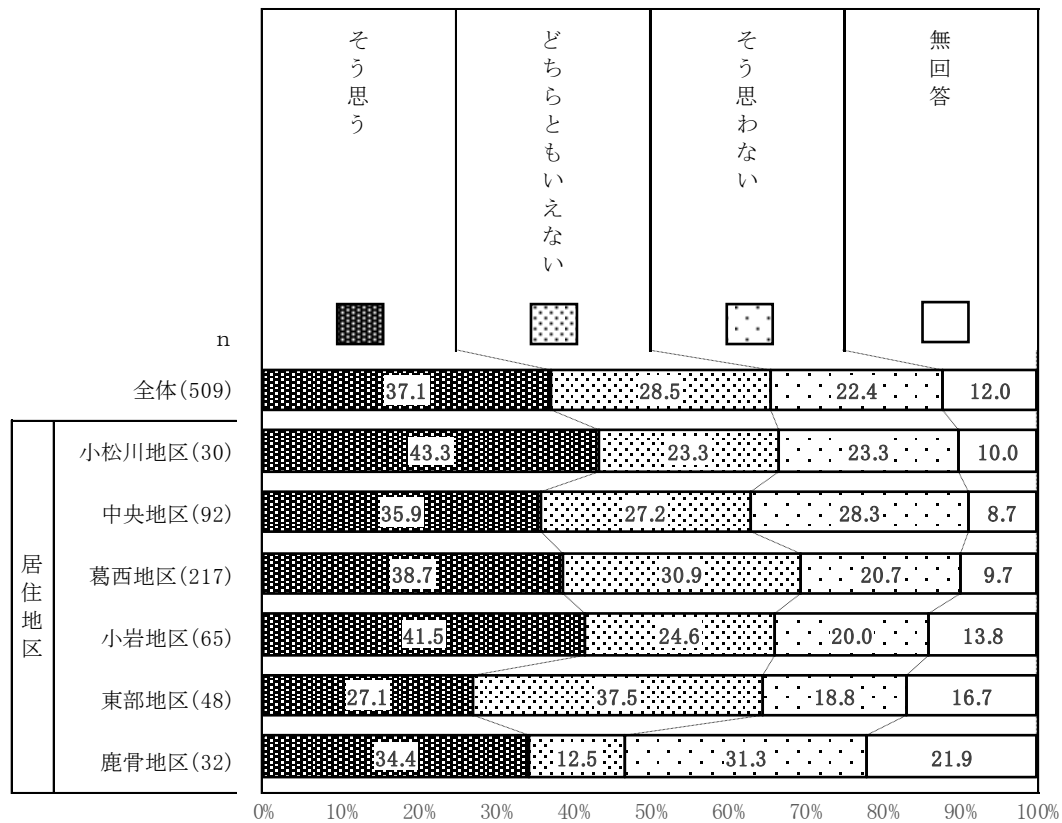
【⑥ 自宅が一番安全だと思う／居住地区別】

「そう思う」は小松川地区(43.3%)、小岩地区(41.5%)が4割を超えて高い。

一方、「そう思わない」は中央地区(28.3%)、鹿骨地区(31.3%)が3割前後で高くなっている。

(図表 15-16)

<図表 15-16>⑥ 自宅が一番安全だと思う／居住地区別



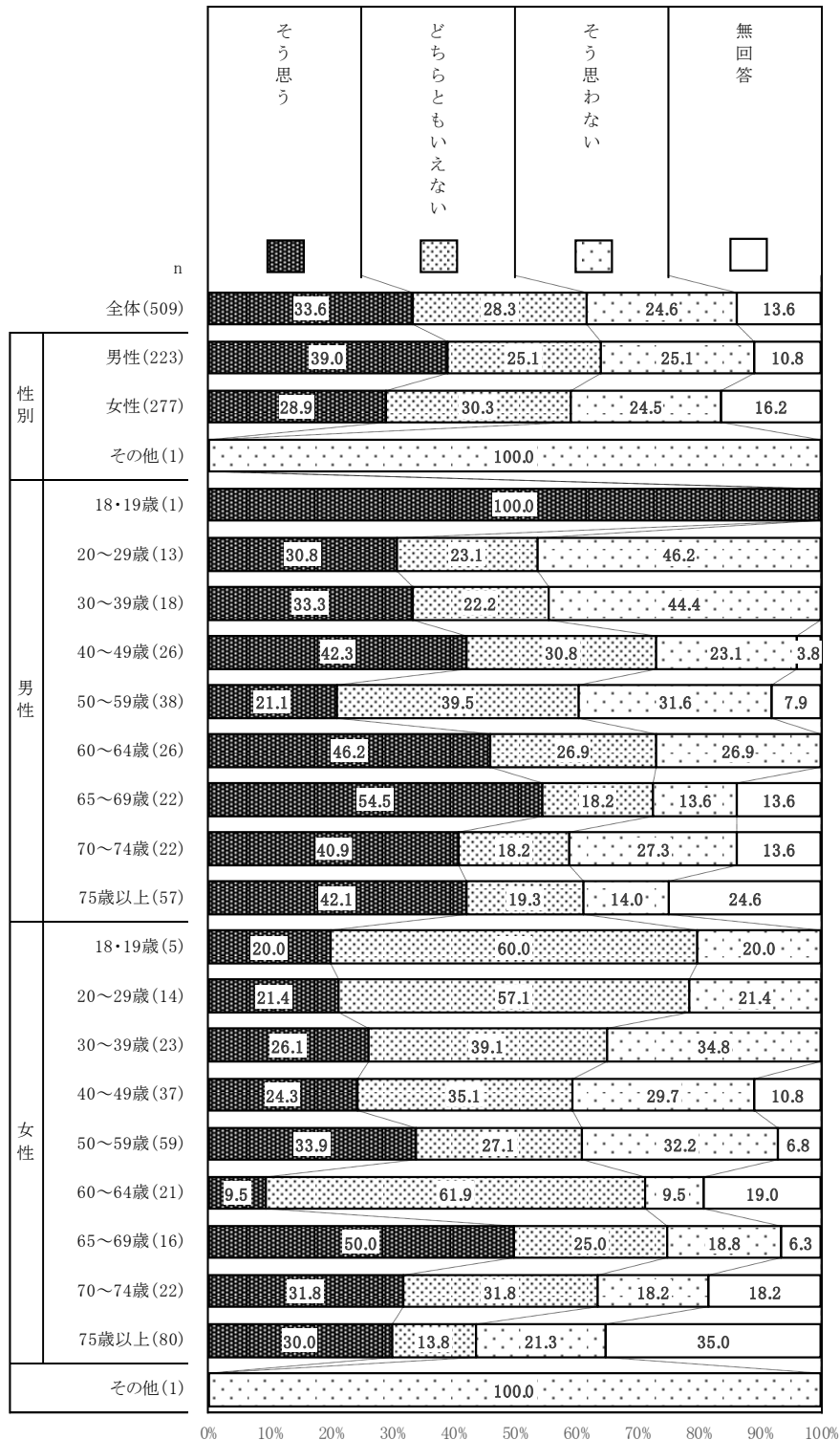
【⑦ 近隣の高層建物等へ避難すれば十分／性・年齢別】

「そう思う」は男性(39.0%)が女性(28.9%)より10.1ポイント高く、差が大きい。

男性において、「そう思う」は65～69歳(54.5%)が5割台半ばで高く、「そう思わない」は30歳代以下が4割台半ばで高くなっている。

女性においても「そう思う」は65～69歳(50.0%)が5割で高く、「そう思わない」は30歳代～50歳代が3割前後で高くなっている。(図表15-17)

<図表15-17>⑦ 近隣の高層建物等へ避難すれば十分／性・年齢別

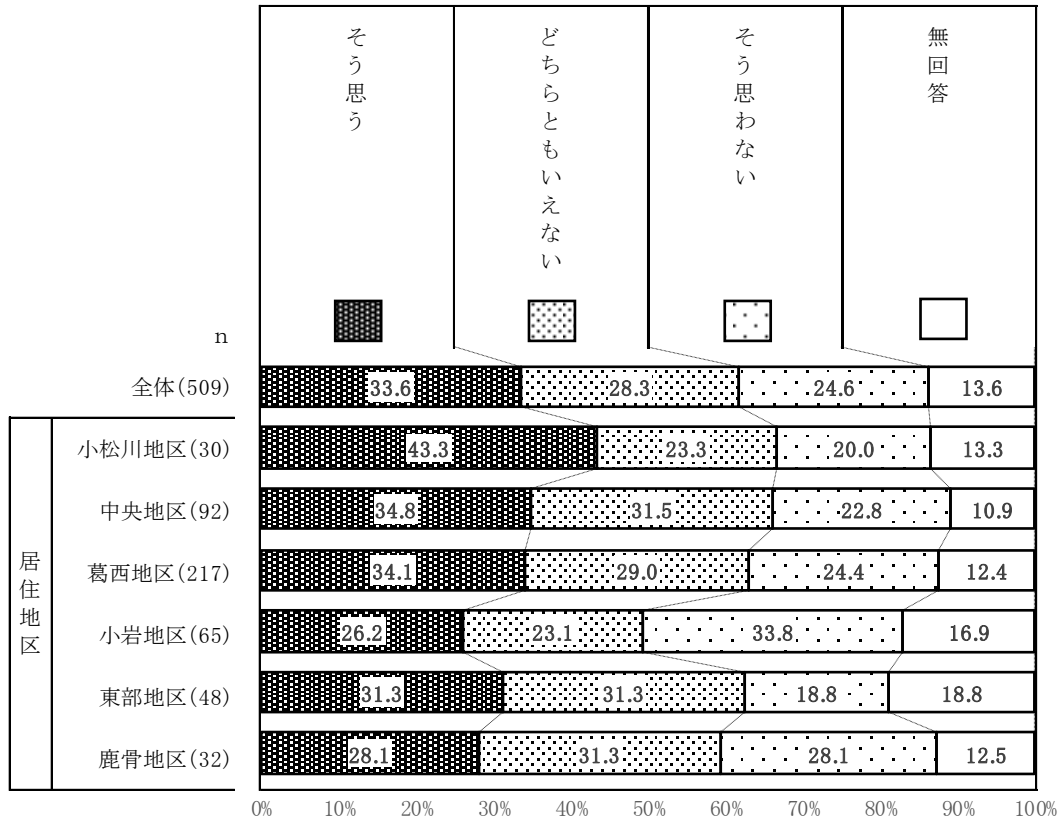


【⑦ 近隣の高層建物等へ避難すれば十分／居住地区別】

「そう思う」は小松川地区(43.3%)が4割強と高い。

一方、「そう思わない」は小岩地区(33.8%)が3割強で高くなっている。(図表 15-18)

<図表 15-18> ⑦ 近隣の高層建物等へ避難すれば十分／居住地区別

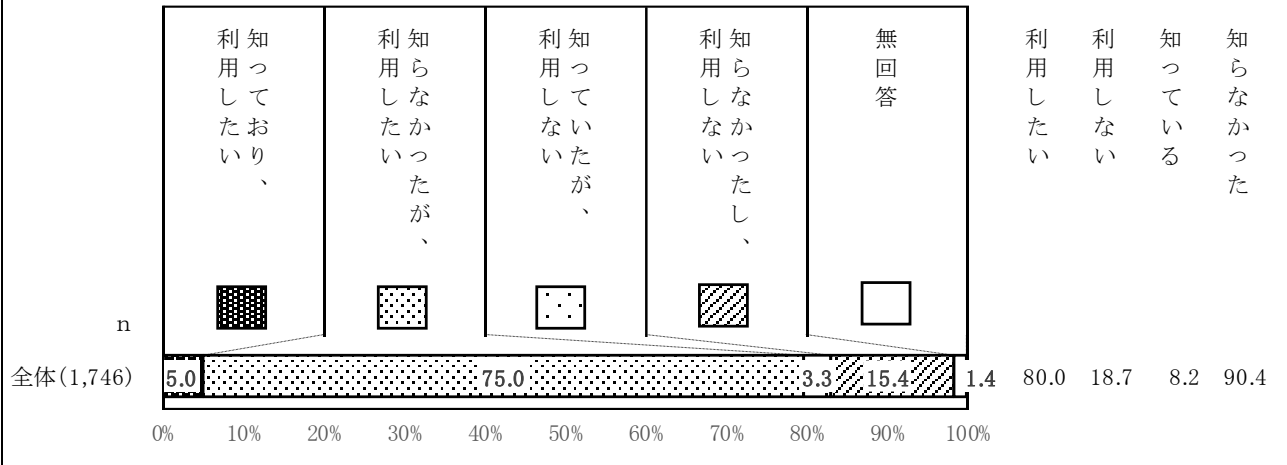


(3) 「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度について

◇「利用したい」が8割、「知らなかった」が約9割。

問18 「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度についてお答えください。(○は1つ)

<図表 15-19>「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度について



「知らなかったが、利用したい」(75.0)が7割台半ばと特に高くなっている。次いで「知らなかったし、利用しない」(15.4%)、「知っており、利用したい」(5.0%)、「知っていたが、利用しない」(3.3%)と続くが、それぞれ割合としては低い。『利用したい』合計は8割と大半を占めるが、『知らなかった』合計は約9割と認知度はまだ低いことが読み取れる。(図表 15-19)

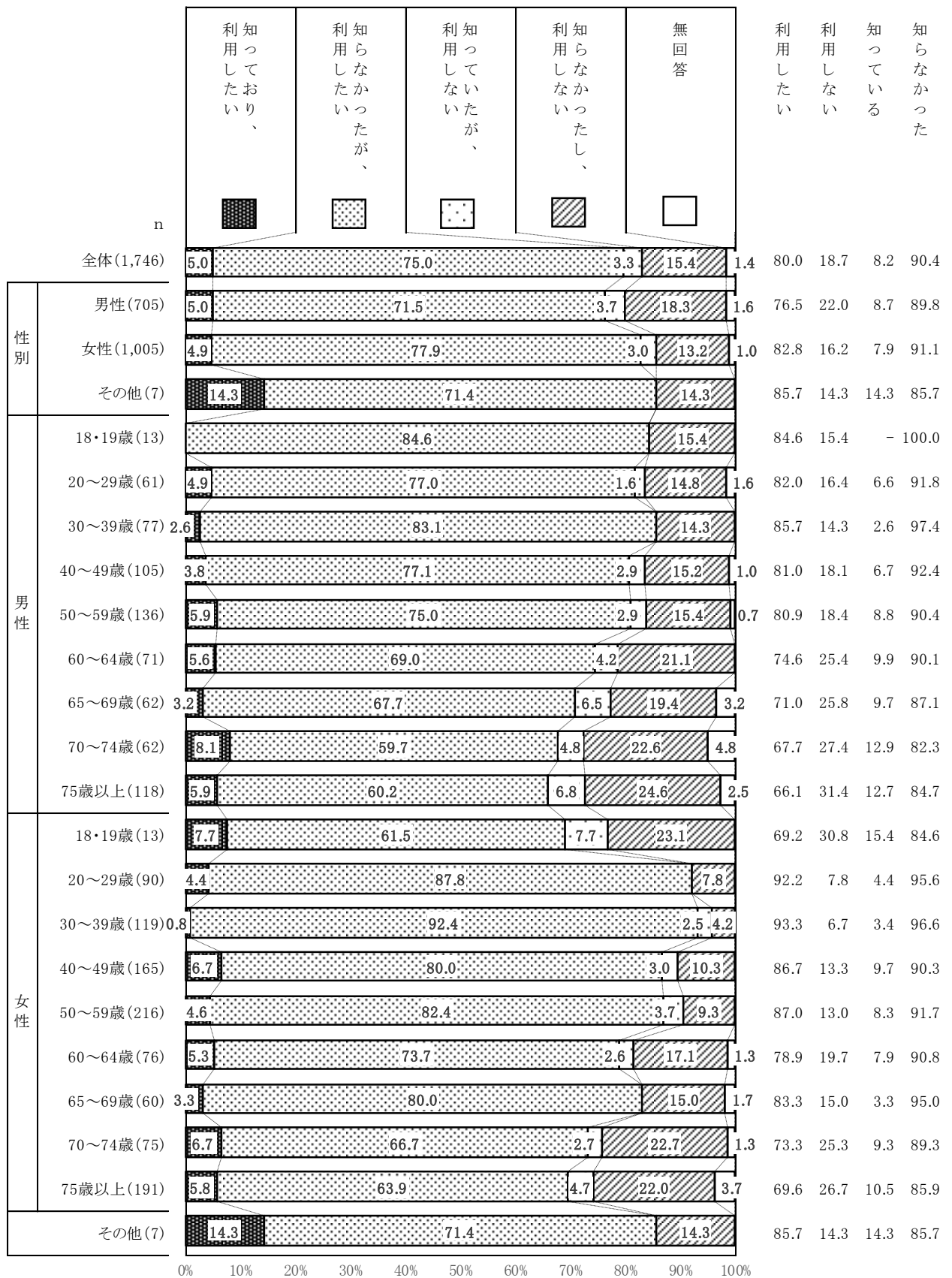
【性・年齢別】

「知らなかったが、利用したい」は女性(77.9%)が男性(71.5%)より 6.4 ポイント高く、「知らなかったし、利用しない」は男性(18.3%)が女性(13.2%)より 5.1 ポイント高い。

男性において、「知らなかったが、利用したい」は年代が下がるごとに高い傾向にあり、30～39 歳(83.1%)は8割を超えている。「知らなかったし、利用しない」は逆に年代が上がるごとに高い傾向にあり、60 歳代以降は2割前後に達する。

女性において、「知らなかったが、利用したい」は男性同様に年代が下がるごとに高い傾向にあり、30～39 歳(92.4%)は9割を超えている。「知らなかったし、利用しない」も男性同様に年代が上がるごとに高い傾向にあり、70 歳代以降は2割強に達する。(図表 15-20)

<図表 15-20>「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度について／性・年齢別

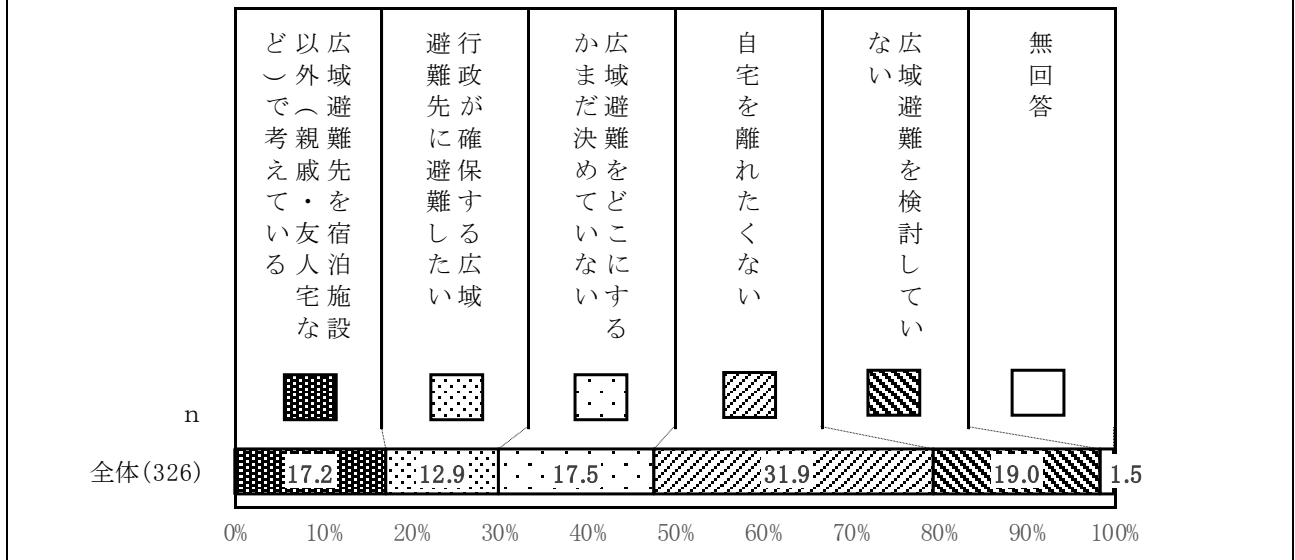


(4) 「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度を利用しない理由

◇「自宅を離れたくない」が3割強と高い。

問18-1 問18で「3」または「4」と答えた方にお尋ねします。上記制度を利用しない理由は何ですか。
(○は1つ)

<図表 15-21>「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度を利用しない理由



制度を利用しない理由としては「自宅を離れたくない」(31.9%)が3割強と高くなっている。次いで、「広域避難を検討していない」(19.0%)、「広域避難をどこにするかまだ決めていない」(17.5%)、「広域避難先を宿泊施設以外(親戚・友人宅など)で考えている」(17.2%)、「行政が確保する広域避難先に避難したい」(12.9%)の順になっている。『広域避難をしない』意向の合計は過半数に達している。(図表 15-21)

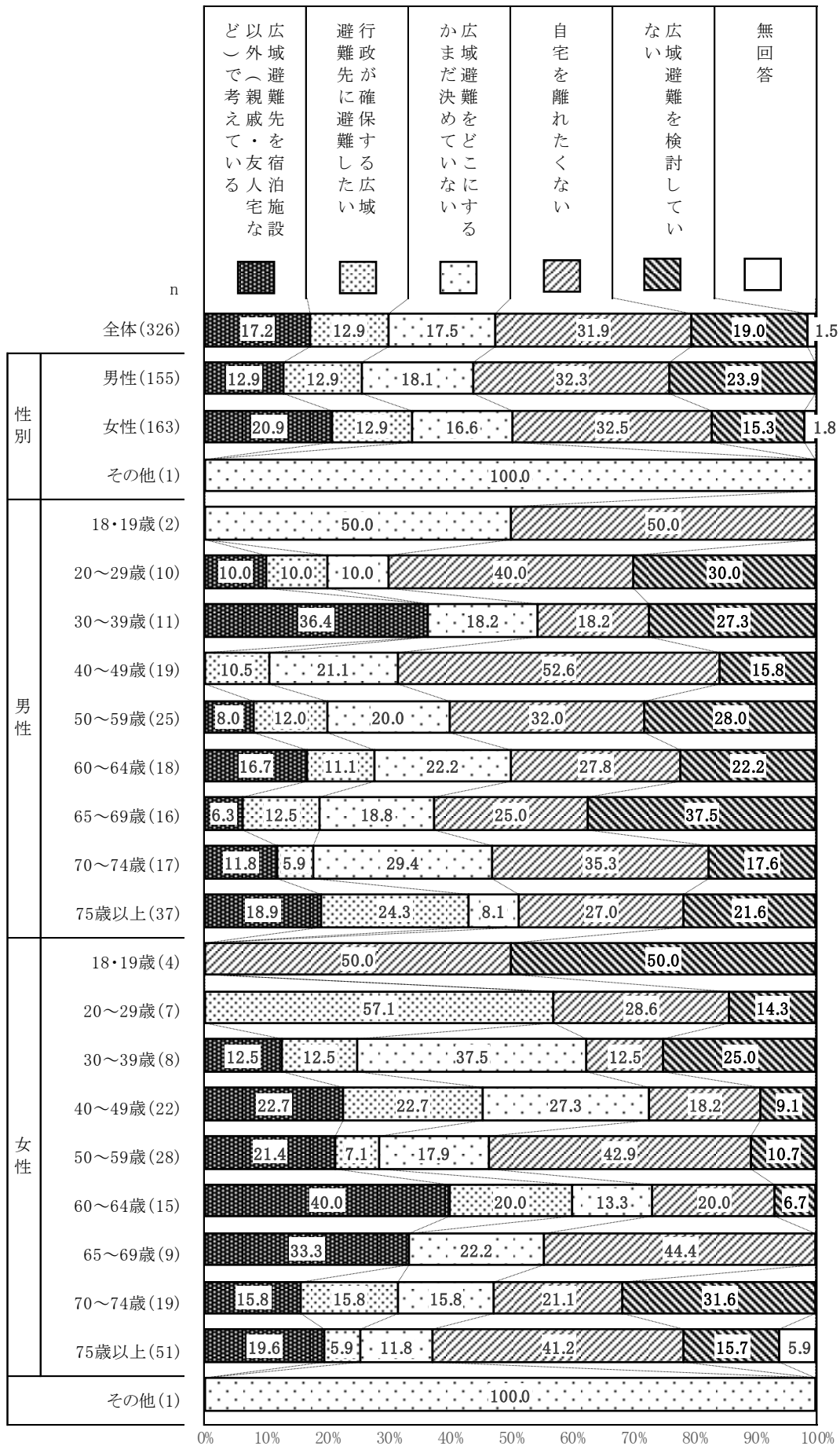
【性・年齢別】

「広域避難先を宿泊施設以外(親戚・友人宅など)で考えている」は女性(20.9%)が男性(12.9%)より 8.0ポイント高い。「自宅を離れたくない」は男女ともに3割強で高く、「広域避難を検討していない」は男性(23.9%)が女性(15.3%)より 8.6ポイント高くなっている。

男性において、「広域避難先を宿泊施設以外(親戚・友人宅など)で考えている」は30～39歳(36.4%)が3割台半ばで高い。「自宅を離れたくない」は20～29歳(40.0%)、40～49歳(52.6%)が4～5割と他の年代に比べて高くなっている。「広域避難を検討していない」は65～69歳(37.5%)が4割近くで高い。

女性において、「広域避難先を宿泊施設以外(親戚・友人宅など)で考えている」は60～64歳(40.0%)、65～69歳(33.3%)が3～4割と高い。「自宅を離れたくない」は50～59歳(42.9%)、65～69歳(44.4%)、75歳以上(41.2%)が4割を超えて高くなっている。「広域避難を検討していない」は70～74歳(31.6%)が3割を超えて高い。(図表 15-22)

<図表 15-22>「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度を利用しない理由／性・年齢別



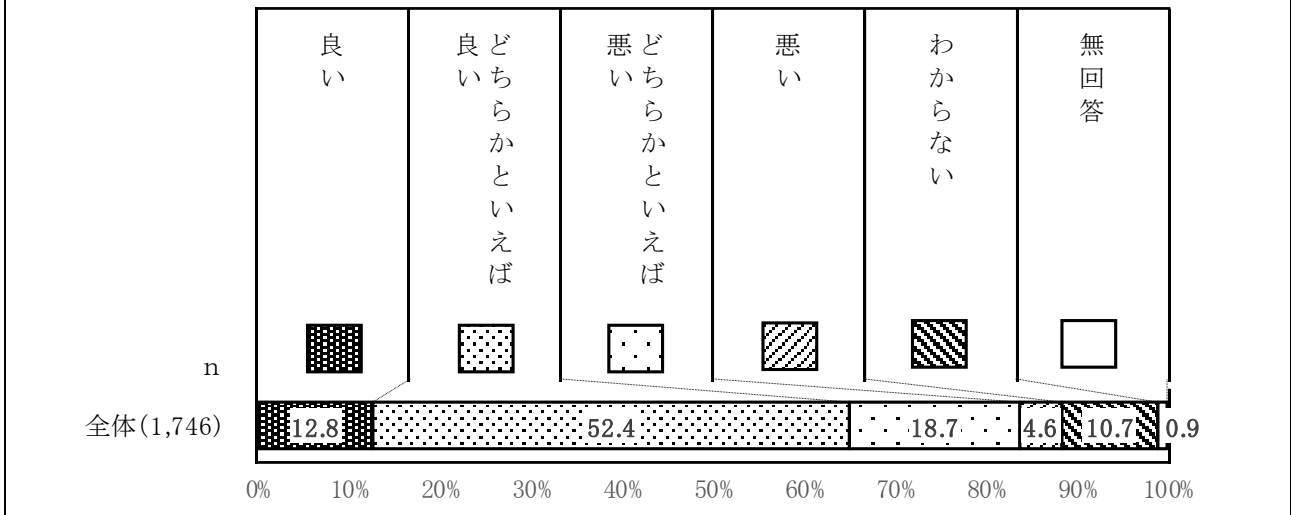
16. 治安について

(1) 住む地域の治安について

◇「どちらかといえば良い」が5割強で高い。

問19 あなたは、お住まいの地域の治安について、どのように感じていますか。(○は1つ)

<図表 16-1> 住む地域の治安について



「どちらかといえば良い」(52.4%)が5割強と特に高い。次いで、「どちらかといえば悪い」(18.7%)、「良い」(12.8%)、「わからない」(10.7%)、「悪い」(4.6%)の順になっている。(図表 16-1)

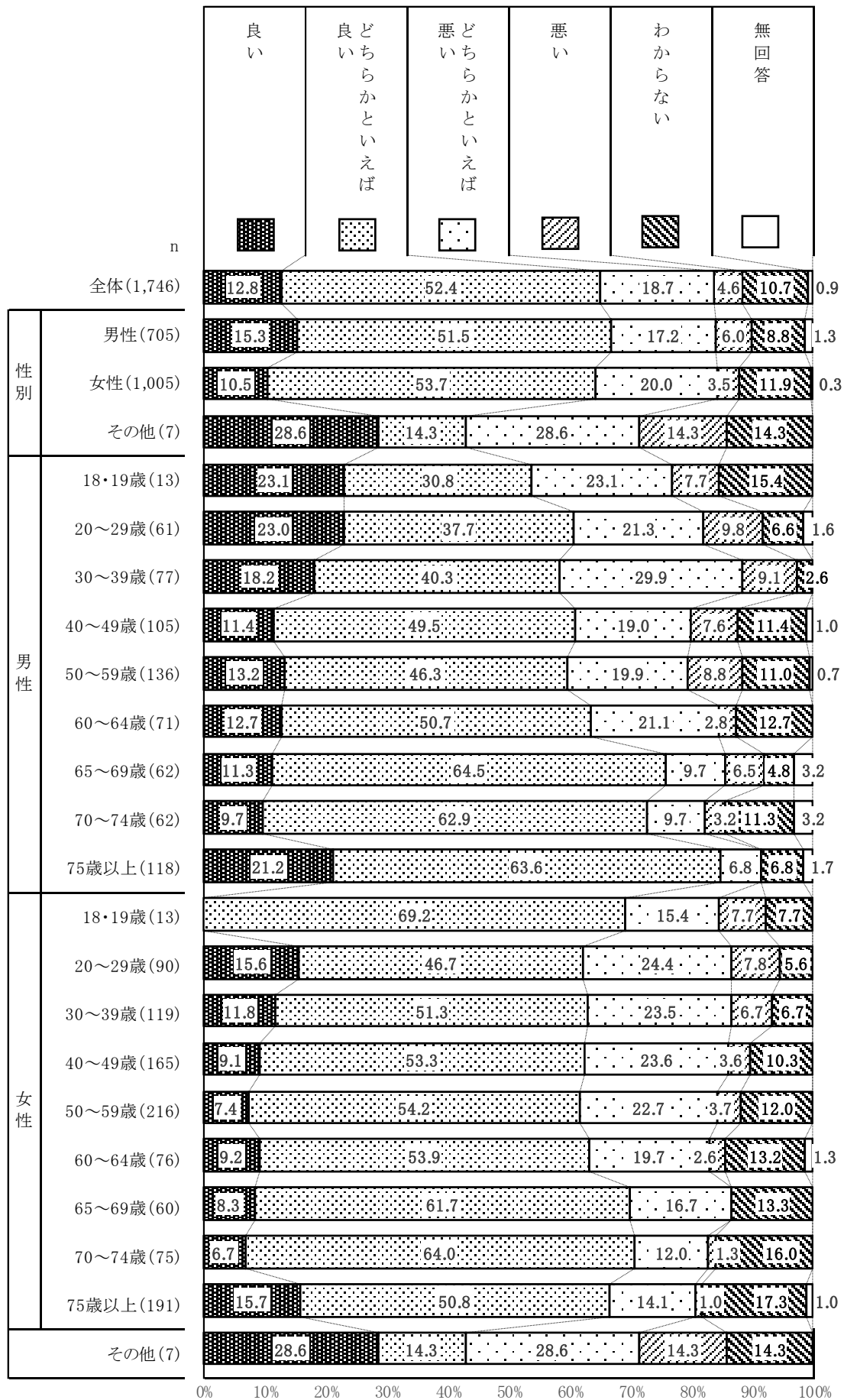
【性・年齢別】

「良い」は男性(15.3%)が女性(10.5%)より4.8ポイント高く、「どちらかといえば良い」は女性(53.7%)が男性(51.5%)より2.2ポイント高くなっている。「悪い」は男性(6.0%)が女性(3.5%)より2.5ポイント高く、「どちらかといえば悪い」は女性(20.0%)が男性(17.2%)より2.8ポイント高くなっている。

男性において、「良い」は30歳以下と75歳以上が2割前後で高く、「どちらかといえば良い」は60歳代後半以降が6割強で高い。「悪い」は30歳以下が1割弱で高く、「どちらかといえば悪い」は60歳代前半以下が2割前後で高くなっている。

女性において、「良い」は20~29歳(15.6%)、75歳以上(15.7%)が1割台半ばで高く、「どちらかといえば良い」は65~69歳(61.7%)、70~74歳(64.0%)が6割を超えて高くなっている。「悪い」は男性同様に30歳代以下が1割近くで高く、「どちらかといえば悪い」も男性同様に60歳代前半以下が2割前後で高くなっている。(図表 16-2)

<図表 16-2>住む地域の治安について／性・年齢別



【居住地区別】

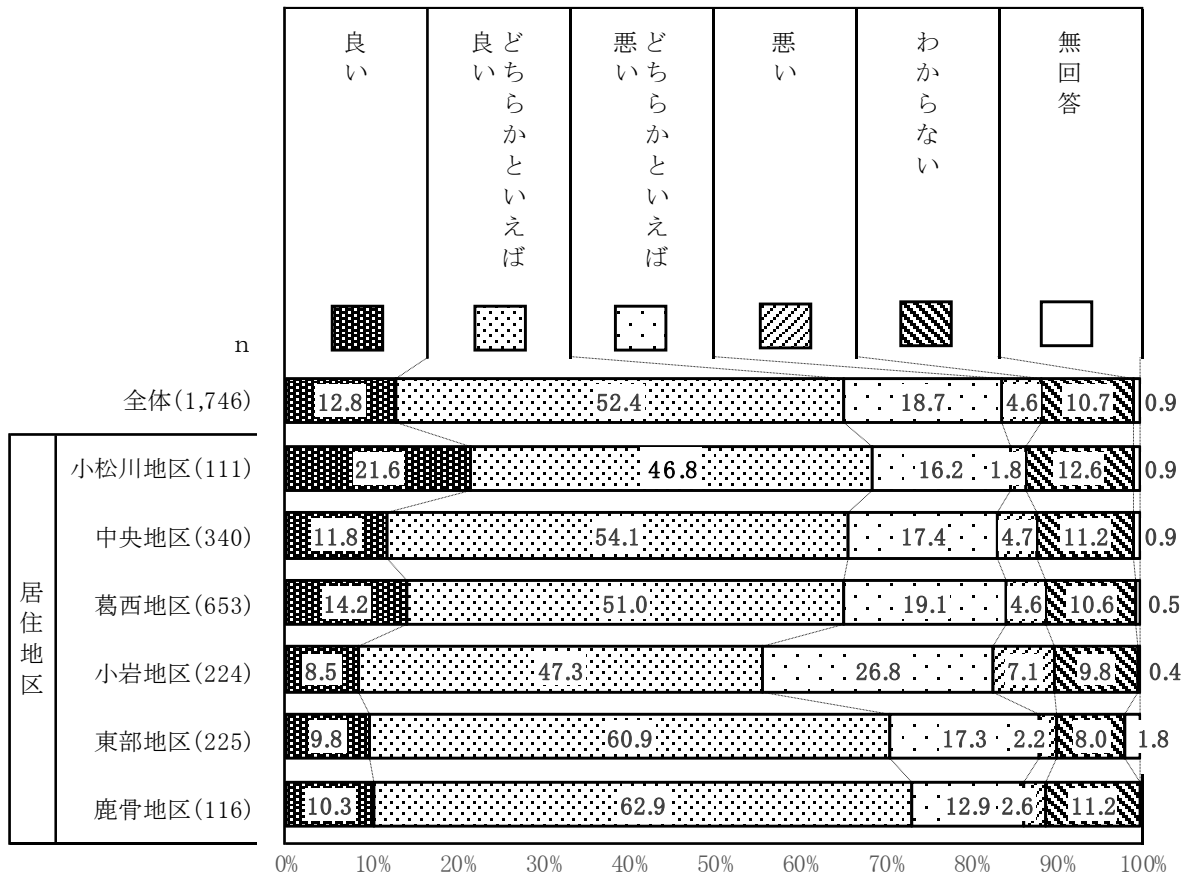
「良い」は小松川地区(21.6%)が2割強で特に高い。

「どちらかといえば良い」は東部地区(60.9%)、鹿骨地区(62.9%)が6割を超えて特に高くなっている。

「悪い」は小岩地区(7.1%)が1割近くで特に高い。

「どちらかといえば悪い」も小岩地区(26.8%)が3割近くで特に高くなっている。(図表 16-3)

＜図表 16-3＞住む地域の治安について／居住地区別

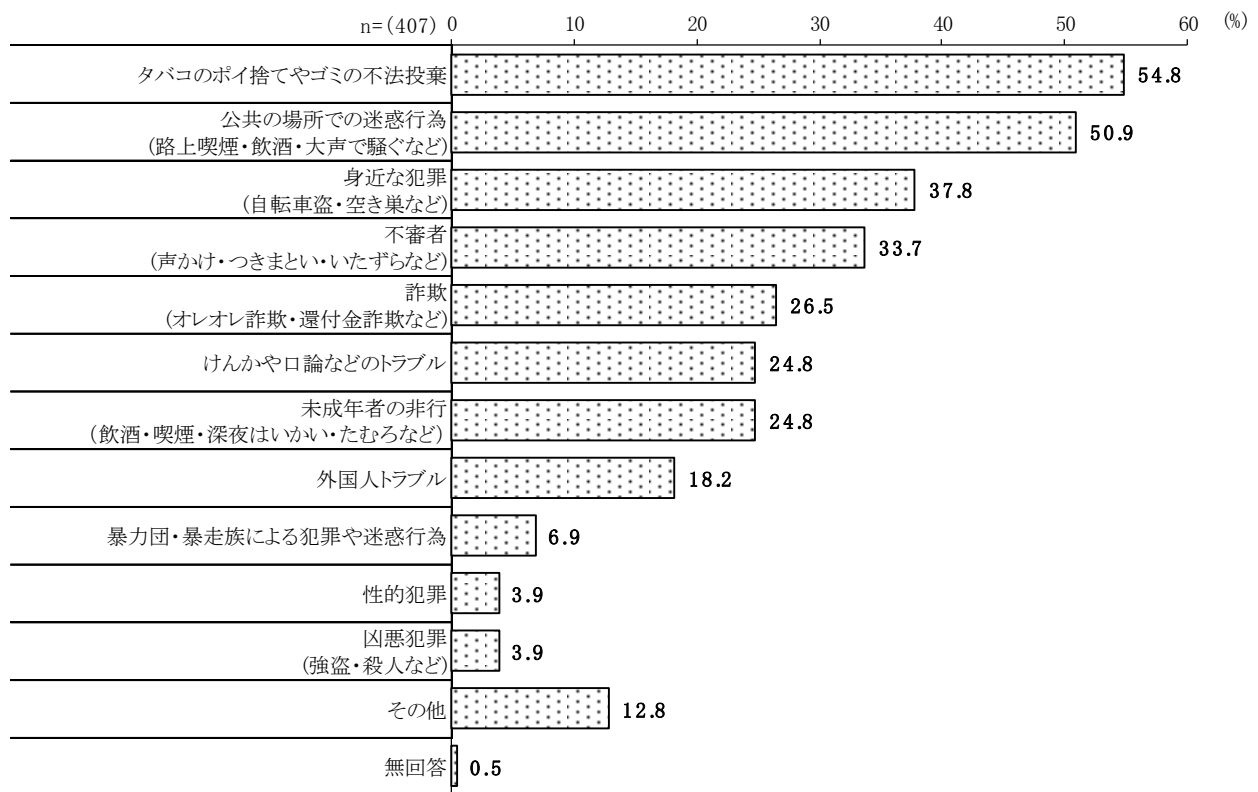


(2) 治安が悪いと感じる理由

◇「タバコのポイ捨てやゴミの不法投棄」、「公共の場所での迷惑行為」が5割強で高い。

問19-1 問19で「3」または「4」と答えた方にお尋ねします。治安が悪いと感じる理由は何ですか。
(〇はいくつでも)

<図表 16-4> 治安が悪いと感じる理由



「タバコのポイ捨てやゴミの不法投棄」(54.8%)、「公共の場所での迷惑行為」(50.9%)が5割を超えて特に高く、次いで「身近な犯罪」(37.8%)、「不審者」(33.7%)が3割を超えて高くなっている。(図表 16-4)

【性・年齢別】

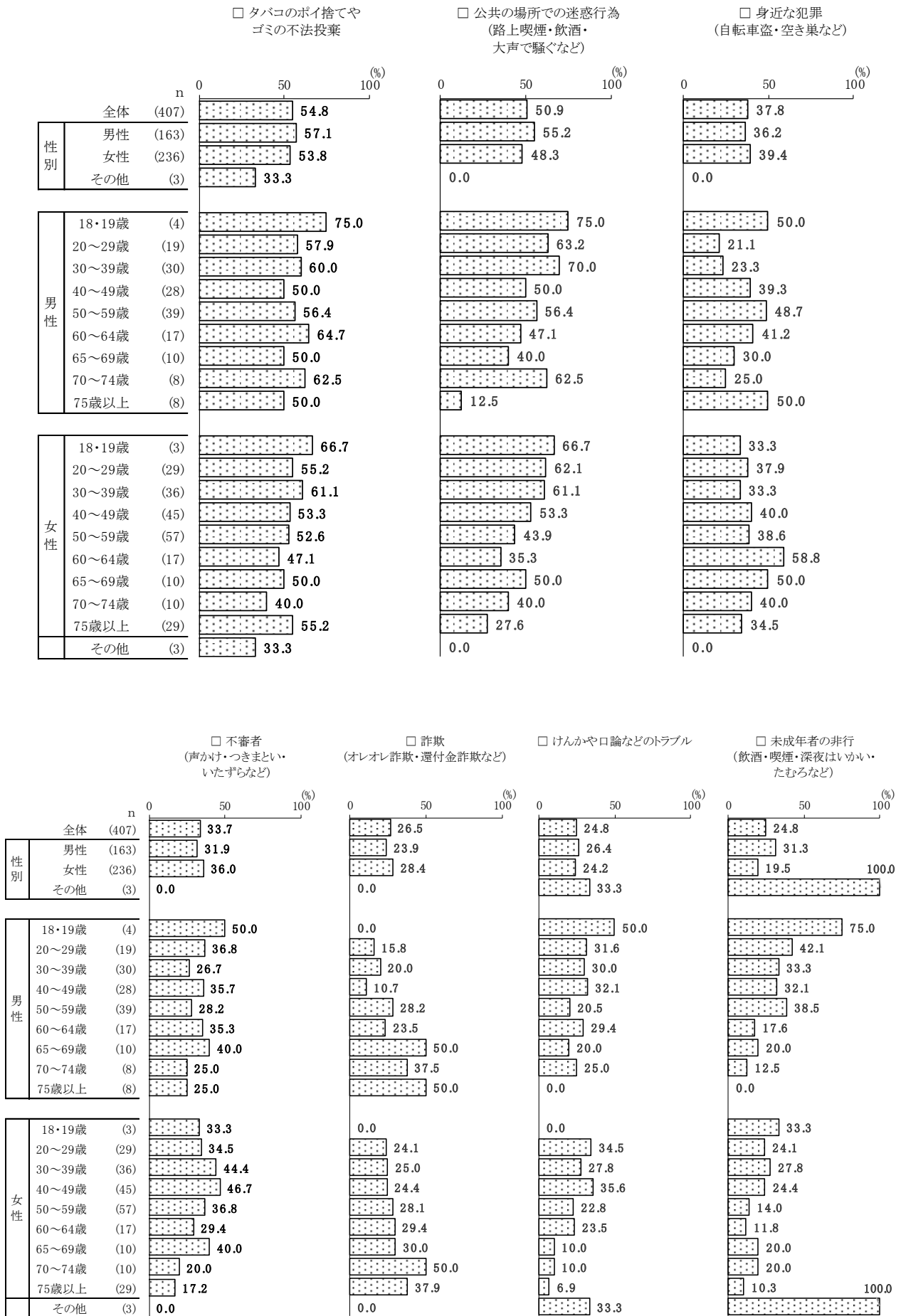
「タバコのポイ捨てやゴミの不法投棄」は男性(57.1%)が女性(53.8%)より3.3ポイント高い。

「公共の場所での迷惑行為」も男性(55.2%)が女性(48.3%)より6.9ポイント高く、男性30～39歳(70.0%)が7割と特に高くなっている。

「身近な犯罪」は女性(39.4%)が男性(36.2%)より3.2ポイント高く、女性60～64歳(58.8%)が特に高くなっている。

「不審者」も女性(36.0%)が男性(31.9%)より4.1ポイント高く、女性30歳代、40歳代が4割台半ばと特に高くなっている。(図表 16-5)

<図表 16-5> 治安が悪いと感じる理由(上位7項目)／性・年齢別



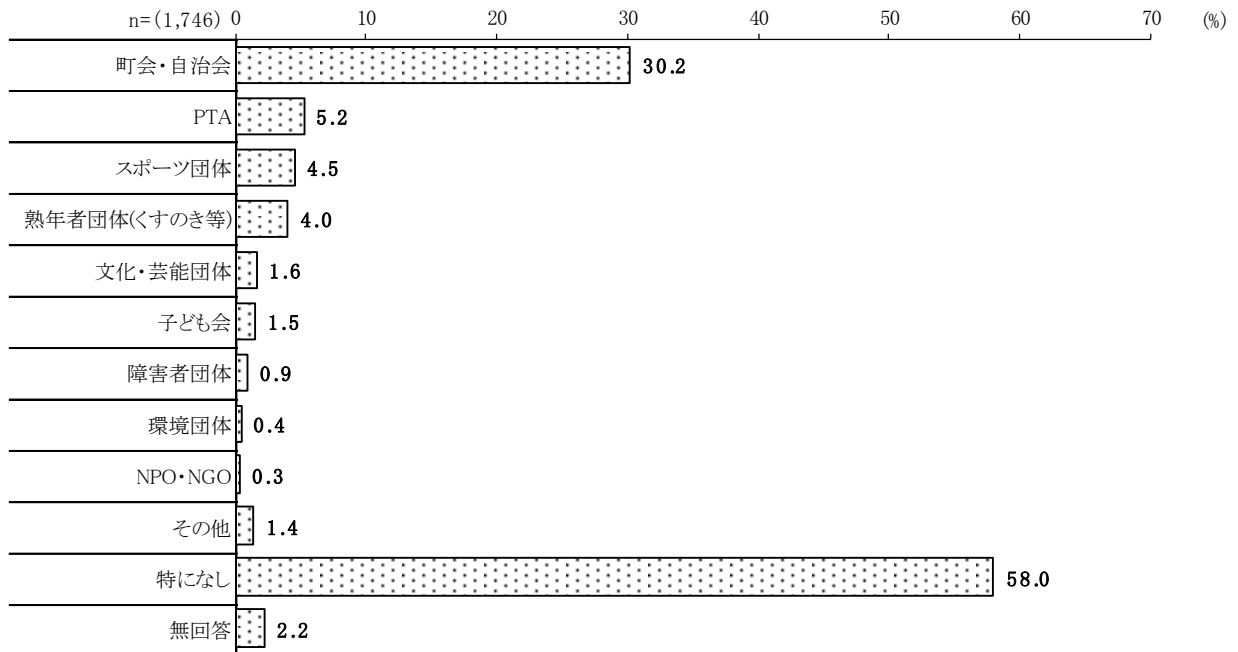
17. 地域活動の参加状況について

(1) 現在参加している活動・団体

◇「特になし」が6割弱で最も高く、次いで「町会・自治会」が約3割で高い。

問20-① あなたは、現在、地域での活動・団体に参加していますか。(〇はいくつでも)

<図表 17-1> 現在参加している活動・団体



現在、地域で参加している活動・団体については「特になし」(58.0%)が6割弱で最も高く、次いで「町会・自治会」(30.2%)が約3割で高い。次いで、「PTA」(5.2%)、「スポーツ団体」(4.5%)、「熟年者団体」(4.0%)の順に続く。(図表 17-1)

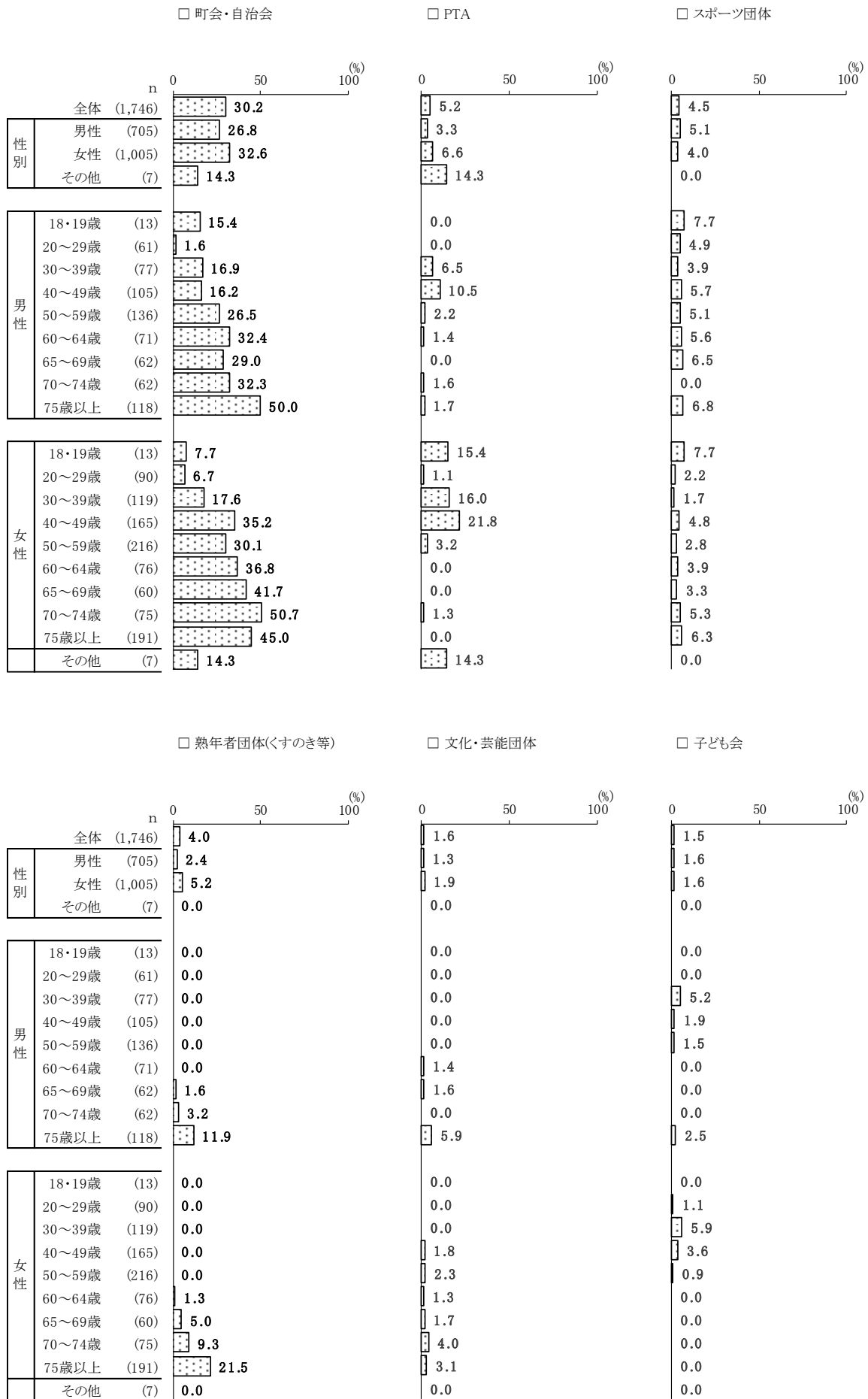
【性・年齢別】

「町会・自治会」は男性、女性ともに年代が上がるごとに高くなり、男性 75 歳以上(50.0%)、女性 70～74 歳(50.7%)は5割に達している。

「PTA」は男性 40～49 歳(10.5%)、女性 30～39 歳(16.0%)、女性 40～49 歳(21.8%)が1割を超えて高くなっている。

「熟年者団体」は女性 75 歳以上(21.5%)が2割強で特に高くなっている。(図表 17-2)

<図表 17-2> 現在参加している活動・団体(上位6項目)／性・年齢別

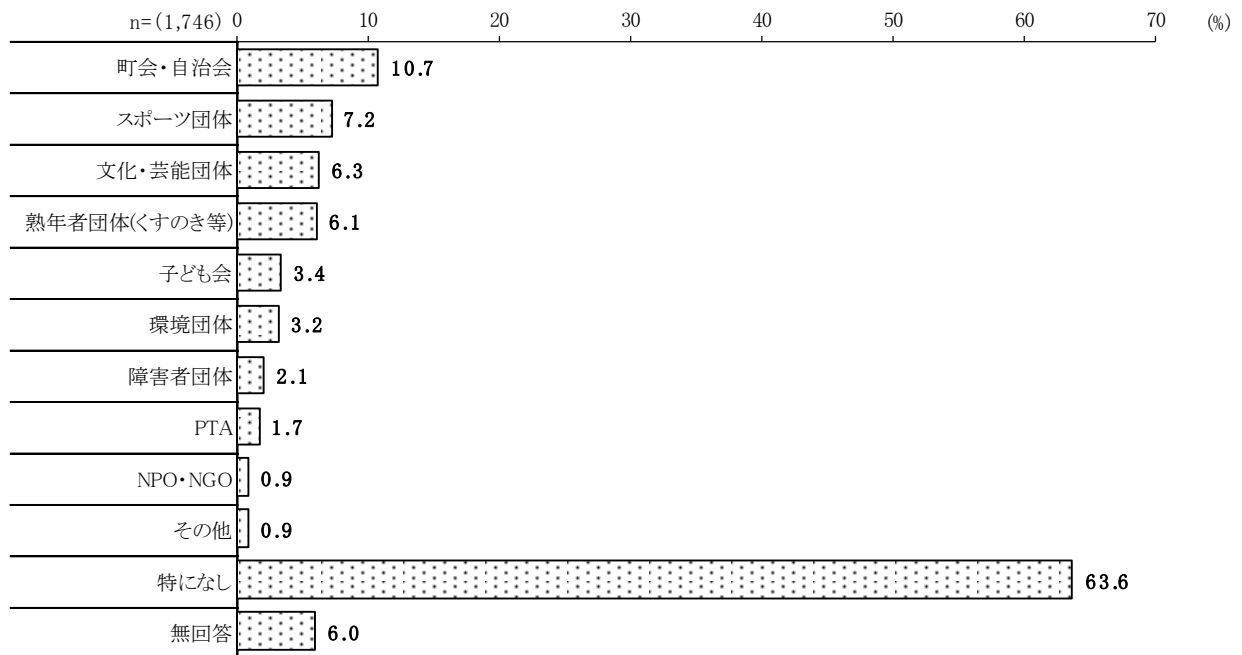


(2) 今後参加したい活動・団体

◇「特になし」が6割強で最も高く、次いで「町会・自治会」が約1割で高い。

問20-② また、今後、参加したい活動・団体はありますか。(〇はいくつでも)

<図表 17-3> 今後参加したい活動・団体



今後、地域で参加したい活動・団体については、現在、地域で参加している活動・団体同様に「特になし」(63.6%)が6割強で特に高くなっている。次いで、「町会・自治会」(10.7%)が約1割で高い。「スポーツ団体」(7.2%)、「文化・芸能団体」(6.3%)、「熟年者団体」(6.1%)の順に続く。(図表 17-3)

【性・年齢別】

「町会・自治会」は女性(11.1%)が男性(10.2%)より0.9ポイント高い。男性75歳以上(17.8%)が2割近くで特に高い。

「スポーツ団体」は男性(9.6%)が女性(5.4%)より4.2ポイント高い。男性の20～29歳(16.4%)、30～39歳(15.6%)が1割台半ばで特に高くなっている。

「文化・芸能団体」は女性(6.8%)が男性(5.5%)より1.3ポイント高い。女性70～74歳(10.7%)が1割を超えて特に高くなっている。

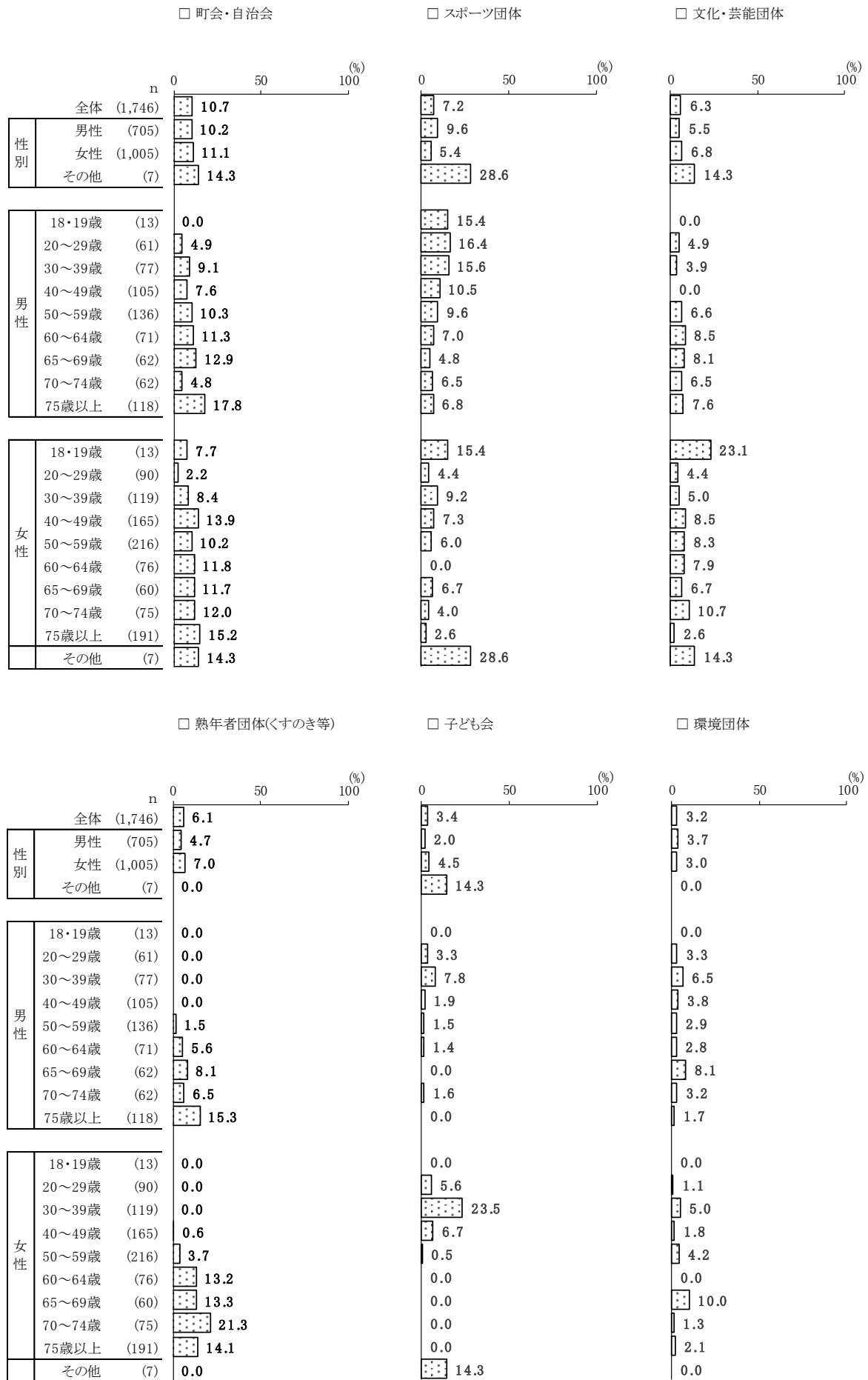
「熟年者団体」は女性(7.0%)が男性(4.7%)より2.3ポイント高い。男性75歳以上(15.3%)、女性70～74歳(21.3%)が特に高い。

「子ども会」は女性(4.5%)が男性(2.0%)より2.5ポイント高い。女性30～39歳(23.5%)が2割強で特に高くなっている。

「環境団体」は男女に差は見られない。男性、女性ともに65～69歳が1割程度で高くなっている。

(図表 17-4)

<図表 17-4> 今後参加したい活動・団体(上位6項目)／性・年齢別



18. 地域力の醸成について

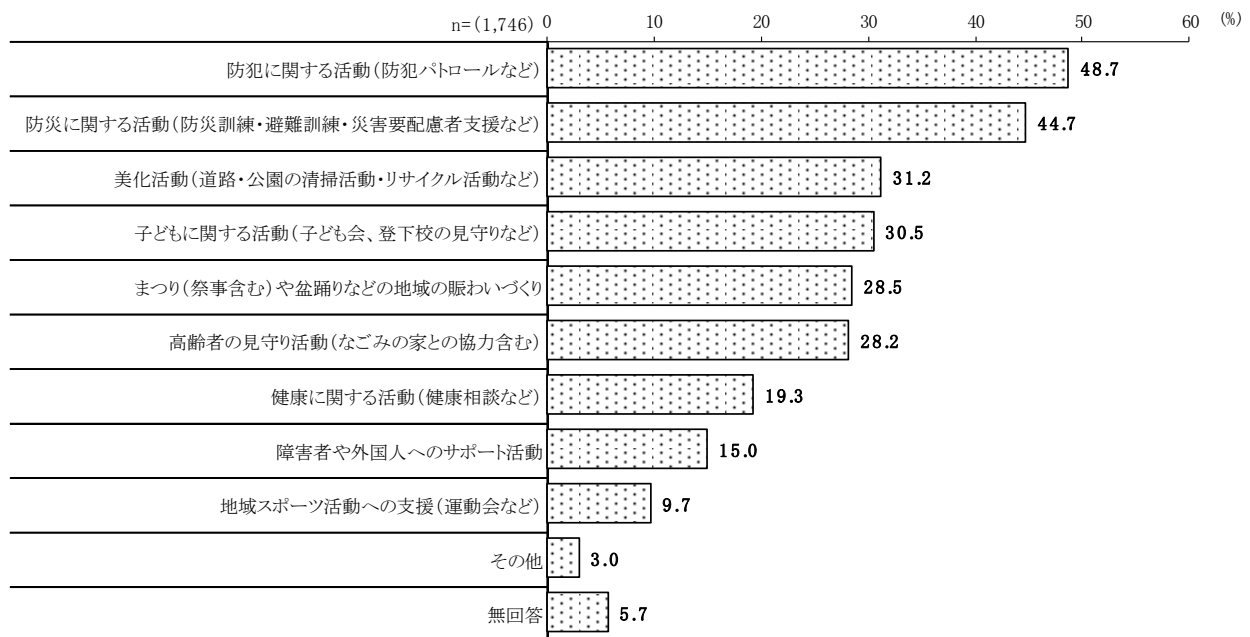
(1) 地域活動団体が連携して取り組んでほしいこと

◇「防犯に関する活動」、「防災に関する活動」が4割を超えて高い。

問21 区、町会・自治会、NPOなどの団体が連携して取り組んでほしいことをお答えください。

(○はいくつでも)

<図表 18-1> 地域活動団体が連携して取り組んでほしいこと



「防犯に関する活動」(48.7%)が5割弱で、「防災に関する活動」(44.7%)が4割台半ばで特に高くなっている。次いで「美化活動」(31.2%)、「子どもに関する活動」(30.5%)、「まつり(祭事含む)や盆踊りなどの地域の賑わいづくり」(28.5%)、「高齢者の見守り活動」(28.2%)までが3割前後で高い。(図表 18-1)

【性・年齢別】

「防犯に関する活動」は女性(50.0%)が男性(48.1%)より 1.9 ポイント高い。女性 40～49 歳(57.0%)が6割近くで最も高く、男性 20～29 歳(37.7%)は4割に満たず低い。

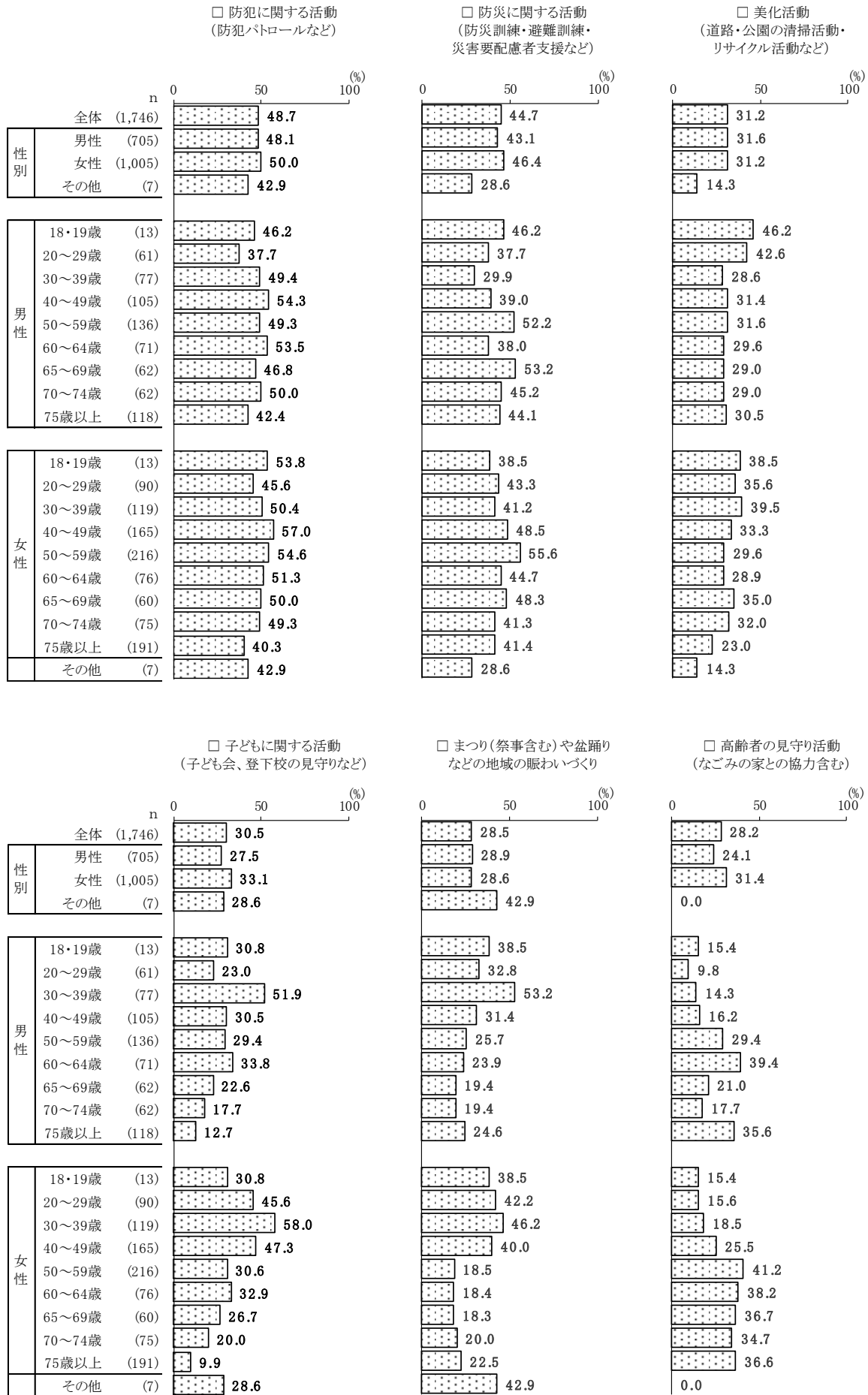
「防災に関する活動」も女性(46.4%)が男性(43.1%)より 3.3 ポイント高い。男性 50～59 歳(52.2%)、65～69 歳(53.2%)、女性 50～59 歳(55.6%)が5割を超えて高く、男性 30～39 歳(29.9%)は3割に満たず低い。

「美化活動」は男女に差は見られない。男性 20～29 歳(42.6%)、女性 30～39 歳(39.5%)は4割前後で特に高く、女性 75 歳以上(23.0%)は2割強で低い。

「子どもに関する活動」は女性(33.1%)が男性(27.5%)より 5.6%高い。男性、女性ともに 30～39 歳が5割を超えて高くなっている。

「まつり(祭事含む)や盆踊りなどの地域の賑わいづくり」は男女に差は見られない。男性 30～39 歳(53.2%)が最も高く、女性 40 歳代以下も4割を超えて高くなっている。(図表 18-2)

＜図表 18-2＞地域活動団体が連携して取り組んでほしいこと(上位6項目)／性・年齢別



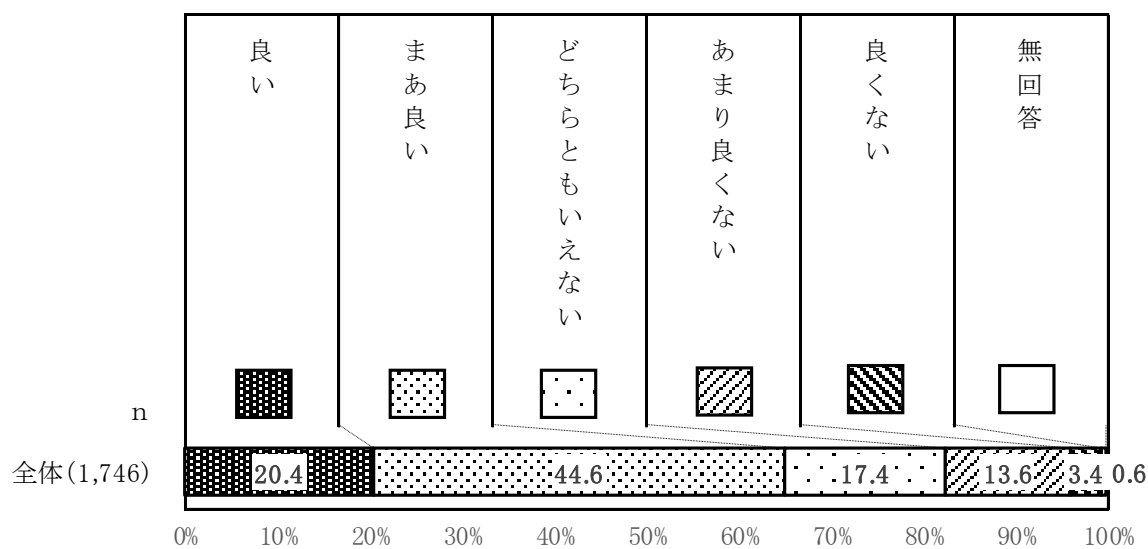
19. 健康状態について

(1) 現在の健康状態

◇「まあ良い」が4割台半ばで最も高い。

問22 あなたは、ご自身の健康状態を良いと感じますか。(○は1つ)

<図表 19-1> 現在の健康状態



現在の健康状態については「まあ良い」(44.6%)が4割台半ばで最も高い。次いで「良い」(20.4%)、「どちらともいえない」(17.4%)、「あまり良くない」(13.6%)の順になっている。(図表 19-1)

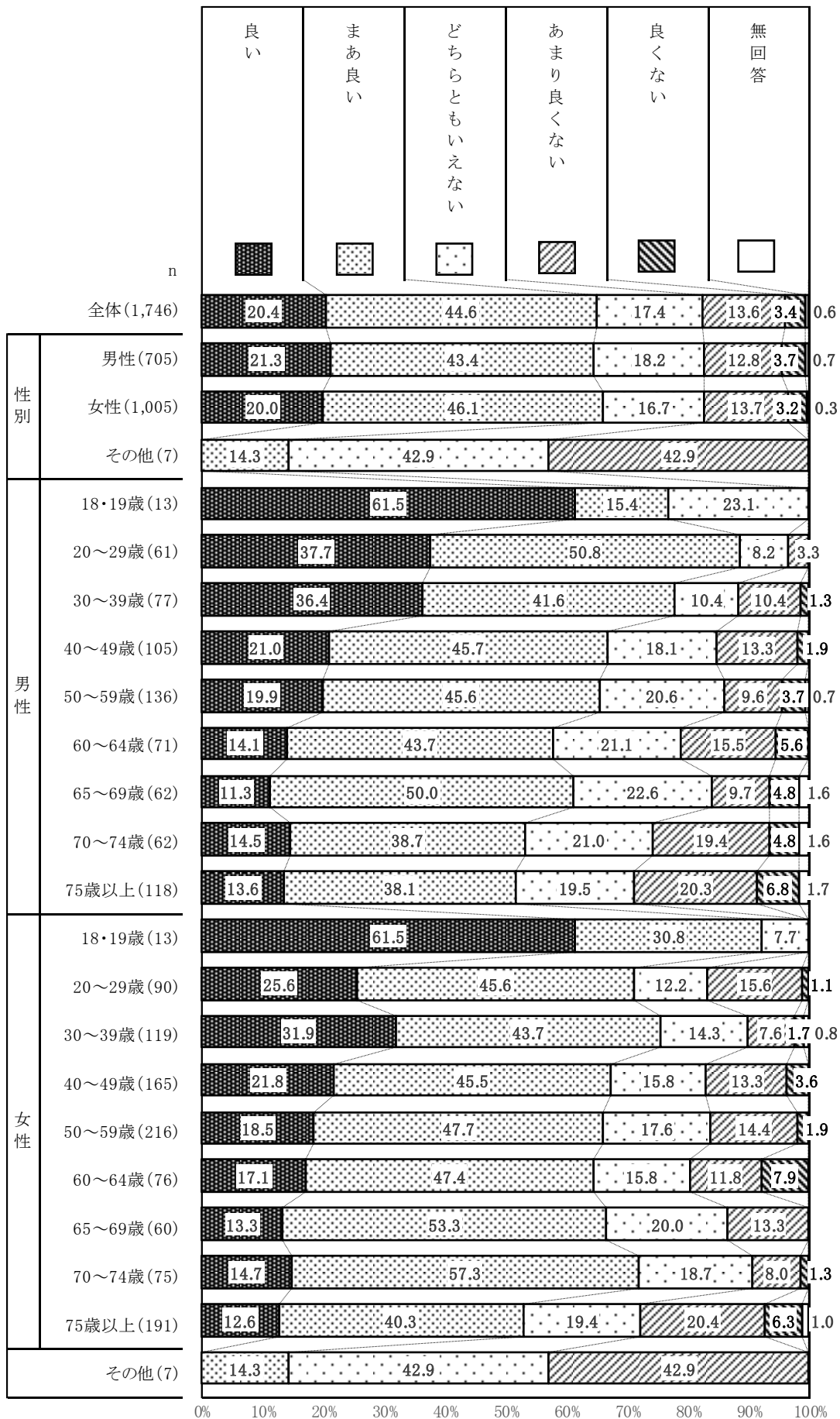
【性・年齢別】

「良い」は男性(21.3%)が女性(20.0%)より 1.3 ポイント高く、「まあ良い」は女性(46.1%)が男性(43.4%)より 2.7 ポイント高い。「良くない」は男性(3.7%)が女性(3.2%)より 0.5 ポイント高く、「あまり良くない」は女性(13.7%)が男性(12.8%)より 0.9 ポイント高くなっている。一方、「どちらともいえない」は男性(18.2%)が女性(16.7%)より 1.5 ポイント高くなっている。

男性において、「良い」は 20～29 歳(37.7%)、30～39 歳(36.4%)が4割近くで最も高い。「まあ良い」は 60 歳代までは4～5割あるが 70 歳代以降は4割に満たず低い。「良くない」は全年代で 1 割に満たないが年代が上がるごとに高くなる傾向があり、「あまり良くない」は 70 歳代以降が2割前後で高くなっている。「どちらともいえない」は 40 歳代以降が2割前後で高い。

女性において、「良い」は 30～39 歳(31.9%)が3割強で最も高い。「まあ良い」は男性とは異なり、年代が上がっても4割はあり、65～69 歳(53.3%)、70～74 歳(57.3%)が5割台半ばで高くなっている。「良くない」は 60～64 歳(7.9%)、75 歳以上(6.3%)が1割近くで高く、「あまり良くない」は 75 歳以上(20.4%)が 2 割を超えて最も高く、次いで 20～29 歳(15.6%)が1割台半ばで高い。「どちらともいえない」は 60 歳代後半以降が2割前後で高くなっている。(図表 19-2)

<図表 19-2>現在の健康状態／性・年齢別



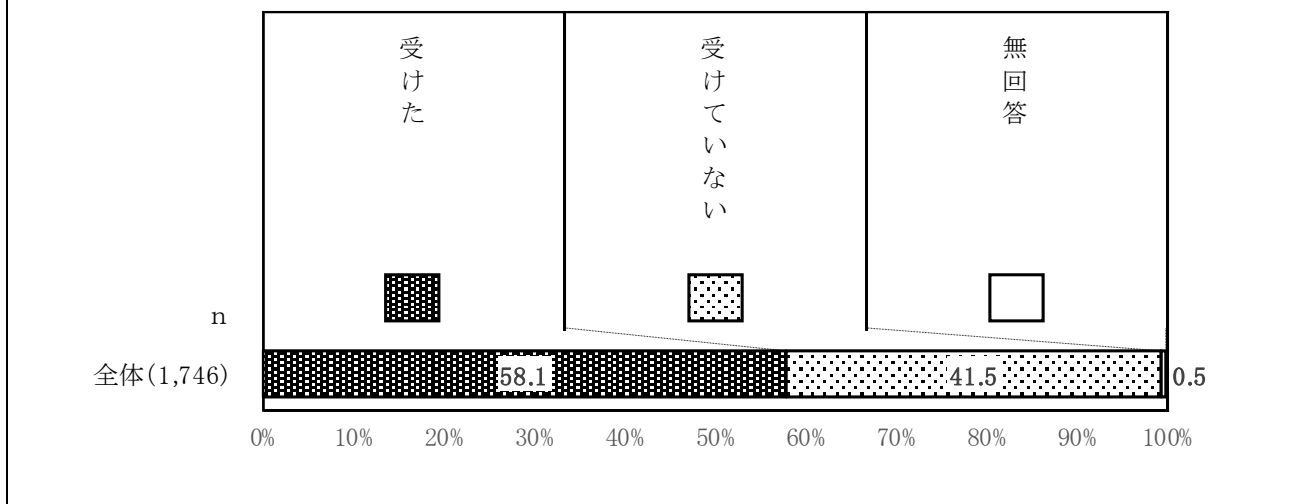
20. 歯科健診について

(1) 歯科健診の受診状況

◇「受けた」が6割弱。

問23 あなたは、この1年間に歯科健診を受けましたか。(○は1つ)

<図表 20-1> 歯科健診の受診状況



歯科健診の受診状況については「受けた」(58.1%)が6割弱で、「受けていない」(41.5%)より16.6ポイント高くなっている。(図表 20-1)

【性・年齢別】

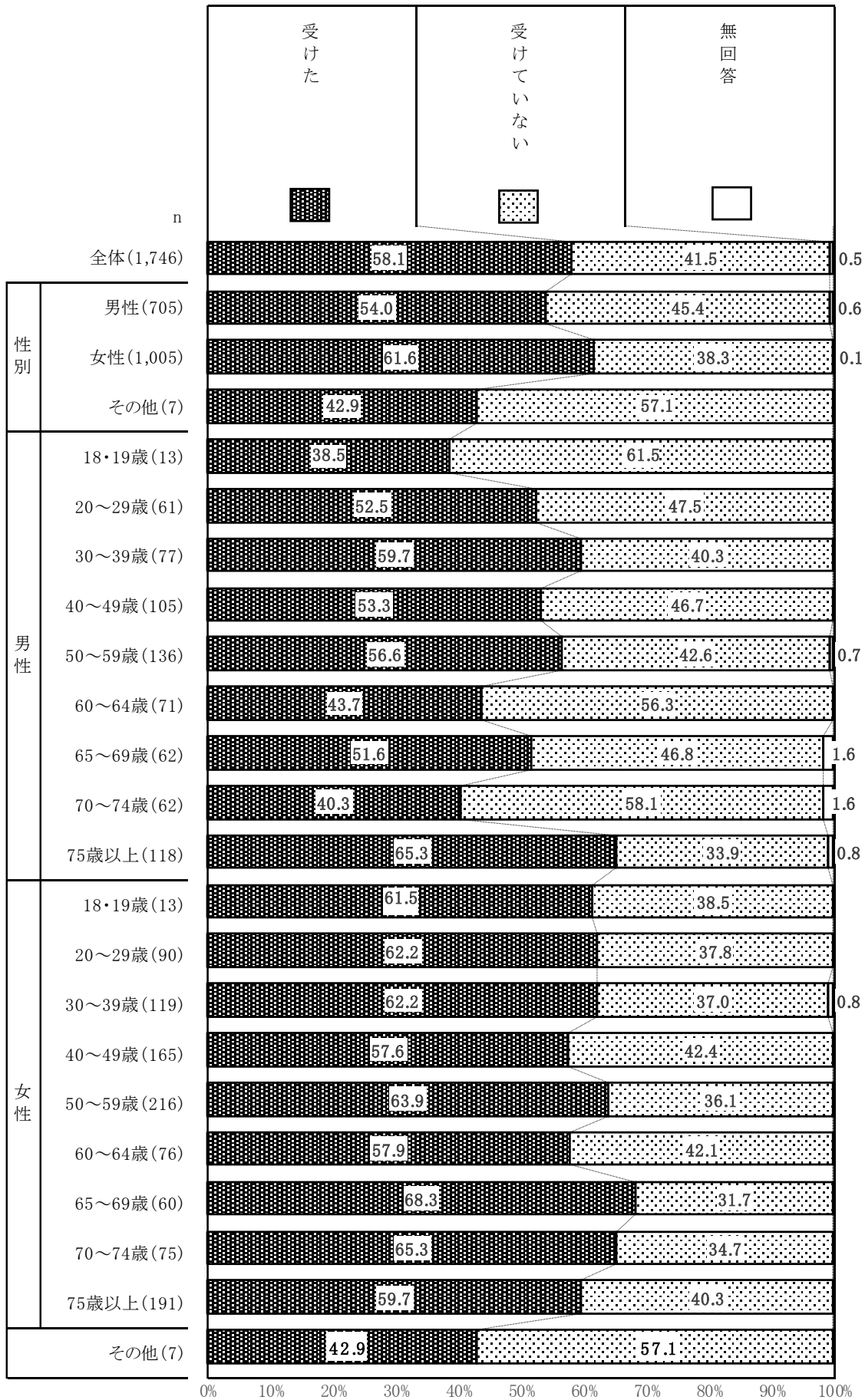
「受けた」は男性、女性ともに過半数に達し、女性(61.6%)が男性(54.0%)より7.6ポイント高くなっている。

男性において、「受けた」は75歳以上(65.3%)が6割台半ばと特に高く、次いで30~39歳(59.7%)が6割弱、50~59歳(56.6%)が6割近くで高い。60~64歳(43.7%)、70~74歳(40.3%)は4割強で他の年代に比べて低くなっている。

女性において、「受けた」は65~69歳(68.3%)、70~74歳(65.3%)が6割台半ば以上で特に高いが、男性ほど年代による差はなく、全体的に6割前後が受診している。

(図表 20-2)

<図表 20-2> 歯科健診の受診状況／性・年齢別



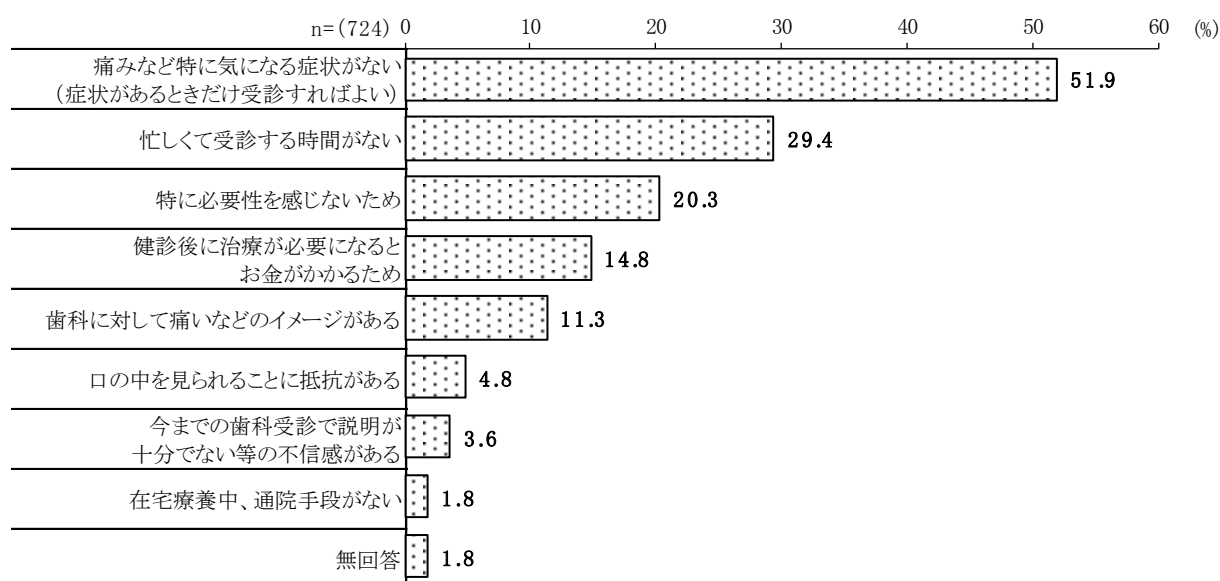
(2) 歯科健診を受けていない理由

◇「痛みなど特に気になる症状がない」が5割強で高い。

問23-1 問23で「2」と答えた方にお尋ねします。歯科健診を受けていない理由は何ですか。

(〇はいくつでも)

<図表 20-3> 歯科健診を受けていない理由



「痛みなど特に気になる症状がない」(51.9%)が5割強で特に高く、次いで「忙しくて受診する時間がない」(29.4%)、「特に必要性を感じないため」(20.3%)、「健診後に治療が必要になるとお金がかかるため」(14.8%)、「歯科に対して痛いなどのイメージがある」(11.3%)の順に高い。(図表 20-3)

【性・年齢別】

「痛みなど特に気になる症状がない」は女性(53.0%)が男性(50.9%)より 2.1 ポイント高い。男性 75 歳以上(67.5%)、女性 65~69 歳(68.4%)、70~74 歳(73.1%)が7割前後で特に高い。

「忙しくて受診する時間がない」は男女に差は見られない。男性、女性ともに年代が下がるごとに高い傾向にあるが、女性 20~29 歳(29.4%)は3割弱にとどまる。

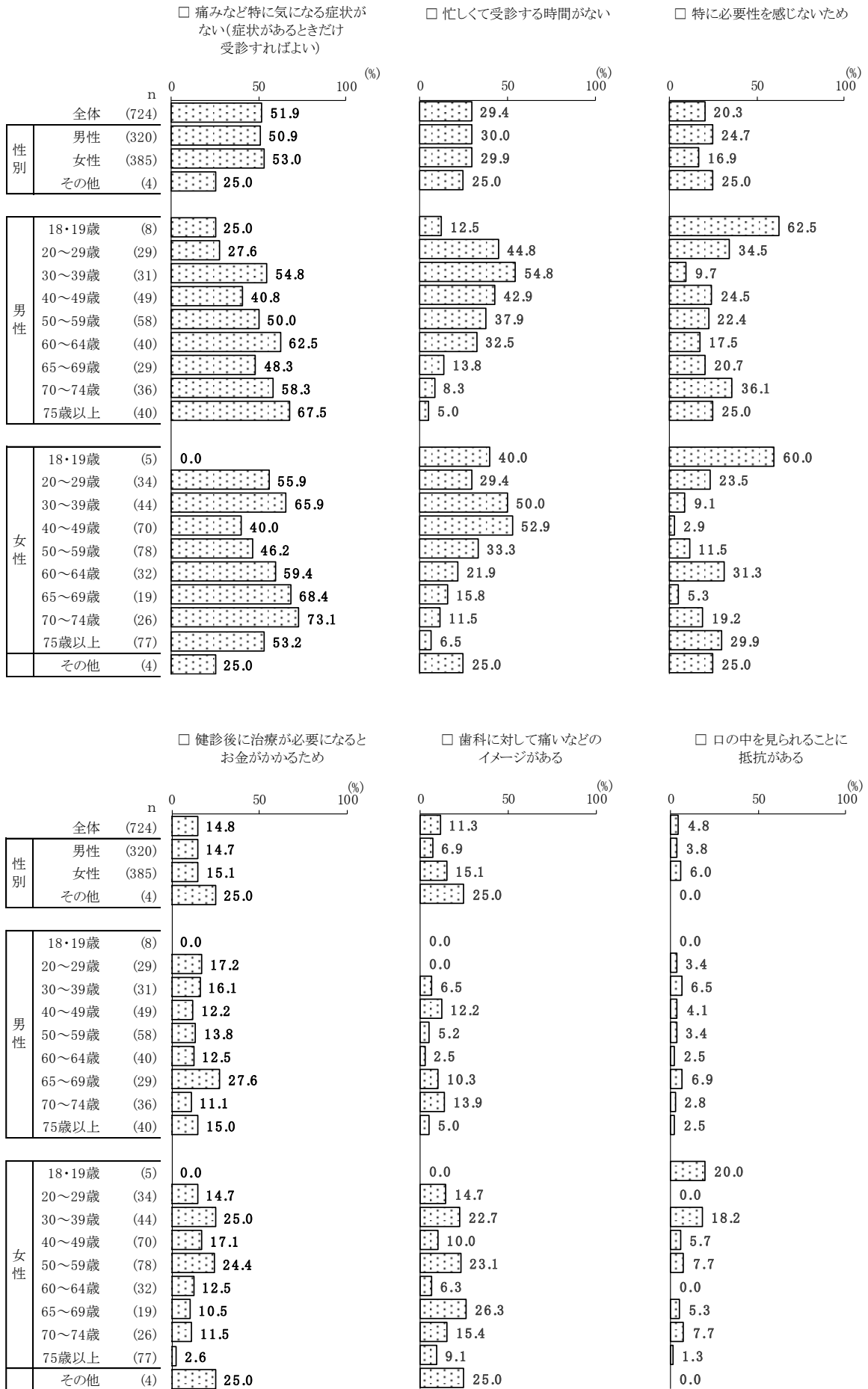
「特に必要性を感じないため」は男性 20~29 歳(34.5%)、70~74 歳(36.1%)が3割台半ばで高い。

「健診後に治療が必要になるとお金がかかるため」は男性 65~69 歳(27.6%)、女性 30~39 歳(25.0%)、50~59 歳(24.4%)が2割台半ばで特に高くなっている。

「歯科に対して痛いなどのイメージがある」は女性(15.1%)が男性(6.9%)に比べて 8.2 ポイント高く、女性 30~39 歳(22.7%)、50~59 歳(23.1%)、65~69 歳(26.3%)は2割を超えて特に高くなっている。

(図表 20-4)

＜図表 20-4＞ 歯科健診を受けていない理由(上位6項目)／性・年齢別



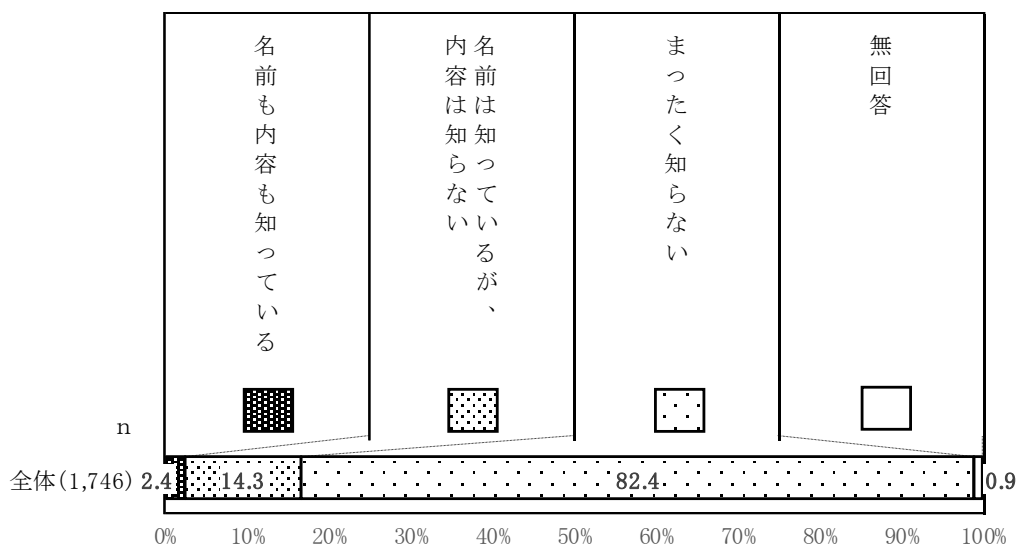
21. 自殺対策について

(1) 「江戸川区いのち支える自殺対策計画」の認知度

◇「まったく知らない」が8割強で高い。

問24 あなたは、「江戸川区いのち支える自殺対策計画」を知っていますか。(○は1つ)

<図表 21-1>「江戸川区いのち支える自殺対策計画」の認知度



「まったく知らない」(82.4%)が8割強で特に高く、次いで「名前は知っているが、内容は知らない」(14.3%)が1割台半ばで高くなっている。(図表 21-1)

【性・年齢別】

「名前も内容も知っている」は女性(2.7%)が男性(2.1%)より0.6ポイント高く、「名前は知っているが、内容は知らない」も女性(14.7%)が男性(13.9%)より0.8ポイント高いため、認知度としては女性の方が1.4ポイント高くなっている。「まったく知らない」は男性、女性ともに8割強で高く、男性(82.8%)が女性(82.1%)より0.7ポイント高くなっている。

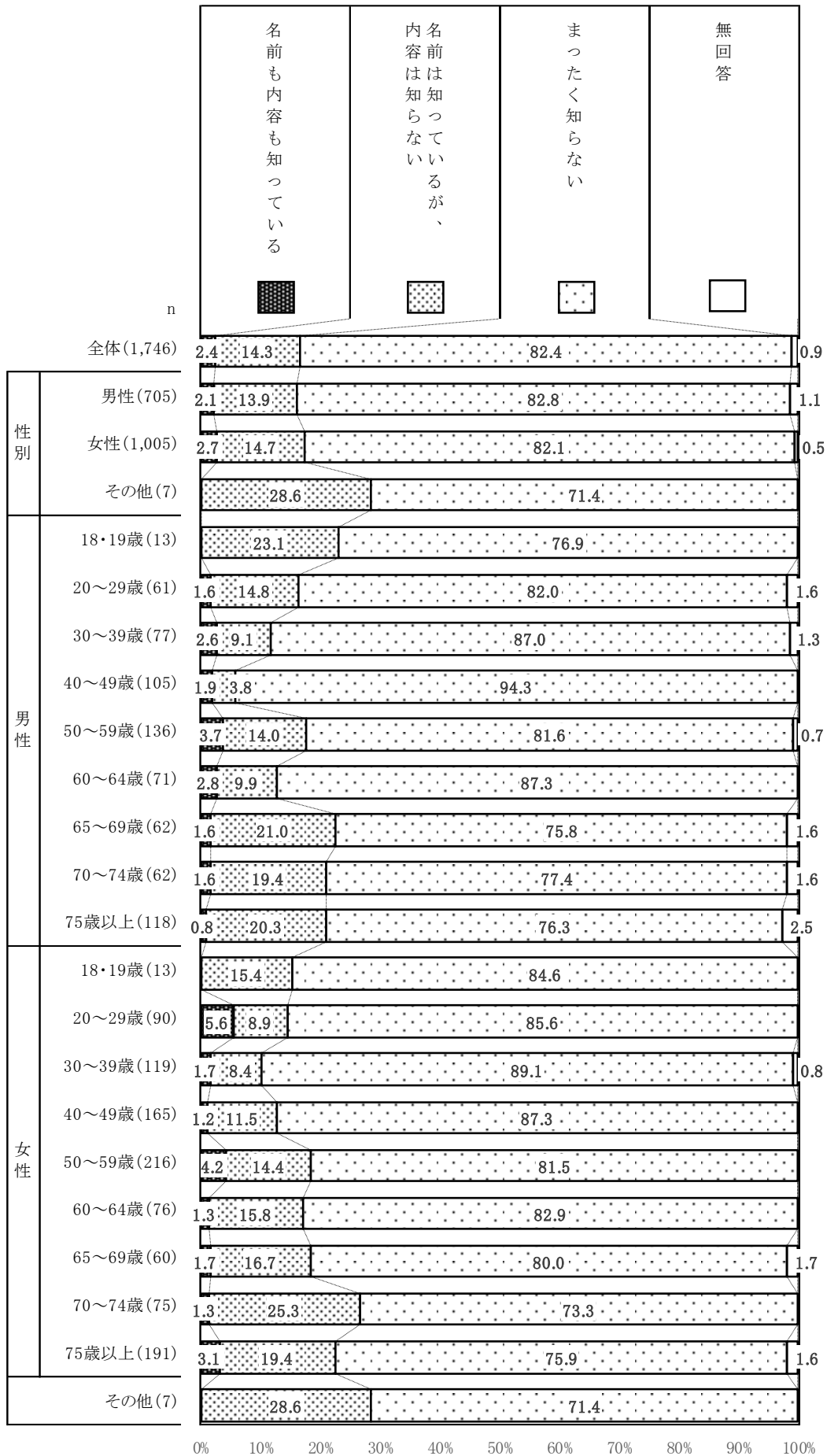
男性において、「名前は知っているが、内容は知らない」は65歳以降が2割前後で高く、20～29歳(14.8%)、50～59歳(14.0%)も1割台半ばで高くなっている。「まったく知らない」は30歳代、40歳代、60歳代前半が9割前後で特に高い。

女性において、「名前も内容も知っている」は20～29歳(5.6%)が他の年代に比べて高い。「名前は知っているが、内容は知らない」は70歳代以降が2割前後で特に高くなっている。「まったく知らない」は30歳代、40歳代が9割近くで特に高い。

男性、女性ともに30歳代、40歳代の認知度は他の年代に比べて低く、特に周知を図る必要がある。

(図表 21-2)

<図表 21-2>「江戸川区いのち支える自殺対策計画」の認知度／性・年齢別



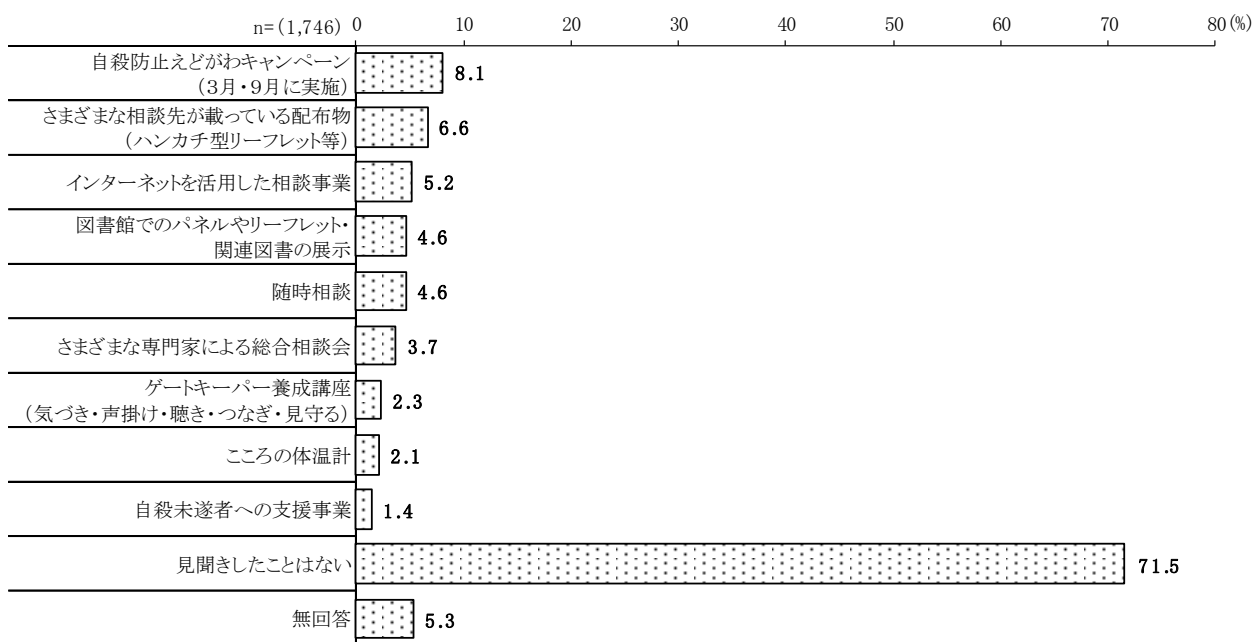
(2) 区の自殺対策への取り組みについての認知度

◇「見聞きしたことはない」が7割強で最も高い。

問25 あなたは、江戸川区の自殺対策について、どのような取り組みを知っていますか。

(〇はいくつでも)

<図表 21-3> 区の自殺対策への取り組みについての認知度



江戸川区の自殺対策への取り組みについては「見聞きしたことはない」(71.5%)が7割強で特に高くなっている。次いで1割に満たないが「自殺防止えどがわキャンペーン」(8.1%)、「さまざまな相談先が載っている配布物」(6.6%)、「インターネットを活用した相談事業」(5.2%)、「図書館でのパネルやリーフレット・関連図書の展示」、「随時相談」(ともに 4.6%)と続いている。(図表 21-3)

【性・年齢別】

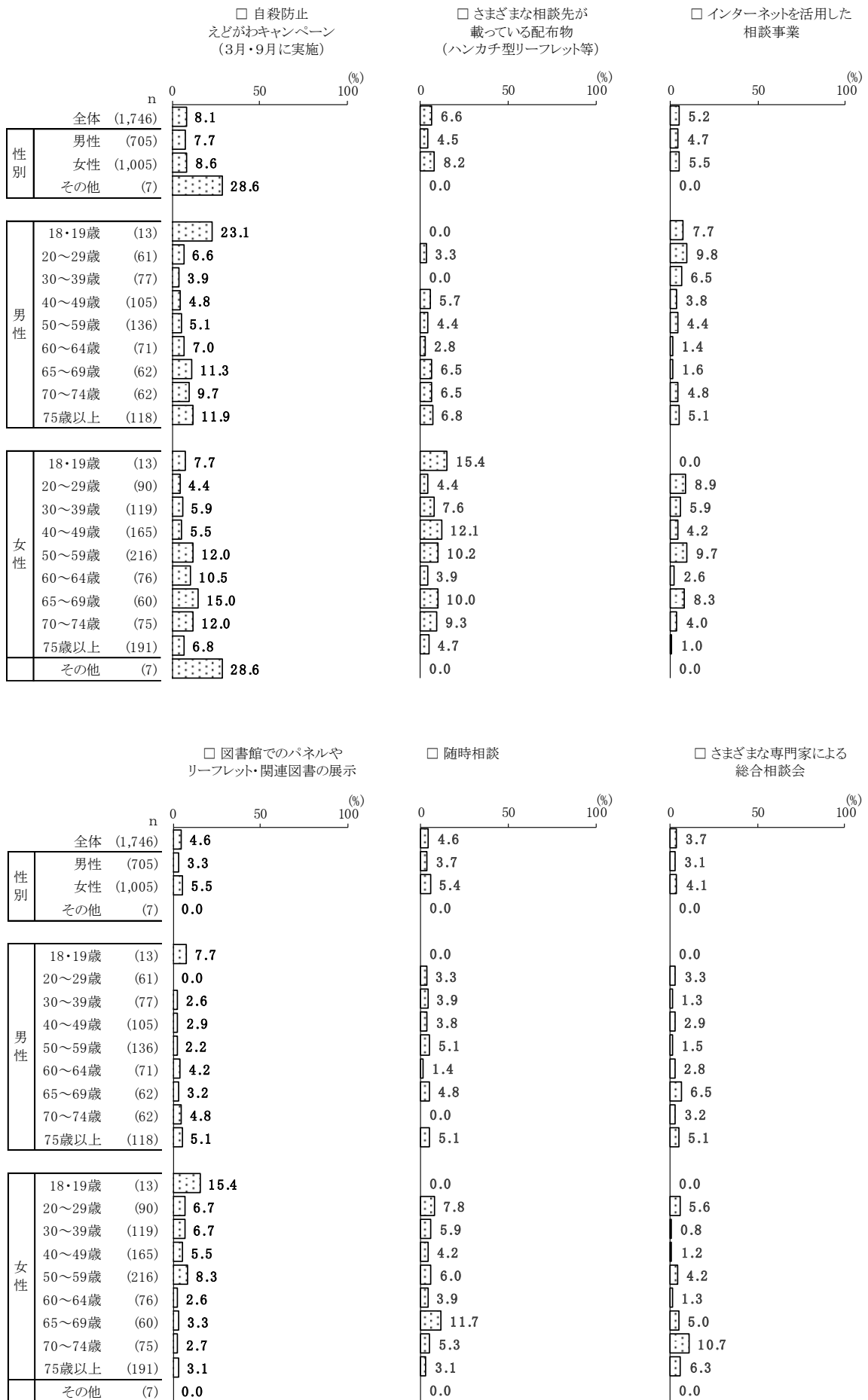
取り組みについて認知度の高い項目について見ていくと、「自殺防止えどがわキャンペーン」は女性(8.6%)が男性(7.7%)より0.9ポイント高い。「さまざまな相談先が載っている配布物」も女性(8.2%)が男性(4.5%)より3.7ポイント高くなっている。「インターネットを活用した相談事業」も女性(5.5%)が男性(4.7%)より0.8ポイント高く、その他上位6項目まで全て女性の方が認知度は高い。

「自殺防止えどがわキャンペーン」は、女性 65～69 歳(15.0%)が1割台半ばで特に高く、男性の 60 歳代後半以降や女性の 50 歳代から 70 歳代前半までも1割前後で高い。

「さまざまな相談先が載っている配布物」は、女性 40 歳代、50 歳代、60 歳代後半が1割前後で高い。

「インターネットを活用した相談事業」は、男性 20 歳代、女性 20 歳代、50 歳代が1割弱で特に高くなっている。(図表 21-4)

<図表 21-4> 区の自殺対策への取り組みについての認知度(上位6項目)／性・年齢別



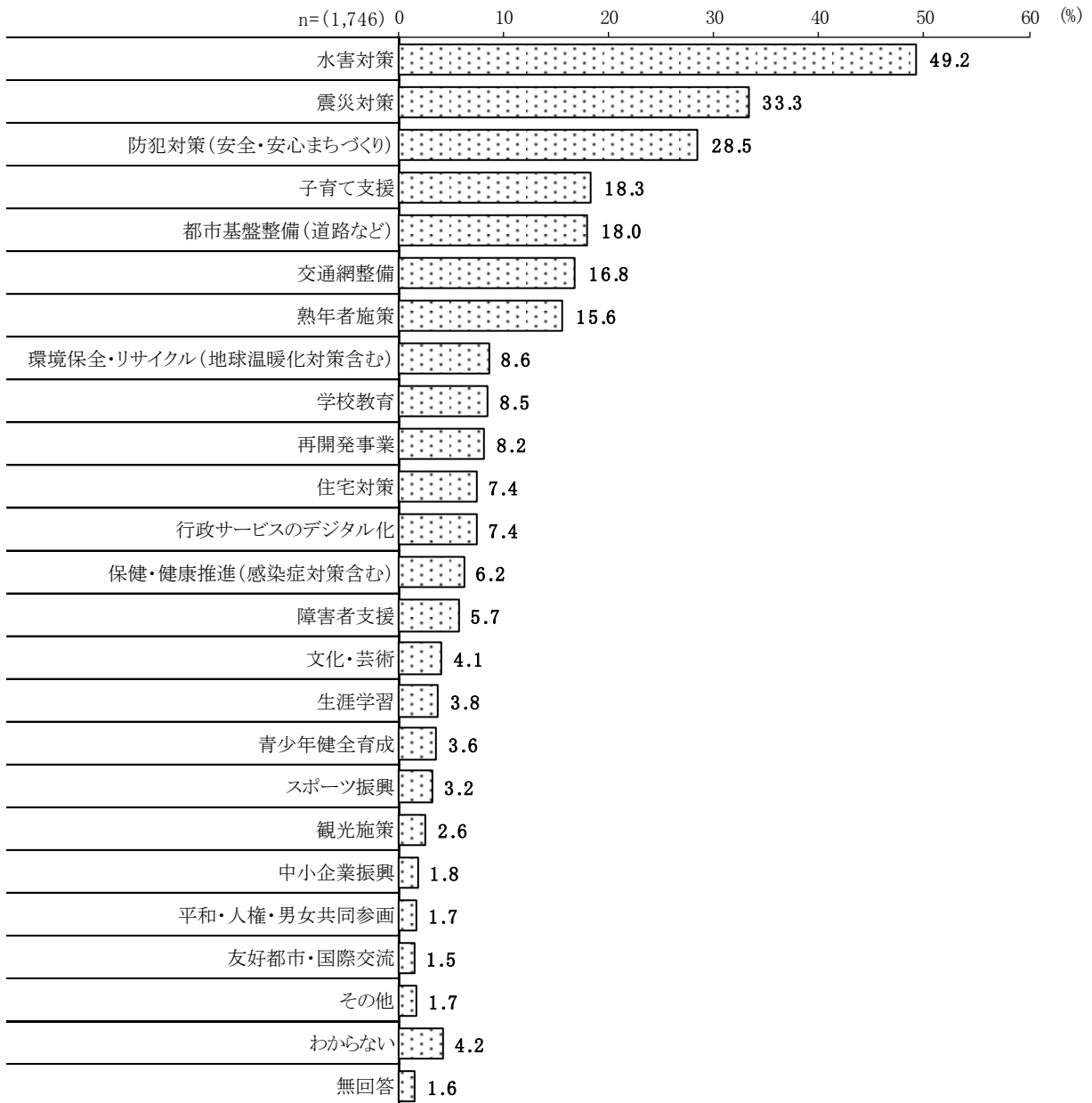
22. 区政への要望について

(1) 今後推進してほしい施策

◇「水害対策」が5割弱で最も高い。

問26 あなたは、江戸川区は今後どのような施策を推進していけばよいと思いますか。(〇は3つまで)

<図表 22-1> 今後推進してほしい施策



「水害対策」(49.2%)が5割弱で最も高くなっている。次いで、「震災対策」(33.3%)、「防犯対策(安全・安心まちづくり)」(28.5%)が3割前後で高く、「子育て支援」(18.3%)、「都市基盤整備(道路など)」(18.0%)、「交通網整備」(16.8%)、「熟年者施策」(15.6%)が続く。(図表 22-1)

【性・年齢別】

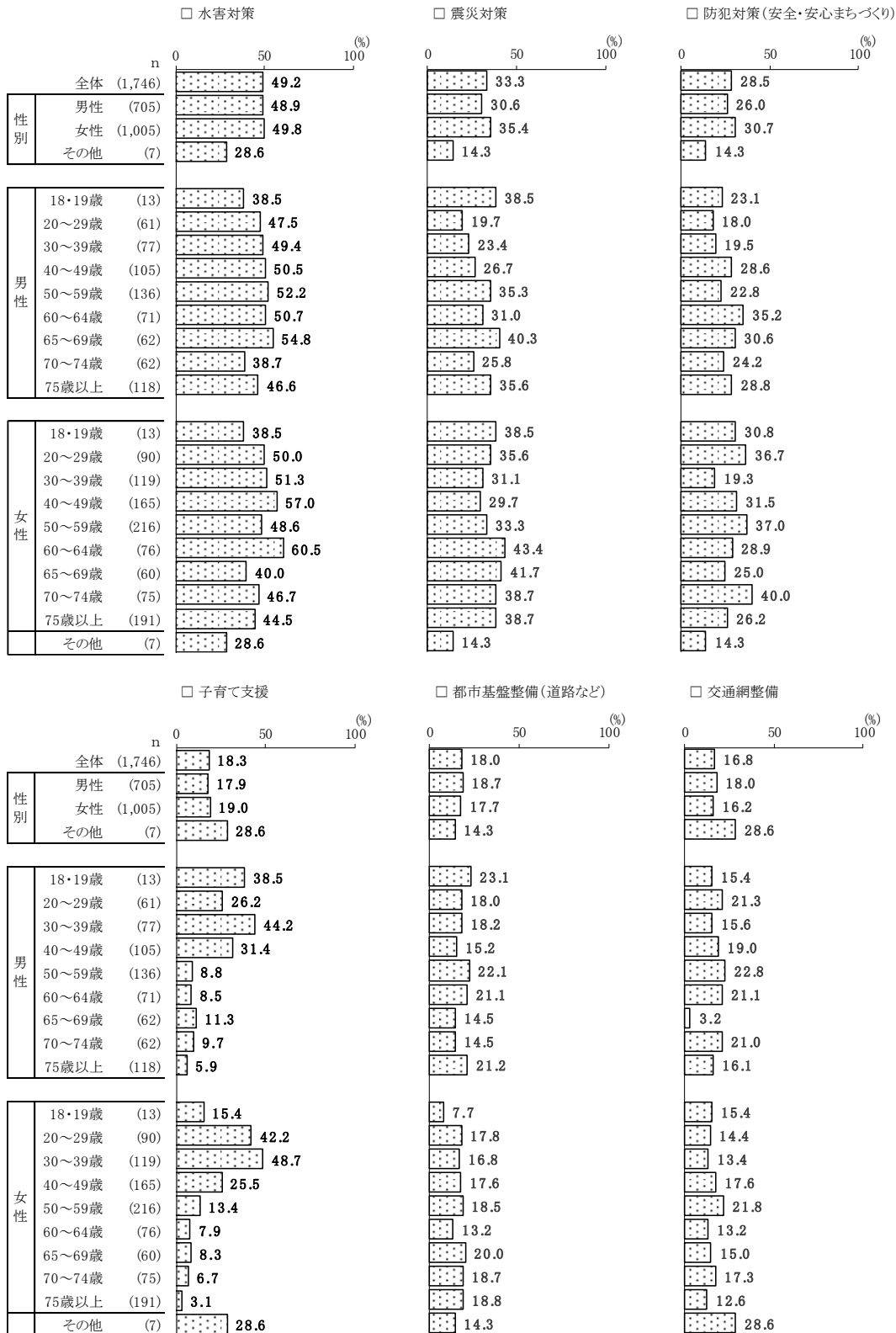
「水害対策」は男性、女性ともに5割弱で高く、女性60～64歳(60.5%)が6割を超えて特に高くなっている。

「震災対策」は女性(35.4%)が男性(30.6%)より4.8ポイント高い。男性20～29歳(19.7%)は2割に満たず低い。

「防犯対策(安全・安心まちづくり)」も女性(30.7%)が男性(26.0%)より4.7ポイント高い。

「子育て支援」は男性、女性ともに40代以下が2割台半ば以上で高くなっている。(図表22-2)

<図表22-2> 今後推進してほしい施策(上位6項目)／性・年齢別



【時系列比較】

令和2年以降、1位から3位までに変化はない。1位の「水害対策」(49.2%)は5割弱で、令和4年に比べて2.5ポイント増加している。2位の「震災対策」(33.3%)も0.5ポイント増加したが、3位の「防犯対策」(28.5%)は4.1ポイント減少している。(図表22-3)

＜図表22-3＞今後推進してほしい施策／時系列比較

	1位	2位	3位	4位	5位
令和5年	水害対策 49.2%	震災対策 33.3%	防犯対策 (安全・安心まちづくり) 28.5%	子育て支援 18.3%	都市基盤整備 (道路など) 18.0%
令和4年	水害対策 46.7%	震災対策 32.8%	防犯対策 (安全・安心まちづくり) 32.6%	都市基盤整備 (道路など) /子育て支援 (注)18.0%	
令和3年	水害対策 54.1%	震災対策 38.8%	防犯対策 (安全・安心まちづくり) 32.0%	交通網整備 17.0%	都市基盤整備 (道路など) 16.9%
令和2年	水害対策 55.6%	震災対策 36.4%	防犯対策 (安全・安心まちづくり) 32.0%	子育て支援 19.2%	交通網整備 15.6%
平成29年	震災対策 35.7%	防犯対策 (安全・安心まちづくり) 30.3%	水害対策 29.5%	子育て支援 20.3%	交通網整備 15.7%
平成26年	震災対策 39.1%	防犯対策(安全・ 安心まちづくり) 33.4%	水害対策 25.0%	子育て支援 21.2%	熟年者施策 19.9%
平成24年	震災対策 43.5%	防犯対策 (安全・安心まちづくり) 33.6%	高齢者福祉 28.8%	水害対策 26.4%	子育て支援 18.1%
平成22年	防犯対策 (安全・安心まちづくり) 39.2%	高齢者福祉 34.9%	子育て支援 22.7%	震災対策 22.6%	学校教育 20.3%
平成20年	防犯対策 (安全・安心まちづくり) 47.2%	災害対策 36.1%	高齢者対策 35.3%	子育て対策 20.2%	交通網整備 17.0%
平成18年	防犯対策 (安全・安心まちづくり) 48.0%	高齢者対策 31.3%	防災対策 21.4%	子育て対策 21.0%	交通網整備 19.4%

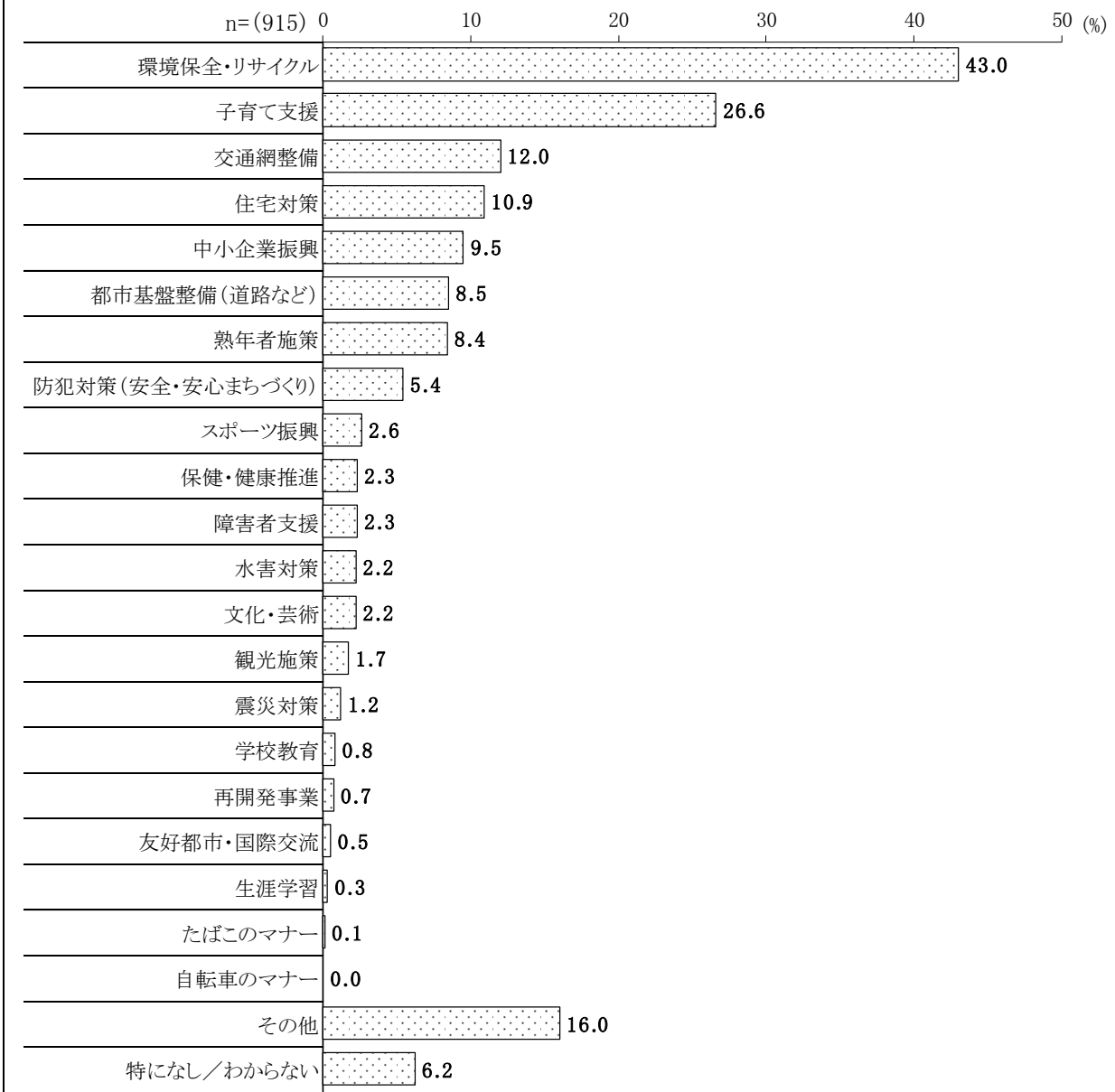
(注)令和4年は「都市基盤整備(道路など)」「子育て支援」が同率4位となっている。
 ※平成18年「防災対策」(3位)→平成20年「災害対策」(2位)→平成22年から「震災対策」と「水害対策」に分割。
 ※平成18～20年「子育て対策」→平成22年から「子育て支援」に変更。

23. 自由記述

(1) 江戸川区の良さ

問27 あなたが、江戸川区で暮らしているなかで、江戸川区の「良さ」または「改善してほしい」と感じるものは、どのようなことですか。子育て支援、熟年者施策、生活環境、産業振興、災害対策、まちづくりなど、どのような分野でもかまいません。できるだけ具体的にお書きください。

<図表 23-1>江戸川区の良さ



江戸川区の良さについて、自由回答形式で求め、915人から回答を得た。

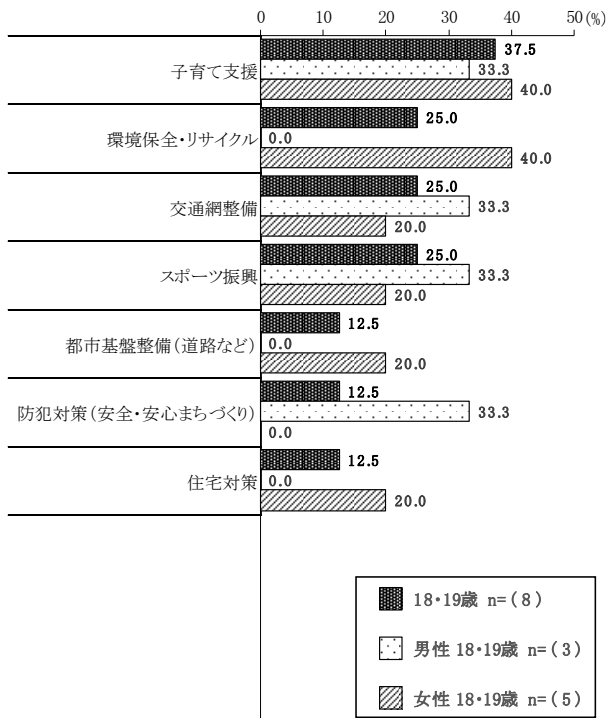
江戸川区の良さでは「環境保全・リサイクル」(43.0%)が4割強で特に高かった。次いで、「子育て支援」(26.6%)が3割近くで高く、「交通網整備」(12.0%)、「住宅対策」(10.9%)、「中小企業振興」(9.5%)、「都市基盤整備」(8.5%)、「熟年者施策」(8.4%)までが1割前後で続いている。(図表 23-1)

【性・年齢別】

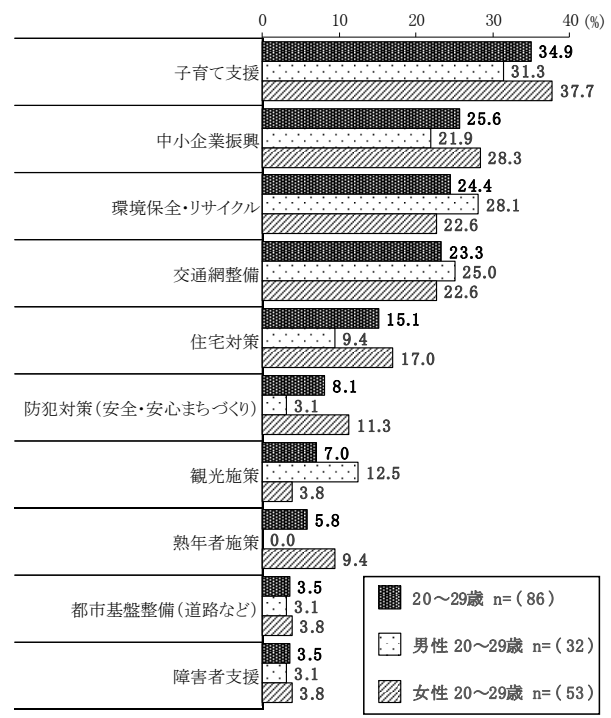
20歳代は「子育て支援」が3割台半ばで高く、特に女性は4割近くで高い。30歳代、40歳代は「環境保全・リサイクル」、「子育て支援」が4割を超えて高く、「環境保全・リサイクル」は30歳代男性、40歳代女性で5割に達している。(図表23-2)

＜図表23-2＞江戸川区の良さ／性・年齢別(上位10項目) ※18・19歳は7項目のみ

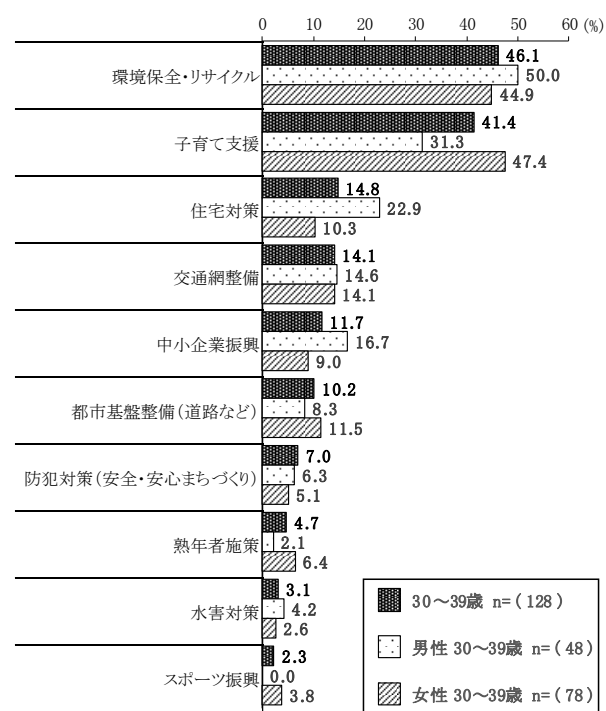
【18・19歳】



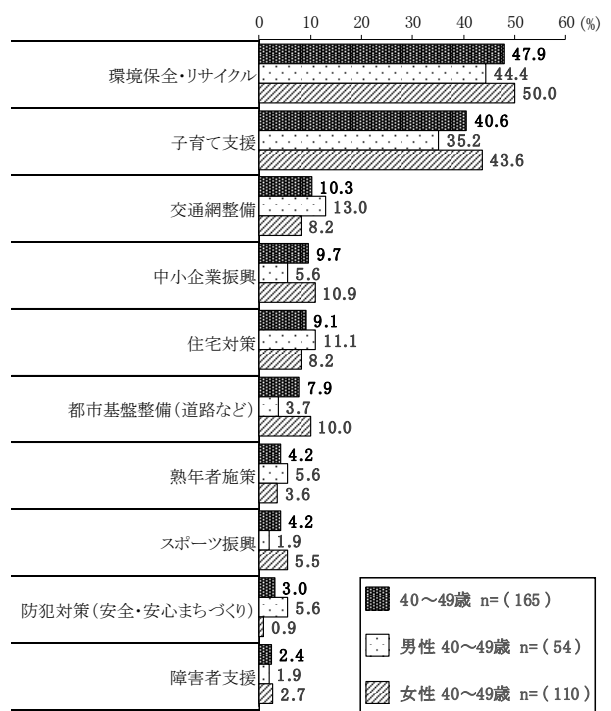
【20歳代(20～29歳)】



【30歳代(30～39歳)】



【40歳代(40～49歳)】

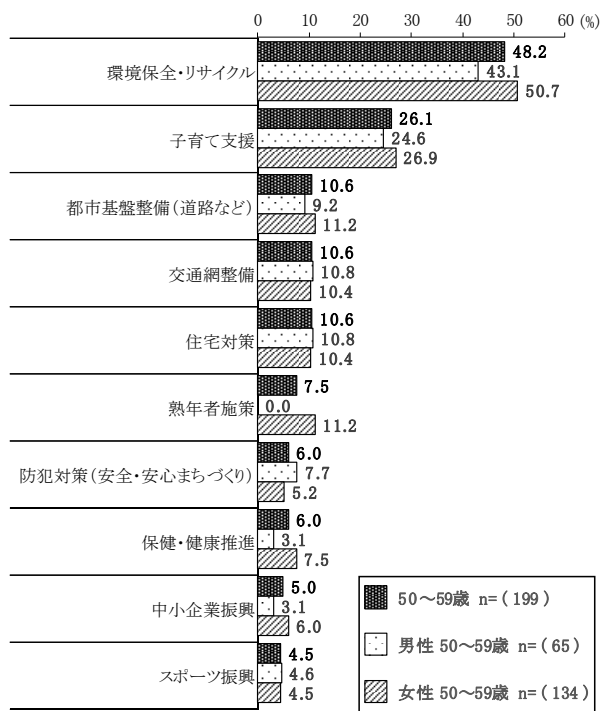


【性・年齢別】

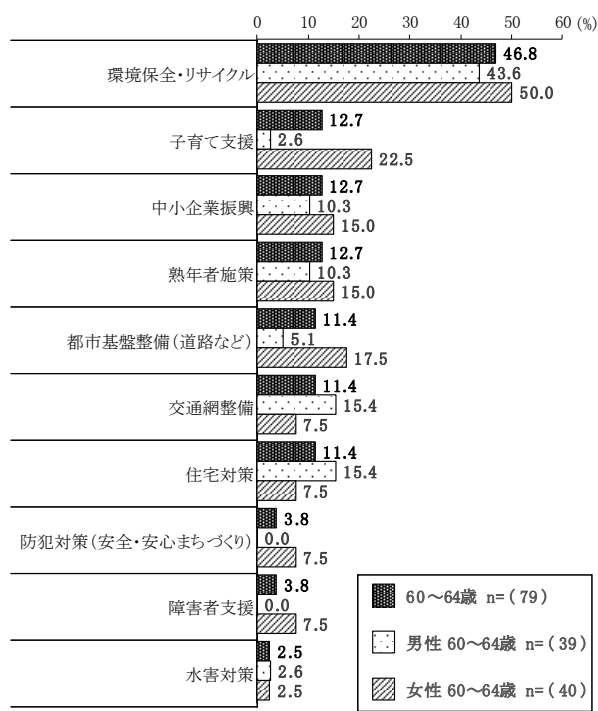
50歳代～70歳代前半は、「環境保全・リサイクル」がそれぞれ4割を超えて特に高くなっている。それぞれ女性の方が男性よりポイントは高く、60歳代までは5割に達している。次いで60歳代までは「子育て支援」が2位と高く、70歳代前半は「都市基盤整備」が「子育て支援」と同率(12.5%)で高い。(図表 23-3)

<図表 23-3>江戸川区の良さ／性・年齢別(上位10項目)

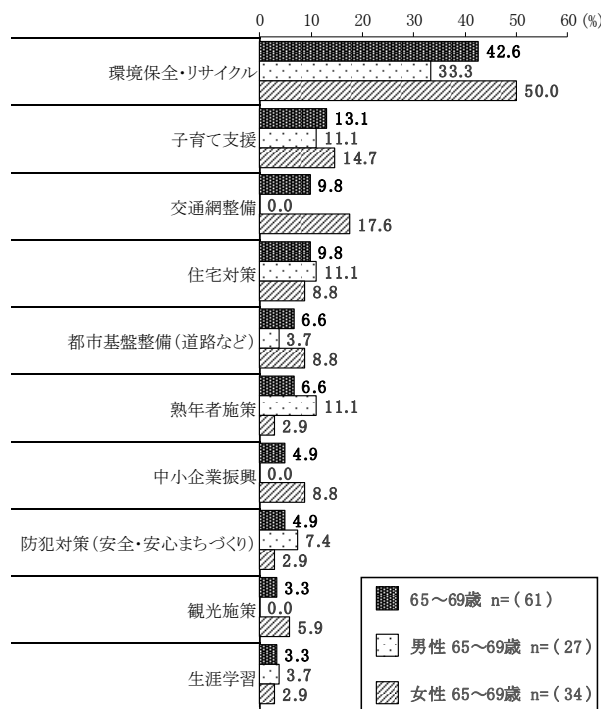
【50歳代(50～59歳)】



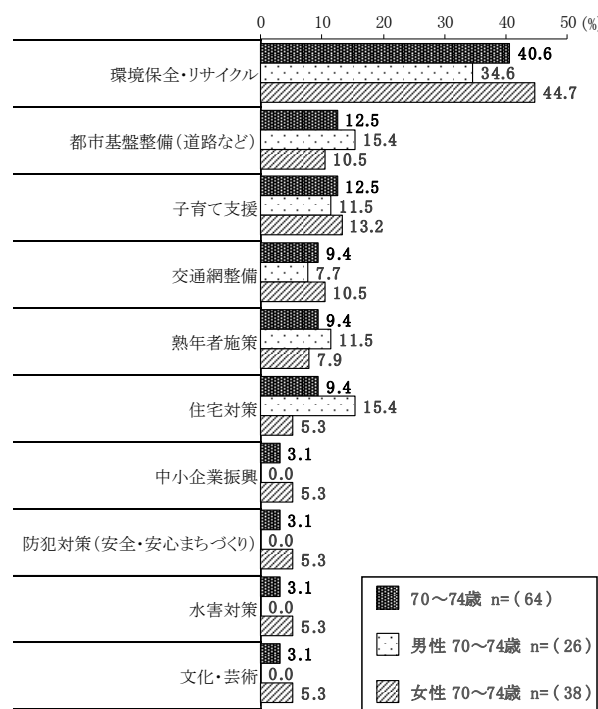
【60歳代前半(60～64歳)】



【60歳代後半(65～69歳)】



【70歳代前半(70～74歳)】

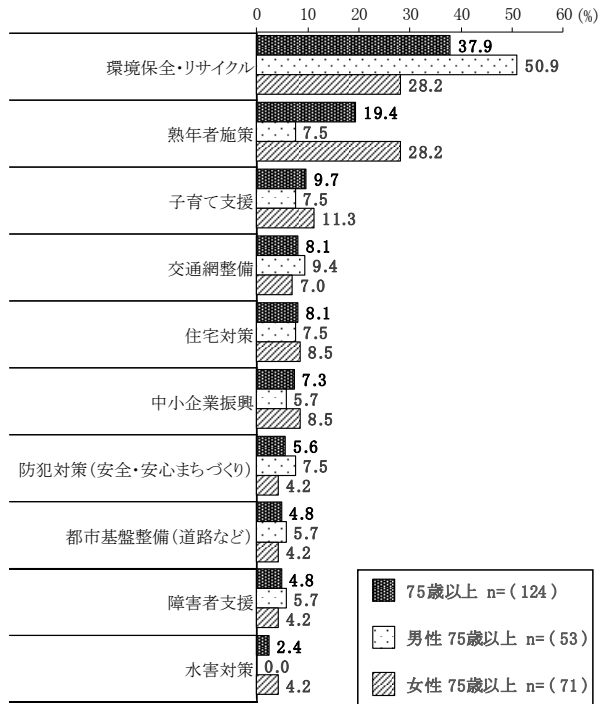


【性・年齢別】

70 歳代後半以降も「環境保全・リサイクル」が4割近くで高く、特に男性が5割に達している。次いで、「熟年者施策」が2割弱で高く、女性では3割近くと特に高くなっている。(図表 23-4)

＜図表 23-4＞江戸川区の良さ／性・年齢別(上位 10 項目)

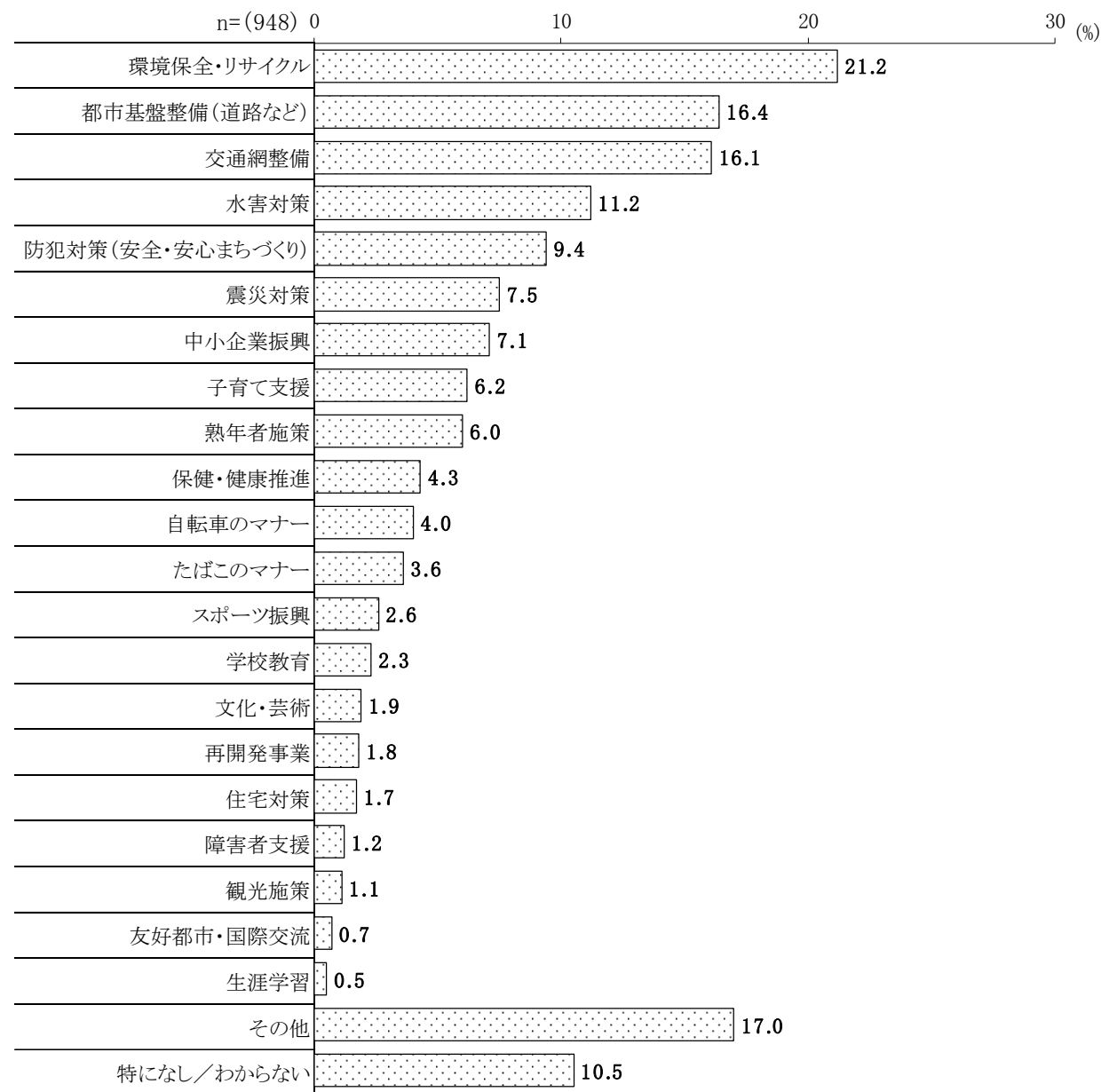
【70歳代後半以降(75歳以上)】



(2) 江戸川区に改善してほしいこと

問27 あなたが、江戸川区で暮らしているなかで、江戸川区の「良さ」または「改善してほしい」と感じるものは、どのようなことですか。子育て支援、熟年者施策、生活環境、産業振興、災害対策、まちづくりなど、どのような分野でもかまいません。できるだけ具体的にお書きください。

<図表 23-5> 江戸川区に改善してほしいこと



江戸川区の改善してほしいことについて、自由回答形式で求め、948人から回答を得た。

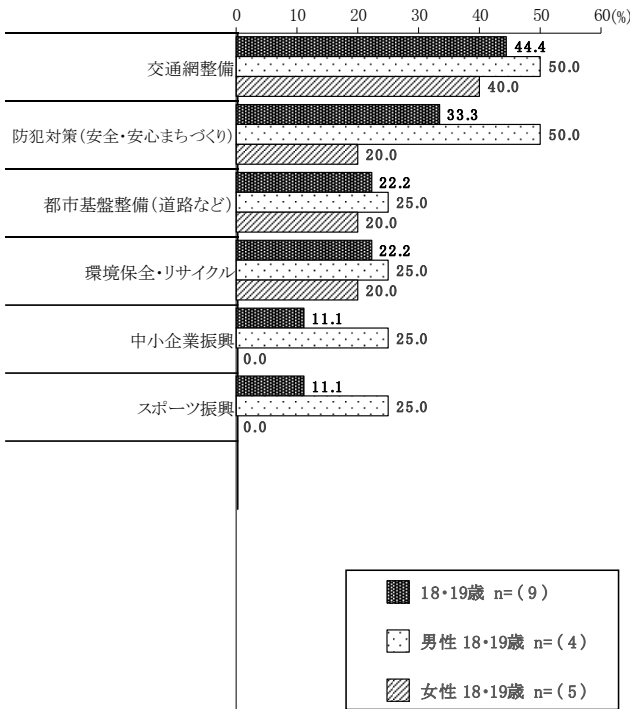
江戸川区の改善してほしいことでは、「環境保全・リサイクル」(21.2%)が2割強で特に高かった。次いで「都市基盤整備」(16.4%)、「交通網整備」(16.1%)が2割近くで高く、「水害対策」(11.2%)、「防犯対策」(9.4%)までが1割前後で続いている。(図表 23-5)

【性・年齢別】

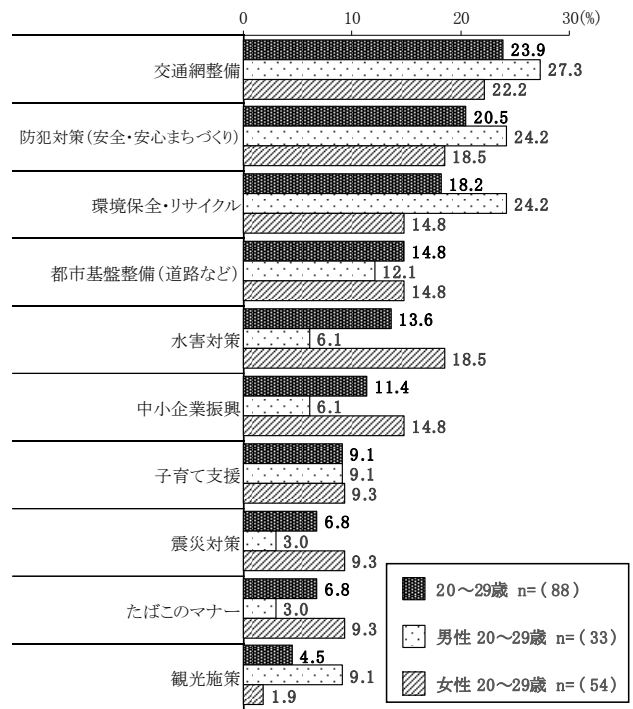
20歳代は「交通網整備」、「防犯対策」、「環境保全・リサイクル」の順に2割前後で高く、特に男性は2割台半ばで高くなっている。30歳代、40歳代はどちらも「環境保全・リサイクル」が3割近くで高く、「交通網整備」、「都市基盤整備」が1割台半ばで続いている。「都市基盤整備」について、30歳代は女性が男性より5.8ポイント高くなっている。(図表23-6)

<図表23-6>江戸川区に改善してほしいこと／性・年齢別(上位10項目)

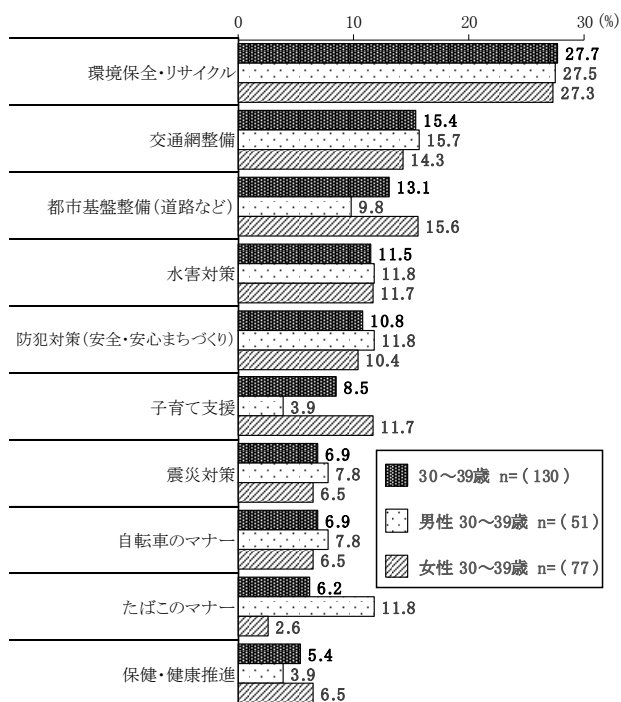
【18・19歳】



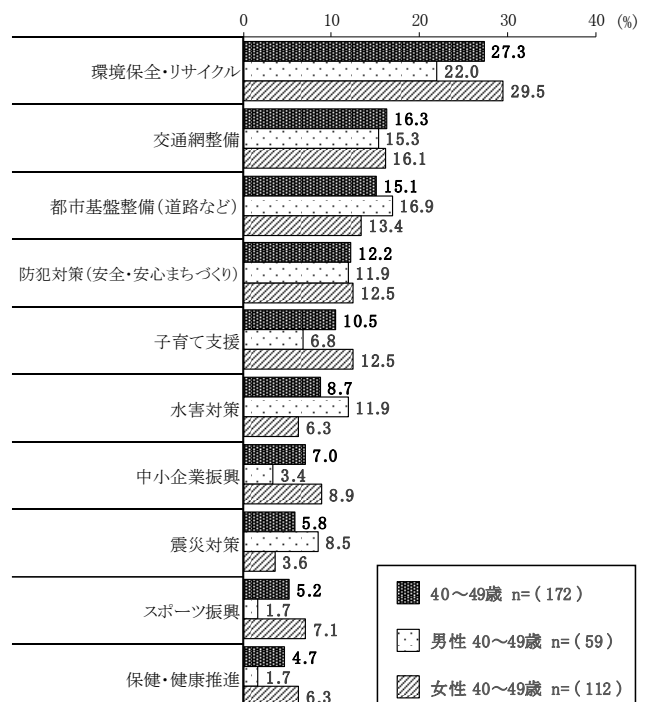
【20歳代(20～29歳)】



【30歳代(30～39歳)】



【40歳代(40～49歳)】

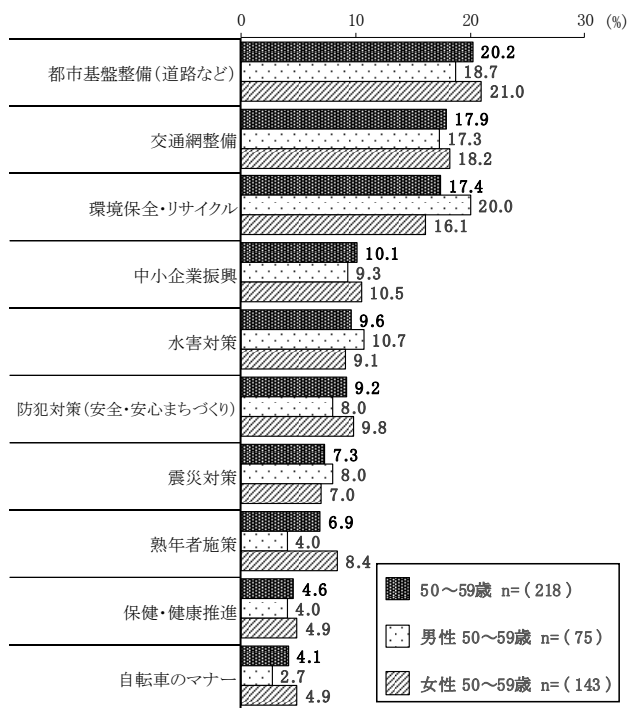


【性・年齢別】

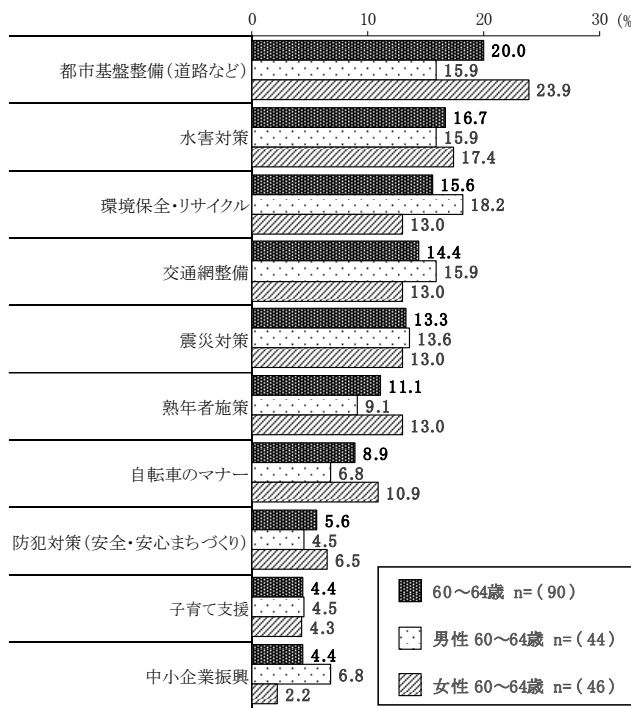
50歳代は「都市基盤整備」、「交通網整備」、「環境保全・リサイクル」の順に2割前後で高い。60歳代は「交通網整備」の順位は下げ、「都市基盤整備」、「環境保全・リサイクル」の他に「水害対策」が順位を上げている。70歳代前半は「環境保全・リサイクル」が2割強で特に高く、次いで「熟年者施策」が2割近くと順位を上げ、特に女性が2割台半ばで高くなっている。(図表 23-7)

<図表 23-7>江戸川区に改善してほしいこと／性・年齢別(上位10項目)

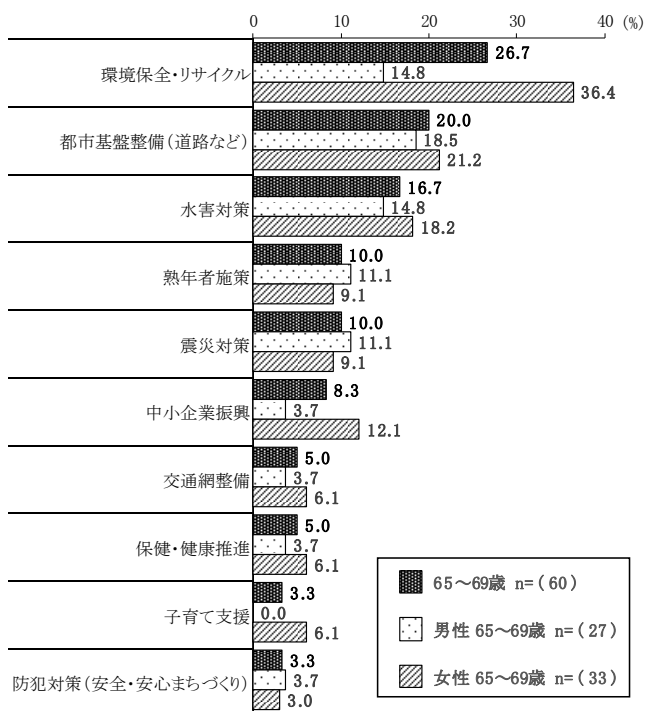
【50歳代(50~59歳)】



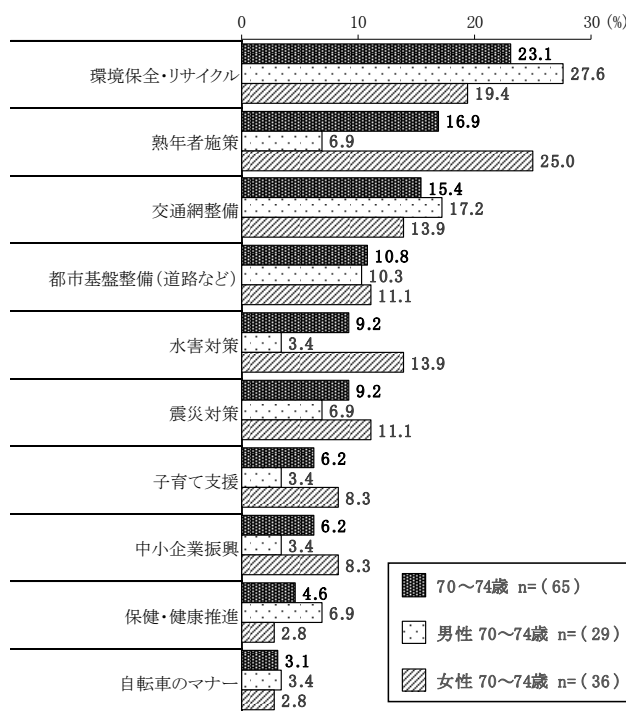
【60歳代前半(60~64歳)】



【60歳代後半(65~69歳)】



【70歳代前半(70~74歳)】

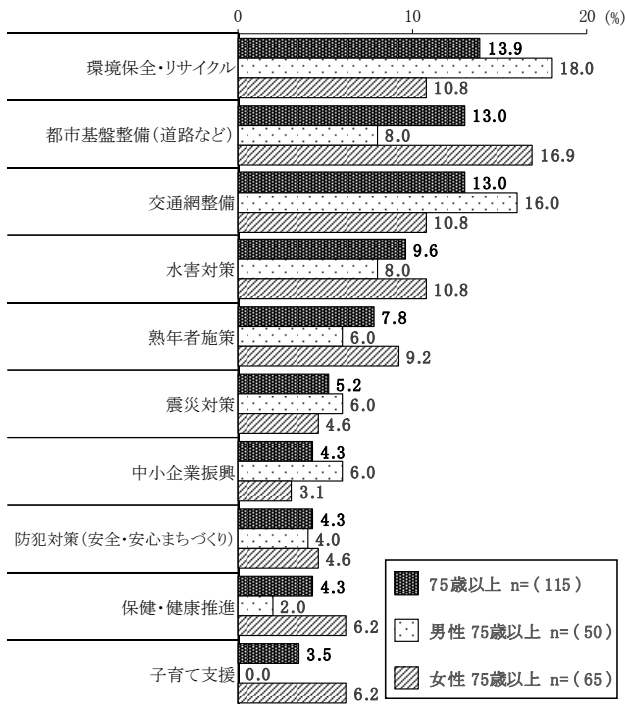


【性・年齢別】

70 歳代後半以降は「熟年者施策」の順位が下がり、「環境保全・リサイクル」、「都市基盤整備」、「交通網整備」の順に1割を超えて高くなっている。(図表 23-8)

＜図表 23-8＞江戸川区に改善してほしいこと／性・年齢別(上位 10 項目)

【70歳代後半以降(75歳以上)】



(3) 自由記述抜粋

具体的な意見について、「江戸川区の良さ」の割合が高い項目順に代表的なものを「江戸川区の良さ」、「改善してほしいこと」でそれぞれ抜粋して掲載する。

環境保全・リサイクル

【江戸川区の良さ】

- 23区内にもかかわらず自然が多い。(女性 30～39歳、小松川地区)
- 公園や街路樹がたくさんあり、「この木なんの木かな?」と思うと名前が記してある札がかかっている散歩が楽しくなります。子どもたちが遊べる広場もあり、とても良い区だと思います。
(男性 70～74歳、葛西地区)
- 江戸川や荒川の河川敷は整備されており、利用しやすい。公園も葛西臨海公園や篠崎公園など自然を感じられる場所がある。(男性 40～49歳、小岩地区)
- 歩道、街路樹へのごみ捨てが少ないと感じる。小さな公園が多くあるため、公園ごとで異なる遊びができる。(男性 30～39歳、鹿骨地区)
- よく清掃されていると思います。駅や駅周辺もあまりごみなどは落ちていなく、駅前も広いスペースがあるので、歩きやすい。(女性 75歳以上、葛西地区)

【改善してほしいこと】

- 自然が多いのは良いが、鳥がうるさい。(女性 30～39歳、葛西地区)
- 土手や河川敷の草刈りのサイクルを少し早めにしていただきたいです。(女性 40～49歳、中央地区)
- ごみ出しのマナーが悪い。指定ではない別の場所に出している。(男性 70～74歳、小松川地区)
- 土手に不法投棄が多い。子どもたちがダンボールで土手滑りするのは微笑ましい事だが、帰るときに持ち帰らずそのまま捨てていくので困る。家電や布団、自転車、バイク等を捨てていく人もいる。
(女性 40～49歳、鹿骨地区)
- ごみの回収を早めるか、夜間にするとかしてカラスの被害をなくしてほしい。
(女性 30～39歳、小岩地区)

子育て支援

【江戸川区の良さ】

- 子育て支援について、今までたくさんの支援をしていただいた。また、子育て広場には非常に助けられた。清新町のまちづくりがすごく良く、子どもから年配の方まで住みやすい。安心安全な街をもっと広げてほしい。
(女性 30～39歳、葛西地区)
- 子育て支援の補助金、医療費の無償化等とても助かっています。(女性 30～39歳、中央地区)
- 子育てのしやすさ。共育プラザがあり、すくすくスクールがある。学童では希望すれば入れない事がない点等。(女性 40～49歳、小岩地区)

- 駅の近くに保育園がたくさんあるので助かります。共育プラザもあるので、子育てしやすく良いと思います。(男性 30～39 歳、中央地区)

【改善してほしいこと】

- 出産育児一時金内で出産費用が収まらない。(女性 30～39 歳、小岩地区)
- 子どもたちが自由に使える施設、室内で遊べる場所があると良い。(女性 50～59 歳、小岩地区)
- 子育て世代に対してゆとりある生活ができる制度・保育園等、待機児童の改善、他手当の充実。(女性 60～64 歳、葛西地区)
- もう少し保育園を多くしてほしい。(女性 20～29 歳、中央地区)
- 保育園利用時の利便性の向上(園児の送迎等)。(男性 70～74 歳、小松川地区)

交通網整備

【江戸川区の良さ】

- 交通手段がたくさんあり、移動が便利。(女性 70～74 歳、葛西地区)
- 下町だが他区、他県への交通の便が良い。(女性 20～29 歳、中央地区)
- 都営新宿線があるので、都心へのアクセスが良いと思います。(男性 60～64 歳、東部地区)
- 公共交通機関が充実している。IC が近いので、車での移動が便利。(男性 20～29 歳、中央地区)

【改善してほしいこと】

- 区内の移動は、東西は電車が充実しているが、南北の移動が大変だ。特に昼はバスも少ない。今後、もっと年をとって、車(免許)を手離すのがやや不安だ。(女性 50～59 歳、葛西地区)
- 江戸川区の施設や行事の場所などが遠い。区内の他のエリアに行きづらく親しみをもてない。気軽に区内の施設を行き来できるコミュニティバスのようなものを運行してほしい。(女性 40～49 歳、小松川地区)

住宅対策

【江戸川区の良さ】

- 昔から暮らしやすく、住みやすいところです。行政でいえば、代々の区長さんが公園の設置など住民生活の向上に営々と努力されてきたように思います。これからも安心して暮らし続けられるように祈っています。(男性 70～74 歳、中央地区)
- 人や街の雰囲気良く、住み心地が良い。都心ほど殺伐としてなく、田舎ほどしがらみがない印象。子育て支援に力を入れているおかげか子育て世代が多い点も気兼ねなく住める。(男性 30～39 歳、葛西地区)
- 住みやすい街だと思います。住む街という感じ。家の周りにお店や商業施設はあまりないですが、仕事や買い物へ行くときの交通の便的には丁度良い場所です。(女性 20～29 歳、小松川地区)
- 生活環境が整っていて、とても住みやすいと感じています。江戸川区に長くお世話になっており、これからもずっと住み続けていきたいと思っております。(男性 60～64 歳、小岩地区)

【改善してほしいこと】

- 区営住宅を増やしてほしい。(女性 50～59 歳、葛西地区)
- 住宅リフォームの金銭的な支援。(女性 40～49 歳、東部地区)
- 古い家・空き家などがよく目立つこと。区だけではなく個人の問題もあるのですぐ取り組める問題ではないだろうが、環境整備されるとうれしい。(女性 30～39 歳、小岩地区)

中小企業振興

【江戸川区の良さ】

- 小さいスーパーやコンビニ、ドラッグストアが多くあり、日常生活は大変利便性が高い。また、カーシェア、シェアサイクルも頻繁に利用している。(男性 50～59 歳、葛西地区)
- 小岩付近は再開発が多く、若い世代も増えてきている。飲食店が多い。(男性 30～39 歳、小岩地区)
- 銭湯を大切にしているところ。(男性 60～64 歳、東部地区)
- コンビニ、スーパー、病院、ラーメン屋など、生活しやすい環境です。(男性 20～29 歳、中央地区)

【改善してほしいこと】

- スーパーや八百屋が少ない。駅まで行かないと十分な買い物ができない。病院等も駅の方まで行かないとない。(女性 40～49 歳、小松川地区)
- 昭和通り商店街などシャッターを下ろしている店も多く活気がなく淋しい。オシャレなカフェもないため、友人たちと少しお茶を楽しめるようなお店ができれば、活気が出てくるのではと思います。(女性 70～74 歳、小岩地区)
- 銭湯が廃業し、なくなっていく対策はないか(熟年者は銭湯が好きだ)。(男性 75 歳以上、小岩地区)
- 区内商品券やキャッシュレスキャンペーンが使えるお店が少ない。使えるお店を増やしてほしい。(男性 20～29 歳、葛西地区)

都市基盤整備（道路など）

【江戸川区の良さ】

- 道がきちんと整備されているから、道路を利用して困ったことがない。(男性 30～39 歳、小松川地区)
- 他の区に比べて、道路や歩道はきれいだと思います。(女性 30～39 歳、葛西地区)
- 自転車が街中を専用レーンで走れること。(男性 20～29 歳、葛西地区)
- 電柱が埋められていて道幅が広い。(女性 30～39 歳、東部地区)

【改善してほしいこと】

- 歩道にタイル等を敷いている所が段差になっていることやはがれていることがあり危ない。(女性 65～69 歳、葛西地区)
- 道路が傷んでいるようで車椅子での通行に困るのではないかと思います。(女性 75 歳以上、中央地区)

- 道路が狭い所が多いかなと思います。車と自転車、歩行者の距離が近いことがあり、子どもたちと歩いていると怖いときもあります。(女性 30～39 歳、小岩地区)
- ベビーカーなどが通りやすい道の整備。駅のバリアフリー化(通路が狭い、エレベーター、エスカレーターがない)。(男性 30～39 歳、東部地区)

熟年者施策

【江戸川区の良さ】

- 子育てや高齢者に対しての手当が手厚いと思う。(女性 20～29 歳、葛西地区)
- 江戸川区くすのきカルチャー教室の存在です。年金生活者において、自分らしく好きなことが学べることに大変感謝しております。(女性 75 歳以上、小岩地区)
- 高齢者でもシルバーカー等を使い、安心して歩いて、買い物ができることが何よりの喜びです。(女性 75 歳以上、小松川地区)
- 区の施設は、熟年者団体登録が無料で利用できることは良い。(男性 65～69 歳、東部地区)

【改善してほしいこと】

- いつの日にか、配偶者も家族もいなくなって一人暮らしになってしまったらという不安が老いを重ねるたびに募ります。本当に一人になる前に、不安が解消できるような行政の支援やフォロー、体験談等をまとめた冊子があったら良いのではと思います。本当に困ったときではなく、一人になっても大丈夫のように安心して過ごせる江戸川区であってほしいです。(女性 70～74 歳、不明)
- 高齢化社会の中で、江戸川区では特養やグループホームなどがどれだけ充実しているか分かりませんが、高齢者になるべく安心して過ごせる区であってほしいと思います。あわせて、スタッフの労働環境も安心できるものにしてほしいと思います。(女性 65～69 歳、鹿骨地区)

防犯対策（安全・安心まちづくり）

【江戸川区の良さ】

- 昔よりだいぶ治安が良くなっていること。(女性 30～39 歳、葛西地区)
- この地域では防犯灯、防犯カメラ等の設置に力を入れていましたので、環境が良くなりました。(女性 75 歳以上、中央地区)
- 自分や周囲で犯罪被害に遭ったということがなく、安心して住んでいられます。(女性 50～59 歳、小岩地区)
- 夜に遅くまで出歩く人が少ないため、治安が良く静かに感じる。(女性 50～59 歳、鹿骨地区)

【改善してほしいこと】

- 一部地域には道路に防犯カメラが設置されているが、自宅近くには設置されていない。町会によって違うようだが、江戸川区としても、もっと推進してほしい。(女性 40～49 歳、東部地区)
- 駐車場で騒ぐ若い人の存在が怖いです。(女性 20～29 歳、葛西地区)
- 小学校の登下校時には、パトロール的なものをしてほしい。(女性 50～59 歳、中央地区)
- 窃盗などの犯罪被害がまだ多いのを減らしてほしいです。(女性 40～49 歳、小松川地区)

スポーツ振興

【江戸川区の良さ】

- 公園、運動場の利便性と環境の良さ。(男性 75 歳以上、中央地区)
- スポーツや散歩ができる場所が多いところ。(女性 18・19 歳、東部地区)
- 土手が整備されているので、子どもたちがスポーツする機会に恵まれている。
(女性 50～59 歳、小岩地区)
- 臨海球技場、えどりく、ラグビースポーツパークなど、とてもすばらしいスポーツ施設が揃っている点。子どもがサッカーを習っているので大変ありがたい。(女性 40～49 歳、葛西地区)

【改善してほしいこと】

- 屋内スポーツ(バスケ・バドミントン等)ができる場所が少ない。(女性 40～49 歳、鹿骨地区)
- プールができればと思います。子どもたちが泳げる機会が少なく、泳げていません。自宅付近に公園はありますが、ボールなどで遊ばせません。遊んでいると、うるさいなどと怒られることもあります。
(女性 40～49 歳、葛西地区)
- 学校の校庭や体育館の貸し出しはありがたいですが、車の乗り入れに制限がある場合や乗り入れができない場合があり、とても不便です。近隣にコインパーキングがない所もあり、今一度考え直してほしいです。(男性 75 歳以上、葛西地区)

保健・健康推進

【江戸川区の良さ】

- 予防接種費用の助成。(女性 50～59 歳、葛西地区)
- コロナのときなど他の市町村と比べて対応が早かった。システムなどの整備がされていると感じている。区長が変わり、新しい事を取り入れていると感じられる。(男性 70～74 歳、小岩地区)
- 区の無料検診はありがたい。がん検診もそうですが、社会人の子どもは区民健診を受けています。区民健診では採血もして下さるので、健康確認のために受診させていただいております。
(女性 50～59 歳、鹿骨地区)

【改善してほしいこと】

- 総合病院が少ない。救急搬送されると区外へ送られることが多い。その後の家族の通いが大変。
(女性 65～69 歳、葛西地区)
- 診療所が限られているため、混んでいる。待ち時間が長い。(男性 30～39 歳、鹿骨地区)
- 小児科がある総合病院を作してほしいです。家の近くにクリニック(小児科)はたくさんあるのですが、親も子も1つの病院で診てくれると助かるし、移動時間がないだけで子育てのママたちは助かると思います。(女性 40～49 歳、東部地区)

障害者支援

【江戸川区の良さ】

- 障害者でもだれでも仲良く暮らせる町だと思う。(男性 50～59 歳、葛西地区)
- 発達支援など、さまざまな補助がある。(女性 40～49 歳、小岩地区)
- 子育て、熟年者、障害者の支援は充実していると思います。色々な手当や支援のサービス、吸引器やオムツなどの補助に加えて、発電機を全額補助購入できたのは感謝しています。
(女性 40～49 歳、中央地区)

【改善してほしいこと】

- 障害者が学校を卒業してからの余暇を楽しめる場所を増やしてほしい。(女性 60～64 歳、中央地区)
- 障害者が地域で働ける場所を増やしてほしい。たとえば、本庁の一面に障害者制作のショップをつくるとか荒川のマラソン大会の時とかにキッチンカーなど出るといいかな。(女性 65～69 歳、小松川地区)
- 支援学級がある中学校がまだ少ないので、増やしてほしいです。(男性 30～39 歳、中央地区)
- 子どもの発達支援の場所が少なく、順番待ちで年をまたいだりしました。療育に通わせるために千葉に通っています。少し前から近くに通えるようになりましたが、待ちました。交通の便もバス移動が多く、療育に通っている子どもを連れてのバスは、なかなか厳しいと感じています。(女性 40～49 歳、東部地区)

水害対策

【江戸川区の良さ】

- 河川および河川敷の整備をきちんとしているため、安心して遊びに行ける。
(男性 30～39 歳、小松川地区)
- どんな人でも住みやすい環境を作ってくれている。大雨など降っても浸水していない。
(男性 20～29 歳、小松川地区)
- ゼロメートル地帯をもつ自治体なので、防災対策を手厚くしている事は素晴らしい。
(女性 70～74 歳、葛西地区)

【改善してほしいこと】

- 水害対策として、江戸川区は川に囲まれているので、土手をもっと強化してほしい。
(男性 50～59 歳、小松川地区)
- 周囲を河川に囲まれているので、高台などの広域避難場所の確保、避難が必要になった場合の避難方法の検討と周知が必要。堤防や橋、道路、鉄道の補修と強化。都心方向へはわりと良いと思うが、環状方向は改善が必要。(男性 60～64 歳、葛西地区)
- 水害の危険が迫ったときの住民の行動について、地域ごとに説明の機会をもっていただきたい。
(女性 75 歳以上、中央地区)
- 犬や猫などのペットも一緒に避難できる災害時の避難場所が増えるとうれしいです。
(女性 20～29 歳、東部地区)

- 防災アナウンスが聞き取れない。以前、大雨だったときは雨の音で全く聞こえていなかった。他の方法も考えてもらった方が良いと思う。(女性 50～59 歳、小松川地区)
- 江東5区の連携がはっきりと分からない。災害が発生した場合、どのような対策があるのかわからない。(男性 70～74 歳、中央地区)

文化・芸術

【江戸川区の良さ】

- 東京だけあって、医療、文化施設が近くにあり便利。(女性 40～49 歳、小岩地区)
- 「角野栄子児童文学館」江戸川区に新鮮な風が吹きますね。とても楽しみにしております。(女性 70～74 歳、不明)
- 駅近のタワーホール船堀での文化的事業等の数多い開催は、熟成した都市として、良い点といえる。(男性 65～69 歳、葛西地区)

【改善してほしいこと】

- 葛西地区に映画館を作してほしい。(女性 50～59 歳、葛西地区)
- 文化施設が少ない。コンサートや演劇の会場としては総合文化センターとタワーホール船堀はそこそこの規模と設備を備えていると思いますが、美術館があればと感じます。(女性 60～64 歳、中央地区)
- 区民館の会議室で、絵の具を使えるところが多くほしい。子どもの造形教室をやりたいが、場所が見つからない。(女性 40～49 歳、葛西地区)

観光施策

【江戸川区の良さ】

- 自然が豊か。葛西臨海公園をはじめ、あちこちに公園があり、よく整備されている。南葛西のフラワーガーデンも美しい。バラの時期はもちろん、どの季節も管理されていて、しかも無料で自由に過ごせるのは区外の人にも驚かれる点だと思う。(女性 40～49 歳、葛西地区)
- 緑が多くて、いろいろな鳥が見られる。臨海公園やキャンプ等、親子で楽しめる場所がある。(女性 60～64 歳、葛西地区)

【改善してほしいこと】

- 区の名所をもっとPRしてほしい。(男性 20～29 歳、葛西地区)
- ベッドタウン江戸川区からの脱却(観光対策、企業誘致、地域産業対策、等々、)を望みます。(男性 50～59 歳、葛西地区)
- 「江戸川区」といえばというものが少ない点。(男性 20～29 歳、小松川地区)

震災対策

【江戸川区の良さ】

- 災害対策の取り組みは良いと思われる。(男性 65～69 歳、葛西地区)
- 災害に対する情報発信がしっかりとされており、いざという時にどうすれば良いか、日ごろから見聞きする分、対応ができる体制ができているのかと思慮します。(男性 20～29 歳、中央地区)

【改善してほしいこと】

- マンションなどの屋上についている防災放送用のスピーカーなどが聞き取りにくく内容が分からないときが多い。もう少しはっきり聞こえるようにしてほしい、又は緊急速報などのように携帯、スマホに飛ばすようにしてほしい。(男性 65～69 歳、葛西地区)
- 災害時どこに避難したら良いか分からない。全員が一斉に同じ所へ避難しても入りきるのか。〇丁目、〇丁目は〇〇に避難してなど決めてくれたら、速やかに避難できるのでは。(夜中の災害時)
(女性 30～39 歳、小岩地区)
- 水害等災害時に、地域の避難場所となる高層建物(マンション等)を指定してほしい。低層木密住宅地域は、可能なら再開発して防災拠点となるような高層建物を配置してほしい。
(女性 75 歳以上、葛西地区)

学校教育

【江戸川区の良さ】

- 子どもが不登校になり、学校からスクールソーシャルワーカーに依頼してもらって、4～5 年くらいお世話になっており、とっても感謝している。(女性 40～49 歳、小松川地区)
- 子どもを大切にしているところ。区報を読むが、さまざまな対象年齢に対して催しがあるところ。小学校など教師以外にもスクールサポーターや加配の先生がつくところ。小学校を合併して新築したりする点。
(女性 40～49 歳、葛西地区)
- 小学校の放課後、補習授業がある。(女性 50～59 歳、東部地区)

【改善してほしいこと】

- 運動会、発表会がどんどん縮小されていること。遠足や郊外活動も少なくなっていること。
(女性 40～49 歳、小岩地区)
- 保育園や幼稚園、小学校の情報を紹介してもらえる場がほしい。どこに入れるか入れたいか、5 年 10 年後のことを見据えて考えるための情報として知りたい。(女性 30～39 歳、東部地区)
- 無駄な PTA 活動をなくしてほしい。(女性 50～59 歳、葛西地区)
- 私立小学校がないので、一番近いのは千葉県市川市になります。できれば、私立小学校ができれば、もっと子育て世代が転入して来るでしょう。(男性 30～39 歳、葛西地区)

再開発事業

【江戸川区の良さ】

- 小岩地区に住んでおりますが、最近の駅前の再開発や高層マンションの建築もありながら、小岩らしさを残してあり、長年住んでいる者としては住みやすい環境にあると思っております。
(男性 40～49 歳、小岩地区)
- 新しい道路をつくったりする取り組みはとても良いことだと思います。
(女性 40～49 歳、小松川地区)
- 篠崎地域の区画整理があり、若い世帯が住みやすくなりとてもうれしいです。西側も区画整理をすると良いと思います。(女性 65～69 歳、鹿骨地区)

【改善してほしいこと】

- フラワーロードの再開発。(男性 50～59 歳、小岩地区)
- 再開発で整備を進めるのは賛成だが、その近隣地区の美化も進めてほしい。小岩駅北口。
(女性 50～59 歳、小岩地区)
- 区役所の移転後の跡地有効活用。(女性 40～49 歳、中央地区)

友好都市・国際交流

【江戸川区の良さ】

- 公園が多く、インド人の方々も馴染んでいて良いと思います。ある意味のグローバル。
(女性 50～59 歳、葛西地区)
- インドの方が公園で踊りをしていた。すばらしいことである。できればお互いの交流機会ができて、一緒に祭りを楽しみたい。(男性 50～59 歳、葛西地区)
- 外国人が行政サービスもお店のサービスも親切で最高だと言っていました。
(男性 70～74 歳、小岩地区)

【改善してほしいこと】

- 定住している外国人の方との共存活動ももちたい。グローバルな江戸川区へ。
(女性 30～39 歳、葛西地区)
- There should be more support for foreign language speakers.
【和訳】外国語を話す人へのサポートをもっと充実させてほしい。(男性 30～39 歳、葛西地区)

生涯学習

【江戸川区の良さ】

- 緑が多くて生活環境が良いと思います。熟年者にとってもカルチャーセンター等も多くて良いと思います。(女性 70～74 歳、葛西地区)
- 家族がくすのきカルチャー教室の土曜日の企画講座を受講中です。安い料金で学べるのはありがたいです。(男性 65～69 歳、葛西地区)

【改善してほしいこと】

- 熟年者対象のカルチャーセンターは、できれば希望者が全員利用できるように、課目によっては教室数を増やしていただけたらうれしいです。(女性 75 歳以上、葛西地区)
- 子育てを卒業した人向けのカルチャーセンターやゆっくりできるカフェがほしい。(女性 50～59 歳、葛西地区)
- 壮年、ミドル世代に向けた支援、生涯学習支援があるとうれしい。子どももいない、シニア世代のいない層への恩恵があまりないように感じる。(女性 30～39 歳、葛西地区)

たばこのマナー**【江戸川区の良さ】**

- 最近では路上喫煙者が減った気がする。(男性 30～39 歳、小松川地区)

【改善してほしいこと】

- 歩きたばこ、路上喫煙禁止の徹底を希望します。(女性 40～49 歳、葛西地区)
- 歩きたばこ、路上喫煙が多すぎる。外出の際に見ない日はない。子どもが利用する公園や小学校の前、共育プラザの前でも喫煙している人がいる。路上喫煙禁止の駅前でも喫煙している人が多い。自宅の前で吸っている人は路上に向けて煙を吐くので歩道を歩けない。(女性 20～29 歳、小岩地区)
- 喫煙所をもっと増やしてほしい。(男性 30～39 歳、鹿骨地区)

自転車のマナー**【改善してほしいこと】**

- 自転車に乗る人のマナーが悪い。条例の設定などが必要ではないか。(男性 50～59 歳、葛西地区)
- 自転車のルールが、守られていないように思う。学生のスマホ、並び運転、電動自転車の速度。特に思うのは、新川沿いで散歩するお年寄りや自転車の速度により、ぶつかりそうになるところ。スマホを見ている学生とぶつかりそうになり、「あぶない!!」と声をあげた事があります。(女性 50～59 歳、葛西地区)
- 子どもを乗せたお母さんの自転車のルールの徹底の指導をしてほしい。(女性 60～64 歳、東部地区)

その他**【江戸川区の良さ】**

- 区長が若く行動的。(男性 70～74 歳、葛西地区)
- 盆踊りがある。地域の人との関わりがある。(女性 75 歳以上、鹿骨地区)
- 江戸川区にしか住んだことがないので、他とは比べられないが、50 年住んで、「良くない」と思ったことがないので、全体的に「良い町」なのだと思う。(男性 50～59 歳、小岩地区)
- 自立支援を受けているのですが、窓口の方が丁寧で助かります。(女性 40～49 歳、中央地区)
- 区役所の窓口や案内の方々がとても親切です。(女性 40～49 歳、葛西地区)

- 政策、プラン、計画などは非常に良いと思う。(男性 75 歳以上、葛西地区)
- 比較的長く江戸川区に住んでいるが、江戸川区の日ごろの努力がいたるところに垣間見えるため、いざというときの行政サービスでの安心感を感じている。(男性 60～64 歳、小岩地区)

【改善してほしいこと】

- 江戸川ナンバーをいち早く導入してほしい。(男性 40～49 歳、中央地区)
- 区内で取り組んでいる保護猫(犬)の活動について知りたいので、区報等で取り上げてもらえたらうれしいです。(女性 50～59 歳、中央地区)
- 若い人は何かきっかけがないと、江戸川区が行なっていることについて知ることができないと思います。このアンケートでこんな取り組みをしてるんだと知ったこともあったので、なにか知るきっかけがあれば良いなと思いました。(女性 20～29 歳、中央地区)
- 住人同士の交流の機会がないのが少し寂しさを感じます。我が家は移住組で共働きなので時間がなかなか取れないというもありますが、江戸川区の良さをもっと知るといいう機会がなかなかなく、認知できていません。(女性 40～49 歳、葛西地区)
- 区役所等の行政手続きをする場の窓口をもう少し遅くまで開けてほしい。
(男性 30～39 歳、小松川地区)
- 江戸川区に限らずともだと思いが、行政処理のオンライン化やキャッシュレス推進が進むと良いと思います。(男性 20～29 歳、葛西地区)
- いろいろなサービスや支援をもっと知らせてほしい。知らないことが多いです。毎月ではなくていいので広報紙として送ってもらえたらいろいろ知れて助かります。(女性 65～69 歳、鹿骨地区)
- 区役所などに電話などで問い合わせた際の対応または親切さ。(男性 50～59 歳、東部地区)
- 行政の取り組みが分かりにくい。(女性 40～49 歳、中央地区)

IV 調査票

第36回 江戸川区民世論調査

調査へのご協力をお願い

区民の皆さまには、日ごろから区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび江戸川区では、「第36回 江戸川区民世論調査」を実施いたします。この調査は、区民の皆さまが日頃から感じていることや区政に対してお持ちのご要望をお聞きし、今後の区政運営に役立てるために実施するものです。調査の実施にあたり、区内にお住まいの満18歳以上の方4,000人を無作為に選ばせていただきました。

調査の実施は江戸川区が委託する「株式会社アダムスコミュニケーション」が行います。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和5年10月

江戸川区長 齊藤 猛

あなたのインターネット回答用の ID

ID :

※ID は半角英数で 8 文字です。

ID は個人を特定するものではありません。

インターネット回答用 URL : <https://www.aaa.co.jp/job/15335/edogawa2023>

インターネット回答用
二次元コード



－ 回答に当たってのお願い －

- 封筒の宛名のご本人様がお答えください。
- 回答は、当てはまる選択肢の番号に○をしてください。
- 例えば、「(○は3つまで)」など回答の数が指定されている質問では、指定の数以内で選んでください。
- 質問によっては一部の方にのみ回答していただく場合があります。
- 「その他」を選んだ場合は、() 内に具体的に記入してください。
- 調査結果は全て統計的に処理しますので、個人の回答内容が公表されることは一切ありません。
- 【令和5年11月9日(木)】までにご回答ください。

－ 郵送での回答 －

- 調査票を同封の返信用封筒に入れ、郵送してください。(切手不要)

－ インターネットでの回答 －

- パソコン・スマートフォンなどで、表紙の回答専用ページにアクセスしてご回答ください。
スマートフォンからは、二次元コードよりアクセスいただけます。
- 回答専用ページから、表紙のID・パスワードを入力してログインをしてください。
- 通信料はご利用者様の負担となります。

<p>【調査受託事業者・お問い合わせ先 (回答方法)】 株式会社アダムスコミュニケーション 〒168-0074 東京都杉並区上高井戸 1-8-17 ブライトコアビル新館 6F 電話：03-6847-5757 (受付時間：平日 10：00～17：00)</p>	<p>【調査主体・お問い合わせ先 (調査内容)】 江戸川区 SDG s 推進部広報課区政案内係 〒132-8501 東京都江戸川区中央 1-4-1 電話：03-5662-6168 (直通) (受付時間：平日 8：30～17：00)</p>
---	---

【居住年数・永住意向について】

問1 あなたは、江戸川区に住んで何年になりますか。(○は1つ) <n=1,746>

1	1年未満	3.3%	4	11年以上21年未満	15.0
2	1年以上6年未満	10.7	5	21年以上31年未満	16.9
3	6年以上11年未満	7.6	6	31年以上	45.7

問2 あなたは、今後も江戸川区に住み続けたいと思いますか。(○は1つ) <n=1,746>

1	ずっと住み続けたい	45.5%	3	区外に転出したい	3.4
2	当分の間は住み続けたい	39.7	4	わからない	10.3

【江戸川区の現況について】

問3 ①～⑭の各項目の現況について、どの程度満足していますか。項目ごとにお答えください。

(それぞれ○は1つずつ)

<n=1,746> (%)

項目	評価					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
① 買い物の便	37.5	26.9	22.2	8.5	4.0	0.5
② 交通の便	31.1	25.2	22.7	14.0	6.1	0.2
③ 道路・歩道の整備	22.4	23.7	34.8	12.9	4.8	0.6
④ 公園・水辺の整備	33.4	29.7	27.1	4.3	1.9	2.6
⑤ 緑化の推進	29.8	28.0	33.2	4.1	1.7	2.3
⑥ 街の景観	17.2	21.4	44.3	10.8	4.2	1.2
⑦ 街のバリアフリー	9.8	14.2	43.8	17.2	5.6	8.1
⑧ ごみの収集	31.4	25.7	34.1	5.7	2.1	0.5
⑨ リサイクルの推進	14.9	17.6	50.5	4.6	1.5	9.9
⑩ 地域の治安・安全性	13.8	20.2	42.3	15.2	5.8	1.8
⑪ 災害への備え	7.8	15.0	42.0	15.5	7.0	11.3
⑫ 近所づきあい	9.0	11.1	62.0	7.0	2.8	7.6
⑬ 文化施設の充実度	11.4	20.1	44.1	9.4	3.4	10.6
⑭ スポーツ施設の充実度	11.0	19.5	41.9	10.3	4.0	12.5

項目	評価					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
⑮ 熟年者の生活環境	7.8	15.8	40.2	9.2	1.8	23.6
⑯ 子育て環境	13.5	24.9	31.3	3.9	1.4	22.1
⑰ 健康相談・健康診査	13.1	22.0	45.0	4.7	1.3	12.1
⑱ 病院・診療所の充実度	15.5	24.9	40.5	11.1	4.0	2.5
⑲ 総合的な満足度	17.0	39.2	35.1	5.8	1.3	

【区の推奨度について】

問4 あなたは、区外の方に江戸川区に住むことや来ていただくことを勧めたいですか。

(〇は1つ)

<n=1,746>

1	どちらも勧めたい	21.4%	4	どちらも勧めたくない	8.6
2	定住を勧めたい	16.0	5	わからない	33.9
3	来訪を勧めたい	18.7			

【広報と情報化について】

問5 あなたは、江戸川区からの情報全般をどのような手段（媒体）で入手していますか。

(〇はいくつでも)

<n=1,746>

1	広報誌（広報えどがわ）	53.8%	15	区気象情報システム	2.9
2	くらしの便利帳	27.7	16	区の広報板（ポスター）	12.9
3	区公式ホームページ	31.6	17	J:COM江戸川	6.3
4	区公式X（旧ツイッター）	4.9	18	東京MXテレビ	2.3
5	区公式フェイスブックページ	0.8	19	FMえどがわ	2.6
6	区公式インスタグラム	0.8	20	テレビ、ラジオ	9.3
7	区公式LINE	3.7	21	区公式ホームページ以外の	2.7
8	えどがわメールニュース	4.5		Webサイト	
9	広報ビデオ （えどがわ区民ニュース）	4.7	22	町内・自治会回覧などの資料	23.8
10	公式YouTubeチャンネル （インターネット動画配信）	0.5	23	チラシ、パンフレット	14.8
11	Yahoo!くらし	4.0	24	新聞、雑誌	11.5
12	スマートニュース	3.8	25	コミュニティペーパー	5.1
13	区防災アプリ	3.3	26	友人、知人に聞く	20.3
14	区防災ポータル	0.5	27	その他（ ）	1.5
			28	情報を得る手段がない	0.8
			29	特に情報を入手していない	11.8

問6 あなたは、インターネットを利用するときは何を使いますか。(〇はいくつでも)

<n=1,746>

1	スマートフォン・タブレット	81.4%	4	その他()	1.1
2	フィーチャーフォン(ガラケー)	0.8	5		9.9
3	パソコン	37.5		インターネットを利用していない	

【デジタル化について】

問7 江戸川区では、「来庁不要の区役所」の実現をはじめとする様々な行政サービスなどのデジタル化の取り組みを行っています。

あなたは、江戸川区に今後どのような取り組みを推進してほしいですか。(〇は3つまで)

<n=1,746>

1	行政手続のオンライン化	48.4%
2	ワンストップサービス(一つの窓口で複数の手続などが完結する)	53.2
3	税金や手数料などの支払いのキャッシュレス化	24.5
4	各種相談のオンライン化	13.6
5	区が行う講演会・講習会などのオンライン化	3.8
6	災害対策・防犯対策のデジタル活用による効率化・高度化	19.0
7	地域コミュニティや区内産業のデジタル化支援	3.3
8	区民のデジタル化支援(スマホ教室の開催など)	8.5
9	AI(人工知能)などを活用した行政サービスの向上(AIチャットボットなど)	3.8
10	その他()	3.0
11	特になし	14.3

【SDGsについて】

問8 ご自身の生活の中で日ごろから取り組んでいるSDGsの行動をお答えください。

(〇はいくつでも)

<n=1,746>

1	食品ロスを防ぐ（必要な量だけ買う、フードドライブに参加する、残さず食べるなど）	65.9%
2	健康的な生活を送る（健康的な食事をする、運動を心がける、十分な睡眠をとるなど）	56.8
3	家のことを家族で分担する（家事の偏りを減らす、育休や介護休暇を活用するなど）	18.0
4	電気も水も大切に使う（見ていないテレビを消す、食器や手を洗う時に水をこまめに止めるなど）	61.5
5	最新の科学や技術を活用する（キャッシュレス決済を使う、オンラインで買い物をするなど）	29.0
6	多様性への理解を深める（外国語・手話・点字などに触れる、多様性に関する記事を見るなど）	14.4
7	地域の人たちと絆を深める（地域のおまつりや清掃活動に参加するなど）	10.4
8	リサイクルをする（服やペットボトルを資源回収に出す、リサイクルショップを活用するなど）	51.3
9	みどりを大切にす、プラごみを減らす（家庭菜園を楽しむ、詰め替え製品を選ぶなど）	28.2
10	江戸川区のことを知る（区内の公園で自然に触れる、区の伝統工芸品を知るなど）	12.7
11	上記以外の行動をしている（	1.6
12	何もしていない	5.1

【共生社会について】

問9 江戸川区では、令和3年7月1日に「ともに生きるまちを目指す条例」を制定しました。年齢、性別、性的指向や性自認、国籍、障害や病気の有無など、人の多様性を認め合い、支え合う、共生社会を目指しています。

この条例では、みんなで目指す未来のまちの姿を分かりやすく伝えるため、5つの「ともに生きる」をキーワードに、短い文章でメッセージをまとめています。

「ともに生きるまちを目指す条例」の詳細について →



あなたは、区が全ての人とともに生きる共生社会を目指していることを知っていますか。

(〇は1つ)

<n=1,746>

1	知っている	16.5%	2	知らない	82.4
---	-------	-------	---	------	------

【人権について】

問10 日本における人権課題について、あなたの関心のあるものはどれですか。(〇はいくつでも) <n=1,746>

1	女性	36.7%	11	性的マイノリティ（LGBTQなど）	20.1
2	子ども	42.7	12	刑を終えて出所した人やその家族	8.8
3	高齢者	47.4	13	路上生活者（ホームレス）	12.3
4	障害者	40.0	14	インターネット上の誹謗中傷など	35.3
5	部落差別（同和問題）	8.0		による人権侵害	
6	アイヌの人々	6.5	15	北朝鮮当局によって拉致された	21.3
7	外国人	16.3		被害者やその家族	
8	HIV、新型コロナウイルス感染症などの 感染者・医療従事者やその家族	12.7	16	人身取引（性的搾取、強制労働 等を目的とした人身取引）	10.9
9	ハンセン病患者・元患者やその家族	4.4	17	災害に伴う人権問題	16.3
10	犯罪被害者やその家族	14.4	18	その他（ ）	1.4
			19	特にない	9.3

【ひきこもり支援について】

問11 江戸川区では、ひきこもりの状態を「仕事や学校に行かず、家族以外の人との交流をほとんどしない方」として、相談支援等が必要な方へ支援推進事業を行っています。

あなたはひきこもりについて、どの程度知っていますか。(〇は1つ) <n=1,746>

1	ひきこもりの状態を知っていて、区が支援していることも知っている	18.3%
2	ひきこもりの状態は知っているが、区が支援していることは知らない	48.4
3	ひきこもりの状態は知らないが、区が支援していることは知っている	9.6
4	まったく知らない	22.7

【街路樹について】

問12 街路樹には、景観向上や環境衛生の保全などの効果があります。江戸川区内には、現在約5万2千本の街路樹(高中木)が植栽されています。

あなたは、どのような街路樹があれば良いと思いますか。(〇はいくつでも) <n=1,746>

1	桜など季節の花が咲く街路樹	62.7%	6	夏に涼しい緑陰提供ができる街路樹	61.3
2	イチョウなどの紅葉する街路樹	33.1	7	剪定するなど管理された街路樹	32.2
3	自然に近い姿の街路樹	24.8	8	あまり大きくなならない街路樹	15.5
4	緑豊かな常緑樹の街路樹	39.9	9	街路樹は必要ない	1.8
5	ドングリなどの実のなる街路樹	10.5			

【公園について】

問13 「ゆたかな心、地にみどり」を合言葉に区民のみなさんと力を合わせて緑化運動を開始し、令和2年には「緑化運動50年」を迎えました。これからも区民のみなさんから愛される、安らぎと潤いのある親しまれる公園の充実に取り組んでいきます。

あなたは、どのような公園があれば良いと思いますか。(〇はいくつでも) <n=1,746>

1	四季の草花など、植物を楽しめる公園	67.2%
2	雑木林や原っぱなどに生息している、鳥や昆虫（カブトムシ等）などの生き物と触れ合える自然に近い公園	27.2
3	芝生広場などスペースが自由に使える公園	38.9
4	散歩、休養ができる公園	68.1
5	小さくても、身近にある公園	25.5
6	シンボルとなる大きな公園	10.5
7	すべり台など遊具が多くある公園	18.6
8	ボール遊びなど、スポーツのできる公園	26.6
9	キャンプやバーベキューのできる公園	20.7
10	じゃぶじゃぶ池など、水遊びができる公園	22.7
11	お祭りやイベントなど、地域交流の場となる公園	25.4
12	カフェやキッチンカーなどのあるオシャレな公園	30.1
13	その他 ()	3.4

【葛西海浜公園について】

問14 平成30年10月に葛西海浜公園（葛西臨海公園の海側に隣接）が都内で初めてラムサール条約湿地（「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」）に登録され、今年は5周年にあたります。東京駅から15分という都心から近いこの葛西海浜公園の貴重な環境の保全と活用を江戸川区は東京都とともに進めていきます。

あなたは、葛西海浜公園がラムサール条約湿地に登録されていることを知っていますか。

(〇は1つ) <n=1,746>

1	知っている	38.3%	2	知らない	60.8
---	-------	-------	---	------	------

【文化芸術活動について】

問15 あなたは、この1年間にどのような文化芸術活動や鑑賞（テレビ・インターネット・DVDなどによる鑑賞を除く）をしましたか。（〇はいくつでも） <n=1,746>

1	美術（絵画・彫刻・写真・書・工芸・盆栽・建築など）の製作または鑑賞	29.3%
2	文芸（小説・俳句・短歌・随筆など）の製作または鑑賞	12.4
3	音楽（歌唱・楽器の演奏・作曲など）の活動または鑑賞	34.5
4	ミュージカル・演劇などの活動または鑑賞	13.9
5	舞踊（バレエ・ダンス・日本舞踊など）の活動または鑑賞	4.6
6	伝統芸能・演芸（歌舞伎・能楽・民謡・落語など）の活動または鑑賞	6.8
7	メディア芸術（映画・アニメーションなど）の製作または鑑賞	32.5
8	華道・茶道・着物の着付けなどの活動	3.0
9	囲碁・将棋などの活動	2.0
10	特になし	35.9

問15-1 問15で「10」と答えた方にお尋ねします。

この1年間に文化芸術活動や鑑賞（テレビ・インターネット・DVDなどによる鑑賞を除く）をしなかった理由は何ですか。（〇はいくつでも） <n= 627>

1	時間に余裕がない	49.9%
2	学ぶための教室や講習が少ない	6.2
3	魅力的な活動、イベントが少ない	20.7
4	施設や教室が近くにない	11.6
5	受講料や参加費、鑑賞料、活動する施設の利用料が高い	11.3
6	活動に関する情報が少ない	20.6
7	一緒に活動する仲間が見つからない	17.5
8	文化芸術活動や鑑賞以外の活動（スポーツ・ボランティアなど）をしているため	7.5

【図書館について】

問16 江戸川区は、令和4年度より、区内10カ所の小中学校に図書館サテライトを設置しました。図書館サテライトでは、予約した図書資料の貸し出しや返却などのサービスを行っています。あなたは図書館や図書館サテライトをどのくらいの頻度で利用していますか。(〇は1つ)

<n=1,746>

1	1週間に数回程度	1.6%	4	年に1回程度	3.0
2	1か月に数回程度	9.6	5	過去に利用したが、現在は	20.9
3	年に数回程度	11.1		利用していない	53.4
			6	利用したことがない	

問16-1 問16で「5」または「6」と答えた方にお尋ねします。

図書館や図書館サテライトを利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

<n=1,298>

1	近くにない	16.3%
2	どこにあるかわからない	29.7
3	利用の仕方がわからない、規則が難しそう	14.9
4	利用したい本や雑誌があるかわからない	11.2
5	雰囲気が好きではない	2.0
6	図書館へ行って、本や雑誌を借りたり、返すことが大変	26.0
7	本や雑誌は買って読んでいる	28.0
8	楽しめるイベントや催し物がない	3.7
9	その他 ()	14.7

【災害対策について】

問17 江戸川区は海に面した低地帯で、陸域の7割が満潮時海拔ゼロメートル地帯です。洪水や高潮などにより大規模水害が発生すると広範囲にわたって浸水し、水が引くまでに2週間以上かかることも考えられます。

超大型台風の接近など大規模水害の発生が予測される時に、あなたは江戸川区外の浸水しない地域にどのタイミングで避難できると思いますか。(〇は1つ) <n=1,746>

1	48時間以上前に区外の浸水しない地域に避難できると思う	8.6%
2	24時間前であれば区外の浸水しない地域に避難できると思う	22.1
3	区外の浸水しない地域に避難したいが、直前まで判断できないと思う	38.9
4	大規模水害が発生する前に避難はできないと思う	14.1
5	区外への避難はしない	15.1

問17-1 問17で「4」または「5」と答えた方にお尋ねします。

大規模水害時に広域避難しない(できない)理由について、あなたはどのようにお考えですか。理由ごとにお答えください。(それぞれ〇は1つずつ) <n= 509> (%)

広域避難しない理由	そう思う	どちらとも いえない	そう思わない
① 仕事や学校がある	28.7	21.2	32.2
② 家や家財から長く離れることが心配	36.7	21.6	25.3
③ 広域避難する先の当てがない	69.2	10.0	8.3
④ 遠くまでの避難が困難な家族がいる	31.4	15.9	37.9
⑤ ペットなどを飼っている	21.6	6.5	53.2
⑥ 自宅が一番安全だと思う	37.1	28.5	22.4
⑦ 近隣の高層建物等へ避難すれば十分	33.6	28.3	24.6

問18 江戸川区には「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度があります。この制度は、江東5区において広域避難情報を発令した際、避難場所として区外の旅館やホテルなどの宿泊施設を利用された方に、最大9,000円(1泊一律3,000円、3泊までを限度)を補助するものです。

「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度についてお答えください。(〇は1つ)

<n=1,746>

1	知っており、利用したい	5.0%	3	知っていたが、利用しない	3.3
2	知らなかったが、利用したい	75.0	4	知らなかったし、利用しない	15.4

問18-1 問18で「3」または「4」と答えた方にお尋ねします。

上記制度を利用しない理由は何ですか。(〇は1つ)

<n= 326>

1	広域避難先を宿泊施設以外(親戚・友人宅など)で考えている	17.2%
2	行政が確保する広域避難先に避難したい	12.9
3	広域避難をどこにするかまだ決めていない	17.5
4	自宅を離れたくない	31.9
5	広域避難を検討していない	19.0

【治安について】

問19 あなたは、お住まいの地域の治安について、どのように感じていますか。(〇は1つ)

<n=1,746>

1	良い	12.8%	4	悪い	4.6
2	どちらかといえば良い	52.4	5	わからない	10.7
3	どちらかといえば悪い	18.7			

問19-1 問19で「3」または「4」と答えた方にお尋ねします。

治安が悪いと感じる理由は何ですか。(〇はいくつでも)

<n= 407>

1	詐欺(オレオレ詐欺・還付金詐欺など)	26.5%	7		54.8
2	不審者(声かけ・つきまとい・いたずらなど)	33.7		タバコのポイ捨てやゴミの不法投棄	18.2
3	身近な犯罪(自転車盗・空き巣など)	37.8	8	外国人トラブル	3.9
4	けんかや口論などのトラブル	24.8	9	性的犯罪	3.9
5	未成年者の非行(飲酒・喫煙・深夜はいかい・たむろなど)	24.8	10	凶悪犯罪(強盗・殺人など)	6.9
			11		12.8
6	公共の場所での迷惑行為(路上喫煙・飲酒・大声で騒ぐなど)	50.9		暴力団・暴走族による犯罪や迷惑行為	
			12	その他()	

【地域活動の参加状況について】

問20 江戸川区はこれまでも地域のみなさんや町会・自治会など多くの団体の協力・協働により様々な地域課題に取り組んできました。

災害時などには地域のみなさんどうしのつながりや団体相互の協力・協働がたいへん大きな力となりますが、そのためには日ごろから声を掛け合えるような間柄になることがとても大切なことです。

あなたは、現在、地域での活動・団体に参加していますか。また、今後、参加したい活動・団体はありますか。(〇はいくつでも) <n=1,746>

問20-①【現在参加している活動・団体】			
		6 環境団体	0.4
1 町会・自治会	30.2%	7 スポーツ団体	4.5
2 PTA	5.2	8 文化・芸能団体	1.6
3 子ども会	1.5	9 NPO・NGO ()	0.3
4 熟年者団体(くすのき等)	4.0	10 その他()	1.4
5 障害者団体	0.9	11 特になし	58.0

問20-②【今後参加したい活動・団体】			
		6 環境団体	3.2
1 町会・自治会	10.7%	7 スポーツ団体	7.2
2 PTA	1.7	8 文化・芸能団体	6.3
3 子ども会	3.4	9 NPO・NGO ()	0.9
4 熟年者団体(くすのき等)	6.1	10 その他()	0.9
5 障害者団体	2.1	11 特になし	63.6

【地域力の醸成について】

問21 区、町会・自治会、NPOなどの団体が連携して取り組んでほしいことをお答えください。

(〇はいくつでも) <n=1,746>

1 防災に関する活動(防災訓練・避難訓練・災害要配慮者支援など)	44.7%
2 防犯に関する活動(防犯パトロールなど)	48.7
3 まつり(祭事含む)や盆踊りなどの地域の賑わいづくり	28.5
4 地域スポーツ活動への支援(運動会など)	9.7
5 美化活動(道路・公園の清掃活動・リサイクル活動など)	31.2
6 高齢者の見守り活動(なごみの家との協力含む)	28.2
7 子どもに関する活動(子ども会、登下校の見守りなど)	30.5
8 障害者や外国人へのサポート活動	15.0
9 健康に関する活動(健康相談など)	19.3
10 その他()	3.0

【健康状態について】

問22 あなたは、ご自身の健康状態を良いと感じますか。(〇は1つ) <n=1,746>

1	良い	20.4%	4	あまり良くない	13.6
2	まあ良い	44.6	5	良くない	3.4
3	どちらともいえない	17.4			

【歯科健診について】

問23 あなたは、この1年間に歯科健診を受けましたか。(〇は1つ) <n=1,746>

1	受けた	58.1%	2	受けていない	41.5
---	-----	-------	---	--------	------

問23-1 問23で「2」と答えた方にお尋ねします。

歯科健診を受けていない理由は何ですか。(〇はいくつでも) <n= 724>

1	痛みなど特に気になる症状がない(症状があるときだけ受診すればよい)	51.9%
2	忙しくて受診する時間がない	29.4
3	歯科に対して痛いなどのイメージがある	11.3
4	健診後に治療が必要になるとお金がかかるため	14.8
5	今までの歯科受診で説明が十分でない等の不信感がある	3.6
6	口の中を見られることに抵抗がある	4.8
7	在宅療養中、通院手段がない	1.8
8	特に必要性を感じないため	20.3

【自殺対策について】

問24 江戸川区では、大切な命を自殺で失うことがないように区を挙げて行う対策をまとめた「江戸川区いのち支える自殺対策計画」を5年ごとに策定しています。

あなたは、「江戸川区いのち支える自殺対策計画」を知っていますか。(〇は1つ)

<n=1,746>

1	名前も内容も知っている	2.4%	3	まったく知らない	82.4
2	名前は知っているが、内容は知らない	14.3			

問25 あなたは、江戸川区の自殺対策について、どのような取り組みを知っていますか。

(〇はいくつでも)

<n=1,746>

1	自殺防止えどがわキャンペーン（3月・9月に実施）	8.1%
2	さまざまな相談先が載っている配布物（ハンカチ型リーフレット等）	6.6
3	図書館でのパネルやリーフレット・関連図書の展示	4.6
4	さまざまな専門家による総合相談会	3.7
5	ゲートキーパー養成講座（気づき・声掛け・聴き・つなぎ・見守る）	2.3
6	こころの体温計	2.1
7	自殺未遂者への支援事業	1.4
8	随時相談	4.6
9	インターネットを活用した相談事業	5.2
10	見聞きしたことはない	71.5

【区政への要望について】

問26 あなたは、江戸川区は今後どのような施策を推進していけばよいと思いますか。

(〇は3つまで)

<n=1,746>

1	都市基盤整備（道路など）	18.0%	13	青少年健全育成	3.6
2	再開発事業	8.2	14	生涯学習	3.8
3	交通網整備	16.8	15	文化・芸術	4.1
4	住宅対策	7.4	16	スポーツ振興	3.2
5	震災対策	33.3	17	保健・健康推進（感染症対策含む）	6.2
6	水害対策	49.2	18	中小企業振興	1.8
7	防犯対策（安全・安心まちづくり）	28.5	19	観光施策	2.6
8	環境保全・リサイクル（地球温暖化対策含む）	8.6	20	友好都市・国際交流	1.5
9	熟年者施策	15.6	21	平和・人権・男女共同参画	1.7
10	障害者支援	5.7	22	行政サービスのデジタル化	7.4
11	子育て支援	18.3	23	その他（ ）	1.7
12	学校教育	8.5	24	わからない	4.2

問27 あなたが、江戸川区で暮らしているなかで、江戸川区の「良さ」または「改善してほしい」と感じるのは、どのようなことですか。子育て支援、熟年者施策、生活環境、産業振興、災害対策、まちづくりなど、どのような分野でもかまいません。できるだけ具体的にお書きください。

【良さ】

【改善してほしい点】

最後に、お答えいただいたことを統計的に処理するため、あなたご自身やご家族について、お知らせください。

F 1 あなたの性別をお知らせください。(○は1つ) <n=1,746>

1	男性	40.4%	3	その他	0.4
2	女性	57.6			

F 2 あなたのご年齢をお知らせください。(○は1つ) <n=1,746>

1	18・19歳	1.5%	6	60～64歳	8.5
2	20～29歳	8.7	7	65～69歳	7.0
3	30～39歳	11.3	8	70～74歳	7.8
4	40～49歳	15.5	9	75歳以上	17.8
5	50～59歳	20.3			

F 3 あなたのご職業をお知らせください。(○は1つ) <n=1,746>

1	自営業者	7.2%	5	家事専業	10.5
2	家族従業(家事手伝い)	0.6	6	学生	2.8
3	勤め(フルタイム)	39.8	7	無職	19.6
4	勤め(パートタイム)	15.3	8	その他()	2.0

F 4 一緒に暮らしているご家族の人数(ご自身を含めて)をお知らせください。(○は1つ)

<n=1,746>

1	1人	18.2%	5	5人	4.8
2	2人	30.1	6	6人	1.7
3	3人	24.0	7	7人以上	0.8
4	4人	18.3			

F 4-1 F 4で「2」、「3」、「4」、「5」、「6」、「7」のいずれかと答えた方にお尋ねします。

同居者(本人以外)をお知らせください。(○はいくつでも)

<n=1,391>

1	小学校入学前のお子さん	11.6%	3	16～64歳の方	72.5
2	小・中学生	16.2	4	65歳以上の方	34.0

F 5 現在のあなたの住居の種類をお知らせください。(○は1つ)

<n=1,746>

1	持ち家(一戸建)	39.2%	6	公営の賃貸住宅	4.5
2	持ち家(共同住宅)	23.0	7	都市再生機構・公社などの賃貸住宅	2.5
3	持ち家(長屋建・その他)	0.4	8	給与住宅(社宅・公務員住宅など)	2.3
4	民営の賃貸住宅(一戸建)	1.5	9	借間	1.1
5	民営の賃貸住宅(共同住宅)	21.4			

F 6 あなたのお住まいの場所をお知らせください。

町 名

		丁目	
(例	中 央	1	丁目)

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

令和6年3月発行

第36回江戸川区民世論調査

編集・発行 / 江戸川区 SDGs 推進部広報課

東京都江戸川区中央1丁目4番1号

電話 03 (5662)6168〔直通〕

集計・分析 / 株式会社アダムスコミュニケーション

東京都杉並区上高井戸1丁目8番17号

ブライトコアビル新館6階

電話 03 (6847)5757



ともに、生きる。
江戸川区